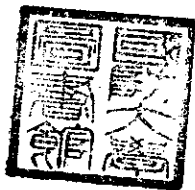




2 031 2932 8

# 新编日语语法教程

皮细庚 编著



上海外语教育出版社

# 新编日语语法教程

皮细庚 编著

---

上海外语教育出版社出版

(上海外国语学院内)

中图上海印刷厂排版

江苏泰兴印刷厂印刷

新华书店上海发行所发行

---

850×1156毫米 1/32 17.25印张 448千字

1987年8月第1版 1987年8月第1次印刷

印数: 0,001—9,000册

统一书号: 7218·245 定价: 3.50元

## 编者的话

《新编日语语法教程》是为大专院校日语专业编写的现代日语语法教科书，同时也可供日语自学者自修及日语工作者参考使用。

本书共分九章。第一章为“日本語概説”，其余八章较全面地介绍了现代日语的词法、句法知识。书中系统地编入了两套练习题：第一套「练习问题」分布在各章、节后面，并在书后附有“参考答案”，以便于自学者参考；第二套「课外练习」为综合性练习，以章为单位（第七章“助词”以节为单位）编入，可供读者选用。

本书尽量吸收最近的日语语法界的学说理论和科研成果。在不影响语法体系的前提下，根据我国学生的实际需要，对于某些较难理解的语法现象，尽可能地作出详细的解说和例示，特别在助动词、助词部分，凡编者认为有必要从词意和用法上进行区分的词，都适当地作了分析和比较，对于部分需要重点分析的内容，则另立【参考】专题进行讲解。书中所举例句全部选自语言比较规范的国内外出版的著作和辞书，以利于读者掌握地道的日语语法。

本书初稿写于1980年，作为日语专业三年级的语法教科书，在上海外国语学院等院校试用至今。本书在试用期间，编者根据教学实践中的体会和使用单位的意见，并结合国内日语学习的发展情况，曾数易其稿。

本书的编写，蒙周明教授和苏德昌教授热忱鼓励和悉心指导并审阅全稿。编写过程中，还得到王宏教授、日本大阪大学宫地裕教授、大阪外国语大学大河内康宪教授、上海外国语学院日语系梁传宝等教师的指导和帮助。编者在此谨向以上各位老师表示深切的谢意。

限于编者的水平和经验，书中难免有缺点、错误，恳切希望各位读者不吝指正。

编者

1986年5月

# 目 次

<b>第一章 日本語概説</b> .....	1
第一节 日语的特征.....	1
第二节 日语的发音.....	2
第三节 日语的词汇.....	8
第四节 日本的文章.....	10
練習問題一.....	18
<b>第二章 语言的单位和词类概论</b> .....	20
第一节 句子、文节、单词.....	20
練習問題二.....	22
第二节 句子的成分.....	23
練習問題三.....	25
第三节 词类.....	26
練習問題四.....	28
第四节 单词的构造.....	29
練習問題五.....	33
課外練習 (第二章 言葉の単位と品詞分類).....	34
<b>第三章 体言</b> .....	36
第一节 体言的性质.....	36
第二节 名词.....	36
一 名词的性质.....	36
二 名词的用法.....	37
三 名词的分类.....	37
四 名词的构成.....	37

五 名词的转用 .....	38
練習問題六 .....	38
第三节 数词 .....	39
一 数词的性质 .....	39
二 数词的用法 .....	39
三 数词的分类 .....	39
四 数词的构成 .....	40
五 数词的转用 .....	41
六 常用数词的数法 .....	41
練習問題七 .....	46
第四节 代名词 .....	47
一 代名词的性质 .....	47
二 代名词的分类 .....	48
三 コソアド体系和指示词 .....	50
四 代名词的构成和转用 .....	52
練習問題八 .....	52
第五节 形式体言 .....	53
一 形式体言的性质 .....	53
二 常用的形式体言及用法 .....	54
【参考】わけ和はずの用法比较 .....	62
練習問題九 .....	65
課外練習 (第三章 体言) .....	68
第四章 用言 .....	71
第一节 用言的性质 .....	71
第二节 动词 .....	72
一 动词的性质 .....	72
二 动词的活用形及用法 .....	73
三 动词活用的种类 .....	77
(一) 五段活用动词 (二) 上一段活用动词 (三) 下一段活用	

	动词 (四) か行变格活用动词 (五) サ行变格活用动词	
四	动词的音变 .....	89
	(一) 音变的意义 (二) 动词音变的种类	
五	自动词和他动词 .....	90
	(一) 自动词和他动词的意义 (二) 自动词和他动词的分类与比较 (三) なる和する的用法	
六	敬语动词 .....	95
	(一) 敬语动词的意义 (二) 敬语动词的种类 (三) 一般动词构成敬语表达方式	
七	补助动词 .....	100
	(一) 补助动词的意义 (二) 补助动词的种类	
	【参考】ている、である、ておく的用法 .....	104
	【参考】表示授受关系的动词和补助动词 .....	107
八	动词的构成 .....	108
九	动词的转用 .....	109
	練習問題十 .....	110
	第三节 形容词 .....	114
一	形容词的性质 .....	114
二	形容词的活用形及用法 .....	114
三	形容词词干的用法 .....	118
四	形容词のう音变 .....	118
五	补助形容词 .....	119
六	形容词的构成 .....	120
七	形容词的转用 .....	121
	練習問題十一 .....	122
	第四节 形容动词 .....	122
一	形容动词的性质 .....	122
二	形容动词的活用形及用法 .....	123
三	形容动词词干的用法 .....	129
四	形容动词的构成 .....	131
五	形容动词的转用 .....	132

練習問題十二	132
第五節 和现代口语有关的文语动词、形容词、形容动词	133
一 动词方面	133
二 形容词方面	136
三 形容动词方面	137
練習問題十三	138
課外練習 (第四章 用言)	139
<b>第五章 连体词、副词、接续词、感叹词</b>	<b>143</b>
第一节 连体词	143
一 连体词的性质	143
二 连体词的用法	143
三 连体词的分类	143
練習問題十四	144
第二节 副词	145
一 副词的性质	145
二 副词的用法	145
三 副词的分类	146
(一) 状态副词    (二) 程度副词    (三) 叙述副词	
四 副词的构成	151
五 副词的转用	153
練習問題十五	155
第三节 接续词	157
一 接续词的性质	157
二 接续词的用法	157
三 接续词的分类	158
四 接续词的构成	160
五 接续词与其他词类的区别	161
練習問題十六	163
第四节 感叹词	164



一 感叹词的性质 .....	164
二 感叹词的用法 .....	165
三 感叹词的分类 .....	165
(一) 表示感叹的感叹词 (二) 用于呼唤的感叹词 (三) 用于应答的感叹词	
四 感叹词的构成 .....	166
練習問題十七 .....	168
課外練習(第五章 連体詞・副詞・接続詞・感動詞)	168
<b>第六章 助动词</b> .....	172
<b>第一节 助动词的性质和分类</b> .....	172
一 助动词的性质 .....	172
二 助动词的分类 .....	172
練習問題十八 .....	174
<b>第二节 使役助动词せる、させる(附しめる)</b> .....	174
一 使役助动词的意义 .....	174
二 使役助动词的接续法 .....	175
三 使役助动词的活用 .....	176
四 使役句的构成 .....	177
(附) しめる .....	178
練習問題十九 .....	179
<b>第三节 被动助动词れる、られる</b> .....	180
一 被动助动词的意义 .....	180
二 被动助动词的接续法 .....	182
三 被动助动词的活用 .....	182
四 被动句的构成 .....	183
<b>第四节 可能(自发)助动词れる、られる</b> .....	185
一 可能(自发)助动词的意义 .....	185
二 可能(自发)助动词的接续法 .....	186
三 可能(自发)助动词的活用 .....	187
四 使用可能助动词的句子的构成 .....	187

【参考】可能的表达方式	187
第五节 敬语助动词れる、られる和ます	189
一 敬语助动词的意义	189
二 れる、られる	189
(一) れる、られる的意义 (二) れる、られる的接续法和活用	
三 ます	190
(一) ます的意义 (二) ます的接续法 (三) ます的活用	
練習問題二十	192
第六节 否定助动词ない、ぬ(ん)	193
一 否定助动词的意义	193
二 否定助动词的接续法	194
三 否定助动词的活用	195
四 和现代口语有关的文语否定助动词ず	197
【参考】なくて和ないで	198
練習問題二十一	201
第七节 希望助动词たい、たがる	202
一 希望助动词的意义	202
二 たい的意义	202
三 たい的接续法	203
四 たい的活用	203
五 たがる的用法	204
【参考】“……が……たい”和“……を……たい”	206
練習問題二十二	207
第八节 过去、完了助动词た	208
一 过去、完了助动词的意义	208
二 过去、完了助动词的接续法	209
三 过去、完了助动词的活用	210
【参考】日语的时和体	211
練習問題二十三	216
第九节 断定助动词だ、です	216
一 断定助动词的意义	216

二	断定助动词的接续法	217
三	断定助动词的活用	218
四	断定的另一种表达方式である	220
五	和现代口语有关的文语断定助动词なり、たり	221
	練習問題二十四	222
第十节	推量助动词う、よう、まい、らしい	223
一	推量助动词的意义	223
二	う、よう	223
	(一) う、よりの意义 (二) う、よりの接续法 (三) う、 よりの活用	
三	まい	227
	(一) まい的意义 (二) まいの接续法 (三) まいの活用	
四	らしい	229
	(一) らしい的意义 (二) らしいの接续法 (三) らし いの活用 (四) 助动词らしい和接尾词らしいの区别	
五	和现代口语有关的文语推量助动词む(ん)、べし、まじ、じ	233
	(一) む(ん) (二) べし (三) まじ、じ	
	【参考】意志的表达方式	235
	【参考】推量、推断的表达方式	236
	練習問題二十五	241
第十一节	比况助动词ようだ、ようです、みたいだ、み たいです	242
一	比况助动词的意义	242
二	比况助动词的接续法	244
三	比况助动词的活用	245
四	みたいだ、みたいです的用法	246
五	和现代口语有关的文语比况助动词ごとし	247
	練習問題二十六	248
第十二节	样态助动词そうだ、そうです	249
一	样态助动词的意义	249
二	样态助动词的接续法	250

三 样态助动词的活用 .....	251
第十三节 传闻助动词 そうだ、そうです .....	252
一 传闻助动词的意义 .....	252
二 传闻助动词的接续法 .....	253
三 传闻助动词的活用 .....	253
練習問題二十七 .....	54
課外練習 (第六章 助動詞) .....	255
<b>第七章 助詞</b> .....	262
第一节 助詞的性质和分类 .....	262
一 助詞的性质 .....	262
二 助詞的分类 .....	262
練習問題二十八 .....	263
第二节 格助詞 .....	264
一 格助詞的性质 .....	264
二 が .....	265
三 の .....	266
四 を .....	268
五 に .....	269
六 へ .....	274
七 と .....	276
八 から .....	281
九 より .....	285
十 で .....	287
練習問題二十九 .....	292
課外練習 (第七章第二節 格助詞) .....	294
第三节 接续助詞 .....	298
一 接续助詞的性质 .....	298
二 て(附して) .....	298
三 し .....	301
四 ながら(附つつ) .....	303

五	たり	305
六	ば	306
七	と	309
	【参考】ば、と、たら、なら的用法和比较	311
八	なり(附や)	316
九	ては、は	317
十	ても、も(附とも、と、ども)	319
十一	たって、って	322
十二	こととて、とて	323
十三	から	324
十四	ので	326
	【参考】因果关系的表达方式	327
十五	が	335
十六	けれども	336
十七	のに(附に)	338
十八	くせに	340
十九	もの、もので、ものだ(です)から	340
二十	ものなら	341
二十一	ものの	342
二十二	ものを	343
二十三	ところが(ところ)	343
二十四	ところで	344
二十五	どころか	345
	練習問題三十	346
	課外練習 (第七章 第三節 接続助詞)	349
	第四节 副助詞	352
一	副助詞の性質	352
二	は	356
	【参考】は和格助詞が	360
三	も	367
四	こそ	371

五	さえ(附すら、だに).....	372
六	でも .....	374
七	だって .....	376
八	なり(なりと、なりとも、など) .....	378
九	しか(附ほか) .....	379
十	まで .....	380
十一	ばかり .....	382
十二	だけ(附のみ) .....	385
十三	きり(ぎり) .....	388
十四	くらい(ぐらい) .....	389
十五	ほど .....	391
十六	など(附なんぞ、なぜ、なんか) .....	393
十七	ずつ .....	395
十八	やら .....	395
十九	や .....	396
二十	か .....	397
二十一	の .....	398
二十二	だの .....	399
二十三	とか .....	399
二十四	って、たら(ったら)、てば(ってば)、なんて.....	400
二十五	ぞ .....	403
練習問題三十一.....		404
課外練習 (第七章 第四節 副助詞).....		408
第五節 終助詞.....		411
一	終助詞の性質 .....	411
二	か .....	411
三	かしら .....	413
四	な(禁止) .....	414
五	な(あ) .....	414
六	ぞ .....	416
七	ぜ .....	416

八	よ	417
九	わ	419
十	ね(え)	420
十一	さ	422
十二	や	423
十三	とも	423
十四	え	424
十五	い	424
十六	っけ	425
十七	の	426
十八	こと	426
十九	もの	427
二十	ものか(もんか)	428
練習問題三十二		428
課外練習 (紛れ易い語の見わけ)		431

<b>第八章</b>	<b>句法</b>	436
<b>第一节</b>	<b>文节的意义和作用</b>	436
一	文节的意义	436
二	文节的作用	436
三	继续文节和断正文节	437
四	文节的相互关系和句子成份	438
五	文节的“係・受”关系和文节的“係・受”两方面的作用	439
<b>练习问题三十三</b>		440
<b>第二节</b>	<b>文节的相互关系</b>	440
一	主语和谓语的关系	440
二	修饰和被修饰的关系	441
三	对等的关系	442
四	补助的关系	443
五	独立的关系	443
六	特殊成分的文节	444

練習問題三十四	448
第三节 文节的构造	449
一 主语文节的构造	449
二 谓语文节的构造	451
三 连体修饰语文节的构造	452
四 连用修饰语文节的构造	454
五 对等文节的构造	455
六 补助文节的构造	457
【参考】关于补助文节的几个问题	458
七 独立语文节的构造	463
練習問題三十五	464
第四节 连文节	466
一 连文节的意义	466
二 连文节的作用	466
三 连文节的构造	467
四 连文节的组织方法	472
練習問題三十六	476
第五节 文节的倒置和省略	477
一 文节的倒置	477
二 文节的省略	478
第六节 句子的种类	479
一 构造上的分类	479
二 意义上的分类	481
【参考】关于主题和句子的题述结构	483
課外練習 (第八章 文論)	505
<b>第九章 敬语法</b>	507
第一节 敬语及其种类	507
第二节 敬语常用词语	508
練習問題三十七	510



課外練習 (第九章 敬語法).....	511
附錄 I 「練習問題」參考答案.....	513
附錄 II 主要參考資料.....	533

# 第一章 日本语概说

## 第一节 日语的特征

语言学里一般把世界各种语言从语言形态的角度，分为四大类：孤立语、屈折语、粘着语和抱合语。

孤立语的主要特点是靠词序和虚词来表示词与词之间的关系及其他语法作用，如汉语、壮语、苗语、藏语、泰语等都是孤立语。屈折语的主要特点是有词形变化，依靠这种变化来决定每个词在句中的语法作用，如英语、法语、德语等都是屈折语。抱合语又叫“多式综合语”或“编插语”，如爱斯基摩语、印第安语以及日本的阿依努语等属于抱合语。

日本语属于粘着语（<sup>くっつく</sup>膠着語），在语法上有以下特点：①不依靠词尾的屈折（变化），而依靠助词或助动词的粘着（即附加）来表示每个词在句中的地位和作用，因此，这些粘着成份在语法上具有很重要的意义；②日语的一部分词类（如动词、形容词、形容动词、助动词）虽然也有词尾变化，但这种变化不是直接以性、时、数、格为转移，而是以后面的粘着成份为转移的；③句子虽有一定的词序，谓语总是在句子的最后边，但主语及各类连用修饰语（如宾语、状语、补语等）之间的词序并没有严格的限制规定，因为这些成份与谓语的关系主要是通过附属词（助词）来决定的。

此外，日语与其他语言相比还有一些很重要的特点。如：日语中的敬语特别复杂，而且有一套严密的体系，学习日语时应该特别注意敬语的使用规律；日本使用的文字有汉字、假名、罗马字等，对于中国人来说，应该特别注意汉字的书写和读音，等等。

## 第二节 日语的发音

### 一 日语的音节

(一) 日语的音节(音節・拍), 通常分为“清音(清音)”、“浊音(濁音ガ・ザ・ダ・バ行)”、“半浊音(半濁音ペ行)”、“拗音(拗音)”以及“拨音(撥音)”、“促音(促音)”、“长音(長音)”等种类。其中清音部分(五十音图部分)ヤ行的イ・エ与ア行的イ・エ发音相同, ワ行的ウ・エ・ヲ也与ア行的イ・ウ・エ・オ发音相同, 因此在五十音图中实际上只有四十四个发音不同的音节。此外, 浊音部分ダ行的ヂ・ヅ与ザ行的ジ・ズ发音相同; 拗音部分チャ・チュ・チョ与ジャ・ジュ・ジョ发音相同。从而, 如果把拨音ン、促音ッ以及长音各作为一个音节计算的话, 日语的音节数总计应为一百零三个。

(二) 特殊音节 拨音ン原则上不能单独发音, 总是接在其他音节后面发音。

(三) 特殊音节 促音ッ是稍微停顿一下并不发出声音的音节, 因此这个音节既不可能单独发音, 同时原则上不能作为单词的第一个音节和最后一个音节出现。促音后面的音节应是カ・サ・タ・バ行的音。从语法角度说, タ・ラ・ワア行的动词(如“立つ・やる・買う”)以及动词“行く”发生音便时, 其词尾变为促音; 还有一些作为助词看待的って、ってば、ったら、っけ等单词, 从书写形式来看, 这些单词的第一个音节是促音。但是, 在实际发音时, 促音必须处于前后音节之间(感叹词“あっ!”等例外)。

(四) 长音 是把某个音节的音位拖长而发的音, 即在ア・イ・ウ・エ・オ各段音节后面分别接上ア・イ・ウ・エ・オ而发的音, 其中オ段长音书写时为ウ(或お), 实际上发オ音; エ段长音书写时为エ或イ, 都发エ音; ア・ウ・オ段拗长音书写方法也分别为

日 語 音 節 (拍) 表

種 類	音 節 (五十音圖)					
	行 書 方 法	ア 段	イ 段	ウ 段	エ 段	オ 段
		名假片 名假平 字馬羅	名假片 名假平 字馬羅	名假片 名假平 字馬羅	名假片 名假平 字馬羅	名假片 名假平 字馬羅
ア 行	ア あ a	イ い i	ウ う u	エ え e	オ お o	
カ 行	カ か ka	キ き ki	ク く ku	ケ け ke	コ こ ko	
サ 行	サ さ sa	シ し si (shi)	ス す su	セ せ se	ソ そ so	
タ 行	タ た ta	チ ち ti (chi)	ツ つ tu (tsu)	テ て te	ト と to	
ナ 行	ナ な na	ニ に ni	ヌ ぬ nu	ネ ね ne	ノ の no	
ハ 行	ハ は ha	ヒ ひ hi	フ ふ fu (fu)	ヘ へ he	ホ ほ ho	
マ 行	マ ま ma	ミ み mi	ム む mu	メ め me	モ も mo	
ヤ 行	ヤ や ya	イ い i	ユ ゆ yu	エ え e	ヨ よ yo	
ラ 行	ラ ら ra	リ り ri	ル る ru	レ れ re	ロ ろ ro	
ワ 行	ワ わ wa	(キ) (ゐ) (い)	ウ う u	(エ) (ゑ) (え)	ヲ を wo (wo) o	

種類	濁音・半濁音					
	行 書 段	ア 段	イ 段	ウ 段	エ 段	オ 段
行 方 法	名假片 名假平 名假マ	名假片 名假平 名假マ	名假片 名假平 名假マ	名假片 名假平 名假マ	名假片 名假平 名假マ	名假片 名假平 名假マ
ガ行	ガが ga	ギぎ gi	グぐ gu	ゲげ ge	ゴご go	
ザ行	ザざ za	ジじ zi (ji)	ズず zu	ゼぜ ze	ゾぞ zo	
ダ行	ダだ da	ヂぢ zi (ji)	ヅづ zu	ヂで de	ドど do	
バ行	バば ba	ビび bi	ブぶ bu	ベべ be	ボぼ bo	
パ行	パぱ pa	ピぴ pi	プぷ pu	ペぺ pe	ポぽ po	

パ行	(六)行	タ(タ)行	サ(サ)行	カ(カ)行	行方写			種類
					了段	ウ段	オ段	
	ヒヤ ひや hya	チャ ちや (cha) tya	シヤ しや (sha) sya	キヤ きや kya	片假平 名假平 字假平	了段	拗音	特殊音节
	ヒユ ひゆ hyu	チュ ちゆ (chu) tyu	シユ しゆ (shu) syu	キユ きゆ kyu	片假平 名假平 字假平	ウ段		
	ヒヨ ひよ hyo	チョ ちよ (cho) tyo	シヨ しよ (sho) syo	キヨ きよ kyo	片假平 名假平 字假平	オ段		
ビヤ びや bya	ビヤ びや bya	(ヂヤ) (ぢや) (ja) dya	ジヤ じや (ja) zya	ギヤ ぎや gya	片假平 名假平 字假平	了段		
ビユ びゆ byu	ビユ びゆ byu	(ヂユ) (ぢゆ) (ju) dyu	ジユ じゆ (ja) zyu	ギユ ぎゆ gyu	片假平 名假平 字假平	ウ段		
ビヨ びよ byo	ビヨ びよ byo	(ヂヨ) (ぢよ) (jo) dyo	ジヨ じよ (jo) zyo	ギヨ ぎよ gyo	片假平 名假平 字假平	オ段		
(ウ、エ、ウ、イ、ア)「ー」	名假片 名假平 字假平	(写小右偏)ッ (写小右偏)っ (音輔个一第音节一下送重)	名假片 名假平 字假平	促音	名假片 名假平 字假平	拔音		
う、え、う、い、あ								
「ー」「へ」								

備考：上表罗马字拼写部分( )内为第2表拼写法，详见第四节“罗马字”。

ア・ウ・ウ。用片假名书写长音时,除了前面这种方法外,还可以用“ー”来表示,如:アー・イー・ウー・エー・オー・カー・キヤー・ガー・ギヤー,等。

## 二 日语发音的特点

从前面的“日语音节(拍)表”的罗马字拼写部分,我们基本上可以了解日语的音位(音素)系统,即有元音(母音)五个:/a·i·u·e·o/;半元音两个:/y(ヤ行)·w(ワ行)/;辅音(子音)十二个/k·s·t(c)·n·h·m·r·g(η)·z·d·b·p/;特殊音三个:拨音/N/、促音/Q/、长音/R/;共计二十二个音位(/c·η/作两个音位看待的话应为二十四音位)。

但是,音位仅仅指的是用以区别语言意义的语音单位,并不表示具体的发音方法。因此,我们还必须从音素(单音)的角度具体分析各个音位的发音要求。(注意:汉语里所谓的“音位”在日语里通常称为“音素”,而汉语里的“音素”在日语里则通常称为“单音”)。

### (一) 元音的发音特点

1. 元音有五个:a·i·u·e·o。其中u的发音不象英语的[u]那样突出、并圆嘴唇,而是双唇自然微启,下腭几乎不下沉,振动声带,发音较弱,因而日语的u的音素标记通常为[ɯ]。

2. 五个元音音素原则上是有声音,但是无声辅音k·s·t等与元音i·u相结合时,i·u的发音很轻,几乎听不出有声音,如:[tsuki][kiji][kmsa](「月」「岸」「草」)里的i·u就是如此。

## (二) 辅音的发音特点

日语辅音音素表

		双唇音	齿音	齿龈音	硬口盖音	软口盖音	喉音
爆破音	无声音	p		t		k	
	有声音	b		d		g	
摩擦音	无声音	φ⑥	s	ʃ①	ç⑤		h
	有声音	w⑧	z⑩	ʒ⑩	j⑦		
塞擦音	无声音		ts③	tʃ②			
	有声音		dz⑩	dʒ⑩			
弹音	无声音						
	有声音			r			
鼻音	无声音						
	有声音	m		n	ɲ④	ŋ⑨N②	

注：① サ行シ及拗音シヤ・シユ・シウ发音为 [ʃi·ʃa·ʃu·ʃo]，即辅音音素为 [ʃ]。

② タ行チ及拗音チャ・チュ・チュウ发音为 [tʃi·tʃa·tʃu·tʃo]，即辅音音素为 [tʃ]。

③ タ行ツ发音为 [tsu]，即辅音音素为 [ts]。

④ ナ行ニ及拗音ニヤ・ニユ・ニウ发音为 [ɲi·ɲa·ɲu·ɲo]，即辅音音素为 [ɲ]。

⑤ ハ行ヒ及拗音ヒヤ・ヒユ・ヒウ发音为 [çi·ça·çu·ço]，即辅音音素为 [ç]。

⑥ ハ行フ发音为 [φu]，即辅音音素为 [φ]。

⑦ ヤ行发音为 [ja·ju·jo]，即半元音音素为 [j]，日语里常作为辅音音素看待。

⑧ ワ发音为 [wa]，即半元音音素为 [w]，日语里常作为辅音音素看待。

⑨ ガ行音及ガ行拗音处在单词第二音节及其后的时候(助词也同样)，常发音为 [ŋa·ŋi·ŋu·ŋe·ŋo·ŋja·ŋju·ŋjo]，即辅音音素为 [ŋ]。

⑩ ザ・ズ・ゼ・ゾ的辅音音素为 [dz]，但在有时在单词里发音较轻时变为摩擦音 [z]。

⑪ ジ・ジャ・ジュ・ジウ的辅音音素为 [dʒ]，但在单词里发音较轻时变为摩擦



音[3]。

② [N] 代表拨音<sup>ん</sup>。拨音 [N] 由于后续音节的不同，有可能产生三种发音，通常场合，后接マ・バ・パ行音时，[N] 的发音为 [m]，如：「四枚」[jommai]、[本箱] [hombako]、[鉛筆] [embitsur]；后接カ・ガ・ハ行音时，[N] 的发音为 [ŋ]，如「インク」[inku]、「日本語」[nihongo]、「万年筆」[mannegitsur]；其余场合「N」发音为 [n]。

### (三) 日语音节的特点

日本人对于音节的节拍感非常强。在讲话时，每一个音节的发音时间都是相对稳定，基本相同的。一个音节原则上不可以任意拖长，拖长了便是长音，长音约等于两个普通音节的发音时间。在意义表达方面，把普通音节换成长音可以组成意义完全不同的词语。从而，日语音节的长短的区别是很严格的。此外，拨音和促音也大约相等于（略短于）一个音节的发音时间，日本人也是作为一个音节来感觉的。因此，这种音节实际上是结合发音时间来考虑的，这样的每一个音节日本人又称之为“拍”（拍）。如果说「カ」是一拍，那么「カア」「カン」「カッ」就都各为两拍。那么，这种音节概念实际上与汉语、英语里的音节概念是不完全相同的。因此，“拍”的称呼实际上是为着区别于普通语言学上的“音节”概念而设立的，前面的“日语音节（拍）表”，在日语里往往称为“拍の表”，所谓“103个音节”即是“103の拍”，拨音、促音、长音都是作为音节（即“拍”）来计算的。

## 第三节 日语的词汇

日语的词汇，从其来源讲，本来应分为两大部分：日本固有词汇和外来语词汇。日本固有词汇指的是日语原来就有的词汇，日语称“和語”或“大和言葉”，外来语（外来語）指的是从别国语言中借用的词汇，包括汉语、英语等等。但是由于汉字、汉语传入日本的历史已久，数量也多，同时日本人民还利用汉字创造了不少日语词汇，所以他们一般不把汉语词汇看成外来语。通常情况下日本

人把日语词汇分成三种：日本固有词汇、汉语词汇和外来语。

1. 日本固有词汇。如：

つくえ わたし ひとつ よむ たかい しずかだ  
とても この しかし ほら

助词、助动词大都属于这一类。

2. 汉语词汇。包括从汉语直接采用的，或利用汉字创造的词汇。如：

直接采用的：中庸 君子 先生 勇敢 前途

利用汉字创造的：時計 仮名 万年筆 自転車 大根 火事  
へんじ しゅっしょう しんぱい  
返事 出張 心配

3. 外来语。主要由印欧语音译而成，其中绝大多数来自英语。

(1) 英语。如：ペン インク ミルク バター チーズ  
ラジオ テレビ ハンケチ ワイシャツ。

还有日本人制造的所谓“和製英語”。如：オールバック  
ハイカラ サラリーマン。

(2) 法语。较多的是外交、艺术、化妆品、装饰品、烹饪等方面的词汇。如：デッサン コンクール レストラン。

(3) 德语。主要是医学用语，还有哲学、社会学、经济学等方面的术语。如：ガーゼ イデオロギー エネルギー。

(4) 意大利语。音乐方面的词汇较多。如：ド、レ、ミ、ファ  
…… オペラ ソプラノ ピアノ テンポ。

(5) 俄语。数量不多。如：ベチカ トルイカー ツンドラ  
インテリ ノルマ。

(6) 葡萄牙语。十六世纪中期葡萄牙人到日本进行基督教的传教，从那以后有关基督教以及一些通商贸易时使用的商品名称沿用了下来。如：キリスタン パテレン ビロード パン  
タバコ カルタ。

(7) 荷兰语。荷兰在日本德川幕府实行锁国政策的时期仍然

被允许与日本进行贸易，在日本对洋书实行所谓“开禁”之后还一度兴起了“兰学”，所以荷兰语的使用是比较广泛的。如：コレラ  
アルコール ソーダ レンズ ピストル マスト デッキ  
ラッパ ペンキ オンス ポンド。

(8) 此外还吸收了其他语种的一些语汇。用片假名书写的外国人名和地名也应属于外来语。

除了上面讲的三种词汇之外，应该说还有一种“混合语”（混種語）。具体说来有“和語+漢語”“和語+外来語”“漢語+外来語”等等。比如：罐切り、本棚、お子様ランチ、野菜サラダ、クッキング教室。

现代汉语的某些词汇也有可能作为外来语吸收到日语中去，比如：メーファーズ（没法子）、ニイハオ（你好）。

#### 第四节 日本 的文字

日本现在通常使用的是汉字和假名两种文字，此外使用罗马字的情况也不少。

##### 一 汉字（漢字）

##### （一）汉字的读音

汉字的读音有音读（音読）和训读（訓読）两种。音读是模仿汉语的读音；借用汉字的字形和意义而按日本固有语言来读的叫作训读。例如：

音读：共産党 三人 学生 図書館 便利  
训读：顔 男 女 紙 兄 姉 建物 昼間

一个汉字的音读往往有好几种读法，这是由于汉字的输入和读音的模仿受到一些历史上和地区上的影响而造成的。现代日语中的汉字的音读大致可以分成吴音、汉音、唐音三种。如：

	吳音	漢音	唐音
行	ぎょうずい 行 水	こうどう 行 動	あんぎゃ 行 脚
明	みょうにち 明 日	めいはく 明 白	みんくに 明の国

吳音(吳音)是最早传入日本的,模仿中国南方地区的发音。

漢音(漢音)大约在中国的隋唐时期传入日本,模仿中国北方、长安一带的发音。

唐音(唐音)是中国宋代以后传入的,模仿中国南方地区的发音,又称为“宋音(宋音)”。

汉字的训读有的只有一种读法,如“山(やま)”、“川(かわ)”等;有的汉字已经没有训读,比如“菊”、“茶”等;也有的汉字有两种、三种甚至更多的读法。比如:

生:い(きる)、うま(れる)、なま、は(やす)、は(える)、生い(立つ)、生(地)等。

直:なお(る)、ただ(ちに)

结:ゆ(う)、むす(ぶ)

汉字的训读一般是针对单词中的单个的汉字使用,比如:“空、雨、月、花”,这种训读在日语里叫“正训”;但有时有两个或两个以上的汉字组成的单词的训读不可能按每一个汉字把读音分割开来,比如“時雨、海苔、從兄弟、紅葉、五月雨”,这种训读叫做“熟字训”。

此外,在两个或两个以上的汉字组成的单词中,还有音读和训读结合的情况,如“前音后训(重箱読み)的“作男、台所”等,或“前训后音(湯桶読み)的“手順、足場”等。

## (二) 汉字的字形

我国的汉字字形在变化,日语的汉字字形也在变化,现代日语中的汉字字形与我国现在通用的汉字字形虽然有很多相同的



“兄、妹、教室、先生”等),但也有不完全相同的。试比较:

日语汉字:塩 地図 団体 共產黨員

汉语汉字:盐 地图 团体 共产党员

日语中还有一些模仿汉字的字体创造出来的日本特有的汉字,这种汉字的特点是一般只有训读,而没有音读。如:

風こがらし 峠とろげ 簾しづけ 鱈たら 辻つじ 畑はたけ 働はたら(く)

最后一个“働”字本来没有音读,后来由于“労働”等词的使用,也就产生了“どう”的音读。

### (三) 汉字的表意

日语中用汉字写的词,有的和我国汉语的词义相同(如“学校、政治”等),但也有不少和汉语的词义不同。比如:

日语:机 靴下 勉強 切手

汉语:书桌 袜子 学习 邮票

### (四) 常用汉字

1946年11月16日,日本政府根据国语审议会的建议,公布了《当用汉字表》,规定1850个汉字为“当用汉字”。1948年2月又公布了《当用汉字别表》,规定从当用汉字中选出881字,作为日本中、小学课本中使用的“教育用汉字”。除当用汉字外,还同意限于人名使用的汉字计92字,叫做“人名用汉字”。

1981年3月23日举行的日本第十四届国语审议会,对《当用汉字表》作了修改,提出了《常用汉字表》,比原来的《当用汉字表》增加了95字,即把汉字的使用限制在1945字。这次修改方案于1981年10月1日作为内阁告示公布。《常用汉字表》没有规定教育用汉字的范围,认为这一点要依靠日本今后教育上的适当措施;也没有规定人名用汉字,认为这与户籍法等民政事务有关,要委托给法务省去处理。

《当用汉字表》和《常用汉字表》都对汉字的字体、读音(音训两方面)等作了限定。

## 二 假名(仮名)

### (一) 假名的形成

古代日本人民只有自己的语言，没有自己的文字。汉文汉字传入日本(据传在三世纪前后传入日本)以后，日本人民开始利用汉字来记载本民族的语言。但是，用以记载日本固有语言的汉字，只表示日语的发音，而不保留汉字的原意，因此这种文字只是一种假借的文字，故而称之为“假名”。其中又包括“音假名”和“训假名”两种。音假名如：也麻(やま)一山、可波(かわ)一川；训假名如：八間跡(やまと)一大和、夏桎(なつかし)一懐し。后人又称这种假名为“万叶假名”(万葉假名)，是因为这种假名在《万叶集》中使用最为频繁而且规定最为严谨的缘故。后来，日本人民又在万叶假名的基础上创造了“片假名”(かたかな)和“平假名”(ひらがな)。片假名基本上是利用正楷汉字的偏旁部首创造出来的，平假名是利用草体汉字简化而成。片假名和平假名与万叶假名同为表音文字，不同的是，万叶假名利用了汉字的原形，而片假名和平假名则是日本人民利用汉字创造出来的另一种文字。

目前人们通常讲的“假名”是指平假名和片假名(但广义的“假名”应该包括万叶假名在内)。它们的字源如下表。

片假名字源表

ア	カ	サ	タ	ナ	ハ	マ	ヤ	ラ	ワ	ン注
阿	加	散	多	奈	八	万末	也	良	輪	
イ	キ	シ	チ	ニ	ヒ	ミ		リ	キ	井
伊	幾	之	千	二	比	三		利		
ウ	ク	ス	ツ	ヌ	フ	ム	ユ	ル		
宇	久	須	州	奴	不	牟	由	流		
エ	ケ	セ	テ	ネ	ヘ	メ		レ	エ	
江	介	世	天	祢	部	女		礼	惠	

オ	コ	ソ	ト	ノ	ホ	モ	ロ	フ	
於	己	曾	止	乃	保	毛	与	呂	乎

注 ソ=作为象征拼音的符号

### 平假名字源表

あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	わ	ん
安	加	左	太	奈	波	末	也	良	和	无
い	き	し	ち	に	ひ	み		り	る	
以	幾	之	知	仁	比	美		利	為	
う	く	す	つ	ぬ	ふ	む	ゆ	る		
宇	久	寸	川 <sub>注</sub>	奴	不	武	由	留		
え	け	せ	て	ね	へ	め		れ	系	
衣	計	世	天	祢	部	女		礼	惠	
お	こ	そ	と	の	ほ	も	よ	ろ	を	
於	己	曾	止	乃	保	毛	与	呂	遠	

注 川=一説为“州”

假名的字源虽如上表所示，但平假名在明治以前曾有过各种不同的形体(假名的书写方法)，甚至字源也不尽一致，日语里称之为“变体假名”。

#### (二) 假名的使用

片假名主要用于以下场合。

- 外来语、外国人名和地名(参照本章第二节)
- 书写各种拟声、拟态语和个别动植物的名称。如：ワト(咕冬) ワンワン(汪汪) オオカミ(狼) ニレ(榆)
- 电文。如：

### ブジツイタ(平安抵达)

d 文章中特别强调、提示的词语。

平假名用于除此以外的场合,即一般书报杂志及公私文件等。

### (三)现代假名拼写法(现代假名遣)

现代假名拼写法是1946年11月日本内阁公布的“现代かなづかい”。这种拼写法的主要精神是根据现代日语语音拼写、表記现代口语,也可以叫做“表音拼写法”(表音假名遣)。

现代假名拼写法应该注意以下一些地方:

a 助词“を、は、へ”仍按历史假名拼写法拼写。

b “ぢ、づ”写成“じ、ず”;但复合词中两词复合处所产生的“ぢ、づ”,以及同音连浊(連濁)所产生的“ぢ、づ”仍维持原状。如:“近づく、はなぢ(鼻血)、魚づり”等。此外还有“つづく(続く)、ちぢむ(縮む)”等。

c アイウエ段假名的长音用“あ、い、う、え”表示;オ段假名的长音用“う”表示。

d 下面一些相似于オ段假名的长音(即:这些发音本来不是オ段假名的长音)各按以下拼写法:

こおり(氷) とお(十) おおきい(大きい) とおい(遠い)  
とおる(通る)

上面单词中的“お”在历史假名拼写法中写成“ほ”或“を”,发“お”的音。

e 表示拗音的“や、ゆ、よ”必须用小字偏右下写,表示促音的“っ”也必须用小字偏右下写。

### (四)送假名(送假名)

一个单词全用汉字书写或全用假名书写的时候,不存在送假名的问题,但用汉字和假名结合起来书写一个单词的时候,写在汉字后面的假名叫做“送假名”。这样就产生一个什么地方用汉字什么地方用假名的问题,比如“あかるい”这个词,历史上可以找到“明かるい、明るい、明い”三种写法(现在一般用“明るい”)。送假



名是我们学习日语时值得注意的一个问题。

关于送假名的问题，日本曾经发表过许多方案，其基本方针有以下三条（此处不作具体讲述，因内容十分繁杂。可供参考的书籍很多，查日语辞典也可以）。

a 活用词（即有词尾变化的词）以及含有活用词在内的单词，其活用词尾用送假名拼写。如：編む、編み物、手編み。

b 便于阅读，减少阅读时的错误或不知如何读法的困难。如：情け、辺り、幸せ、大きい、細かい。此外，如“行う”可以写成“行なう”，“断る”可以写成“断わる”，也是为了防止读错。

c 一些惯用的固定了的词可以不带送假名。如：踏切、受取、閑取、仲買。

#### （五）振假名（振仮名）

由于汉字的歧义性，出现在日文中的汉字就有种种不同的读法。譬如“空”作“天空”解时读“そら”，作“空虚、没有”解时读“から”。所以，为了阅读的方便，往往在汉字旁边注上读音假名，这就是“振假名”。

### 三 罗马字（ローマ字）

使用罗马字拼写日语是为了便于国际交往，使用的场合也比较多，但拼写方法在历史上有许多变化。

罗马字最早是由葡萄牙的传教士带进日本的，但是葡萄牙的传教士们在使用罗马字拼写日语时，总是带有葡萄牙的格调。后来“兰学”盛行的时候，又出现荷兰语格调的罗马字拼写法。在德川幕府末期，英国人来到日本，拼写方法又受到英语格调的影响。后来美国人赫本（ヘボン）用英语式罗马字拼写法编写了一本《和英语林集成》，这部书里所用的拼写方法，在经过日本国内外学者的加工后，就成了今天所谓的“赫本式”（ヘボン式）。另一方面，对这种拼写方法持不同见解的人又发表了按日本五十音图拼写的拼写法，称为“日本式”。1937年日本内阁发表了作为内阁训令的“训令式”（訓令式）。至1954年日本内阁训令再次规定一般书写

日语时应按下面第一表(即训令式)拼写,在国际性的交往以及某些惯例一时难以改变的情况下,可以按照第二表(第二表前五行为赫本式,后四行是日式)拼写。并规定:①拨音均写作 *n*, 需要将表示拨音的 *n* 与接在后面的元音字母或 *y* 分开时,可在 *n* 后面加上「'」,如:原因—ゲンイン—gen'in; ②促音以重叠下一音节第一个辅音来表示,如:北海道—ホッカイドウ—Hokkaidô; ③长音以在元音字母上加“*へ*”来表示,此外,在大写字母的情况下,也可以将元音字母并列起来,如前面的“Hokkaidô”可以写成“HOKKAIDOO”,等等。此外,还有一些须注意的细节,请参考有关书籍。

第一表

a	i	u	e	o			
ka	ki	ku	ke	ko	kya	kyu	kyo
sa	si	su	se	so	sya	syu	syo
ta	ti	tu	te	to	tya	tyu	tyo
na	ni	nu	ne	no	nya	nyu	nyo
ha	hi	hu	he	ho	hya	hyu	hyo
ma	mi	mu	me	mo	mya	myu	myo
ya	(i)	yu	(e)	yo			
ra	ri	ru	re	ro	rya	ryu	ryo
wa	(i)	(u)	(e)	(o)			
ga	gi	gu	ge	go	gya	gyu	gyo
za	zi	zu	ze	zo	zya	zyu	zyo
da	(zi)	(zu)	de	do	(zya)	(zyu)	(zyo)
ba	bi	bu	be	bo	bya	byu	byo
pa	pi	pu	pe	po	pya	pyu	pyo

注: ( ) 表示重复出现

## 第二表

sha シャ	shi シ	shu シュ	sho ショ	↓ (標準式) ↑
		tsu ツ		
cha チャ	chi チ	chu チュ	cho チョ	↓ (日本式) ↑
		fu フ		
ja ジャ	ji ジ	ju ジュ	jo ジョ	
di ヂ	du ヅ	dya ヂャ	dyo ヂョ	
kwa クワ				
Gwa グワ				
			ワ wo (注)	

注: wo 只限于助词使用

### 練習問題一

一、漢字の発音に注意して、次の語群にふりがなをつけなさい。

母音 子音 音素 音節 言語音 長音 促音 撥音  
音声 音韻

二、次の各単語の音節(拍)の数を( )の中に書きなさい。

一人( ) 二度( ) 三人( ) 四日( )

北京( ) 上海( ) 十日( ) 二十日( )

十重二十重( ) 今日( ) 昨日( )

三、次の語群を中国語に訳しなさい。

丈夫 大丈夫 汽車 自動車 自転車 野菜 検討 工事  
用意 恰好 結構 老婆 娘 勉強 新聞 便宜 手紙  
切手 事情 協議 結束 約束 映画監督 遠慮 迷惑  
面倒 興奮 料理 下流 怪我 見本 屋根 菓子 大根  
靴下 小僧 台所 蛇口

四、漢字の読み方に注意して、次の語群にふりがなをつけなさい。

下流 下水 下車 下見 下げる 下がる 下る 下さる  
下ろす 下りる 目前 面目 目立つ 目の当たり  
株式 雨具 黒幕 身分 荷物 相性 手数 吹聴  
本箱 蜜蜂 工場 頭取 反物 五月雨 吹雪 下手  
土産 竹刀

五、現代仮名づかいの一般法則に基づいて、次に挙げた語群にふりがなをつけなさい。

藤 鼻血 近近 入知恵 縮む 大豆 杯 味噌漬 常常  
魚釣り 鼓 綴る 覆う 狼 滞る

六、次のローマ字で書かれた語を仮名に書きなおしなさい。

1. Rômazî
2. Tôkyô
3. Ôsaka
4. zassî
5. ningen
6. onna
7. kon'yaku
8. gen'in

## 第二章 语言的单位和词类概论

### 第一节 句子、文节、单词

#### 一 句子(文)

表达一个完整的意思、最后结尾的一连串的话叫做“句子”。用文字表达的话,句子结尾处要加一个句号(句点)“。”。有时由于语调(イントネーション)的关系,也可以用感叹号(感叹符)“!”或疑问号(疑問符)“?”代替句号。但有时一个句子太长需要停顿一下,或为了使语意更加清楚而停顿一下,这时候可以加一个顿号(読点),顿号在日语横排书中用“,”,在竖排书中用“、”来表示,不表示一个句子的结束。

○春が来た。

○兎だ!

○東京へ行った?

○山路をのぼりながら,こう考えた。

○いや,それがだめなのです。

只要符合上面的原则,都可以称为句子。应该注意,句子不受长短的限制,也不管句子里是否有主语、谓语。句子中出现的引用句的部分不作为一个句子看待。

○行け!

○にえ切れない雲が頭の上へもたれかかっていたと思ったが,いつのまにか,崩れ出して,四方はただ雲の海かと怪しまれる中から,しとしとと春の雨が降り出した。

○おい,彼は?

○や,忘れた。

○「さよなら。」と子どもは言った。

以上均作为一个句子看待。

## 二 文節(文節)

在不至于影响对句子的意义的理解的情况下,尽可能地把句子划分成最小的段落,这种段落就叫做“文节”。

○山路を登りながら、こう考えた。(四个文节)

○私は前々から野うさぎの長い耳に興味をもっていた。(八个文节)

在读音时,文节与文节的断开处可以形成一个短暂的停顿,可以象“あのネ”“これはナ”的讲法那样,加进“ネ”“ナ”等词语。

一个句子一般由两个以上的文节组成,也可以由一个文节组成,如前面列举的“いけ!”之类的句子就是由一个文节组成的。

从句子的意义分析,把两个以上相邻的有某种关系的文节组合成一体,这种结构叫“连文节”(連文節)。

○太郎と二郎が ボールを 投 げ て い る。

连文节

连文节

连文节

○赤ちゃんが 静かに 寝 て い る。

连文节

连文节

## 三 単語(単語)

单词是把句子按意义进行分解后可以得到的最小的语言单位。单词是句子里可以自由运用的最小单位。例如:

○山路を登りながらこう考えた。(七个单词)

○私は前々から野うさぎの長い耳に興味を持っていた。(十五个单词)

可以由一个单词构成一个文节,也可以由两个或两个以上的单词构成一个文节。比如上面的“こう”、“長い”即是一个单词构

成一个文節；而“登りながら”、“考えた”則是由两个单词构成一个文節。此外，

○彼も行かなかった。

○彼も行かなかったらしい。

“行かなかった”是由三个单词构成一个文節，“行かなかったらしい”是由四个单词构成一个文節。

## 練習問題二

一、次の文章は幾つの文からできているのか、その数を末尾の( )の中に書きなさい。

東京に出て勉強していた学生が、小づがいにかまって、

カネオクレタノム

と親もとへ、送金依頼の電報をうった。すると、折り返し、

ダレガクレタノムナ

との返電である。いなかにいる親は、誰かがカネをクレタので、むすこが酒を飲むと読んだので、心配しての電文となったわけである。今はもう「遠くなりけり」といわれる明治の頃の話である。

要するに読点(、)のおき方で二様の解釈ができる例である。( )

二、次の文を文節にきり、その数を( )の中に書きなさい。

1. すずしい風がそよ吹く。( )

2. 話し手の態度は、誠実さを表わしていなければならぬ。( )

3. 新聞は正しいニュースを早く知らせるつとめをもちます。( )

三、次の文はいくつの単語からできたのか、その数を( )

の中に書きなさい。

○ばかでかい模型なんか作ってね、子供らしいと思っただけでも、あまり大人ぶるのもいやだから、だまっていたよ。( )

## 第二节 句子的成分

### 一 主语和谓语(主語と述語)

主语表示动作、作用、状态、性质的主体，在句子里相当于“何が(誰が)”的部分。

谓语说明主语的动作、作用、状态、性质等，在句子里相当于“どうする”、“どんなだ”、“なんだ”的部分。

○花が咲く。(何が どうする)

○本がある。(何が ある)

○海はおだやかだ。(何が どんなだ)

○ぼくは中学生だ。(何が なんだ)

在句子里一般是主语在前，谓语在后。主语和谓语是句子的主要部分。

### 二 修饰语(修飾語)

修饰语是对主语和谓语进行详细说明的词语，其中又分为连体修饰语和连用修饰语。

连体修饰语(連体修飾語)是修饰体言(关于“体言”请参照第三章第一节)的，说明体言的性质、状态等。

○赤い花が咲いた。

○夏の富士山はとても美しい。

连用修饰语(連用修飾語)是修饰用言(关于“用言”请参照第四章第一节)的。可以说明用言的状态、程度，表示方向、地点、目标、对象，补足不完全动词所要表达的意义。

○ゆっくりと話をしている。

○海はとても広い。



- 家へ帰った。
- 敵とたたかう。
- 彼は教師になりたい。
- 私は田中と申します。

宾语(客語)表示他动词所及的对象,现在一般都把宾语并入连用修饰语,宾语在日语里有“客語”和“目的語”两种称谓。

- 私は日本語を習う。
- 部屋を掃除する。

### 三 独立語(獨立語)

主语、谓语、修饰语之间都有相互关连的关系,独立语则与这些成分没有直接的关连,是一个相对独立的成分。

- おや, なんだろう。
- 先生, この問題の正しい解き方を教えてください。
- やっと頂上についた。しかし, 目的地はまだ遠い。

### 四 某些特殊成份

句子里除了以上几种成分之外,还有一些值得注意的特殊成分。

1. 对象语。形式上是主谓结构,意义上是动宾结构。主要是表示希望、好恶、巧拙、能否的情况。对象语是连用修饰语的一种。

- 水が飲みたい。
- 日本語がじょうずです。

2. 提示语。把句中的某一文节提到句首,并在其原来的位置上用个代名词代替它。提示语也是独立语的一种。

○「小説神髓」,日本ではこれを近代小説の啓蒙書と見ている。

3. 同格语。用两个以上的词指同一事物,并在句中用于同一成分。同格语是对等文节的一种。

- 日本の首都東京は世界でも大きな都市である。

前面第一节里曾讲到“文节”，文节与文节之间的相互关系，即是这一节(第二节)里所列的主谓关系、修饰与被修饰的关系以及独立的关系，等等，但还有一些文节往往不单独构成句子里的某一成分。如：

○今日とあしたは休みです。

这个句子的谓语是“休みです”，但主语是“今日とあしたは”，所以“今日と”和“あしたは”是对等关系的文节。

○田中さんはアメリカに行っている。

这个句子的主语是“田中さんは”，但谓语是“行っている”，而“いる”这个文节是在谓语里起意义上的补助作用的文节，因此“行って”和“いる”之间是补助和被补助的关系。

### 練習問題三

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

続く文節が、他の文節(続く文節または切れる文節)と結合する場合、前の文節は後の文節に連なるまたは係るといい、後の文節は前の文節を受けるといふ。この文節相互の係り・受けの関係を分類すると、次のような五つの場合がある。

文節相互の関係

1. 主語・述語の関係
2. 修飾・被修飾の関係
3. 対等の関係
4. 補助の関係
5. 独立の関係

問一 上の文章を中国語に訳しなさい。

問二 上の文章では文節相互の関係を五つの種類に分けているが、それに従って、「ああ、美しい春が野にも山にも来ている」を例文として、次の( )の中に適当な言葉を入れなさい。

1. ( )は他の文節に対して比較的独立の関係にある。
2. ( )と( )、または( )と( )

とは修飾,被修飾の關係にある。

3. ( )と( )とは対等の關係にある。
4. ( )と( )とは補助の關係にある。
5. ( )と( )とは主語・述語の關係にある。

### 第三节 词 类

#### 一 独立词和附属词(自立語と付属語)

单词是语言的最小单位,每一个单词都可以在句子里自由运用,但在构成文节时,单词可以分成两大类。

○四方は ただ 雲の 海 か と 怪しまれる 中 から  
し と し と 春 の 雨 が 降 り 出 し た。

从这个句子里可以看出,“ただ”、“しとしと”之类的单词可以单独构成一个文节,而“は”、“の”、“か”、“れる”、“から”、“が”、“た”之类的单词则总是附属在其他单词后面构成一个文节;此外,“四方”、“雲”、“海”、“怪しま(む)”、“なか”、“春”、“雨”、“降りだし(す)”之类的单词,虽然后面都跟有别的单词,但是它们也有可能单独地构成文节。同时我们还可以看到,能够单独构成文节的单词都具有一种实质的意义,而那些只能附属其他单词后面的词不具有实质意义。因此,单词按照其能否独立构成文节的职能可以分成如下两类:

独立词:可以单独构成文节,具有实质意义的单词。

附属词:不可以单独构成文节,不具有实质意义、总是附属在独立词后面的单词。

因此,我们可以规定:

1. 一个文节里面必定有一个独立词,但是没有包含两个或两个以上独立词的文节。
2. 有些文节可以仅由独立词构成。
3. 附属词必须跟在独立词后面构成文节。

4. 由两个或两个以上的单词构成的文节,其中除了一个独立词之外,其余的都是附属词。

## 二 词类的划分(品詞と品詞の分類)

把单词按其语法上的性质进行划分,即是词类的分类。所谓语法上的性质,是指单词的意义、形态和职能(在句中的作用)。

### (一)独立词的词类

独立词可以从形态上分成有活用词和无活用词。

所谓“活用(活用)”,指的是某些单词的词形变化,具体地说,是词尾部分的变化(詞尾変化)。

比如“降る”这个单词,能够发生以下一些词尾的变化。

- 雨が降る。
- 雨が降って来た。
- 雨が降りました。
- 雨が降れば……
- 雨が降らない。
- 雨が降ろう。

在独立词中,有活用的词又叫做“用言”(用言)。

用言除了有活用之外,在语法职能上的最大的特点是:可以单独构成谓语。比如“雨が降る”的“降る”。

用言按其意义以及形态又可以分成三个词类:

动词——词尾最后一个音节是“う”段音;降る、来る。

形容词——以“い”结尾;よい、ない、うれしい。

形容动词——以“だ(です)”结尾;静かだ、だめだ。

独立词中不发生词形变化的词可以按其语法职能分成:

能作主语的:四方、雲、雨、一人、これ

不能作主语的:あの、しとしと、おい、しかし

能作主语的无活用词通常又叫作“体言”(体言),按其意义又可以分成“名詞”(名詞)、“数詞”(数詞)、代名詞(代名詞)三种。

不能作主语的无活用词又可以按其语法职能分为:可以作修

饰语(如“あの”“しと”“しと”)的和不可以作修饰语的(如“おい”“しかし”)两种。同时,可以作修饰语的,按其意义和职能又可以分成“连体词”(連体詞)和“副词”(副詞);不可以作修饰语的,按其意义和职能也可以分成“接续词”(接続詞)和“感叹词”(感動詞)。

## (二) 附属词的词类

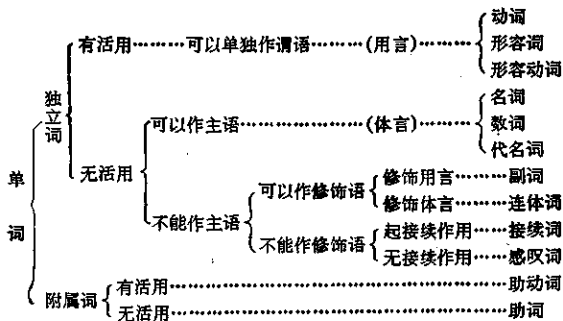
附属词也可以分成有活用词和无活用词两种。

有活用的附属词称为“助动词”(助動詞)。如:れる、た等。

无活用的附属词称为“助词”(助詞)。如:は、が、を、に、へ、と等。

按照以上的分类方法,日语的单词可以分成十二种词类。

### 词类分类表



### 練習問題四

一、次の文章の( )の中に適当な漢字を一字ずつ入れて文章を完成しなさい。

単語は( )( )語と( )( )語に分けることができる。この二つの区別は、それが単独で文節を作ることができる

か、できないかによる。自立語の中でも、動詞や形容詞や( )  
 ( ) ( ) ( ) のように( ) ( ) する語を( ) 言と  
 いい、それに対して、名詞、数詞、代名詞を( ) 言という。副詞  
 や連体詞や接続詞や( ) ( ) ( ) も名詞と同じように自  
 立語で( ) ( ) のない単語であるが、名詞と違って( )  
 ( ) になることができない。また、付属語は( ) ( ) する  
 かしないかによって二つに分かれ、前者を( ) ( ) ( )、  
 後者を( ) ( ) という。

二 次の各組の中には、文法上からみて一つだけ性質の違  
 ったものがある。その下に\_\_\_\_を引きなさい。

1. 風景 美しい られる すこし
2. を らしい ようだ まるで
3. やせる せる です られる
4. ああ すっかり 忘れる 教室
5. うれしい 元気だ 読む 子供
6. と から ばかり だ

#### 第四节 单词的构造

单词从其结构来分析可以分成四种类型：单纯词、复合词、迭  
 词、附有接头词和接尾词的词。如：“山”、“道”是两个单纯词，而  
 “山道”则是一个复合词；“山山”是由一个相同的单词的重叠产生  
 的，又叫叠词；此外“寒い”是一个单纯词，而“寒さ”则是一个单纯  
 词附加接尾词的构造（注意：“寒さ”不能与“寒い”变成的“寒く”  
 “寒けれ”等等看待，前者是单纯词和接尾词相结合产生的一个新  
 词，而后者只是一个单纯词的词形变化，并没有添加新的造词  
 成分）。因此，在分析单词的构造的时候，要注意词类的转化问  
 题。

##### 一 单纯词(單純語)

所谓单纯词，是指按现阶段的语言概念不能再分成具有两个或两个以上的有独立概念的部分的词。如：

火<sup>て</sup>手<sup>やま</sup> 山<sup>まぐろ</sup> 桜<sup>みなもと</sup> 源<sup>よ</sup> 降<sup>なが</sup>る 長<sup>なが</sup>い と<sup>と</sup>ても この  
け<sup>け</sup>れども ほ<sup>ほ</sup>ら

当然，以上这些词如果从词源来分析的话，有许多词仍然可以分成两部分或更多的部分，比如“この”在现代口语里是一个单词，在文语里则是“こ”和“の”两个独立存在的词，而现代口语里如果这样分的话，则“の”可以理解，“こ”就不好理解了。所以还是作一个单纯词看待。“とても”、“けれども”、“みなもと”等都是这种情况，都可以从语源的角度进行拆解。

## 二 复合词(複合語)

由两个或两个以上的具有独立概念的单词组合起来表示一个新的意义的单词叫复合词。

复合词并不一定由相同词类的单纯词组成，所以应注意复合词的词类转化的问题，即使相同的词类组成的词，也有可能转化为其他的词类(如下面的“受け取り”是由两个动词的连用形构成的一个复合名词)。

春<sup>はる</sup>風<sup>かぜ</sup> 雨<sup>あま</sup>雲<sup>ぐも</sup> な<sup>な</sup>が<sup>が</sup>い<sup>い</sup>き う<sup>う</sup>す<sup>す</sup>ぎ 筆<sup>ふで</sup>人<sup>びと</sup> 受<sup>う</sup>け<sup>と</sup>取<sup>り</sup>  
受<sup>う</sup>け<sup>と</sup>取<sup>り</sup> 湯<sup>ゆ</sup>呑<sup>の</sup>み 心<sup>こころ</sup>得<sup>え</sup>る 勉<sup>べん</sup>強<sup>きやう</sup>する 心<sup>こころ</sup>細<sup>ほそ</sup>い た<sup>た</sup>だ<sup>だ</sup>い<sup>ま</sup>  
さ<sup>さ</sup>き<sup>き</sup>ほ<sup>ほ</sup>ど そ<sup>そ</sup>の<sup>の</sup>う<sup>う</sup>え だ<sup>だ</sup>す<sup>す</sup>か<sup>か</sup>ら と<sup>と</sup>は<sup>は</sup>い<sup>い</sup>う<sup>う</sup>も<sup>も</sup>の<sup>の</sup>

日语里复合词和词组(連語)的概念区别并不很清楚，有些惯用词组也可以看成是复合词的构造形式之一，如上面的“ですから”“とはいうものの”是两个复合接续词，而有的书里又把前者看成复合词，后者看成是词组，但在语法作用上，它们都仅起到一个单词的作用，所以实际上没有区别的必要，即使要作区别，也没有一个衡量的尺度。当然，有些惯用词组，如“……かも知れない”、“……にもかかわらず……”等又当别论。

## 三 叠词(疊語)

用同一个单词重叠起来表示一个新的意义的单词叫叠词。叠

词也有词类转化的问题。

一一 一人一人 われわれ 人人 国国 見る見る  
こわごわ 恐る恐る 繰り返し繰り返し

叠词并非都是单纯词的重叠,如上面列出的“一人一人”、“繰り返し繰り返し”就不能说是单纯词的重叠。

#### 四 附有接头词或接尾词的单词

接在单词的头尾,带来一定的意义和语感,或者同时赋予词类上的特性的造词成分叫做接头词和接尾词。

接头词和接尾词只能作为构成单词的造词成分,而不能作为一个单词看待,因为我们在组织句子时不可能把接头词和接尾词作为一个自由运用的单位使用,所以,接头词和接尾词又统称为“接词”(接辞・接語)

##### (一) 接头词(接頭語)

接头词只给单词带来一定的语感或意义,不会引起词类转化。

##### 1. 带来一定意义的接头词

お茶 ご飯 ま新しい 大喜び 小雨 丸三年 片足  
素颜 生糸 初春 無関心 物足りない 不満足

##### 2. 主要加强或调整语气的接头词

ぶちこわす 取り決める 差し向ける 引き受ける  
立ち遅れる 押し広める 繰り返わせる 手痛い 小夜  
たやすい けだるい か弱い ひ弱い

##### (二) 接尾词(接尾詞)

接尾词可以分成两种,一种是只给单词带来一定语感或意义,不引起词类转化的接尾词,另一种是不但增添意义和语感,并且引起词类转化的接尾词。

##### 1. 不引起词类转化的词

山田さん 山田君 小林氏 ぼくら 私ども 私達  
先生がた 一日目 三人分 授業中 西洋風



## 2. 引起词类转化的词

寒さ 弱み 憎げ 聞き手 利き目 強氣  
たとえよう やりかた 見かけ 支払いずみ 子供なり  
春めく 先輩ぶる 汗ばむ 子供じみる 涙ぐむ  
こわがる 欲ばる 強まる 弱める 子供らしい  
子供っぽい 他人がましい 重たい 脂っこい 長長しい  
悲しげ ありがち 傷だらけ 経済的 散歩がてら  
一日あたり 家ごと(に)

接头词和接尾词还有很多，上面列举的是较常见的接头词和接尾词。

在词类转化的问题上，应该注意到，某些单纯词同样会发生词类的转化，也就是说，它们失去了它们原来所属的那个词类的性质，而具有另一种词类的性质，例如：动词连用形（如“流れ”、“かぎり”）转为名词的现象很普遍，副词（“すこし”、“ほとんど”）转为名词，助词（“が”、“けれども”）转为接续词，名词（“事实”、“普通”）转为副词，等等。具体请参照后面各章节中各种词类的有关构成和转用的部分。

但是请注意：

单纯词由它原来所属的词类转化为另一个词类的单词，这显然不是“单词的构造”（語構造）的问题，如“流れる”的连用形“流れ”转为名词，两者都是单纯的单词，从构造上来说并没有区别。词类转化是属于“单词的构成”的问题，日语里通常称之为“語構成”，可以译为“单词的构成”。“单词的构成”和“单词的构造”虽只一字之差，但含义有很大区别。

单词的构成（即“語構成”）简单地说是“词的形成方法”，包括两个方面的内容：一是“单词的构造”，一是“造语”。研究“单词的构造”是为了从形态上说明一个既成单词的结构。由于人们在不同的历史阶段对于单词的概念有不同的理解，因此对于单词的构

造的认识也不相同,因此,分析单词的构造只能以某一历史阶段人们对于单词的概念的理解为基础。我们研究现代日语单词的构造,就是以现代日本人对于单词的概念的理解(这也是相对地说的,并不意味着日本人对于每一个单词的理解都是完全相同的)为基础的。而从“造语”的方面来分析单词的话,则可以按历史发展的线索,研究一个单词是如何造出来的、该单词的概念有过什么样的变化、等等,这方面涉及的问题很广泛,请参考有关方面的文献。

### 練習問題五

一、次の各組のことばには、語構成の上から見てそれぞれ一つだけ性質の違ったものがあり、その下に——線を引きなさい。

1. はなし ながれ かざり つくえ
2. そこで ばかり すると それから
3. 読める 止める 覚める はめる
- 4.さまざま いちいち さんさんごご めちゃくちゃ
5. 子供っぽい 男らしい 名高い 他人がましい
6. こわがる 立ち上がる 田舎びる 学者ぶる
7. 残念だ 子供だ 愉快だ いやだ

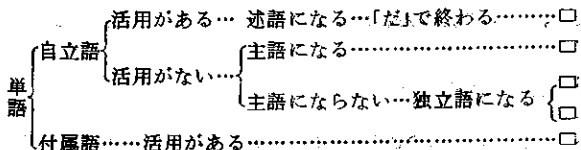
二、次の各組の中から接頭語または接尾語のついた語をさがし、その下に——線を引きなさい。

1. 大麦 大昔 大雪 大掃除 大喜び 大勢 大勢  
大騒ぎ 大きい
2. 真正面 真面目 真心 真夏 真実 まっ赤 ま上  
ま下 真理 まん丸い
3. さがる あがる いやがる こわがる うれしがる  
すがる 不思議がる ほしがる まがる とがる

課外練習 (第二章 言葉の単位と品詞分類)

一、「自立語」と「付属語」の概念について述べなさい。

二、次の図式の□の中に、(表)にある品詞名から各一つを選び、その番号を記入しなさい。



- (表) 1. 形容詞 2. 形容動詞 3. 動詞 4. 名詞  
5. 連体詞 6. 副詞 7. 接続詞 8. 感動詞 9. 助動詞  
10. 助詞

三、品詞分類を基準にして、次の各組から、品詞として性質の違うものを一つ選び、記号を○印で囲みなさい。

1. ア大きい イやっかい ウ遠い エなつかしい  
オ美しい
2. ア歌う イたのしい ウ考える エ語る オ来る
3. アあら イまあ ウもしもし エはい オなお
4. アです イけれど ウらしい エようだ オほがらかだ
5. アよくよく イよそよそしい ウようよう エよなよな  
オよっぼど
6. アゆたかだ イあたたかだ ウようだ エほがらかだ  
オ静かだ

四、次の複合語の組み立ては、あとに挙げた組み立てのどれにあたるか、記号で答えなさい。

1. 名高い 2. 草木 3. 旅立つ 4. のぼりおり
5. 手さぐり 6. 人助け 7. 話しじょうず 8. 青空 9. 左右

## 10. 名づける

ア主語・述語の関係(例:夜明け) イ修飾・被修飾の関係  
(例:朝日・山登り・目覚まし) ウ対等の関係(例:親子)

五、次の文中から、接頭語・接尾語をふくんだ単語を抜きだしなさい。

1. 楽しげに語り合っているようすは、今までまっ黒になって働いた人たちとは思わない。

2. おじさま、長い間ご無沙汰しましたが、お変わりはいかがでしょうか。どうやら春らしい暖かさとなってまいりました。私たちの学校では、この十五日、おじさまの村へ遠足します。おじさまのおうちが見えるかも知れないと楽しみにしています。どうぞ、おからだにご注意ください。

3. ばかでかい模型なんか作ってね、子供らしいと思ったけれども、あまり大人ぶるのもいやだから、だまっていたよ。

## 第三章 体 言

### 第一节 体言的性质

名词、数词、代名词总称为体言(体言)。

体言的特点：

1. 体言是没有活用(即词尾变化)的独立词。
2. 体言可以后续助词が(は、も等)构成主语,这是体言最大的特点。

3. 体言可以后续助词构成连体修饰语、连用修饰语等,还可以后续断定助动词だ(です)等构成谓语。

4. 体言前面可以加连体修饰语。

体言的用法如下：

○花が咲いた。(名词作主语)

○二人は仲のいい友達です。(数词作主语,名词作谓语)

○わたしも行きたいと思います。(代名词作主语)

○石ころだらけの河原を良田にかえる。(“石ころだらけの”是连体修饰语,“河原を”是连用修饰语(宾语),“良田に”也是连用修饰语)。

### 第二节 名 词

#### 一 名词的性质

表示事物名称的单词叫做名词(名词)。

名词属于体言,是没有活用的独立词,可以后续助词构成主语,也可以构成连体修饰语和连用修饰语,还可以后续助动词だ

(です)等构成谓语。

## 二 名词的用法

名词的具体用法请参照本章第一节。此外，名词还可以有以下两种用法：

(一)单独构成独立语文节

○先生，この問題の正しい解き方を教えてください。

○学生さん，なにをそんなに急いでいるのですか。

(二)副词性用法(即不后续助词就可以作连用修饰语用)

○いますぐ行きますか。

○昨日見たときは変わりがなかった。

具有这一用法的主要是表示时间的名词。

## 三 名词的分类

名词可以分成专用名词和普通名词两大类。

(一)专用名词(固有名词)

仅限于称呼某一个特定的事物的名称叫专用名词。如：人名、地名、国名、书名、团体名称以及某一事件的名称等。例如：

夏目漱石(人名) 富士山(地名) イギリス(国名)  
源氏物語(书名) 中日友好協会(团体名称) 明治維新

(某一事件)

(二)普通名词(普通名词)

对同一种类的事物可以通用的词叫普通名词。例如：

木 猫 川 空間 努力 インク ホテル

## 四 名词的构成

名词除了单纯词(如：花、紙、火、茶、タバコ)之外还有以下几种构成法。

(一)由两个以上的单纯词构成的复合名词

山桜 花見 受取 長生き よしあし すききらい  
ただごと ただづかい 古本屋 親泣かせ 食わずきらい  
蚊取り線香

(二)由相同的单词重叠构成的叠语名词

人々 山山 国国 かたがた

(三)附有接头词或接尾词的名词(包括其他词类附有接头词或接尾词の場合)

お米 ご令息 お父さん 石ころだらけ 話し手 しかた  
寒さ 深み 丈夫さ いやみ 寒がりや

(四)由其他词类直接转化的名词

流れ 話し(以上动词连用形) 多く 近く(以上形容词连用形)  
赤 白(以上形容词词干) すこし ほとんど(以上副词)

## 五 名词的转用

名词可以和其他词类复合构成一个其他词类的单词,如:名高い(形容词)、名づける(动词)、心ありげ(だ)(形容动词)、先に(副词)、ところで(接续词)、等等。

名词本身附加接头词或接尾词也可以构成其他词类,如:男らしい(形容词)、科学的(だ)(形容动词)、春めく(动词)、散歩がてら(副词)、等等。

名词还可以直接转化为其他词类,如:“事实”、“实际”、“普通”等可以作副词用,“畜生”、“糞”可以作感叹词用(骂人的词语)。

## 練習問題六

一、次の各組の中には、性質の違ったものが一つだけある。その下に——線をひきなさい。

1. 北京 学校 中国 日本
2. 先生 みなさん 田中 学長
3. ベン先 レストラン コーヒー茶碗 山桜
4. 深み 真剣み 重み 頼み

二、次の文章の中の名詞をさがし、その下に\_\_\_\_線をつけ

なさい。

おじさま、長い間ごぶさたしましたが、おかわりはございませんか。どうやら春らしい暖かさとなってまいりました。私たちの学校では、この十五日、おじさまの村へ遠足します。おじさまのおうちが見えるかも知れないと楽しみにしています。どうぞ、おからだにご注意ください。

### 第三节 数 词

#### 一 数词的性质

表示数量或顺序的词叫数词(数詞)。

数词也属于体言,具有和名词相同的语法性质。

#### 二 数词的用法

数词的具体用法和名词基本相同,但数词的副词性用法(即不后续助词就可以作连用修饰语用,时间性名词也有这种用法)较为常见。例如:

○今年の生産高は五パーセント増えた。

○鉛筆を三本ください。

#### 三 数词的分类

数词分基数词和序数词两种。

##### (一) 基数词(基数詞)

表示数量的词叫基数词(也叫数量词)。例如:

一、二、三、ひ、ふ、み、一つ、二つ、三つ、一人、二日、三キロ、四ページ、五本、六個、七倍、八枚、九軒、十パーセント(一割)、幾つ、何日、いくら。

##### (二) 序数词(序数詞)

表示事物顺序和等级的词叫序数词。例如:

一番 三号 第三 四度め 何条 何番め



### 注意：

基数词和序数词中表示疑问或不定的数词，如：“幾つ”、“何条”等，有的语法书里称为“不定数词”或“疑问数词”。

## 四 数词的构成

日语里把数词中只表示单纯的数的词叫“本数词”，把接在本数词后面表示事物种类或性质的部分叫做“助数词”。譬如“一人”、“一枚”、“一番目”中的“一”即是本数词，“人”、“枚”、“番目”都是助数词。

### (一) 本数词(本数詞)

只表示单纯的数的词叫本数词。本数词有两种读法，一种是训读，一种是音读。

#### 训读：

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 二十 三十

#### 音读：

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 百 千 万  
億

#### 注意：

本数词的训读法即日本固有的读法，但这种读法比音读法使用的场合少得多，在与助数词结合使用时，“十”以上往往改成音读法。比如：“一つ 二つ 三つ……十一、十二……”；“(一日)、二日、三日……十日 十一日……十四日、十五日……二十日、二十一日……三十日”（“みそか”的读法不常用）。还有的时候从“三”或从“四”就开始改成音读法。具体读法请参照“常用数词的数法”。

本数词的音读法即汉语式读法，使用频繁，给数词的使用带来了很大的方便。但是有些发音需要注意。比如“四”的发音和“死”相同，常改读“よん”或“よ”；为了避免读音含混，“七”常改读“なな”，“九”改读“きゅう”，“十”有时为了发音的方便改读“じゅう”“じっ”。本数词与助数词结合时，往往由于发音的关系，引起助数词的发音变化，比如：“一本、二本、三本……”等等。

### (二) 助数词(助数詞)

数词中接在本数词后面表示事物或性质的种类的部分叫助数词。例如：

ひと ひとり みっぺ 四メートル 五番め 何条  
一つ 二人 三日

注意:

基数词中如“五日”的“日”，“一つ”的“つ”，一般都称为助数词(即我国汉语中讲的“量词”)，也称为特殊接尾词。但如“五日め”这样的词，“五日”已经包含有本数词和助数词，加上“め”之后又成为序数词，所以这个词实际上是由“五”、“日”、“め”三个部分组成的，其中“日”和“め”从性质上来说都不能作为一个单词看待，所以不妨都认为是助数词。此外，“第一”的“第”，是数词中唯一用在本数词前面的接头词，其作用仍相当于助数词。

## 五 数词的转用

数词从语法作用来说，本来和名词没有什么区别，只是从意义上分析和名词有所不同而已，但是有很多词即使从意义上也很难确定究竟是数词还是名词。比如“一瞬(いっしゅん)”、“一笑(いっしょう)”、“一堂(いちどう)”、“一生涯”等等，从意义上来说，似乎可以说是表示数量的意义，但它们却只能是“一～”的形式，不可能有“二～”、“三～”等讲法。还有“一人前”、“一大事”、“一得一失”等等，恐怕也不会有人承认它们是数词。此外，“二子”、“二毛作”、“三思”、“三毛作”、“四季”、“四肢”等等，也有同样的问题。所以，目前大多数语法书里都不专门把数词列为一个词类，而是统统归在名词里边。如果要对数词的定义作一点补充的话，则是：可以用作计算的词是数词，非计算性的，即不能以“一～、二～、三～……”的形式任意地改动本数词的词都不能称作数词。

“一一”、“一つ一つ”、“三三五五”等是数词的叠语形式，通常是作副词使用，也有作名词使用的时候。

“一日あたり”、“一時間ごと(に)”、“三メートルおきに”等是数词附加接尾词的形式，一般都是副词性用法。

## 六 常用数词的数法

从前面“数词的构成”中可以看出，日语数词的数法十分复杂。首先，日语数词中的助数词十分发达，需要一一记住并掌握其用法；同时，由于本数词有训读和音读的区别，需要掌握什么时候用

音读，什么时候用训读；更困难的是音读时往往发生一些发音上的变化，虽然有某些规律可循，但并不是千遍一律的，因此，只有通过日常的大量使用达到一定的熟练程度才能理解和掌握。下面列举一些常用数词。

### 1. 数目的数法

いち	に	さん	し・よん	ご	ろく	しち・なな	はち	く・きゅう	じゅう	じゅういち
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一
じゅうし	にじゅう	さんじゅう	ななじゅう	ななじゅう	なな	ひゃく	にひゃく	さんびゃく		
十四	二十	三十	七十	七十七	百	二百	三百			
よんひゃく	ろっぴゃく	ななひゃく	はっぴゃく	せん	にせん	さんぜん	よんぜん			
四百	六百	七百	八百	千	二千	三千	四千			
ろくせん	ななせん	はっせん	いちまん	いちおく						
六千	七千	八千	一万	一億						

注意：

我国汉语里讲“一百”、“一千”，在日语里通常讲“百”、“千”。比如汉语的“一百三十”和“一千三百”，日语里是“百三十”、“千三百”。

### 2. 个数的数法有两种(训读和音读)

ひとつ	ふたつ	みっつ	よっつ	いつ	むっつ	なな	やっつ	ここの
一	二	三	四	五	六	七	八	九
とお	いく	いく	いく	いく	いく	いく	いく	いく
十	幾	幾	幾	幾	幾	幾	幾	幾
いっぴ	に	さん	よん	ご	ろ	しち	はち	きゅう
一個	二個	三個	四個	五個	六個	七個	八個	九個
じっ	なん	なん	なん	なん	なん	なん	なん	なん
十個	何個	何個	何個	何個	何個	何個	何個	何個

### 3. 人数的数法

ひとり	ふたり	さんにん	よにん	ごにん	ろくにん	しちにん・ななにん	はちにん
一人	二人	三人	四人	五人	六人	七人	八人
く	きゅう	じゅう	なん	なん	なん	なん	なん
九人	十人	何人	何人	何人	何人	何人	何人

### 4. 年龄的数法有两种(训读和音读)

ひとつ	ふたつ	みっつ	よっつ	いつ	むっつ	なな	やっつ	ここの
一	二	三	四	五	六	七	八	九
とお	はち	はち	はち	はち	はち	はち	はち	はち
十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十
いっさい	にさい	さんさい	よんさい	ごさい	ろくさい	ななさい	はっさい	きゅうさい
一歳	二歳	三歳	四歳	五歳	六歳	七歳	八歳	九歳
じっさい	にじっさい	にじっさい	にじっさい	にじっさい	にじっさい	にじっさい	にじっさい	にじっさい
十歳	二十歳	二十歳	二十歳	二十歳	二十歳	二十歳	二十歳	二十歳

注意：

十岁以上除了“二十歳”通常讲“はたち”之外，一般都是音读法。

### 5. 日期和时刻的数法

#### a. 年月日(年月日)

一九四九年十月一日 (せんきゅうひやくよんじゅうきゅう  
ねんじゅうがつついたち)

b 日历

いちがつ	に	がつ	さんがつ	しかつ	ご	がつ	ろくがつ	しちがつ	はちがつ	く	がつ
一月		二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月		
じゅうがつ		じゅういちがつ	じゅうにがつ	じゅうさんがつ	じゅうよんがつ	じゅうごがつ	じゅうろくにん	じゅうしちがつ	じゅうはちがつ	じゅうくにん	じゅういちがつ
十月		十一月	十二月	何月	一月	一日		二日	三日		
よっか	いつ	か	まい	か	なのか	なぬか	よう	か	ここのか	とわか	じゅういちにち
四日	五日	六日	七日	八日	九日	十日	十一日				
じゅうよっか	はつか		にじゅうよっか								
十四日	二十日		二十四日				何日				

c 时刻

いちじ	に	じ	さんじ	よ	じ	ご	じ	ろくじ	しちじ	はちじ	く	じ
一時		二時	三時	四時	五時	六時	七時	八時	九時			
じゅうじ		じゅういちじ	じゅうにじ	じゅうさんじ	じゅうよんじ	じゅうごじ	じゅうろくにん	じゅうしちじ	じゅうはちじ	じゅうくにん	じゅういちじ	じゅうにじ
十時		十一時	十二時	……	何時	一分	二分	三分				
よんじ	ご	じ	ろくにん	なな	じ	はち	じゅう	じゅう	じゅう	じゅう	じゅう	じゅう
四分	五分	六分	七分	八分	九分	十分	十一分					
じゅうごふん	……	何分	一時十五分	一時三十分(一時半)								
いちじ	よんじ	ご	じ	ろくにん	に	じ	ご	ふん	なな	じ	ご	ふん
一時四十五分			一時五十五分(二時五分钟前)									
に	じ	ご	ふん	すぎ	なんじ	なん	じ	なん	じ	なん	じ	なん
(二時五分すぎ)			何時何分									

6. 时间的计算(请对照“5 日期和时刻的教法”)

a 年数

いちねん に ねん さんねん よ ねん なんねん 何年(也可以加“間”如“一年間”  
“何年間”)

b 月数

いっかげつ に かげつ さんか げつ よんか げつ ご かげつ ろっかげつ しち・ななかげつ  
一カ月 二カ月 三カ月 四カ月 五カ月 六カ月 七カ月  
はちかげつ く かげつ じゅうかげつ じゅういっかげつ なんかげつ  
八カ月 九カ月 十カ月 十一カ月……何カ月

c 日数、小时、分

“日数”除了“一日”(即汉语的“一天”)之外,在三十一日以内  
和日期的教法同,但如果可能引起误会的话,必须加“間”,比如“二  
日間”。

“小时”的计算在二十四小时内和时刻相同,但必须加“間”,如  
“一時間”。

“分”的计算和时刻的表示基本相同,在不引起误会的情况下  
不必加“間”。但表示时间的“分”可以有“半時間”、“一時間半”之类

的讲法(“一時間半”不可以讲成“一時半間”),表示时刻的“一時五分钟前”或“一時五分すぎ”不可以用来表示时间。秒的计算是“秒”,和时刻的表示相同。

此外,时间的计算还可以以星期为单位,比如“一週間”等。

### 7. 一般数词的教法

本——细长物,如树木、笔、针、柱等。

一本 二本 三本 四本 六本 七本 八本

九本 十本 何本

枚——扁平物,如纸、木板、布、衣服(件)等。

一枚 四枚 七枚 九枚 十枚

冊——书籍之类

一冊 三冊 四冊 七冊 八冊 九冊 十冊

足——鞋袜等。

一足 三足 四足 七足 八足 九足 十足 何足

丁(挺)——菜刀、镰刀、锹、锯、枪等。琴、弓、幕、帐等用“張”。

一丁 四丁 七丁 九丁 十丁

ページ——页数。

一ページ 四ページ 七ページ 九ページ 十ページ

銭——汉语的货币单位“分”,现在日本的货币单位一律用

“円”。

一銭 三銭 四銭 七銭 八銭 九銭 十銭 何銭

円——日本的货币单位。

一円 四円 七円 九円 十円

匹——鱼、虫、兽等。

一匹 三匹 四匹 六匹 七匹 八匹 九匹 十匹

何匹

羽——禽类(有音便时“わ”变成“ば”或“ぼ”)

一羽 三羽 四羽 六羽 九羽 十羽 何羽(计算

“兔子”时也用“羽”,而不用“匹”。)

台——车辆、机器  
 一台 四台 七台 十台 何台

组——组、套  
 一组 二组 三组 四组 五组 六组 七组 八组  
 九组 十组 何组

隻——大型船只、军舰  
 一隻 四隻 七隻 八隻 十隻 何隻

艘——小船、艇  
 一艘 四艘 九艘 十艘 何艘

機——飞机  
 一機 四機 六機 八機 九機 十機 百機 何機

發——子弹等可发射的物件  
 一發 三發 四發 六發 八發 九發 十發 何發

階——楼层的层数  
 一階 二階 三階 四階 五階 六階 七階  
 八階 九階 十階 何階

### 8. 计算顺序

第——第一 第二位 第三回 第四条 第五行目  
 番——一番 二番 第三番  
 番目——一番目 第一番目  
 目——一目 二回目 三度目 四野目

此外还有“位”、“号”、“条”、“級”、“等”等。

### 9. 成对、成套、成捆的物件。“（ ）”内为中文译文。

箸一揃(一双筷子) 手袋一对(一付手套) パンダ一番  
 (一对熊猫) 機械一組(一套机器) 洋服一揃 = 洋服一着  
 (一套西服) 薪一束(一捆柴) ねぎ一把(一把葱)

### 10. 容器、盛器。“（ ）”内为中文译文。

飯一杯(一碗饭) 米一俵(一袋米、一草包米) 酒一樽  
 (一桶酒) 醤油一瓶(一瓶酱油) 油一壺(一壶油)

石けん一箱(一箱肥皂) 綿一包(一包棉花)

11. 度量衡。“ ( ) ”内为中文译文。

キロメートル(公里、一千公尺) メートル(米、公尺)  
センチメートル(厘米) ミリメートル(毫米)  
リットル(公升) 平方キロメートル(平方公里)  
平方メートル(平方米) キログラム(公斤) グラム(克)  
トン(吨) ポンド(英磅) オンス(盎司)

此外,还有日本旧度量衡的说法,如:

丈 = 十尺 尺 = 十寸 寸 = 十分 分 = 十厘 厘  
石 = 十斗 斗 = 十升 升 = 十合 合 = 十勺 勺  
里 = 三十六町、一二九六〇尺 町 = 六十間、三六〇尺  
間 = 六尺  
町 = 十反、三〇〇〇步 反 = 十畝、三〇〇步 畝 = 三〇步  
步 = 六尺平方 坪 = 一步、六尺平方  
貫 = 千両 斤 = 六〇両 両

12. 其它。“ ( ) ”内为中文译文

通(封) 部(部、册、份) 軒(所) 棟(株) 間(间、室)  
株(株、棵、股) 脚(把、个) 疋(匹)

練習問題七

一、次の日本語を中国語に訳しなさい。

1. 僅か三年の間に生産量が倍になった。
2. 予算の倍も金がかかった。
3. 三日に一度仕事を検査する。
4. 1000メートルのぼるごとに気温が6度ずつ下がるそう  
だ。
5. 冬から春にかけては、一雨ごとにあたたかくなります。
6. この薬は三時間おきに飲んでください。

7. 道の両側に二、三メートルおきに木が植えてある。
8. オリンピックは3年おき、つまり四年目ごとに行なわれます。
9. 海水浴の人出は一週間で延べ十万人をこえた。
10. 鉛筆一本 ○釘二本 ○ビール三本 ○映画四本  
○猫一匹 ○馬二匹 ○虫一匹 ○魚二匹 ○紙一枚  
○シャツ二枚 ○板三枚 ○布団四枚 ○皿五枚  
○葉六枚 ○田七枚 ○ガラス八枚 ○パン九枚  
○ござ十枚

二、次の中国語を日本語に訳しなさい。

1. 人口增加到一百万。
2. 人口增加了一百万。
3. 贸易額降低了五分之一。
4. 贸易額降低到五分之一。
5. 建筑物的总面积增加了三倍。
6. 化肥的产量是去年的两倍。
7. 化肥的使用量增加到四倍。
8. 一只鸭 ○一双皮鞋 ○一付手套 ○一套西装  
○一只老虎 ○一架飞机 ○十点三刻 ○九点差五分  
○第三个人 ○倒数第五行

#### 第四节 代 名 词

##### 一 代名词的性质

不直接讲事物的名称，而是指示某一人、事、物而言的词叫代名词(代名詞)。所以，代名词的意义上的特色就是，没有固定的内容，以它所指示的事物的转移而随时更动内容。

代名词也属于体言，具有和名词相同的语法性质。



## 二 代名词的分类

代名词可以分成人称代名词和指示代名词。

### (一) 人称代名词 (人称代名詞)

指人而言的代名词叫人称代名词。

人称代名词根据指示的对象分为：1. 称呼自己的“自称”（じしょう自称）；2. 称呼对方的“对称”（たいしょう对称）；3. 称呼第三者的“他称”（たししょう他称）。其中“他称”又可分为：“近称”（きんしょう近称）、“中称”（ちゅうしょう中称）、“远称”（えんしょう远称）。“此外，用于讲话人不知道或不确定的指示对象叫“不定称”（ふていしょう不定称）。

自 称	对 称	他 称			不定称
		近称	中称	远称	
わたくし (ども・たち)	あなた (がた・たち)	このかた (がた)	そのかた (がた)	あのかた(がた)	どのかた (がた)
わたし (たち・ども)		このひと (たち)	そのひと (たち)	あの一ひと(たち)	どなた どのひと (たち)
ぼく (たち・ら)	きみ (たち・ら)			かれ(ら) かのじょ(たち)	だれ (たち)
おれ (たち・ら)	おまえ (たち・ら)	こいつ	そいつ	あいつ	どいつ

注：“( )”内表示复数形式

### (二) 指示代名词 (指示代名詞)

指示事物、场所、方向的代名词叫指示代名词。指示代名词也有近称、中称、远称以及不定称之分。

	近 称	中 称	远 称	不定称
事 物	こ れ	そ れ	あ れ	ど れ な に
場 所	こ こ こ ころ	そ こ そ ころ	あそこ あすこ あそこら	ど こ ど ころ
方 向	こ っち こ ちら	そ っち そ ちら	あ っち あ ちら	ど っち ど ちら

指示代名词如上表所示,分成“事物”(事物)、场所(場所)、方向(方角)三种,但在实际使用中,这些指示代名词之间会产生相互转用的现象,甚至可以用来指示人或其他事物。例如:

1. 指示方向的代名词转用于事物、场所。

○こちらが使いやすいですから,おもちください。(事物)

○スケートとスキーとどちらが好きですか。(事物)

○こちらへいらっしゃって何年になりますか。(場所)

○おくにはどちらでしょうか。(場所)

2. 指示事物的代名词转为指示人的代名词一般指同辈以下。

○これがぼくの弟です。

○「山田君という人は知ってるかい。」「知らない。それがどうした。」

○あれは誰だ。

3. 指示方向的代名词转为指示人的代名词(表示婉转客气。)

○そんなことはこっちの知ったことではない。

○こちらの意見はどうでしょうか。

○こちらは木村さんです。

○あなたはどちらさまでしょうか。

4. 指示事物、场所的代名词转用于时间。

○これまでのことは水に流してください。

○ここへきてから,これで二年になる。

○ここ数年間に日本語教育の規模が大きく拡大された。

○すっかり用意ができて,でかけようとしたら,そこへ友達がやって来た。

### (三) 反照代名词(反照代名词)

代名词主要指上面列举的人称代名词和指示代名词,但有的语法书里还把“自分”、“おのれ”、“自己”、“自身”等代名词列为“反照代名词”,或称为“再帰代名词”、“反射代名词”。这类词的特色是:象人称代名词一样指示人,但没有自称、对称、他称的区别,可

以用于任何人称。例如：

○あなたは自分のしたことをよいことだと思っているのですか。

○私は自分のしたことを後悔している。

○かれは自分のしたことを後悔しているようだ。

○私自身は別に不快も思わない。

○それは君自身のことではないか。

○己の欲せざる所は人に施す勿かれ。

○それは自己を知らざるがためである。

### 三 コソアド体系和指示词

指示代名词中的近、中、远、不定称等，无论是指示事物、场所、方向，均以“コ・ソ・ア・ド”为第一个音节；连体词、副词以及人称代名词中也有这种类型的词，虽然语法性质各不相同，但都具有近、中、远、不定称的共同之处，意义上也有密切联系，所以有人把这些词归纳为“コソアド体系”，或笼统地称为“指示词”（指示語・指すことば）。

		コ	ソ	ア	ド
代 名 词	事 物	これ	それ	あれ	どれ
	场 所	ここ	そこ	あそこ	どこ
	方 向	こちら	そちら	あちら	どちら
		こっち	そっち	あっち	どっち
	物(人)	こいつ	そいつ	あいつ	どいつ
	人 称	このかた	そのかた	あのかた	どのかた
	このひと	そのひと	あの人	どなた	
				どのひと	
连体词	形 容 指 定	こんな この	そんな その	あんな あの	どんな どの
副 词	状 态	こう	そう	ああ	どう

此外，“こ(そ、あ、ど)んなだ”等应该也是指示词，本书列入形容动词，请参照第四章第四节。

指示词的归纳不仅仅是为了找出コソアド的体系，更主要的是为了系统地研究这些词汇的使用规律。因为这种规律对于外国学习者来说很重要，有必要掌握。现大致归纳其使用规律如下。

1. 指眼前的人和事物的场合。

コ类：表示离讲话人近的东西。

ソ类：表示离听话人近或离自己和对方稍远的东西。

ア类：表示离双方都远的东西。

ド类：表示不知道或不确定的东西。

○甲「これはなんですか。」

乙「それは本です。」

甲「あれも本ですか。」

乙「どれ？あれですか。いいえ、あれはノートです。」

2. 指谈话、文章中出现的不在眼前的人和事物

コ类：指自己刚说的和马上要说的，可以表示与自己关系密切、主观要强调的事物。

ソ类：除与コ类用法大致相同(但不作强调，基本上是客观地叙述)之外，可以指对方刚说过的事。

ア类：表示想起来的事。

ド类：表示不知道或不确定的事。

○きみも、もうそろそろ、世の中や人間の一生について、ときどき本気になって考えるようになった。だから、ぼくも、そういうことがらについては、もう冗談半分でなしに、まじめにきみに話したほうがいいと思う。そうはいつでも、「世の中はこういうものだ。その中に人間が活着しているということは、こういう意味があるのだ。」などと、一口にきみに説明することは、だれだって出来はしない。

○いまでもまだあれを覚えています。日本について日に財

布をなくしたことを。

#### 四 代名詞の構成和轉用

人称代名詞大部分都可以后接ども、たち、がた、ら等接尾詞、表示复数。このひと、そのひと、あのひと、どのひと等是連體詞加名詞ひと(也可以加“かた”)構成的複合詞。われわれ是疊詞。

能够轉用的代名詞一般是指示代名詞,如接續詞:そこで、それから、それで、それでは、それでも、それに、それだから、それなのに、それなのに、それから、それゆえ等;副詞:それだけ、それほど、等;感嘆詞:それはそれは、これはこれは、等。指示代名詞还可以单独(不与其他詞复合)轉化为感嘆詞,如:それ、あれ、どれ、なに、等。

#### 練習問題八

一、次の文中の①～④の——線部のことばはそれぞれなにを指しているか、本文中のことばで答えなさい。

六つになる親類の子どもが、去年の暮れから東京へ来ている。これ①に、東京と国とどっちがいいか、と聞いたら、お国の方がいい、といった。どうしてか、と聞くと、お国の川はえびがいるからと答えた。この子どもの、えびと言ったのは、かならずしも動物学上のえびのことではない。えびのいる清らかな小川の流れ、それ②に緑の影をひたす森や山、河畔に咲き乱れる草の花、そういうようなもの③の全体をひっくりめた、いなかの自然を象徴するえびでなければならない。東京でさかな屋から魚を買って来てこの子どもにやってみれば、このこと④は容易に証明されるであろう。

わたくし自分も、このえびのことを考えると、いなかが恋しくなる。しかし、それ⑤は現在のいなかではなくして、過去の思い出のいなかである。えびはいまでもいるが、「子どものわたく

し」はもうそこ⑥にはいないからである。

しかし、この「子どものわたくし」は今でも「おとなのわたくし」のなかのどこかに隠れている。そして、意外な時に出てきて外界をのぞくことがある。たとえば、郊外を歩いていて、道ばたの名もない草の花を見る時や、あるいは、遠くの杉の木のこずえの神秘的な色彩を見ている時に、わずかの瞬間だけではあるが、このえびの幻影⑦を認めることができる。それ⑧が消えたあとに残るものは、淡い「時の悲しみ」である。

二、次の各文の( )の中に、あとの語群から適当なものを選んで入れ、文を完成しなさい。

1. 学校の手洗い場がきたない。( )前の廊下までよごれている。( )ではいけないと、一人の教師が手洗い場の掃除にとりかかった。

2. ( )は絶対に内緒だよ。

(語群)これ それ あれ この その あの

## 第五节 形式体言

### 一 形式体言的性质

在句中起到和体言基本相同的语法作用，但没有或很少有实质意义的词叫形式体言(形式体言)，也有称之为“形式名詞”或“不完全名詞”的。

形式体言在使用时，一定要跟在具有实质意义的连体修饰语的后面；同时，某些具有实质意义的文节要在句中起到一个体言的作用，往往必须借助于形式体言，所以形式体言在句子里虽然不具备实质意义，但却具有很重要的语法作用。

○事ことが起った。(“事”具有实质意义)

○私は日本語を話すことができる。(“こと”不具备实质意义)

○所変われば品変わる。(“所”具有实质意义)

○あなたの言うところは正しい。(“ところ”不具备实质意义)

○秋は勉強するのにいい時です。(“の”不具备实质意义)

除了由格助词转化的“の”之外,形式体言均来自名词。

形式体言书写时一般都不使用汉字。

## 二 常用的形式体言及用法

常用的形式体言有:こと、もの、ところ、の、わけ、はず、ため、つもり、ほう、まま、とお、り、う、え、う、ち、も、と、か、ぎ、り、か、わ、り、し、だ、い、く、せ。

### (一) こと

○言うことはやさしいが、おこなうことはむずかしい。(こと—表示形式上所指的某一事情)

○彼は山のことに詳しい。(こと—表示情形、内容)

○昔は東京のことを江戸といった。(こと—表示涉及某一事物的内容)

○そんなことではとても大学には入れません。(こと—表示情形、状态)

○旅行のことはもう話すのをやめよう。(こと—表示“有关……的事情”)

○魯迅こと周樹人。(こと—表示“即”的意思)

○健康をねがうなら、早起きすることだ。(こと—表示某种最好的方法)

○そんな野暮なことは言わないことです。(こと—表示提醒、劝告的意思)

○習うことには習ったが、覚えられなかった。(ことには—同一用言重叠中间加“ことには”可起到调整语气的作用,表示“诚然……但……”、“固然……但……”等意思。)

○残念なことには、私はほかに約束があるので、お伺いする

ことはできません。(ことには—表示强调的语气)

○自分でやってみないことにはわからない。(ないことには—表示“不……就……”的意思)

○学校のプールは六月一日から始まることになっている。(ことになる—表示某种结果或状态的存在)

○いろいろ比べてみて、この字引きを買うことにした。(ことにする—表示某种决定)

○この話は聞かなかったことにしよう。(たことにする—表示已知事实如此,但就算没有或不是这么回事的意愿)

○私は日本語を話すことができる。(ことができる—表示能够)

○横浜の港を見たことがありますか。(たことがある—表示有某种经验)

○朝は電車に乗れないことがある。(ことがある—表示有时有某种情况、事实)

○今さら彼にそんな手紙など書くことはない。(ことはない—表示没有某种必要)

○まあ、きれいな花ですこと。(こと—可作终助词看。请参照第七章第五节。)

○図書館から借りた本は一週間以内に返すこと。(こと—同上)

○早いこと,やっしまえ。(形容词+こと—可构成副词性用法)

(二)もの

○ものの分った人。(もの—表示道理。此处可作实质名词看)

○そんな野暮なことは言わないものです。(もの—表示情理、理应如何)

○大人の言うことは聞くものだ。(もの—同上)

○虹は太陽の反対側に出るものだ。(もの—表示常理、真理)



○一度世界各国を旅行したいものだ。(たいものだ—表示强调的愿望)

○月日のたつのははやいものだ。(ものだ—表示强调的语气)

○あの人のやったことには目にあまるものがある。(ものがある—表示强调的语气)

○この川で君とよくあそんだものだ。(たものだ—表示回忆以往常有的事情)

○この頃はまったく雨が降らないんだもの、川がかれるわけだよ。(もの—可作接续助词看。请参照第七章第三节)

○昨夜おそくまで起きていたもので、朝ねぼうしてしまった。(もので—同上)

○わたしにだまってかってなことをしようものなら、決してゆるしませんよ。(ものなら—同上)

○契約は結んだものの、果して実行できるか心細い。(ものの—同上)

○そんなにじょうずに歌えるものを、なぜ歌わなかったのですか。(ものを—同上)

○いっしょに行ってくれない?ひとりで行くのはこわいもの。(もの—可作终助词看。请参照第七章第五节)

○君にはそんなことができるものか。(ものか—同上)  
(三)ところ

○あなたのわるいところはすぐおこることです。(ところ—表示某一点、某一方面)

○それがこのしばいのおもしろいところです。(ところ—同上)

○来ないところを見ると、まだ私をおこっているようだ。(ところ—同上)

○功をあせったところに無理があるのだ。(ところ—同上)

4

○聞くところによると、今度新しい辞典が出るぞもだ。(ところ—表示範囲)

○わたしが知っているのはだいたいこんなところです。(ところ—同上)

○いまのところは心配ないようだ。(ところ—表示某一時候、時刻、場合)

○いいところに来たね。(ところ—同上)

○あたたかいところ、おあがりください。(ところ—同上)

○おいそがしいところをおいでくださいませ、ありがとうございました。(ところ—同上)

○これからでかけるところだ。(ところ—同上)

○敵兵が逃げようとするところを捉えた。(ところ—同上)

○私が着いたとき、彼が本を読んでいたところだ。(ところ—同上)

○いま帰って来たところだ。(ところ—同上)

○説明がすんだところで質問してください。(ところ—同上)

○中ぐらいのところで卒業した。(ところ—表示程度)

○もうすこしで車にひかれてしまうところだった。(ところ—同上)

○こちらからおおびをするところです。(ところ—表示理應、应当)

○彼のおこないは果して皆の非難するところとなった。(ところとなる—可以表示某种“被动”的结果。)

○先生にうかがったところ、先生にもわからないとおっしゃった。(ところ—可以作接續助詞看。請參照第七章第三节)

○会に遅れたと思って急いで行ってみたところが、まだ誰も来ていなかった。(ところが—同上)

○もうこれ以上話しあつたところでむだだよ。(ところで—

同上)

○きのうは雨が降るどころか、曇一つないいい天気でした。(どころか＝同上)

(四)の(請参照第七章第二节)

の本来是格助词，附属于前面的体言构成连体修饰语 文节，修饰后面的体言。现在把の的一部分用法归入形式体言，凡是不构成连体修饰语的の(即の后面不接体言)都可以作形式体言看。

○短いのより、長い方がよかろう。(の＝表示事物)

○いま笑ったのは君だろう。(の＝表示人)

○彼女が結婚したのは二十年前だ。(の＝表示时间)

○友達が行くのはアフリカだ。(の＝表示场所)

○船が出ていくのを見ていた。(の＝表示场面、情景)

○今日ここに来たのは陳さんに会いたかったからです。(の＝表示原因)

○はさみは、布を切るのに使う。(の＝表示目的)

○日本語を話すのはむずかしいです。(の＝表示事情)

○これは私のです。(の＝表示事物)

○中国共産党の正しい指導があったからこそ、中国は革命に成功したのだ。(のだ＝表示强调、说明、解释的语气)

○その日は雨が降っていたのだ。(のだ＝同上)

○団結は力なのだ。(なのだ＝同上)

(五)わけ

○いつもおとなしいあの人がおこっているのだから、何かわけがあるにちがいない。(わけ＝表示原因、理由，可作实质名词看。)

○苦しいわけです。熱が四十度もあるのですから。(わけ＝表示当然的结果，含有“理应如此”的意思。)

○きのう習ったばかりですから、よくできるわけです。(わ

け＝同上)

○帝国主義の本性は変わるわけではない。(わけではない＝表示从道理、情理上认为某件事是不可能的。)

○会議があるから、行かないわけにはいかない。(わけにはいかない＝表示从情理、道理上认为“不能够……”。)

○すると、学校にはこういう規則があるというわけだね。(というわけだ＝表示明确说明、肯定的语气。)

○あなたひとりが悪いというわけではありません、みんなが気をつけなければいけなかったことです。(わけではない＝表示说明、辩解的语气)

(六)はず

○汽車は10時に出るはずです。(はず＝表示予定)

○今晚、田中が演説をするはずになっている。(はずになっている＝同上)

○いままでそこにあったのだから、さがしてごらん下さい。あるはずですよ。(はず＝表示判断某一事物当然、理应是某种情形。)

○そんなことを小さな子どもに言って聞かせても、わかるはずはない。(はずはない＝同上、用于否定。)

○たしかあなたもそうだったはずだ。(たはずだ＝表示确信、肯定。)

(七)ため

○これは子供のためになる本です。(ため＝表示有利、起作用，可以作实质名词看。)

○入学試験のために、夜おそくまで勉強している。(ため＝表示目的)

○友だちがたずねてきたため、やくそくの時間におくってしまった。(ため＝表示原因、理由)

(八)つもり

○買うつもりはなかったが、すすめられて買ってしまった。  
(つもり—表示意图、打算)

○君のつもりでは、どれほど費用がかかるか。(つもり—表示估计、予期)

○自分では正しいつもりでも、ほかの人からみれば、まちがっていることもある。(つもり—表示自己的看法、自以为。)

○映画をみたつもりで貯金することにしました。(たつもり—表示假设某种情形，意为“就算……”、“当作……”)

(九)ほう

○あなたのほうが背が高い。(ほう—表示进行比较的 事物的某一方)

○医者に見てもらったほうがいちばんいい。(ほう—同上)

(十)まま

○そのままでいいです。(まま—表示原样、原封不动)

○足の向くままに歩いた。(まま—表示顺从某种状态)

○自分の意のままに行う。(まま—表示随心所欲、任意)

(十一)とおり

○教えたとおりにやっごらんさい。(とおり—表示“按照……”、“如同……”)

○結果はごらんのとおりです。(とおり—同上)

(十二)うえ

○仕事のうえでは、別に問題はない。(うえ—表示某一方面)

○ねだんがやすいうえに、品がすぐれている。(うえ—表示添加)

○お目にかかったうえで、きめましょう。(うえ—表示“在……之后”)

○事実がそうであったうえは、仕方がない。(うえ—表示“既然……那么……”)

(十三)うち

○三人のうちで誰が一番年長ですか。(うち—表示范围)

○二、三日のうちにおたずねします。(うち—同上)

○暗くならないうちに帰しましょう。(うち—同上)

(十四)もと

○親のもとを離れる。(もと—表示某种范围)

○先生の指導のもとで研究をつづける。(もとで—表示“在……之下”)

○科学技術委員会の主催のもとに工業の新製品の品評会が行われた。(もとに—同上)

(十五)かぎり

○あらんかぎりの力を出して抵抗した。(かぎり—表示限度、极限)

○ストライキがつづくかぎり会社では仕事できません。(动词连体形+かぎり—表示“只要……就……”)

○病気でないかぎり学校をやすまない。(ないかぎり—表示“除非……就(不)……”)

(十六)かわり

○きょうは母のかわりにごあいさつにうかがいました。(かわりに—表示代替、代理)

○あまり頑丈でもないかわりに大病もしたことがない。(かわりに—表示“虽然……可也……”)

○英語を教えてもらうかわりに日本語を教えてあげましょう。(かわりに—连接两项同等的事物,互为另一方成立的条件。)

(十七)しだい

○事のしだいはこういうことです。(しだい—表示情形。可作实质名词看。)

○すべては、君の決心しだいです。(しだい—可作接尾词看。这里表示一种决定性条件,意为“全凭”、“全靠”)

○できしだい、おとどけいたします。(しだい—(可作接尾

词看。这里构成副词性用法,意为“一……就……”)

(十八)くせ(请参照第七章第三节)

○あなたは知っているくせに,私に教えてくれないのですね。  
(くせに=表示不满、责备的语气。可作接续助词看。)

○学生のくせに学校へも行かないで,あそんでばかりいる。  
(くせに=同上)

### 【参考】 わけ和はずの用法比较

わけ和はず在某些场合可以替换使用,但含义有所不同。

#### (一)わけ的用法

1. わけ作为具有实质意义的名词使用,表示事物的道理、情况、原由、意思等,はず没有这种意义。如:

○わけの分らない人だ。(はず×)

○そういうわけなら,考えなおさなければならない。(はず×)

○どういうわけか田中さんは私をきらっている(はず×)

○ことばのわけを字引きで調べる。(はず×)

○そんなことはわけはありません。すぐやります。(はず×)

○今日はいつもとわけがちがう。(はず×)

2. わけ作形式体言用;用于说明、解释某种情形、事情的原委,意为“是这么回事”、“是这么一种道理”。はず不能替换。如:

○すると,学校にはこういう規則があるというわけだね。  
(はず×)

○あの瓶,40錠入りで約半分残っていますから,ほぼ20錠ぐらい飲んだわけです。(はず×)

○やっと今度宿望がかなったわけです。(はず×)

○私は魚がきらいというわけではないが,豚肉の方をよく食べるのです。(はず×)

3. 表示当然、合乎情理的结果、事情,主要是从讲道理的角度说话,基本上可以与はず替换,但意义有所不同。

○日本語を三年もやったから,話せるわけだ。(はず○)

○昨日買ったばかりの服だから,まだ新しいわけだ。(はず○)

○苦しいわけです。熱が40度もあるのだから。(はず○)

○彼は病気で寝ているんだから,来ないわけだ。(はず○)

○狼の本性は変わるわけはない。(はず○)

○会議があるのだから,いかないわけにはいかない。(はず×)

## (二)はず的用法

1. 表示讲话人根据某种前提(可以是事实存在的前提,也可以是假设的前提)得出的理所当然的结论(不管是否有既成事实),主要是从推测、判断、断定的角度说话。有些地方可以和わけ替换使用,但意义有所不同。一般说来,如果前提是假设的时候不可以用わけ替换;结论完全是推测性的,甚至句子里带有“たぶん”、“きっと”之类的副词,不可以用わけ替换。例如:

○通知してあるから,知っているはずだ。(わけ○)

○三年も日本語をやったのだから,話せるはずだ。(わけ○)

○いままでそこにあったのだから,さがしてごらん。(きっと)そこにあるはずだよ。(わけ×)

○そんなことは子供に言って聞かせても分るはずはない。(わけ○)

○今日たぶん来ないはずだ。というのは,彼は病気で寝ているのだから。(わけ×)

○あの人のぼうしなら,もっと大きいはずだ。(わけ×)

2. 表示予定、予计。不可以用わけ替换。

○汽車は十時に出るはずですよ。(わけ×)

○一時に来るはずの友だちがまだ来ない。(わけ×)



○こんなはずではなかった。(わけ×)

○私のいとこはもう大学を卒業したはずだ。(わけ×)

3. 表示确信，一般用“……たはず(だ)”的形式，不可以用わけ替换。

○たしかあなたもそう言ったはずだ。(わけ×)

○ポケットに入れておいたはずのかぎがみつからない。(わけ×)

### (三)わけ和はずの区别

根据前面列举的各种用法来看，わけ和はず只有表示所谓“理所当然”的意义的场合才可以有相互替换的可能。但严格说来，只有わけ才讲“道理”，所以わけ总是带有解释和说明某种道理和原因的意义，从而わけ应该是在既成事实的基础上讲话。而はず的出发点是判断的意识，它的前项可以不必是既成事实，表示“如果……的话，那肯定是……”的意思，也可以是既成事实，表示“这样的话……那肯定是……”的意思。例如：

○「田中さんはどうしてわれわれの決議を知らなかったのですか。」「彼は来なかったから，われわれの決議を知らなかったわけです。」(はず×)

这组对话里的回答的句子是解释“他为什么不知道”，说明其原因和道理。

○「彼はわれわれの決議を知っていますか。」「いや，彼は来なかったから，知らないはずだ。」(わけ×)

这组对话里的回答的句子同样是对问语的回答，但不是说明道理，而是判断他“知道还是不知道”，作为判断的基础，根据是“彼は来なかった”这一既成事实。

○あの人のぼうしなら，もっと大きいはずだ。(わけ×)

作为判断的根据，是“あの人のぼうしなら”这一假定条件，后项自然是判断性的，这句话要改成“わけ”的话，那么一定要改成“あの人のぼうしだから大きいわけだ。”

○苦しいわけだ。熱が四十度もあるのだから。

○苦しいはずだ。熱が四十度もあるのだから。

这两句话意义基本相同,但前者是说明性的语气,“怪不得这么痛苦,……”,后者是肯定性的语气,“当然(肯定)是痛苦的,……。”

○狼の本性は変わるわけはない。(意为“从道理上来说狼的本性是不可能改变的”。)

○狼の本性は変わるはずはない。(意为“狼的本性肯定是不会改变的”。)

○三年も日本語を勉強したから、話せるわけだ。(意为“学了三年日语,所以会讲日语”。)

○三年も日本語を勉強したから、話せるはずだ。(意为“学了三年日语,当然会讲日语”,这句话还可以理解为推测的语气,即“学了三年日语,(我相信)他肯定会讲日语”。)

总的说来,わけ是对既成事实的解释,はず是对事物的判断。はずの前项可以是既成事实,也可以是非既成事实,即假定条件,一般说来,前项是假定条件的场合不可能用わけ(だ)结句。はず的后项也可以是既成事实,也可以是非既成事实,但都是讲话人以判断的口气所讲的话,在非既成事实的场合往往可以在句子里加进“きっと”、“かならず”之类的副词。如:

○さがしてごらん。きっとそこにあるはずだ。

○「あの子は大学にはいれるかな。」あのように勉強していたから,かならず合格するはずだ。」

### 練習問題九

一、次の各文の( )の中に、あとの1.~18. のことばの中から各一つ選び、その番号を記入しなさい。

1. 足の向く( )に歩いて行った。

2. 相手が油断している( )をねらって攻撃する。  
3. 私が彼にあった( )は、ちょうど二年前のことだった。

4. 計算の( )ではまちがいはない。  
5. 決して自分の意志を人におしつける( )はない。  
6. でき( ),お届けします。  
7. 帝国主義が存在する( ),本当の平和はない。  
8. 計画( )に事業は進行している。  
9. 社会主義はかならず資本主義にとってかわる( )だ。  
10. 調べる( )は調べたが、証拠になるものは出てこなかった。

11. あ的那个人は知っている( )なのに、知らないふりをしている。

12. きょうは忙しいので、あそんでいる( )にはいかない。

13. 共産党の指導の( )で、わが国人民は大きな勝利をおさめた。

14. 値段がすこし高いが、その( )持ちがいい。

15. 働ける( )に働いておいた方がいい。

16. 大学を出た( )に、こんなやさしいことも分らないのか。

17. 風が強かった( )に、船が出ませんでした。

18. あ的那个人はおしゃべりな( )です。

1. こと 2. もの 3. ところ 4. の 5. わけ 6. はず  
7. ため 8. つもり 9. ほう 10. まま 11. どおり  
12. うえ 13. うち 14. もと 15. かぎり 16. かわり  
17. しい 18. くせ (注意: 各語は一回使うこと。)

二、次の各文の( )の中に、末尾の( )の中から適当なことを一つ選んで入れなさい。

1. あなたはハワイへ( )ことがありますか。(行く 行った)
2. 夕食のあとたいいていテレビを見ますが、見ないで( )  
こともあります。(寝る 寝た)
3. みんな( )ところで菓子やお茶が出た。(揃う 揃った)
4. ( )ところはきれいですが、水によわいです。(見る 見た)
5. もうすこしで( )ところだった。(つきたおされる つかたおされた)
6. ( )ところを写真にとられた。(食べる 食べている)
7. つごうが( )しだい、お返事いたします。(つき つく。)
8. ( )つもりはなかったんですが、すすめられてつい買ってしまいました。(買う 買った)
9. 自分の家に( )つもりで、ゆっくりお休みください。(帰る 帰った)
10. 相手の( )ままになる。(思う 思った)
11. 人から( )ままを話す。(聞く 聞いた)
12. 教えた( )にやっごらんない。(通り まま)
13. 君の考え( )にしたまえ。(とおり どおり)

三、次の中国語を日本語に訳しなさい(各文中にはかならず「わけ」か「はず」を使うこと)。

1. 已经是五月了,广州应该是很热了。
2. 你们自己也终有一天会老的,所以应该好好照顾老年人。
3. 因为有四个小时的时差,所以正好是日本时间中午12点到达。
4. 预定一点钟要来的,可是到现在还没有来。
5. 我并不是说你一个人不好。

6. 明明是放在这儿的,可怎么也找不到。

### 課外練習 (第三章 練習)

一、次の( )の中に入れるのに適する助数詞を、後の(表)から選び、記号で記入しなさい。(注意:各語はかならず一回は使うこと)

紙二( ) 皿一( ) 田一( ) 軍艦一( ) 小舟二( )  
自動車二( ) 旋盤一( ) 本二( ) ノート二( ) 木一( )  
柱一( ) ステッキ二( ) 指一( ) たぬき一( ) 猫二( )  
蛾一( ) はえ二( ) 蛇一( ) 鬼一( ) にわとり三( )  
はと四( ) 兎一( ) 酒一( ) 家三( ) 背広二( )  
たび一( ) くつした二( ) ねぎ一( ) ほうれん草三( )  
たきぎ一( ) 竹一( ) 牛一( ) 象一( ) 箸三( )  
ご飯三( ) 刀一( ) たんす一( ) 旗一( ) ようかん一( )  
糸一( ) 六( ) の和室 歌舞伎一( ) 手紙二( ) いす五  
( ) パンダー( )

(表) 番 脚 通 座 疊 筋 竿(棹) 振り 膳 頭  
東 把 足 着 軒 杯 羽 匹 本 冊 台 艘 隻 枚

二、次の文1と文2を読んで、あとの問いに答えなさい。

1. 「a これをとりかたづけてやろうか。」とひとりごとを言いながら、太郎がそのくちた草をとりのけようとする時、(アここ イそこ ウあそこ)からえんまこおろぎが一匹頭を出していた。

2. くれがた奈良についた。僕のためにとっておいてくれたのは、かなり奥まった部屋で、なかなか落ちつけそうな部屋でよい。すこうし仕事をするには大きすぎるかなと、もう(アここ イそこ ウあそこ)で仕事に没頭している最中のような気持ちになって、部屋の中を歩きまわってみたが、なかなか歩きやが

ある。これもこれでよかろうという事にして、こんどは窓掛けに手を掛けたが、つい面倒になって、まあ、b それくらいはあすの朝の楽しみにしておいてやれと思ってやめた。

問一 文1と文2の( )の中のことばで、もっとも適当と思われるものを一つ選び、その記号を○印で囲みなさい。

問二 文1のa「これ」はなにを指しているか、文中にあることばで答えなさい。

問三 文2のb「それ」はなにをさしているか、適当なことばで答えなさい。

三、次の中国語を、末尾の( )の中の形式体言を使って日本語に訳しなさい。

1. 因为有许多难题,所以请大家来商量的。(わけ)
2. 这么难的问题他肯定解答不了。(はず)
3. 我记得他前天到东京去了。(はず)
4. 老师也并不是什么都会。(わけ)
5. 借人家的东西理应要还的。(もの)
6. 记得小时候常和母亲在田间劳动。(もの)
7. 您百忙之中特意前来,非常感谢。(ところ)
8. 我也是刚刚回来。(ところ)
9. 名字听说过,可是没见过面。(こと)
10. 查是查过了,可是没有找到证据。(こと)
11. 为了健康,你要每天跑步。(ため)
12. 因为风大,船不能出港。(ため)
13. 正如您所说的那样。(とおり)
14. 您估计要多少费用?(つもり)
15. 我以为确实放在这里了,可是没有啊。(つもり)
16. 先看看东西(货色)再作决定。(うえ)
17. 请趁热吃吧。(うち)
18. 最好还是请医生看看。(ほう)

19. 这里虽然交通不便,但风景很好。(かわり)
20. 只要本人不说,别人是不会知道这种事情的。(かぎり)
21. 我答应不答应要看对方说出的金额。(しだい)

四、次の日本語を中国語に訳しなさい。

1. 毎日タバコをすったつもりで、貯金することにした。
2. こうなったらえは、言いわけをしてもだめだ。
3. 薬を飲むかわりに適当な運動をして病気をなおす人も  
いる。
4. この問題を解決しないかぎり、ほかの問題を解決するみ  
こみはない。
5. 彼は細君の言いなりしだいになっている。
6. あいつのことだから、信用できない。
7. 人に迷惑を掛けるようなことをするものではないよ。
8. 君が助けてくれなかったら、ぼくは死ぬところだった。
9. いま帰るところですから、ちょっと待ってください。
10. こちらからおわびするところです。
11. 気がすまないなら、やめることだ。
12. 実にりっぱな工場で、見学しただけのことはある。

## 第四章 用 言

### 第一节 用言的性质

动词、形容词、形容动词总称为用言(用言<sup>ようげん</sup>)。

用言的特点：

1. 用言是有活用(即词尾变化)的独立词。
2. 用言可以单独构成谓语,这是用言最大的特点。
3. 用言可以通过自身的词尾变化构成连体修饰语、连用修饰语。
4. 用言前面可以加连用修饰语。

用言的基本用法如下：

○雨が降る。(动词作谓语)

○話が長い。(形容词作谓语)

○この辺は静かだ。(形容动词作谓语)

○冷たい風の中を静かに歩いている。(“冷たい”是连体修饰语,“静かに”是连用修饰语,“歩い(く)”是谓语,“いる”是补助文节。)

词的词形变化叫做“活用”(活用<sup>かつよう</sup>),而所有有活用的词都可以叫做“活用词”(活用語<sup>かつようご</sup>)。因此,除了用言之外,活用词还包括助动词。

活用词的词形变化只限于词尾部分,不发生变化的部分叫词干(語幹<sup>ごかん</sup>),发生变化的部分叫词尾(語尾<sup>ごび</sup>)。如：

降　　る　　長　　い　　静　　か　　だ  
(词干)(词尾) (词干)(词尾) (词干)(词尾)



有少数用言不作词干和词尾的区别,如:見る、寝る、来る、  
する,助动词一般也不作词干和词尾的区别。

活用词未经变化的词形叫基本形(基本形),经过变化的词形  
叫活用形(活用形)。(注意:通常讲某个词的活用形,是指包括词干  
词尾两部分在内的词形。)活用形有以下六种:

未然形 連用形 終止形 連体形 假定形 命令形

区别日语的动词、形容词以及形容动词,最简单的办法是从词  
形上进行区别,即:

动词——基本形的最后一个音节是“う”段音。

形容词——基本形的最后一个音节是“い”。

形容动词——基本形的最后一个音节是“だ(です)”。

从意义上来说,某些表示状态的动词也相当于形容词的意义,  
特别象“若い”、“貧しい”之类的形容词,如果要列举相对应的反义  
词,那只能是“老いる”、“富む”之类的动词。此外,动词“ある”的  
否定表达方式是“ない”,也是动词与形容词的对应。形容词和形  
容动词除了词形及其活用不同外,在意义上没有什么差异。

## 第二节 动 词

### 一 动词的性质

说明事物的动作、作用、状态、存在的词叫动词(動詞),如:

动作动词:読む 書く 歩く 考える

作用动词:輝く 爆発する 分裂する

状态动词:そびえる すぐれる おくれる 苦しむ

存在动词:いる ある おる

动词属于用言,是有活用的独立词,可以单独构成谓语,也可  
以单独构成连体修饰语,动词的最后一个音节是在五十音图的う  
段音上。

## 二 动词的活用形及用法

活用形	用 法
未然形	后续助动词:ない、ぬ(ん)、う(五段)、 よう(一段、カ変、サ変)、せる(五段、サ変)、 させる(一段、カ変)、れる(五段、サ変)、 られる(一段、カ変)、まい(一段、カ変、サ変)。
连用形	①连接用言。 ②用于中顿。 ③用作名词。 ④后续助动词:ます、た、たい、そうだ(样态)。 ⑤后续助词:て、ても、たり、ながら、つつ等。
终止形	①用于结句。 ②后续助动词:だ(だろ)、まい(五段)、らしい、そう だ(传闻)。 ③后续助词:と、から、が、けれども、し、なり、や、 か、な(禁止)、な(あ)、ぞ、さ、とも、よ等。
连体形	①连接体言或体言性质的词语。 ②后续助动词:ようだ。 ③后续助词:の(转为形式体言)、より、のに、ので、 くらい、ほど、ばかり、だけ、まで、きり等。
假定形	后续助词ば(表示假定条件或其他意思)。
命令形	表示命令的意思(有时后续助词よ)。

注:上表中( )里的“五段”、“一段”、“カ变”、“サ变”分别指的是“五段活用动词、(上、下)一段活用动词、カ行变格活用动词、サ行变格活用动词”。

### 用例:

#### (一)未然形

○戸があかないから、中に入れない。(后续助动词)

○国へ帰らねばならなくなった。(同上)

○私が挨拶をしたのに、あの人は知らん顔をして行ってしまいました。(同上)

○明日は雨が降ろう。(同上)

○あしたの朝は早く起きよう。(同上)

○もう一度日本へ来ようと思っています。(同上)

○みんなで相談しようじゃないか。(同上)

○先生は学生に本を読ませたり、字を書かせたりした。(同上)

○もう一度、私に試験を受けさせてください。(同上)

○自分は来ないで、ほかの人を来させた。(同上)

○一時間も待たさ(さ=せら)れて、ほんとうにイライラさせられたね。(同上)

○おかしなことをいったので、私はみんなに笑われました。(同上)

○日本語がじょうずだと、日本人の友だちにほめられました。(同上)

○ゆうべは友だちに来られて、勉強ができなかった。(同上)

○新しいハリ療法は広はんな大衆に歓迎されている。(同上)

○見まいと思っても、つい見てしまう。(同上)

○こないやな所は、もうぜったいに来まいと思いました。(同上)

○あんなばかなことはもう二度としまい。

(二)連用形

○今日中にこの本を読み終ります。(连接用言。主要是构成复合词)

○これはありがたいことです。(同上)

○日があがり、月が沈む。(中頓)

○この川の流れははやい。(转为名词)

○演説を聞きに行く。(“聞き”对前面的词来说是动词、对后面的词来说是名词。)

○そんなことはありはしない。(后续“はしない”,表示强烈的否定。)

○一緒に行きましょう。(后续助动词)

○あなたの読んだ本の中からおもしろいと思ったのを二、三冊貸してください。(同上)

○一日も早くあなたに会いたかった。(同上)

○今年いっばいには、この仕事も完成することになりそうです。(同上)

○歌って、おどって、楽しくすごしました。(后续助词)

○いくら泣いてたのんでも、これだけはゆるしません。(同上)

○見たり聞いたりしたことを作文に書いてごらんください。(同上)

○むこうから山田さんが笑いながらやってきた。(同上)

○働きつつ学校を卒業した。(同上)

### (三) 终止形

○氷がとけて水になる。(用于结句)

○大きい声で呼ばれたら、目もさめるだろう。(后续助动词)

○君にはこの問題はわかるまい。(同上)

○天気予報によると、あしたは雨が降るそうだ。(同上)

○天気予報によると、夕方から雨が降るらしい。(同上)

○日本では自動車は道の左側を走るが、わたしの国では右側を走ることになっている。(后续助词)

○よく勉強するけれども成績は悪い。(同上)

○山の上から見おろすと、町が一目にみわたせました。(同上)

- あまりたくさんあるから、どれがいいか分らない。(同上)
- あの人は漫画もかくし、なかなかたいしたものだ。(同上)
- 昨夜はとても疲れていたのて、家へ帰ってくるなり寝てしまった。(同上)

- ベッドに入るや、寝てしまった。(同上)
- すこしけがをしたぐらいで、泣くやつがあるか。(同上)
- あまり人をばかにしたようなことを言うな。(同上)
- あしたは晴れると思うなあ。(同上)
- 早くしないと、学校におくれるぞ。(同上)
- ぼくにだってできるさ。(同上)
- ほしければあげるよ。(同上)

#### (四) 连体形

- 日本は、長い間武士の支配する世があった。(作连体修飾語)

- あそこにいるのがわたしの子供です。(同上; “いる” 后面的“の”是形式体言)

- よく分るように教えてください。(后续助动词)
- バスもタクシーもない所だから、歩いていくよりほかありません。(后续助词)

- 金がないというので、すこし貸してやった。(同上)
- あら、せっかくわたしがあげるというのに。(同上)
- 外国で病気をするくらい心細いことはない。(同上)
- 日本では北へ行けば行くほど寒くなります。(同上)
- すっかり準備がおわって旅行に出かけるばかりになっている。(同上)

- この店にあるかどうか、見るだけは見てみよう。(同上)
- いやなら、これをやめるまでだ。(同上)
- なにを聞かれても笑っているきりで答えない。

#### (五) 假定形

○一生けんめい練習すれば、きっとじょうずになりますよ。

动词假定形只能而且必须和助词ば连接，除了表示假定的意思之外，还有别的意思。请参照第七章第三节。

(六) 命令形

○早く行け。(表示命令)

○おそくなるから、はやく行けよ。(口语里命令形后面常加终助词よ，强调某种希望和要求。)

### 三 动词活用的种类

动词按其形态和词尾变化的规律可以分成以下五种：

ごだんかつよう かみいちだんかつよう しもいちだんかつよう  
五段活用 上一段活用 下一段活用

ごうへんかくかつよう じょうへんかくかつよう  
カ行变格活用(简称“カ変”) サ行变格活用(简称“サ変”)

这五个活用种类中，属于カ行变格活用的动词只有“来”一个词，属于サ行变格活用的动词只有“する”一个词(但する可以构成很多サ变复合动词)，因此，需要区分的只有五段和上一段、下一段活用动词。进行区别时，可以把动词未然形和助动词ない结合起来，这时如词尾在あ段音上的话，就是五段活用动词，在い段音上的话，就是上一段活用动词，在え段音上的话则是下一段活用动词。例如：

帰る→帰らない(五段)

起きる→起きない(上一段)

受ける→受けない(下一段)

从形态上来看，五段活用动词的最后一个音节(即词尾)在う段音上，除了う行五段活用动词之外，其他的词(如：書く、読む)无须和上一段、下一段活用动词区别，因为上一段、下一段活用动词的词尾最后一个音节都是“る”。但是还可以进一步缩小区别范围，如“変わる”一词，る前面的一个音节不在い段或え段上，这个词就肯定是五段动词，只有る前面的一个音节在い段或え段上的五段动词(如：おちいる、ひるがえる、帰る)才必须注意和上一段、下一段活用动词混淆，但这种场合的区别最好的办法是硬记。

### (一)五段活用动词

动词的活用词尾在五十音图的あいうえお五段中变化的词叫五段活用动词。

动词中五段活用动词最多，在カ、ガ、サ、タ、ナ、バ、マ、ラ、ワ行均有。其中ワ行的五段活用动词又叫“ワア行五段活用动词”，这是因为如“買う”之类的词活用时，除了未然形“買わ”是ワ行外，其余各活用形“買い、買う、買え、買お”都属于ア行。

五段活用动词活用表

行	基本形	词尾						
		词干	未然形	连用形	终止形	连体形	假定形	命令形
カ行	書く	か	かこ	きい	く	く	け	け
ガ行	泳ぐ	およ	がご	ぎい	ぐ	ぐ	げ	げ
サ行	話す	はな	さそ	し	す	す	せ	せ
タ行	立つ	た	たと	ちっ	っ	っ	て	て
ナ行	死ぬ	し	なの	にん	ぬ	ぬ	ね	ね
バ行	遊ぶ	あそ	ばほ	びん	ぶ	ぶ	べ	べ
マ行	読む	よ	まも	みん	む	む	め	め
ラ行	取る	と	らろ	りっ	る	る	れ	れ
ワア行	買う	か	わお	いっ	う	う	え	え

#### 用例和说明

(以动词“書く”为例)

### 1. 未然形

○早く書なければならない。

○これから書こうと思う。

五段活用动词的未然形有两种形式,一种是词尾在あ段音上,如“書か”,一种是在お段音上,如“書こ”。其中“書こ”这种形式只能接助动词う,“書か”的形式的用法较多,如助动词ない、ぬ、せる、れる都接在这种未然形下。

在口语里,动词“ある”的未然形只有“ある(う)”,而没有“あら”,偶尔有“あらぬ(人(事、噂))”的讲法,这是文语的残余。“ある”的否定表达方式是形容词“ない”。

动词“しのぶ(忍ぶ)”后续助动词ない的时候,一般都说成“しのびない”,而不说“しのばない”,如“あまり気の毒で,見るにしのびなかった”。

### 2. 连用形

○弟は字を書き,妹は本を読んでいる。

○私は手紙を書いている。

五段活用动词的连用形,除サ行动词(如“話す”)之外,都有两种形式,如“書き”和“書い”,后者是前者的音便形式,其他各行五段活用动词都是如此,主要是在后续助动词た、助词て、たり等的时候发生这种音便(具体请参照本节“动词的音便”部分)。

有些动词可以用连用形的重叠来表示进行某项动作的同时又在进行另一项动作。如:

○絵を書き書き(=書きながら),冗談を言っている。

动词“行く”的连用形是“行き(ます)”和“行っ(た、て、たり)”,不能像其他カ行五段活用动词一样变成“行い”。

### 3. 终止形

○鉛筆で書かないで万年筆で書く。

助动词まい接在五段活用动词终止形后面。

### 4. 连体形



○手紙を書くひまがない。

5. 假定形

○毎日書けば，字がうまくなる。

6. 命令形

○早く書け。

动词“蹴る”的命令形通常讲“蹴ろ”(不是“蹴れ”)，这是文语的影响，“蹴る”在文语里是下一段活用动词。

サ行五段活用动词中还有一些由サ变复合动词转来的词，如“略す”、“訳す”等，这些词的原形是“略する”、“訳する”等。

特殊五段活用动词

在ラ行五段活用动词中，“いらっしゃる”、“おっしゃる”、“くださる”、“なさる”的词尾变化和其他词稍有不同，称为特殊五段活用动词。

特殊五段活用动词活用表

基本形	词尾		未然形	连用形	终止形连体形假定形命令形			
	词干							
いらっしゃる	いらっしゃ		ら①	り①	る	る	れ	い
おっしゃる	おっしゃ			い②				
くださる	くださ		る③	っ③				
なさる	なさ							
主要后续词			①ない ②り	①たい ②ます ③た、 て	和普通五段动词相同			

从上表可以知道，这几个词的连用形除了有促音便之外，还有イ音便，专用于后续助动词ますの場合，命令形的词尾是“い”，不是“れ”。

连用形和命令形的用例：

1. 连用形

○あなたもいらっしやりたいのですか。

○先生はなんとおっしやいましたか。

○先生はわたしのためにわざわざ紹介の手紙を書いてくださいました。

○どうなさったのですか。

“いらっしやる”和“た”、“て”连接的时候往往出现约音现象，变成“いらっした”、“いらっして”或“いらした”“いらして”。

○今度いらっしたらごちそうしましょう。

○お暇でしたらぜひいらっしてください。

○では、その時、あなたはどこにいらしたの。

○またいらしてください。

“くださる”、“なさる”和“た”、“て”连接的时候，词干的さ有时讲成す。如：

○御多忙中をわざわざお出でくださって、ありがとうございます。  
す。

○しばらくお休みなすたらいかがですか。

## 2. 命令形

○こちらへいらっしやい。

○がんばってください。

○ごらんなさい。

### (二) 上一段活用动词

动词的活用词尾在五音图的い段音上变化的词叫上一段活用动词。

上一段活用动词有的词干和词尾可以截然分开，如“起きる”的词干是“起(お)”，词尾是“きる”，有的则不可以截然分开，如“みる”，活用时“み”既是词干又是词尾，同样的原因，“起きる”也只能把“起”作为词干，而不能把“起き”作为词干。

上一段活用动词活用表

行	基本形	词尾		未然形	连用形	终止形	连体形	假定形	命令形
		词干							
ア行	居る	○		い	い	いる	いる	いれ	いろよ
カ行	起きる	○	お	き	き	きる	きる	きれ	きろよ
ガ行	過ぎる	○	す	ぎ	ぎ	ぎる	ぎる	ぎれ	ぎろよ
ザ行	恥じる	○	は	じ	じ	じる	じる	じれ	じろよ
タ行	落ちる	○	お	ち	ち	ちる	ちる	ちれ	ちろよ
ナ行	似る	○		に	に	にる	にる	にれ	にろよ
ハ行	干る	○		ひ	ひ	ひる	ひる	ひれ	ひろよ
バ行	伸びる	○	の	び	び	びる	びる	びれ	びろよ
マ行	見る	○		み	み	みる	みる	みれ	みろよ
ラ行	下りる	○	お	り	り	りる	りる	りれ	りろよ

用例和说明

(以动词“起きる”为例)

1. 未然形

○まだ誰も起きない。

2. 连用形

○もう起きたらう。

○新聞を見い見い(=見ながら)いねわりをしている。(見い見いは一种音便现象)

### 3. 终止形

○毎朝五時に起きる。

### 4. 连体形

○起きる時に鐘がなった。

### 5. 假定形

○あの時に起きればよかったんだが。

### 6. 命令形

○早く起きろ(よ)。

命令形有两种,如上面的“起きろ”,主要用于口语,也经常在后  
面再加终助词“よ”,变成“起きろよ”,表示强烈的请求、希望,另  
一种“起きよ”则主要用于书面语。

注意:

①“借りる”、“足りる”、“飽きる”这几个词在日本关西地区常  
讲成“借<sup>か</sup>る”“足<sup>た</sup>る”“飽<sup>あ</sup>く”,按五段活用动词变化。

②サ行上一段活用动词中还包括一些由サ变复合动词转来的  
词,如:“重<sup>お</sup>んじる”、“感<sup>お</sup>じる”,这些词的原形是“重<sup>お</sup>んずる”、“感<sup>お</sup>ず  
る”。此外,“察<sup>さ</sup>する”也可以讲成“察<sup>さ</sup>しる”(サ行上一段活用)。

### (三)下一段活用动词

动词的词尾在五音图的え段音上变化的词叫下一段活用动  
词。下一段活用动词中也有一些词不作词干和词尾的区别,如“ね  
る”等。

下一段活用动词活用表

行	基本形	词尾		未然形	连用形	终止形	连体形	假定形	命令形
		词干							
ア行	考える	かんが	え	え	える	える	えれ	えろ えよ	
カ行	受ける	う	け	け	ける	ける	けれ	けろ けよ	
ガ行	上げる	あ	げ	げ	げる	げる	げれ	げろ げよ	

行	基本形	词尾		未然形	连用形	终止形	连体形	假定形	命令形
		词干							
サ行	寄せる	よ		せ	せ	せる	せる	せれ	せろ せよ
ザ行	混ぜる	ま		ぜ	ぜ	ぜる	ぜる	ぜれ	ぜろ ぜよ
タ行	捨てる	す		て	て	てる	てる	てれ	てろ てよ
ダ行	出る	○		で	で	でる	でる	でれ	でろ でよ
ナ行	寝る	○		ね	ね	ねる	ねる	ねれ	ねろ ねよ
ハ行	経る	○		へ	へ	へる	へる	へれ	へろ へよ
バ行	食べる	た		べ	べ	べる	べる	べれ	べろ べよ
マ行	改める	あらた		め	め	める	める	めれ	めろ めよ
ラ行	流れる	なが		れ	れ	れる	れる	れれ	れろ れよ

### 用例和说明

(以动词“考える”为例)

#### 1. 未然形

○なにも考えない。

#### 2. 连用形

○先生になろうと考えた。

○考え考え(=考えながら)答える。

#### 3. 终止形

○学校時代の生活を考えるとたのしいことばかりだ。

#### 4. 连体形

○人間は考える動物だ。

#### 5. 假定形

○年とった母のことを考えれば帰国しなければなるまい。

#### 6. 命令形

○自分で考えろ(よ)。

命令形的用法和上一段活用动词相同。但动词“くれる”的命令形是“くれ”，一般不用“くれろ”、“くれよ”。

注意：

①“得る”这个词在文语里是下二段活用：え、え、う、うる、うれ、えよ。在现代口语里，由于受文语的影响，它的基本形有“える”和“うる”之分。

○利益を得(え)る。(作独立动词用)

○すこしも得(う)るところがなかった。(同上)

“ありうる(こと)”、“知りうる(限り)”、“実行しうる(計画)”，这种时候的うる一般只用作连体修饰语和用于结句，其他活用形仍然用“え”。如：

○実行しえない計画を立ててもむだだ。

○この問題を解きえた学生はまだひとりもない。

②可能动词如“読める”、“書ける”这些词本来是由五段活用动词未然形后续可能助动词れる经约音而形成的(如“読まれる→読める”)，五段活用动词一般都可以通过这种方法变成可能动词，都按下一段活用变化，但没有命令形。这种下一段活用动词有时也表示动作的自然发生，可以看作是五段活用动词未然形后续自发助动词れる并约音形成的。如：“笑えてしょうがない”、“～思えてならない”。

#### (四)カ行变格活用动词

カ行变格活用动词只有“来る”一个词，词形变化不规则，没有词干和词尾的区别。“来る”的各个活用形都有一个音节在カ行内，所以称为“カ行变格活用动词”，简称“カ变动词”。

力行变格活用动词活用表

基本形	词尾		未然形	连用形	终止形	连体形	假定形	命令形
	词干							
来る	○		こ	き	くる	くる	くれ	こい

用例:

- なかなか来ない。(未然形)
- あすははやく来ます。(连用形)
- 春が来る。(终止形)
- 訪ねて来る人が多い。(连体形)
- 早く来れば間に合ったのに。(假定形)
- 早く来い。(命令形)

(五) サ行变格活用动词

サ行变格活用动词只有“する”一个词，和カ变动词“来る”一样，词形变化不规则，但总在サ行内变化，所以叫“サ行变格活用动词”，简称“サ变动词”。

サ行变格活用动词活用表

基本形	词尾		未然形	连用形	终止形	连体形	假定形	命令形
	词干							
する	○		し せ さ	し	する	する	すれ	しろ せよ

用例和说明

1. 未然形

- そんなことはしない。
  - 勉強もせずに，遊んでばかりいる。
  - 運動をさせるがよい。
  - 注意をされるとすこしはよくなる。
- する<sub>的</sub>未然形本来有两个，し和せ。し后面接助动词ない，ま

い、よう、せ后面接させる、られる。但せさせる、せられる通常约音为させる、される、如“勉強せさせる→勉強させる”、“批判せられる→批判される”，因此，现代语法书上通常把“さ”作为サ变动词的未然形之一。

2. 连用形

○なるべく早くします。

3. 终止形

○よく復習をする。

4. 连体形

○出発をする時の注意。

5. 假定形

○努力をすれば追いつくでしょう。

6. 命令形

○急いで準備をしろ。

○自己批判をせよ。

**サ行变格复合动词**

する可以和大量的动作性名词构成サ变复合动词，也可以和其他词类复合。サ变复合动词有以下几种构成方法。

(1) 旅する 心する 仲直りする ゆききする うきうきする はらはらする (する和日本固有的词汇复合，包括名词、动词的名词形、副词等)

(2) 勉強する 運動する 努力する 発展する 関する 要する 有する 対する (する和汉语词汇的复合)

(3) スケッチする バックする ドライブする キャンプする マッチする アップする ダウンする (する和外来语词汇的复合)

(4) a、略する 訳する 解する 辞する 害する 謝する (する和一个汉字的复合，する不发生读音变化。注意，这些词带有文言语气，它们还可以按サ行五段活用变化，即基本形变成“略



ず”、“訳ず”等。)

b、察する 決する 熟する 発する 接する (する和一个汉字复合,する不发生读音变化,这些汉字的读音特点在于最后一个音节是促音。注意,这些词偶尔也有按サ行上一段活用变化的时候,即他们的基本形变成“察しる”、“接しる”等。)

c、信ずる 感ずる 存ずる 論ずる 禁ずる 講ずる 応ずる 命ずる 銘ずる (这些汉字和する复合后,する变成ずる,这些汉字的读音特点在于最后一个音节是拨音ん或表示长音のう、い,但这不是普遍规律。注意,这些词在口语讲话时通常按ザ行上一段活用变化,即它们的基本形变成“信じる”、“感じる”等。)

(5)重んずる 軽んずる 甘んずる 疎んずる(这些词是形容词词干加接尾词み再发生拨音便与する复合构成的。注意,这些词口语讲话时通常也按ザ行上一段活用变化,即它们的基本形变成“重んじる”、“軽んじる”等。)

(6)先<sup>ま</sup>んずる 語<sup>ご</sup>んずる(这些词是“先に”、“語に”和するの复合。注意,这些词也可以按ザ行上一段活用变化。)

以上のサ变复合动词中,凡是する变成ずる的,在活用时代按下表(以“感ずる”为例)。

基本形	词尾						
	词干	未然形	连用形	终止形	连体形	假定形	命令形
感ずる	かん	じ ぜ	じ	ずる	ずる	ずれ	じろ ぜよ

通常サ变复合动词的未然形有三种,而“～ずる”一类的サ变复合动词的未然形只有“～じ”和“～ぜ”没有“～ざ”,如“感ぜられる”不可以讲成“感ざれる”。

汉语名词能构成サ变复合动词的只限于动作性名词,正因为这样,这些词往往不加する也能起到一个动词的作用,多用于书面

语、报刊标题之类的地方，如：

○五時に<sup>おん</sup>出発 ○登山に失敗 ○大会に優勝 ○議員に当  
選

サ变复合动词的可能表达方式一般不用助动词られる，而是用“～することができる”的形式。由两个以上的汉字构成的汉语词汇，可以直接接动词“できる”。如：

○時間どやりに出発することができるでしょう。

○時間どおりに出発できるしょう。

#### 四 动词的音便

##### (一) 音便的意义

为了发音的方便，单词的某些音节发生读音的变化，这就叫“音便”（音便）。

动词的音便主要指的是五段动词的音便，现代口语里除サ行（如：話す、回す）之外，其他各行的五段活用动词的连用形后续た、て、たり等的时候都必须发生音便，从而五段活用动词的连用形一般都有两种形式。

##### (二) 动词音便的种类

动词的音便有四种：イ音便（イ音便）、拨音便（撥音便）、促音便（促音便）、う音便（う音便）

##### 1. イ音便

カ、ガ行五段活用动词有イ音便，词尾变成い。が行五段活用动词发生音便时，后续的た、て、たり要变成浊音。

カ行 書き（た、て、たり）→書い（た、て、たり）

ガ行 泳ぎ（た、て、たり）→泳い（た、で、だり）

注意：カ行中的“行く”的音便形是“行っ（た、て、たり）”，是促音便，不是イ音便，“行く”本来有“ゆく”、“いく”两种读法，这时候必须读“いっ（た、て、たり）”

##### 2. 拨音便

ナ、バ、マ行五段活用动词有拨音便，词尾变成拨音（ん），后续

的た、て、たり要变成浊音。

ナ行 死に(た、て、たり)→死ん(だ、で、だり)

バ行 遊び(た、て、たり)→遊ん(だ、で、だり)

マ行 読み(た、て、たり)→読ん(だ、で、だり)

### 3. 促音便

タ、ラ、ワア行五段活用动词有促音便，词尾变成促音(っ)。

タ行 立ち(た、て、たり)→立っ(た、て、たり)

ラ行 取り(た、て、たり)→取っ(た、て、たり)

ワア行 買い(た、て、たり)→買っ(た、て、たり)

### 4. う音便

只有ワア行五段活用动词才有ウ音便，词尾变成う。这种音便形式书面语里时有出现，口语讲话时只有日本关西地区经常使用。如：

習ならい(た、て、たり)→習ならう(た、て、たり)

買かい(た、て、たり)→買かう(た、て、たり)

言いい(た、て、たり)→言いう(た、て、たり)

歌うたい(た、て、たり)→歌うたう(た、て、たり)

沿まい(た、て、たり)→沿まう(た、て、たり)

貰もらい(た、て、たり)→貰もらう(た、て、たり)

注意：う音便时，う前面的一个音节如果是ア段音，要读成お音段，如上面所注的振假名。

动词“問とう”、“乞こう”实际上只用う音便，而不用促音便。“治ちう”、“厭いとう”也常用う音便。

## 五 自动词和他动词

### (一) 自动词和他动词的意义

动词本身能完整地表示主语的某种动作的词叫自动词(自動詞)；动词需要有一个宾语才能完整地表现主语的動作或作用的词叫他动词(他動詞)。

○風が吹く。(自动词)

○弟が笛を吹く。(他动词)

(二) 自动词与他动词的分类与比较。

1. 只有自动词而没有相对应的他动词的。如：

居る ある 咲く 行く 来る 衰える 寝る 泣く  
ねむる 老いる

2. 只有他动词而没有相对应的自动词的。如：

買う 売る 話す 聞く 読む 書く 見る 打つ 思う  
考える

3. 既是自动词又是他动词的。如：

吹く 開く 笑う 増す 閉じる 寄せる等

	自动词	他动词
吹く	風が吹く	笛を吹く
開く	門が開く	門を開く
笑う	人が笑う	人を笑う
増す	水量が増す	水量を増す
閉じる	門が閉じる	門を閉じる
寄せる	波が寄せる	船を寄せる

4. 自动词和他动词的词干或词源相同的词。

这个方面的词主要是指那些自动词与他动词相对应的词，其中有各种对应情形，一般都是按动词的活用种类的对应来进行归纳，这种归纳方法有助于识别某些动词究竟属于自动词还是他动词，但并不是绝对规律。

① 下一段活用的词大多数是他动词，其相对应的词是自动词。

如：

自动词 他动词      自动词 他动词      自动词 他动词

すすむ	すすめる	あつまる	あつめる	立つ	立てる
ならぶ	ならべる	いたむ	いためる	傾く	傾ける
やむ	やめる	のる	のせる	変わる	変える
続く	続ける	向く	向ける	届く	届ける

②サ行五段活用动词大都是他动词,其相对应的词是自动词。

如:

自动词	他动词	自动词	他动词	自动词	他动词
倒れる	倒す	潰れる	潰す	伸びる	伸ばす
直る	直す	残る	残す	乱れる	乱す
燃える	燃やす	おちる	おとす	たれる	たらす
起きる	起こす	回る	回す	こぼれる	こぼす
でる	出す	隠れる	隠す	現れる	現わす

5. 五段活用动词与可能助动词连接并约音而成的可能动词都是自动词,如:書かれる→書ける、読まれる→読める、話される→話せる、行かれる→行ける。但原来的五段活用动词如果是他动词的话,构成可能动词后仍有可能作为他动词使用。例如“私は日本語が話せる”也可以讲成“私は日本語を話せる”。

6. 下面一些表示使役意义的サ行五段活用动词都是他动词。

動かす(—動かせる)

輝かす(—輝かせる)

働かす(—働かせる)

聞かす(—聞かせる)

吞ます(—吞ませる)

注意:

他动词的宾语一般都用助词“を”附加在后表示,但是带“を”的调不一定是他动词的宾语,表示移动或经过的自动词所涉及的空间、场所等也通常附加助词“を”,如“空を飛ぶ”、“家を出る”等(详细请参照第七章第二节)。

(三)なる和するの用法

1. なる

なる是一个自动词,但一般不能完整地表达某项动作或作用,所以常称之为不完全动词。用法如下。

○ことはみかんがたくさんなった。(专用于表示结出果实。)

○この本は三十枚の図とその説明の文章から成っている。(表示“形成”、“组成”的意思。)

○この子は学者になりたいと言いました。(表示事物的转变,即“……成为……”的意思。)

○氷がとけて水になる。(同上)

○生活がよくなる。(接形容词、副词后面表示状态转变。)

○日本語が上手になりました。(同上)

○頭がふらふらになる。(同上)

○悪いことをしてはならない。(用“……てはならない”表示“不允许”、“不许”)

○早く行かなければならない。(用“……なければならない”表示“不能不”、“必须”)

○笑えてならない。(用“……てならない”表示“不能克制”)

○お休みになりました。(在这里是补助动词,以“お(ご)……になる”的形式构成敬语表达方式)

## 2. する

する有时作他动词用,有时作自动词用,用法和意义很多(サ变复合动词不在此讨论)。

### ①作他动词用

○仕事をする。(表示做某一件事)

○ぼくの父は大学の先生をしている。(表示从事某项工作和担任某项职务。)

○あなたのくつはいくらしましたか。(表示“值多少”)

○こん度の御注文はどれにしますか。(表示选择)

○彼は大きな目をしている。(表示具有某种“形”、“色”、“性”)

質”)

○マンガーはどんな色をしていますか。(同上)

○奴らは知っているのに、なにも知らないふりをしている。

(同上)

○丈夫な体をしている。(同上)

○生活をよくする。(接在形容词、形容词动词后面，表示改变为某种状态。)

○生活をゆたかにする。(同上)

②作自动词用

○人の話し声がしましたよ。(表示察觉、感觉到某种情形，此外如：音がする、寒気がする、匂いがする、めまいがする、気がする，等等。)

○あと五年したら，この子も大学生になるんだね。(表示时间的推移。)

③用する构成一些惯用语和惯用句型

○あの人を会長にしよう。(以“…を…にする”的形式表示“使……充当”、“使……变成”的意思)

○駅の待合室のいすをベッドにしてねむった。(同上)

○人を馬鹿にする ○～を大事にする ○～を気にする

○～をぬきにする ○～を肩にする ○～を手にする

○～を目にする ○～を耳にする ○～を口にする

○～を胸にする ○～を楽しみにする ○～を口実にする

○～を看板にする ○～をよそにする ○～をあとにする

○～を前にする(以上是以“……を……にする”的形式构成的惯用语。)

○この作文は子どもが書いたにしては，よくできている。(以“……にしては”的形式表示“作为……来说的话”的意思)

○いそがしかったにしても，電話をかけるくらいの時間はあつたろう。(以“……にしても”的形式表示“即使……也……”

的意思)

○英語にしろ, フランス語にしろ, 語学は若い時にならうほうがいい。(以“……にしろ(せよ)、……にしろ(せよ)”的形式表示“无论……、无论……”的意思)

○この仕事は私がやることにして, あなたにはほかの仕事をたのむことにします。(以“……ことにする”的形式表示某种决定。)

○節約をむねとして革命をおこなう。(以“……を……とする”的形式表示“以……为……”的意思。)

○でかけようとしているところへ, お客さんが来ました。(以“……う(よう)とする”的形式表示某种意志。)

○あの時にすぐでかけたとしても, やっぱり遅れたでしょう。(以“……としても”的形式表示“即使……也……”的意思。)

○あの時に始めていたとすると, いまごろはもうおわっているでしょう。(以“……とすると(としたり、とすれば)”的形式表示显然与实际情形不相符的假定。)

○そんなことはありはしない。(する在这里是补助动词。动词后面加助词は、も、さえ等再加しない, 起强调否定的作用。)

○簡単に御説明します。(する在这里是补助动词, 以“お(ご)……する”的形式构成敬语表达方式。)

## 六 敬语动词

日语的敬语表达方式很复杂, 敬语词汇很多, 这里仅介绍敬语动词, 在第九章“敬语法”里将对敬语表达方式作一些归纳。

### (一) 敬语动词的意义

动词本身带有表示敬意的意义的词叫敬语动词(敬語動詞<sup>けいごどうし</sup>)。(与敬语动词相对应地称呼其他动词的时候, 一般没有必要规定某种称谓, 这里拟称为“一般动词”)。

### (二) 敬语动词的种类

敬语动词象其他敬语词汇一样按意义分为三种: 尊敬的动词、



谦让的动词、郑重的动词。

对他人的动作、行为表示尊敬的动词叫尊敬的动词(尊敬の動詞)

以谦虚的态度叙述自己(或自己一方)的动作、行为的动词叫谦让的动词(謙讓の動詞)

表示客气、礼貌、郑重的意义的动词叫郑重的动词(丁寧の動詞)。

一般动词和敬语动词对照表

一般动词 非敬语动词	尊敬的动词	谦让的动词	郑重的动词
する	なさる (あそばす)	致す 仕る(つかまつる)	致す
ある			ござる
言う	おっしゃる	申す、申し上げる	申す
居る	いらっしゃる おいでる		おる
来る	いらっしゃる 見える(「来る」的敬语)	伺う 上がる 参る	参る
行く	おいでる		
見る	(ご覧じる) (ご覧になる)	拝見する	
借りる		拝借する	
思う	思召す		
知る	(知る无此用法)	存ずる 存じる	
考える			
聞く		伺う、承る	
尋ねる		伺う	
やる		さしあげる あげる	
くれる	下さる		
もらう		頂く、頂戴する	
食う食べる	召上あがる 上がる	頂く	頂く・食べる 頂く
飲む	召す		

用例:

1. 尊敬的动词

- お母さま、ご心配をなさらないように。
- 学長先生がそういうふうにおっしゃったのですか。
- 展覧会へおいでになりましたか。
- お客様が見えました。
- 今日の新聞はご覧になりましたか。
- これはどなたが下さったのですか。
- ごはんを(召し)あがりますか。
- 今日は洋服を召しますか。
- お母様がお召しでございます。

## 2. 谦让的动词

- どういたしましょうか。
- ご案内を仕りましょう。
- 私は王と申します。
- ちょっと申しあげたいことがあります。
- 明後日かならず伺います。
- わたしがまいります。
- ただいまお手紙を拝見しました。
- 電話をちょっと拝借します。
- いつから始まるか、よく存じません。
- あなたにさしあげたいものがあります。
- お腹が一杯、もういただけません。
- この本を頂戴いたしてもよろしいですか。
- かねがねご高名を承っております。

## 3. 郑重的动词

- 天気のことですから、どうも致し方がございません。
- この書物はどの本屋にもございません。
- 電報がまいりました。
- この機械はなんと申しますか。

### (三)一般动词构成敬语表达方式

一般动词通过与接头词、助动词、补助动词的结合，也可以构成敬语表达方式；下面仍从尊敬、谦让、郑重的三个方面作介绍。

1. 一般动词构成尊敬的表达方式

①后续尊敬自动词れる、られる，这种表达方式使用较多。

○あの方は長い間，外国語の先生をしておられた方です。

○こんど文化関係の視察団が来られたら，僕が御案内しよう。

②お+动词连用形+なさる

ご+サ变动词词干+なさる

○もうお使いなさいませんか。

○あなたはなにを御勉強なさいますか。

有时不用接头词お、ご。なさる的命令形なさい是常用的命令表达方式。

○あなたはいつもそう言いなさるけれども，タバコはやはり体によくありません。

○何を研究なさいますか。

○次の文章を訳しなさい。

○手をあげなさい。

③お+动词连用形+になる

ご+サ变动词词干+になる

○先生はいつお帰りになりますか。

○私の手紙をご覧になりましたか。

这种表达方式没有命令形。

④お+动词连用形+です(だ)

ご+サ变动词词干+です(だ)

○もうお休みだそうですから，お邪魔しては悪いでしょう。

○もしもし，お父さんはご在宅ですか。

⑤お+动词连用形+下さる

ご+サ变动词词干+下さる

○ちょっとお待ちくださいませんか。

○いろいろご説明くださいました。

这是一种请求的表达方式，“くださる”的命令形“ください”也是通常使用的一种表达方式，比“～なさい”更加客气一些。

○はやくお帰りください。

○ふみきりをわたる時は汽車にご注意ください。

此外，“动词连用形+てくださる(ください)”也是常用的敬语表达方式，くださる是补助动词。

○すみませんが、それを見せてくださいませんか。

○知らない人は手をあげてください。

## 2. 一般动词构成谦让的表达方式

①お+动词连用形+する(致す、申しあげる)

ご+サ变动词词干+する(致す、申しあげる)

○それではお願いします(致します、申しあげます)。

○旅行の日程がきまりしだい、お知せします(致します、申しあげます)

○ご説明します(致します、申しあげます)。

这是一种很常用的谦让的表达方式。サ变动词有时候可以不带前面的ご。

この間拝借しました本をお返しいたします。

“お(ご)……する”的表达方式一般是用于与受尊敬的人有直接关系的自我的行动，如果仅属于自己的行为，也就是说，如果这种行为并不是对于他人有所关系的场合，则不能用这种表达方式。下面两个句子都是不对的。

×私は十二時にご飯をお食べします。それからお休みします。

×私は朝ご飯を食べる前にお茶をお飲みします。それから日本語をご勉強します。

②お+动词连用形+いただく(或ねがう)

ご+サ变动词词干+いただく(或ねがう)

○お伝えいただきます(ねがいます)

○ご案内いただきます(ねがいます)

这是一种很客气的请求，一般都可以改用“～ていただく”的形式。

○教えていただきましょう。

○説明していただきます。

3. 动词连用形加ます构成郑重的表达方式

○あなたはいつ帰りますか。

○あなたは会議に参加しますか。

4. 郑重动词ござる的用法

ござる是一个敬语动词，现代口语里一般以ございます的形式出现，作补助动词用的时候也很多。

○田中さんのオーバーはとなりのへやにございます。

○私は大武でございます。

○ありがとうございます。(接形容词连用形后面)

○おはようございます。(同上)

## 七 补助动词

(一) 补助动词的意义

在句子里失去其本来意义和独立性，主要对其他动词(也包括动词以外的词类)作意义上的补助作用的动词叫补助动词(補助動詞)如：

	动 词	补助动词
ある	村に学校が <u>ある</u> 。	これは学校で <u>ある</u> 。
来る	僕は午後六時に <u>来る</u> 。	お天気がよくなって <u>きた</u> 。
頂く	先生から本を <u>頂いた</u> 。	先生においで <u>いただいた</u> 。
する	毎朝朗読を <u>します</u> 。	誰もこの本を <u>読みはしない</u> 。
出す	ポケットからタバコを <u>出す</u>	急に雨が <u>降りだした</u> 。

补助动词有两类：一类是构成句中的补助文节，如上表中的“ある”、“くる”、“いただく”、“する”，这类词仍然是作为一个动词在句中使用的；另一类是构成复合动词，如“降りだし(す)”的“だす”，这样的补助动词实际上已经不能作为一个单词看待，仅仅是复合动词中的一个词素而已，作用近似于助动词，其区别在于“～だす”一类的补助动词本来是可以作为一个独立词使用的，构成复合动词之后，则成为单词中的一部分，相反，助动词并不与其前面的单词构成一个复合词，也就是说，助动词是单词，而不是词素。此外，“～だす”之类的补助动词与接尾词也值得区别，两者均是单词中的一部分，但“だす”是由单词转化的词素，接尾词则不能作为词素看待。

补助动词一般不用汉字书写。

## (二) 补助动词的种类

### 1. ある、ござる

接在形容词连用形“～く”、形容动词连用形“～で”、断定助动词だ的连用形“で”的后面。

○この二、三日はあまり寒くありません。

○海は穏やかで(は)ありません。

○こちらは山田先生でございます。

2. くださる、なさる、たもう、する、いたす、申す、申しあげる、あそばす、いただく、ねがう、(に)なる等。

接在动词连用形下面表示敬意(大部分可以接在サ变动词词干后面。)

○気がついたところをご指摘ください。

○はやくお読みなさい。

○これを書いてくれたまえ。(“たもう”在口语里通常只有“动词连用形+たまえ”的用法，也不带有敬意，是接近于动词命令形的语气的命令表达方式。)

○私がお案内します(致します、申します、申しあげます)。

○あすの開会式には首相もおいでになる予定です(おいであそばす……, おいであそばされる……, 这两种形式不常用。)

○ご案内いただけませんか(願えませんか)。

### 3. する

接在动词(以及后续助动词的情况)连用形加助词は(も)的后面。

○あんなつまらぬ本は, 誰も読みはしまい。

○だまされもしないし, おどかされもしない。

4. ある, いる, おる, くる, いく(ゆく), みる, みせる, おく, しまう, やる, あげる, くれる, もらう等。

接在动词(以及后续助动词的情况)连用形加助词て的后面。

○庭に松の木が植えてある。

○庭で松の木を植えている。

○ここであなたを待っております。

○雨がぼつぼつ降ってくる。

○小川の水がさらさら流れていく(ゆく)。

○それではやってみようか。

○こんどこそ勝つてみせる。

○きみのことは一応考えておく。

○彼はとっくに外へ出てしまった。

○今見せてやる。

○御希望でしたらなんでも説明してあげます。

○いろいろと説明してくれた。

○友だちにたのんで日本から送ってもらう。

以上一类补助动词有很多可以改成敬语表达方式, (参照“六敬语动词”里的“一般动词和敬语动词对照表”)。如:

(て)いる, くる, いく(ゆく)→(て)いらっしやる

(て)いく, くる→(て)まいる

(て)くれる→(て)くださる

(て)やる→(て)あげる→(て)さしあげる

(て)もらう→(て)いただく、頂戴する

(て)みる→(て)ごらん、ごらんなさい

### 5. 构成复合动词的补助动词

接在其他动词(或别的词类)后面构成复合动词、其本来意义变得十分淡薄或完全消失的动词也是补助动词。

构成复合动词的补助动词有的只起强意作用,如“山がそびえたつ”的“たつ”,但更多的是起添意作用。如:

○雨が降りだす。(だす表示“开始……起来”的意思)

另外,变成补助动词的动词往往并不仅限于添加一种意思,如“動きだす”表示“开始转动”,而“思いだす”则表示“想起来”、“想出来”的意思。

常用的构成复合动词的补助动词如下(只列出词例,不考虑有几种添意作用):

(言い)立てる	(湧き)たつ	(叱り)つける
(結び)つく	(叱り)とばす	(滑り)込む
(攻め)かかる	(書き)かける	(泣き)だす
(書き)あげる	(出来)あがる	(疲れ)きる
(売り)きれる	(やり)ぬく	(通り)ぬける
(助け)あう	(考え)あわせる	(どなり)ちらす
(読み)なおす	(聞き)おとす	(攻め)おとす
(見)まわす	(働き)すぎる	(言い)かねる

### ★动词いう的用法

当いう接在と(助词)的后面,失去其原来的动词的意义,或其意义变得十分淡薄,在句子里仅起到综合上文修饰下文的作用时,则不能和具有实质意义的动词いう同等看待,因此有的书和辞典里又把这种いう称为形式动词。如:



有实质意义	无实质意义
先生の <u>言う</u> ことをよくききなさい。	先生と <u>いう</u> 呼び方はいやだ。
山田さんも行くと言 <u>った</u> 。	困難と <u>いう</u> ものは恐るべきではない。

从上面例句中可以看出，右边两个句子里的いう已经不具备动词的实质意义。但是这种时候的いう和前面讲到的补助动词似乎又有所不同，补助动词除构成复合词的之外，大都构成某个句子成分里的补助文节，但这里的いう却很难这样理解，从其在句子中的地位来看和一般动词没有什么区别。其实，象这一类的动词另外还有，如：

○寝ようとしたら，またお客さんが来た。

○寝ようと思ったらまたお客さんが来た。

按这种方法推论下去，将涉及很多动词，所以还是不把这种用法的いう、する等词作为补助动词(或形式动词)看待为好。

此外，いう还组成一些惯用型和惯用语，也属于这种性质。如：

○一九四二年の水害によって数百万という難民が出た。(强调数目之多)

○真冬なので，山という山は真白な雪におおわれている。(表示“一切”、“所有”的意思。)

こういう、そういう、ああいう、どういう等，是副词和いう结合，构成相当于连体词性质的词组。

というのは、というわけで，可以作接续词用。

【参考】 ている、である、ておく的用法

ている、である、ておく接在动词连用形后面，都构成一种“体”(アスペクト)的表达方式(关于“体”的概念请参照第六章第

八节“过去、完了助动词”一节)。它们的用法和意义有某些相似之处，下面逐个列出它们的用法。

(一) ている

ている表示动作的继续或结果(动作结果或事物变化结果)的留存。基本用法如下：

1. 动作的继续。

○彼は本を読んでいる。

○大雨が降っている。

这种用法与てある、ておく没有相似之处。

2. 结果的留存(动作的结果或事物变化的结果)。

○彼はたくさんの本を書いている。

○彼は北京に行っている。

○猫があそこに死んでいる。

○電燈がついている。

○高い山がそびえている。

最后一个例句又可以说是“状态的持续”，因为“山がそびえて”显然不是指动作的结果或事物变化的结果。当然，前面几个例句也含有“状态的持续”的意义。

(二) てある

てある的基本意义是动作结果的留存，所以和ている的第二种用法(动作结果的留存)有些相似，但在句子的结构以及意义上都与ている有所不同。

1. 表示动作结果的留存，主语是动作所涉及的对象，即他动词的宾语。这种用法显然和ている不同，てある是对动作对象而言，ている是对动作施行者而言；而且てある必须接在他动词后面，ている则不受限制。

○窓があけてある。

○へやにはかぎがかけてあるから、だいじょうぶだ。

○知らせが黒板に書いてある。

○お菓子が買ってありますから、めしあがっていらっしやい。

2. 表示预先已作好的准备或允许、放任的状态。一般接在他动词后面，偶尔也有接在自动词后面的时候，这种用法和 ている一样，主语是动作的施行者，不同的是 てある 一般接在他动词后面，而且强调某种准备状态或有意识地采取的允许、放任的行为。

○窓をあけてある。(预先作好的准备)

○今すぐ行くと電話で言っているから待っているだろう。

(同上)

○十分休んであるから、徹夜しても大丈夫だ。(同上)

○子供たちを広場に集まらせてある。(同上)

○いつまでも花を咲かせてある。(预先作好的准备或放任的状态)。

○その仕事は王さんにまかせてある。(同上)

○部屋の中はそのままにしてある。(同上)

前面例句中的“集まらせてある”、“咲かせてある”虽然没有用他动词，但自动词加使役助动词仍然起到了一个他动词的作用，只有“休んである”的“休む”是自动词。てある接在自动词后面的用法不常见。

3. 表示客观的描写，主语一般是动作涉及的对象，接在他动词被动态后面。可以用 ている 替换，但 てある 似乎更强调某项事物的客观存在的概念。

○コンピューターがそなえられてある。

○壁に山水の額がかけられてある。

○手紙には……ということが書きつけられてある。

(三)ておく

ておく表示作准备或放任的意思。与 てある 的第二个用法意义相似，但 ておく 并不意味着结果的留存，ておく 和前面的动词结

合在一起表示某项行动,而不是某种结果,所以おく可以表示意志,如“……ておこう”,表示命令,如“……ておきなさい”,而である则不可以有“……てあるう”、“……てありなさい”的用法,因为である只表示动作结果的留存或某种状态。

○これは記念に残しておいてください。

○電灯は消さないで、朝までつけておこう。

○いまのうちに眠っておこう。

○先に電話をかけておいて伺った方がいいでしょう。

○必要な金はふだんから積みたてておいた。

### 【参考】 表示授受关系的动词和补助动词

表示授受关系可以使用动词和补助动词。一般说来,使用动词时较多的是指物件的授受,使用补助动词时指行为的授受。

#### (一)表示授受的动词

##### 1. やる あげる さしあげる

表示“我(们)给予人家”,或“人家给予人家”,主语是“给予”的人,而不是接受的人。やる用于上对下的关系,あげる用于平等关系,さしあげる用来向他人表示尊敬。

○私は弟に本をやった。

○お好きならあなたにあげましょう。

○これを記念として先生にさしあげましょう。

##### 2. くれる くださる

表示“人家给予我(们)或自己一方”,主语是“给予”的人。くれる用于一般性场合,くださる是敬语。

○このバッジは友達がくれたのです。

○この花瓶は誰がくれたのですか。

○これは先生がくださったのです。

##### 3. もらう いただく 頂戴する

表示“我(们)从别人那里得到了什么”,也可以表示“我(们)向

别人索取什么”。もらう用于一般性场合，いただく、頂戴する是敬语。

○これは李さんからもらった本です。

○ふろがこわれたので、となりの家でふろをもらった。

○この写真は先生からいただいたものです。(頂戴したものです。)

○沢山いただきました。

(二)表示授受的补助动词

上述三组授受动词又可以接在动词连用形加助词“て”的后面作补助动词用，主要表示动作行为的授受关系。

○看護婦さんが患者のためにベッドをかたずけてやった。

○この前貸してあげた本をいまだに返してくれない。

○薬は私が病院からもらってきてさしあげます。

○ちょっと手をかしてくれ。

○ちょっと見せてくださいませんか。

○ママに靴を買ってもらいました。

○先生に作文を添削していただきました。

○魚屋さん、あしたもまた来てちょうだいね。(“頂戴する”通常以“ちょうだい”的形式用于句末。)

敬语补助动词くださる、いただく(頂戴する)可以接在动词连用形或サ变动词词干后面，如：

○ちょっとお待ちくださいませんか。

○おひまがあればご案内いただきます。

这种用法请参照“敬语动词”里有关“一般动词构成敬语表达方式”的部分。

## 八 动词的构成

动词除了单纯词(如：流れる、降る、サボる)之外，还有以下一些构成方法。

(一)由两个以上的单词构成的复合动词

### 1. 动词和动词复合构成的动词

取りあげる 受け取る 聞き入れる (这一类是两个有独立概念的动词的复合) 言いたてる 降り出す 言いかねる 学びあう (这一类为动词和补助动词的复合)

### 2. 名词和动词复合构成的动词

ころえる ころごす 名付ける 運動する テストする

### 3. 形容词(词干)和动词复合构成的动词

近よる 遠まわりする ふとすぎる 長びく

### 4. 其他

なにする にこにこする はっきりする。

## (二) 附有接头词和接尾词的动词

### 1. 附有接头词的动词

うち語らう 取り決める 引き続く 立ち遅れる (这一类动词与复合动词有些相似。但这一类接头词虽然形式上与动词连用形无异,实际并不具备动词的意义,只是起到强调语气的作用,所以应该作为接头词看待。)

### 2. 附有接尾词的动词

春めく 学者ぶる 田舎びる 面白がる 残念がる 強まる  
深める 欲ばる 際立つ 汗ばむ 涙ぐむ

### 3. 其他(既是复合词同时又附有动词型接尾词)

年寄りじみる 気遣いじみる 赤茶ける

## 九 动词的转用

动词的转用按活用形归纳比较方便,主要是连用形和终止形的转用。

### (一) 连用形的转用

#### 1. 直接转为其他词类

流れ 話し 読み書き おいたち(以上名词) つまり あまり  
(以上副词,つまり还可以作接续词用)

#### 2. 连用形重叠转为其他词类

繰り返し繰り返し かさねがさね かわりがわり(以上副詞)

### 3. 连用形和其他词类复合转化为其他词类

ひとり暮らし のみぐすり 長生き むだづかい(以上名詞)  
却って 極めて 決して しきりに(以上副詞) よって したがって(以上接续詞) 見にくい やりやすい 住みよい(以上形容詞)

### 4. 连用形附加接尾词构成其他词类

働きぶり やり方 怒りっぼい ありがち(だ) 掃りがてら  
働き盛り 勤めさき 間違いだらけ

### (二) 终止形的转用

#### 1. 终止形以叠语形式构成其他词类(主要是副词)

みるみる おそろおそろ かわるがわる かえすがえす

#### 2. 终止形和其他词类复合构成其他词类

すると ふるまう

### (三) 其他(划线的部分是动词)

早呑み込み 蚊取り線香 心ありげ(だ) 意味ありげ(だ)  
ものたりない ものたらない もの知らず 要するに とい  
うのは とはいうものの なぜかという と 親泣かせ 食わ  
ずぎらい 行く先

## 練習問題十

一、次の——線部の動詞を言い切りの形(終止形)にし、  
( )の中に書きなさい。

1. 五郎君は沖に向かって大声で叫んだ。( )
2. 幼い犬が、家の軒下に捨てられていた。( )
3. 春の日ざしが柔らかに照っている。( )
4. 若草が芽を出した土手を登る。( )

5. 遠くの山山は、かすみにつつまれている。( )
6. 小川の水がぬるみ、めだかが元気に泳いでいる。( )
7. いろいろな場合を想像して、胸が痛くなるほど心配した。( )
8. 今日は君は来ないと思った。( )
9. だいたいの意味がわかればよい。( )

二、次の動詞の活用の種類を、例にならって示しなさい。

例 読む(五段) 見る(上一) 寝る(下一)

- 用いる( ) 陥る( ) いじる( ) しくじる( )  
 交じる( ) かじる( ) 恥じる( ) 知る( )  
 ののしる( ) 過ぎる( ) 握る( ) みなぎる( )  
 ちぎる( ) い(居)る( ) 要る( ) 着る( ) 切る  
 ( ) 散る( ) 満ちる( ) あずける( ) あざける  
 ( ) かげ(陰)る( ) 掲げる( ) 帰る( ) 変え  
 る( ) ひるがえ(翻)る( ) 滅びる( ) 経る( )  
 湿る( ) 占める( ) ふけ(耽)る( ) 更ける( )  
 述べる( ) しゃべる( ) 滑る( ) 食べる( )  
 蹴る( ) 練る( )

三、次の語は自動詞なら、その下に——線を引きなさい。

つたわる くだける あらわす あたためる なおる  
 おどろく つよめる そなわる つかまる はなれる やぶれる  
 たおれる 泣き立てる 降りだす 考え込む 疲れきる 売り  
 きれる やりぬく

四、次の日本語を中国語に訳しなさい。

1. あの木になっているものは何ですか。
2. 中学校のときに勉強したのがたいへんためになっている。
3. もう勘弁ならない。
4. 五時になると子供が学校から帰って来ます。



5. ご相談になりましたか。
6. お金があるから、土地を売ってお金にしよう。
7. 私はハムレットをするから、あなたはオフィリアになってください。

○あの方はあと二十分ぐらいすれば来ると思います。

○レストランの前を通ると、いい匂いがする。

○この二、三日は、冬にしては、あたたかすぎる。

○ $x+y=14$  の場合、 $x=10$  とすると、 $y=4$  となる。

五、次の文中の敬語動詞に——線を引きなさい。

1. うちの父が、きょうお宅へ伺うそうです。
2. 今日の午後はいらっしゃいますか。
3. 毎日曜日にテニスをなさるそうです。
4. サラダをめしあがりますか。
5. 明日、午前中に会社のほうへあがります。
6. 粗品ですが、おおさめください。

六、次の文中の——線の語を敬語になおしなさい。

1. 先生、ぼくはこのご恩を決して忘れません。
2. 今日は僕の誕生日だから、先生に来るように言う。
3. 小林先生、おたし、職員室で待っている。
4. 神様がつねにあなたをたすけてくれた。

七、次の各文は、表現が適切でなかったり、文として正しくなかったりするものである。各文を一カ所だけなおして、正しい表現にしなさい。

1. この品ならば、きつとご満足していただけると思います。
2. 先生はいつご帰国されますか。
3. 昨日は学校をお休みしました。
4. もうすこし奥へお詰めしてください。
5. お乗りの方は降りる人がすむまで入口を広くあけてお

待ちください。

6. ぜひ一度拝見していただきたいと思います。
7. あなたがくわわっていただいて助かりました。
8. 黄色いしみがおつきになっていますね。
9. どうぞ、ご意見をおっしゃっていただきます。

八、次の文の中の補助動詞をさがし、その下に——線を引きなさい。

1. いつも家の前にいて吠えていた犬が、きょうはひっそりしている。

2. 山間の雪も溶けてきたのに、ここはまだ寒いと田舎から来たおじいさんが言った。

3. 見ただけではものたりないから、記事に書きとめてみた。

4. 先生がくださった本を私に見せてくださいと大武君が言った。

5. 店がしまってしまうと困る。

6. たとえば、私が皆さんに写真屋を紹介しようとするときにこの写真店なら皆さんに紹介しても悪くないだろうなと考える。こうした場合、「この写真屋がうまいんですが、一度かれの所へ行って写真をとってもらってやってくださいませんか。」こう言います。

九、次の中国語を日本語に訳しなさい。

1. 你不懂的话,我来教你。
2. 这种时候,给多少小费好呢?
3. 您的药我去医院取来给您。
4. 这么值钱的东西不能白白收下。
5. 先生特意为我写了一封介绍信。
6. 有空请您来玩。
7. “您能告诉我上车站去的路吗?”“我不是这附近的人,所以

我也不知道,那边有个小孩在玩,我想他会详细地告诉您的。”

8. 请允许我简单地介绍一下我们学校的情况。

十、次の文中の動詞を見つけ、その下に——線を引きなさい。

1. 日本は、暴風、集中豪雨、高潮、豪雲など異常な気象条件が発生しやすく、特に最近の風水害では、毎年きまって集中豪雨による山崩れ、がけ崩れによる災害がめだっている。

2. 現代は観光ブームで、その季節になると、どこもかしこも押すな押すなである。襟に手拭をさげたり、胸に徽章をつけたりして右往左住する。珍しい物を見たり、土地の珍味に舌鼓をうったり、車内や宿や風呂場ではてしないおしゃべりに耽ったり、しばし命の洗濯ができるわけで、大変結構な話である。

### 第三节 形 容 词

#### 一 形容词的性质

说明事物的性质、状态,基本形以“い”结尾的活用词叫形容词(形容词)。如:

よい <sup>た</sup>高い <sup>うつく</sup>美しい <sup>嬉</sup>嬉しい

形容词属于用言,是有活用的独立词,可以单独构成谓语,也可以单独构成连体修饰语和连用修饰语。

限定形容词的基本形的最后一个音节是“い”,是为了区别于具有同样性质的以“だ”结尾的形容动词,同时也区别于某些表示状态的动词(见第二节)。

#### 二 形容词的活用形及用法

现代口语形容词只有五种活用形,没有命令形,各种活用形的基本用法如下(以“高い”、“嬉しい”为例)。

基本形	词尾		未然形	连用形	终止形	连体形	假定形	命令形
	词干							
高い	いた	か	かる①	く ①	い	い	けれ	〇
嬉しい	うれ	し	から②	かつ②				
各活用形 基本用法			①后续 助动词 う。 ②后续 助动词 ぬ。	①1. 连接用言 (作连用修饰 语或连接补 形容词ない) 2. 用于中顿 3. 后续助词 て、は、も、 さえ。 ②后续助词 た、助词た り。	1. 用于结句 2. 后续助词 词そうだ(传 闻)、だ(だ ろ、なら)、 です、らし い。 3. 后续助词 けれど(も)、 が、から、し ながら、か、 な(あ)、ぞ、 よ、さ、とも 等。	1. 作连体 修饰语。 2. 后续助 动词よ うだ。 3. 后续助 词ので、の に、ばかり、 ぐらい、ほ ど等。	后续 助词 ば。	

注意：用汉字书写形容词时，一般都以词尾“い”作为送假名，但以“しい”结尾的形容词，要以“しい”作为送假名写出来，如“美しい”。此外，还有一些书写方法是为了防止读错的，如“大きい”、“細かい”。

### 用例和说明

#### (一) 未然形

○今日も話しが長かろう。(后续助动词)

○暑からず寒からずちょうどいい気候になりました。(同上)

形容词未然形有两种形式，但实际上都不大用。“……かろ”的形式，虽然是规范的口语形容词的活用形，但通常情况下都是用终止形加だろ来代替，譬如“長かろ(う)”一般讲成“長いだろ”。

(5)。“……から”的形式是文语的残余,因此有很多书里不承认这个活用形是口语形容词所有的,但口语里像“暑からず寒からず”这种用法也是比较常见的,即后续助动词“ぬ”的连用形“ず”。

## (二) 连用形

### ①“……く”的用法

○遠くまわってきた。(作连用修饰语)

○風がだんだん強くなってきた。(同上)

○ものすごく早かったね。(同上)

○このごろはあまり寒くない。(连接补助形容词ない,构成形容词的否定形式。)

○そんなに寒くはない。(这种用法仍然是形容词的否定形式,但ない前面介入了助词は。)

○寒くもない。○寒くさえなければ……。 (同上。介入助词も、さえ)

○山は高く、水は深い。(用于中顿)

○道は狭く険しい。(同上,口语讲话时常用“道は狭くてけわしい”。)

○明るくて広い。(后续助词)

○遠くてもかまいません。(同上)

○値段は高くはあるが、品物はわりによい。(同上)

○品がよくさえあれば買しましょう。(同上)

### ②“……かっ”的用法

○今年の夏はずいぶん暑かった。(后续助动词)

○暑かったり寒かったりしてとても困ります。(后续助词)

## (三) 终止形

○彼の話は正しい。(用于结句)

○日本は造船業の発展が早いそうだ。(后续助动词)

○近頃忙しいだろう。(同上)

- あついことはあついが、あまり丈夫ではない。(后续助词)
- 風が強いから埃がひどい。(同上)
- あの店は値段も安いし、品もいいので、いつもあの店まで買いに行きます。(同上)
- 暑いながら(=のに)部屋にとじこもっている。(同上, 讲话时常用のに。)

○早く夏休みになるといいなあ。(同上)

#### (四) 连体形

- 赤い花が咲いている。(连接体言)
- 大きいのと小さいいのがある。(同上, の是形式体言)
- 熱が高いようだ。(后续助动词)
- 熱が高いので起きられない。(后续助词)
- 熱が高いのに休まない。(同上)
- あの人は背が高いばかりで、あまり力がない。(同上)
- 建物が高いだけに見晴らしもいい。(同上)
- すこし痛いくらいは我慢しなさい。(同上)
- ねだんが高ければ高いほど品がよくなります。(同上)

#### (五) 假定形

○天気がよければ、とりいれを始めよう。(后续助词ば, 表示假定)

○頭もよければ容貌も美しい。(后续助词ば, 表示并列)

#### 注意:

形容词可以以终止形加助动词です构成敬体, 但这时的です只有“でしよ(う)”的活用, 没有其他活用, 如不可以讲“あついでした”, 而应该说“あつかったです”。另外, 与“です”相对应的简体表达方式本来是“だ”, 而形容词的终止形即是简体, 所以不可说“あついだ”, 形容词终止形加“だ”时只有“……だろ(う)”和“……なら”两种用法, 见前面例句。

形容词“いい”只有终止形和连体形两种用法, 其他活用形要用同义词“よい”的相对应的活用形, 如“よかる”、“よかつ”、“よく”、“よけれ”, よい具备五种活用形。

### 三 形容词词干的用法

形容词的词干有很强的独立性,在句子里构成文节的时候,往往并不一定需要活用词尾。(形容词词干在转用和造词方面也有很多用法,请参照形容词的构成和转用部分。)

1. 用于结句,表示感叹。

○おお,寒(さむ)。 ○ああ,痛(いた)。

○熱(あつ)! ○臭(くさ)!

2. 下接终助词や(现代口语里用得不多,文语中用得很频繁)。

○こわや, こわや。

○ああ, おそろしや。

3. 加助词の作连体修饰语(能有这种用法的词不多,是文语的残余。)

○長の別れ。 ○めでたの人。 ○赤の他人。(一般都把“赤の”作连体词看。)

4. 副词性用法,作连用修饰语(这种用法也不常见)。

○はや四十年の歳月が流れた。

5. 后续样态助动词そうだ。(よい或ない要变成よさ或なさ再接そうだ。)

○面白そうだ。 ○嬉しそうだ。 ○よさそうだ。

○なさそうだ。

### 四 形容词的う音变

形容词的连用形连接ございます或存じます的时候,词尾く变成う,这就是形容词的音便,叫う音便。但有时う音便会引起词干部分的读音变化。

形容词的う音便有以下三种类型。

1. 形容词词干的最后一个音节在う段或お段时,词干的读音没有变化。

○寒い→さむくございます→さむうございます

- 安い→やすくございます→やすうございます
- 細い→ほそくございます→ほそうございます。
- 遠い→とおくございます→とおうございます。

2. 形容词词干的最后一个音节在あ段上时,这个音节读成お段音(口语里书写时也要写成お段音)。

- はやい→はやくございます→はようございます
- ありがたい→ありがたく存じます→ありがとう存じます。

3. 形容词词干的最后一个音节在い段上时,这个音节读成う段拗音。

- 楽しい→楽しくございます→楽しゅうございます
- 美しい→美しくございます→美しゅうございます
- 大きい→大きくございます→大きゅうございます

注意:

形容词连用形和ございます或存じます的中间如果介入助词は或も,不发声う音便。如:

- 高くはございましたが疲れませんでした。
- あまりありがたく(も)存じません。

注意后面一个例句,当形容词连用形连接ございませぬ或存じませぬ时,中间即使不介入助词は或も,也不能发声う音便,如不能讲“新しゅうございませぬ”、“ありがとうございませぬ”。

## 五 补助形容词

接在其他用言后面起补助作用的形容词叫补助形容词(補助形容词<sup>ほじ</sup>),也叫形式形容词(けいしよじ<sup>けいしよじ</sup>形容词),也叫形式形容词。补助形容词和补助动词合称为“补助用言”,或称“形式用言”。

补助形容词有ない、ほしい、よい(いい)、やすい、にくい等几个词。

- それはよくない。
- 英語はあまりじょうずでない。



- あれはわたしの書物ではない。
- 私は行きたくない。
- 至急知らせてほしい。
- もうやめてよい(いい)。
- 仕事が終わったら帰っていい(よい)。
- ガラスがこわれやすい。
- 言にくい話です。

注意:

1. 补助形容词ない和否定助动词ない容易混淆, 以下几点可作为区别的标准(并请参照第六章否定助动词ない的用法)。

①接在形容词、形容词以及形容词活用型助动词和形容词活用型助动词的连用形后面的ない是补助形容词, 见上面例句。接在动词和动词活用型助动词的未然形后面的ない是否定助动词, 如:

- つまらない本は読まない。(助动词)
- 子供にはつまらない本を読ませない。(同上)
- 彼女は行きたがらない。(同上)

②补助形容词ない和它前面的词之间可以加入助词は、も等, 见前面例句; 而否定助动词ない前面则不可以加入任何词使它与前面的活用词未然形分开来。

③否定助动词ない可以用ぬ代替, 而补助形容词则可以用ありません代替。

起きない→起きぬ　立たない→立たぬ

よくない→よくありません　見たくない→見たくありません

2. 补助形容词所包括的词汇, 除了ない之外, ほしい、よい(いい)、やすい、にくい等在各类语法书里看法不一, 也就是说, 只有ない是普遍地被作为补助形容词看待的。

## 六 形容词的构成

形容词除了单纯词(如ない、よい、高い、うれしい等)之外, 构成方法也比较多。

(一)由两个以上的单词构成的复合形容词

### 1. 形容词词干和形容词复合

薄暗い 重苦しい 細長い

2. 名詞和形容詞复合

名高い めざとい 耳新しい 力強い

3. 動詞連用形和形容詞复合

ありがたい ねぐるしい 分りやすい みにくい  
書きよい 蒸し暑い 頼りない 忘れがたい  
みすぼらしい

(二) 附有接頭詞或(形容詞型)接尾詞的形容詞

1. 附有接頭詞

か弱い 物凄い たやすい まあらしい

2. 附有接尾詞

白っぽい 安っぽい 子供っぽい 怒りっぽい

軍人らしい わざとらしい 他人がましい 差出がましい

眠たい 重たい 油っこい 粘りっこい

3. 形容詞詞干重疊再附加接尾詞しい。

おもおもしろい かるがるしい わかわかしい

七 形容詞的轉用

形容詞的詞干和連用形的轉用較多。

(一) 詞干的轉用

1. 轉為名詞

白 黒 赤

2. 詞干和其他詞類复合構成其他詞類

近道 <sup>あさせ</sup> 浅瀬 夜寒 高笑い(以上名詞) 近寄る

遠のく(以上動詞) あかあかと ちかぢかに

やすやすと(以上副詞) 身軽(だ) 気短か(だ)

気軽(だ)(以上形容動詞)

3. 詞干附加接尾詞構成其他詞類

深さ 重み かわいげ 寒がりや(以上名詞)

楽しげ(だ)(以上形容動詞) 高ぶる こわがる 強ばる

広める 弱まる 白ける(以上动词)

(二)连用形的转用

多く 遠く 近く(以上名词) よく(副词)

此外,よしあし,いたしかゆし等是文语形容词(终止形)构成的复合名词,よし还可以作感叹词用。

### 練習問題十一

一、次の——線のついた語が形容词ならそれに○印をつけなさい。

1. 森の中に一本の小さなきれいなもみの木がありました。そこはよいところで、お日さまがよくあたり、空気がすんでいました。けれども、この小さいもみの木は、もっと大きくなりたいたい、いつもいつも思っていました。

2. 風の音、雨の音、虫の音、小鳥のさえずる音、何一つとして楽しくないものはなく、おもしろくないものはない。自然の音はまったく、どれもこれも音楽でないものはない。月なみな詩や音楽よりも、自然の音に耳をかたむける方がどれだけ感興を与えるか知れない。わたくしたちがどんなに努力しても、そのひとつにもすぐれたものはできないであろう。

二、次の各組の中には、語構成または品詞の上から見て一つだけ性質の違ったものがある。それに——線をつけなさい。

1. 読みやすい 分りにくい 名高い ありがたい
2. 多い 囲い 早い 高い
3. おもしろがる うれしがる いやがる ほしがる

## 第四节 形容动词

### 一 形容动词的性质

表示事物的性质、状态,基本形以“だ”结尾的活用词叫形容动

词(形容動詞)。如：

静かだ まじめだ 勇敢だ 立派だ

形容动词属于用言,是有活用的独立词,可以单独构成谓语,也可以单独构成连体修饰语和连用修饰语。

形容动词从意义和作用来说,和形容词几乎完全相同,但形容动词的活用词尾是“だ”,这是区别于形容词的地方。由于形容动词在文语里的活用是动词型的,所以才有这个名称,但现代口语里的形容动词的活用却和动词毫无相似之处。

## 二 形容动词的活用形及用法

现代口语形容动词只有五种活用形,没有命令形。各种活用形的基本用法如下(以“静かだ”、“立派だ”为例)

基本形	词尾		未然形	连用形	终止形	连体形	假定形	命令形
	词干	于						
静かだ	しずか		だろ	だっ① で ② に ③	だ	な	なら	。
立派だ	りっぱ							
各活用形 基本用法		后续助动词	①后续助动词 た、助词たり。 ② 1. 用于中顿。 2. 连接用言(ある或ない) 3. 后续助词は、も、さえ等 ③作连用修饰语。	1. 用于结句。 2. 后续助动词そうだ(传闻)。 3. 后续助词と、けれど(も)、が、から、し、な(あ)、ぞ、とも、よ、ね等。	1. 作连体修饰语。 2. 后续助动词ようだ。 3. 后续助词なので、のに、ばかり、だけ、ぐらい、ほど、まで等。	后续助词	ば	

## 用例和说明

### (一) 未然形

○その辺は静かだろう。(后续助动词)

### (二) 连用形

#### ①“……だっ”的用法。

○昔は静かだった。(后续助动词)

○周囲は静かだったり騒がしかったりしている。(后续助词)

#### ②“……で”的用法

○中国人民は勤勉で勇敢だ。(用于中顿)

○二階は静かでだれもないようだ。(同上)

○友誼は勝敗より大切である。(连接补助动词)

○そんなに立派でない。(连接补助形容词)

○そんなに静かではない。(后续助词)

○いくら上手でも負けることがある。(同上)

○体が丈夫でさえあればいい。(同上)

#### ③“……に”的用法

○責任をりっぱにはたす。(作连用修饰语)

○夜は静かになる。(同上)

### (三) 终止形

○海は穏やかだ。(用于结句)

○とてもきれいだそうだ。(后续助动词)

○周囲が静かだと勉強しやすい。(后续助词)

○北京は町がきれいだし、交通も便利だ。(同上)

○静かだから(けれども、が)……。 (同上)

○正直だな(ぞ、ね)。(同上)

此外,终止形还有一些比较特殊的用法,如:

○おお、きれいだこと。(“こと”可作终助词看)

○だって、そとがまっくらだもの。(“もの”也可以作终助

词看)

○あまりのんきだものだから失敗するんですよ。(“ものだから”可作接续助词看。)

#### (四) 连体形

○静かな時がほしい。(作连体修饰语)

○元気なのがなによりだ。(同上)

○風は静かなのに波は高い。(后续助词)

○恰好があまり滑稽なのでみんな笑った。(同上)

○意外なほど落ち着いている。(同上)

○好きなだけ食べなさい。(同上)

形容动词后续助词のに一般是“……なのに”的形式，但也有用“……だのに”的时候，这是终止形后续のに的用法，如：

○いつも丈夫だのに，どうして病気をしたのだろう。

#### (五) 假定形

○態度がりっぱなら(ば)採用しよう。(表示假定)

○心もきれいなら行いも正しい。(表示并列)

形容动词假定形通常不加ば。

#### ★形容动词的敬体表达方式

形容动词的词尾だ可以用です代替，构成敬体表达方式。です的活用形如下。

基本形	词尾						
	词干	未然形	连用形	终止形	连体形	假定形	命令形
静かです	しずか	でしょ	でし	です	○	○	○

#### 说明

です的未然形和だ一样，只有后续助词う的用法。

○見てごらんなさい。きれいでしょう。

です的连用形只有でし一种形式，后续助词た，有时也后续助词て。

○二、三年前、この辺は大変静かでした。

○わたしはわかいころからスポーツが好きでして、今でもときどきテニスをやっています。

です的终止形和だ的用法基本相同，但不能后续助动词そうだ(传闻)。

○大変結構です。(用于结句)

○町もきれいですし、交通も便利だ。(后续助词)

○お元気ですか。(同上)

○あんなに丈夫ですのに、どうして切れたんでしょう。(同上)

○おお、りっぱですこと。(同上)

○ええ、大好きですもの。(同上)

#### ★特殊活用的形容动词

形容动词中有一些活用比较特殊的词，也可以说是活用不完全的词。

(一) こんだだ そんなだ あんなだ どんだだ

基本形	词尾		未然形	连用形	终止形	连体形	假定形	命令形
	词干							
こんだだ	こんな			だっ				○
そんだだ	そんな	だろ		で	だ	(词干)	(なら)	
あんだだ	あんな			に				
どんだだ	どんな	でしょ		でし	です			

#### 用例和说明

##### 1. 未然形

○君の意見はこんだだろう(こんだでしょう)。

##### 2. 连用形

○この前の会議も丁度こんだった(こんだでした)。

○形はどんなで、色はどんなだということを説明せよ。

○やりかたが悪かったから、こんなになったのよ。

○そんなにがっかりするなよ。

○あんなにやかましくては、だれも聞きとれないでしょう。

○東京はどんなに寒くても昼に零度以下になることはありません。

### 3. 终止形

○いつもこんなだ。

### 4. 假定形

○いつもこんなならもう来ません。

どんなだ没有假定形。

注意:

こんだ、そんだ、あんだ、どんなだ的各种活用形平时使用并不太多,甚至有些不自然的感觉,只有こんなに、そんなに、あんなに、どんなに这种形式(连用形的一种形式)是较常使用的,所以有些书里专门把这种形式的连用形列入副词。

こんだ、そんだ、あんだ、どんなだ连接体言时是こんな、そんな、あんな、どんな(即只用词干、没有词尾活用的连体形),有的书里把这种形式作为连体形,本书根据一般辞典的编写方法,把它们列入连体词(请参照第五章第一节)。但偶尔也有“こんななのに”、“あんななので”的用法,这些还是应该作为形容动词的连体形看待。

## (二) 同じだ

基本形	词尾		未然形	连用形	终止形	连体形	假定形	命令形
	词干							
同じだ	おなじ		だ	ろ	だ	(词干) (~な)	なら	○
				で	に			
			でしょ	でし	です			

### 用例和说明

#### 1. 未然形



○これはあれと同じだろう(同じでしょう)。

## 2. 连用形

○今度の試合は前のと同じだった。(同じでした)

○十年前と同じですこしの進歩もない。

○君と背丈が同じになった。

## 3. 终止形

○それは以前と同じだ(同じです)。

## 4. 连体形

○毎日同じ道を通して学校へ行きます。

○見本と同じように作ってください。

○表紙が同じなので、自分のノートと思った。

○値段が同じなのに、どうしてあれを買わないのか。

同じだ的连体形一般仅用词干连接体言等,如“同じ事”,但后续助词の、のに时要用“同じな”,如“同じなので”、“同じなのに”。

## 5. 假定形

○同じなら大きいほうがいい。

注意:

同じだ的詞干作连体修飾語的時候很多,因此不少書里把同じ作為連體詞,如:同じ道,同じ事。

同じ(不帶詞尾だ)還可以作副詞用,如:

○同じ買うなら,上等のほうを買うほうがいいでしょう。

### ★詞干相同的形容詞和形容動詞

形容詞 (同じい) (柔かい) (こまかい) (暖かい)

形容動詞 (同じだ) (柔かだ) (こまかだ) (暖かだ)

形容詞 (四角い) (黄色い)

形容動詞 (四角だ) (黄色だ)

### ★タルト型形容動詞

這一類形容動詞大部分是由兩個漢字組成詞干(兩個漢字的

重叠或一个汉字附有“乎”、“然”等)，在文语里是タリ活用的形容动词，在现代口语里只有连用形“……と”和连体形“……たる”的形式出现，所以叫タルト型形容动词，也叫トタル型形容动词。现在用“……として”作连用形，用“……とした”作连体形的用例也正在增多。

- 威風堂堂と入場する。
- その時の彼の態度は堂堂たるものであった。
- 酒酒たる大河。
- 断乎として拒絶する。
- 断乎たる処置に出る。
- 敢然と立ちあがる。
- 敢然として敵に向かう。
- はつらつたる(はつらつとした)若人。
- 確乎たる(確乎とした)意志

注意：

由于タルト型形容动词在现代口语里用得不多，又只有连用形和连体形的用法，所以很多书里把它们“……と”的形式作为副词处理，把“……たる”的形式作为连体词处理。但是有一个值得注意的地方，很多副词可以附加助词と，如“はっきりと(説明した)”，也可以不要と，如“はっきり(分らない)”。但是“堂堂と”、“酒酒と”、“敢然と”、“確乎と”、“はつらつと”、“依然と”等等，即使作为副词看待，也不能省掉后面的と，因为它本来是作为形容动词的一部分——词尾而存在的。

### 三 形容动词词干的用法

形容动词的词干比形容词有更强的独立性，用法如下。

(一) 用于结句(表示感叹)。

- まあ、すてき。
- おお、きれい。
- 私はこの絵とてもすき。
- 私はあんな人なんか大嫌い!

(二)用于中顿。

○音楽がすき、野球はきらい。

○あれもいや、これもいや、みんないや。

(三)后续推量助动词らしい和样态助动词そうだ。

○彼はいかにも丈夫そうな体をしている。

○あの辺は夜は静からしい。

(四)后续助词。

○彼は音楽はきらいと見えた。

○にぎやかよりは静かなほうがいい。

○きわめて当然ながら遺憾の意を表した。

○言葉は穏やかながら決意のほどを表した。

○丈夫は丈夫ですか……。

○気ままも気まま、まったく自由だ。

○好きなりきらいなりははっきりしない。

○有利やら不利やら分らない。

○元気か。 ○きらいさ。 ○すてきね。

注意：

有很多形容词(主要是汉语式形容词)，兼有名词的用法，应该区别开来。

○幸福な生活。(形容词)

○君の幸福を祈る。(名词)

○健康な人。(形容词)

○健康に注意する。(名词)

此外，如“安全(だ)”、“元気(だ)”、“正直(だ)”、“幸せ(だ)”等等都是如此。形容词和名词的区别是，形容词可以被“とても”等副词修饰，如“とても幸せな生活をしている”；作名词时则不可以被连用修饰语修饰。

还有一些形容词连接体言时，不是以“……な”的形式，而是以“……の”的形式，如“短気の(な)人”、“正直の(な)人”，有的书里认为“短気の”的“短気”是名词，而“短気な”的“短気”是形容词(词干)，但实际上它们的意义和性质都没有什么区别。至于“あの人の正直”、“短気は損気”等，才是真正的名词。

## ■ 形容词的构成

### (一) 日本固有的形容词

あきらかだ なめらかだ おろかだ のどかだ かすかだ  
こまかだ こまやかだ しめやかだ にぎやかだ はなや  
かだ いやだ たくみだ

### (二) 汉语式形容词

1. 快活だ 立派だ 丈夫だ 奇麗だ 健康だ 正確だ  
堅固だ 安全だ 丁寧だ 完全だ 元気だ 正直だ  
幸福だ

这一类形容词中有很多可以作名词用，如“完全”、“元气”、“正直”、“健康”等等。

2. 合理的だ 近代的だ 進歩的だ 西洋的だ 化学的だ  
現実的だ 詩的だ 病的だ 人的だ

这一类形容词是由名词加接尾词“的”构成的，去掉“的”时它们都只能有名词的用法，而不能作形容词用。

3. 妙だ 変だ 急だ 楽だ

这一类是由一个汉字构成的形容词，虽然这些汉字都有作为名词使用的可能，但通常是作形容词使用。

### (三) 外来语形容词

1. スマートだ シックだ シャープだ シニカルだ  
ランクだ ブランクだ ナンセンスだ

这一类外来语形容词一般都没有名词的用法（“答案をブランクのまま出す”是例外）。

2. アカデミックだ ロマンチックだ(=ローマン的)  
ナイーブだ プリミティブだ

这一类外来语形容词带有“……的だ”的意义。

(四) こんなだ そんなだ あんなだ どんなだ 同じだ

(五) 复合形容词(注意：其实所有的形容词都可以说是复合词，因为都是“～だ”的形式，这里所谓的“复合形容词”，是指

“词素+词素+だ”的构造。)

気短かだ 気の毒だ 身軽だ 気軽だ 気ままだ 足早だ  
简单明瞭だ

(六) 带接头词和接尾词的形容动词

大嫌いだ ご苦労だ お気の毒だ(以上带接头词)

楽しげ(だ) 意味ありげ(だ) 忘れがち(だ)(以上带接尾

词。前面出现的带“的”的汉语式形容动词也属于这一类)。

## 五 形容动词的转用

形容动词的词干常用来构成其他词类。

1. 构成其他词类的复合词。

ロベだ 話じょうず 芝居ずき むだ話 むだづかい  
すききらい(以上为复合名词) 完全燃焼 猛烈運動(以上是  
汉语式的词组)

2. 附加接尾词构成其他词类

静かさ 真剣み(以上名词) いやがる 残念がる 利口ぶ  
る(以上动词)

## 練習問題十二

一、次の文から形容動詞をぬきだし、その活用形を言いなさい。

自然描写の部分には、「枕草子」独特の主題のとらえ方や観察の鋭さが見られる。冒頭の「春はあけぼの」の一段にしても、一般の歌人の見どころとは違って、かなり特殊な情景に興味を感じている。清少納言の自然描写は印象的であって概念的ではない。見たところ平凡で、何の奇もないものを取りあげて、スケッチ風にまとめあげている。着想が新鮮で、筆致が簡潔である。

二、次の各文の( )の中に「すなおだ」を活用させて入れなさい。

- この絵のかきかたはいかにも( )。
- 心の( )人は、だれからも好かれる。
- 前は( )だが、今はもう( )はない。
- ( )書くことが何よりも大切だ。
- どうだ。( )う、かれの心は。
- 心さえ( )ば、それでよい。

### 第五节 和现代口语有关的文语动词、 形容词、形容动词

日本自 1945 年以来讲话和写文章都统一使用现代口语,但在文章里(特别是报刊标题、口号、标语、信件寒暄语、书名等等)以及人们口头常讲的成语、格言、谚语里都仍有文语的残余。下面结合文语用言的活用列举一些用例。

#### 一 动词方面

文语动词按活用规律可分成九种,口语是五种。

文语动词和口语动词活用对照表

类别	文				语			
	基本形	词干	未然形	连用形	终止形	连体形	已然形	命令形
四段	書く	か	か	き	く	く	け	け
ナ変	死ぬ	し	な	に	ぬ	ぬる	ぬれ	ね
ラ変	あり	あ	ら	り	り	る	れ	れ
下一段	蹴る	○	け	け	ける	ける	けれ	けよ
上一段	見る	○	み	み	みる	みる	みれ	みよ

文 語								
类别	基本形	词干	未然形	连用形	终止形	连体形	已然形	命令形
上二段	起く	お	き	き	く	くる	くれ	きよ
下二段	受く	う	け	け	く	くる	くれ	けよ
カ変	来(く)	〇	こ	き	く	くる	くれ	こよ
サ変	す	〇	せ	し	す	する	すれ	せよ

口 語								
类别	基本形	词干	未然形	连用形	终止形	连体形	假定形	命令形
五段	書く	か	かこ	きい	く	く	け	け
	死ぬ	し	なの	にん	ぬ	ぬ	ね	ね
	ある	あ	(ら)ろ	りっ	る	る	れ	〇
	蹴る	け	らろ	りっ	る	る	れ	れ(けろ)
上一段	見る	(〇)	み	み	みる	みる	みれ	みる みよ
	起きる	お	き	き	きる	きる	きれ	きる きよ
下一段	受ける	う	け	け	ける	ける	けれ	ける けよ
カ変	来る	(〇)	こ	き	くる	くる	くれ	こい
サ変	する	(〇)	(さ)し せ	し	する	する	すれ	しろ せよ

### 说明

1. 口语五段活用动词和文语四段活用动词基本上相同,只有“ある”在文语里是“ラ行变格活用动词”(基本形是“あり”)、“蹴る”在文语里是下一段活用、“死ぬ”“行ぬ”在文语里是“ナ行变格活用动词”。这样,现代口语五段动词在文语里分成四种活用种类。

2. 口语上一段活用动词除一小部分在文语里也是上一段活用(如:“見る”、“射る”等)外,大都是上二段活用,因为它们的词尾在う段和い段上活用。如:

口 语	起	過	落	閉	強	詫	試	悔	降
	き	ぎ	ち	じ	い	び	み	い	り
	る	る	る	る	る	る	る	る	る

文 语	起	過	落	閉	強	詫	試	悔	降
	く	ぐ	つ	づ	ふ	ぶ	む	ゆる	

3. 口语下一段活用动词在文语里都是下二段活用,因为它们词尾在う段和え段上活用。如:

口 语	得受	投	失	混	捨	撫	尋	答	比	改	越	流	据	
	る	け	げ	せ	ぜ	て	で	ね	え	べ	め	え	れ	え
	る	る	る	る	る	る	る	る	る	る	る	る	る	

文 语	得受	投	失	混	捨	撫	尋	答	比	改	越	流	据
	く	ぐ	す	ず	つ	づ	ぬ	ふ	ぶ	む	ゆる	る	う

4. 口语里サ行变格活用动词和文语相同,但文语基本形是“す”。

5. 口语里カ行变格活用动词和文语相同,但文语里基本形是“く”。

6. 文语里没有假定形,但有“已然形”。

用例:

○急がば回れ(①四段未然形、②四段命令形)

① ②



○聞くは一時の恥，聞かぬは一生の恥。(①四段连体形、  
① ②)

②四段未然形)

○やむをえず。(①四段连体形、②下二段未然形)  
① ②)

○日光を見ずして結構を誦るなかれ。(①上一段未然形、  
① ②)

②四段连体形)

○反動内閣はついに倒る。(下二段终止形)

○落日燃ゆ。(同上)

○光榮ある伝統を発揚しよう。(ラ変连体形)

○先んずれば人を制す。(①サ変活用已然形、②サ変活用  
① ②)

终止形)

○行けども行けども緑の野が続く。(四段已然形)

二 形容词方面

文语形容词的词尾变化分两种：“ク活用”和“シク活用”。比如“高し”即是“ク活用”，“嬉し”即是“シク活用”。活用表如下。

文语形容词活用表

	基本形	词气						
		词干	未然形	连用形	终止形	连体形	已然形	命令形
ク活用	高し	たか	く から	く かり	し	き かる	けれ	かれ
シク活用	嬉し	うれ	しく しから	しく しかり	し	しき しかる	しけれ	しかれ

说明

1. 文语形容词有六种活用形。
2. 文语形容词的各种活用形，通过上表可以看出，它们的词尾活用形中有“～く”和“～かり”两个系列。“～かり”实际是由

“く＋あり”拼成的，在口语里“～かり”的形式只剩下连用形“～かっ”及未然形“～かる”，而“～から（ず）”则带有明显的文语色彩。

用例：

- 少なからぬ人びとが延安に赴いた。（ク活用未然形）
- あまり忙しくば、後でもいい。（シク活用未然形）
- まちがいなしとは保証できない。（ク活用终止形）
- 案ずるより生むがやすし。（同上）
- 帯に短かし、たすきに長し。（同上）
- 百花咲きそろわせ、ふるきをしりぞけて新しきを出す。  
① ②

①ク活用连体形、②シク活用连体形

○……だから、高くなるなかれ、と折って莫高と名づけたのかしら。（シク活用命令形）

- よかれあしかれやってみよう。（①ク活用命令形、②シク活用命令形）

活用命令形)

### 三 形容动词方面

文语形容动词按其词尾形态分成“ナリ活用”和“タリ活用”两种。文语形容动词在口语里大部分变成了以“だ”为词尾的形容动词，也有一部分仍保持“……と”的形式的连用形和“……たる”的形式的连体形，在第四节里已归纳为“タルト型形容动词”。

文语形容动词活用表

	基本形	词尾						
		词干	未然形	连用形	终止形	连体形	已然形	命令形
ナリ活用	静かなり	しずか	なら	なりに	なり	なる	なれ	なれ
タリ活用	堂々たり	どうどう	たら	たりと	たり	たる	たれ	たれ

### 用例

- 感慨無量たらざるをえない。(タリ活用未然形)
- 親愛なる同志のみなさん。(ナリ活用連体形)
- うっそうたる林を背景に……。 (タリ活用連体形)
- 確かなる筋の消息によると……。 (ナリ活用連体形)
- 自信満々たり。(タリ活用終止形)
- 態度堂々たれども……。 (タリ活用已然形)
- すきこそ物の上手なれ。(ナリ活用已然形)
- 真相一日も早く明らかなれ。(ナリ活用命令形)

### 練習問題十三

一、次の各文の——線を引いたことばの品詞名、活用形の名を言いなさい。

1. 名物には旨いものなし。
2. 去る物は日にうとし。
3. 百聞は一見に如かず。
4. 春よ、こよ。
5. 言うは易く、行うは難し。

①

②

6. ……の同胞たちに、私は心から、幸多かれすこやかな

①

れ!と願ったことでした。

②

7. 帝国主義はおそかれはやかれ滅亡するにきまっている。
8. 飲めども酔わず。
9. 前途に幸あれ。
10. それは木によって魚を求むるようなものだ。
11. 計画なしには何事も成功しない。

二、次の文語動詞、形容詞、形容動詞を現代口語の形に書き

なおしなさい。

思ふ 買ふ 変はる 尽く 満つ 恥づ 帶ぶ 老ゆ  
 借る 心得 設く 上ぐ 寄す 混ず 当つ 詣づ 兼ね  
 経 考ふ 調ぶ 肥ゆ 恐る 来 案ず 多し よし  
 なし 深し 悲し 嬉し 美し 口惜し はるかなり  
 こまかなり のどやかなり かすかなり

課外練習 (第四章 用言)

一、次の表の空欄に、各語の語尾の活用を記入しなさい。

基本形	語尾						
	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	仮定形	命令形
勉強する	勉強						
来る	○						
おっしゃる	おっしゃ						
見える	見						
起きる	起						
備る	備						
くれる	く						
嬉しい	嬉し						
元気だ	元気						

二、次の動詞を敬語動詞に直しなさい。

する 来る 行く 食べる 言う 借りる もらう くれる  
ある

三、次の各文には敬語表現として適切でないもの、または誤りがある。どこを直せばよいか、その部分に――線を引き、正しい言いかたを( )の中に書きなさい。

1. 指定券をお持ちしないかたはありませんか。( )
2. 毎日お続けになられますと、お体が大そう丈夫になります。( )
3. ご一緒にまいりませんか。( )
4. もしもし、大木先生のお宅ですか。……三年A組の松本ですが、先生がおりましたら、電話口へお願いします。( )
5. 当社の編物機械の実演を一度拝見してください。( )
6. どうぞ、めしあがっていただきます。

四、次の文の後にどんなことばがつくか、下のイ～トから選び、各文の( )の中に該当するものの記号を書き入れなさい。

1. 多くのお客様に上まで上がって( )。
2. 私はアルバムを佐藤君に見て( )。
3. 佐藤君は私にアルバムを見せて( )。
4. 皆様が早くご乗車になりますよう、降りる方を早くおろして( )。
5. 中村先生は私達に日本語を教えて( )。
6. 辞書も買って( )のに、うちの子はちっとも勉強しないのです。

イやってください    ロあげてください    ハいただく  
ニくございました    ホくれた    ヘもらった    トやった

五、次の文1と文2を読んで、あとの問いに答えなさい。

1. 小娘は頭にかぶっていたてぬぐいで、顔の汗をふきながら、「お前、こんなところで、よく淋しくないのね。」と言いまし

た。「淋しいわ。」と菜の花は親しげに答えました。「そんならなぜ来たのさ。」小娘は叱りでもするような調子で言いました。菜の花は、「雲雀の胸毛についてきた種がここでこぼれたのよ。困るわ。」と悲しげに答えました。そして、どうかわたしをおなまの多い麓の村へつれていってくださいと頼みました。小娘はかわいそうに思いました。小娘は菜の花の願いをかなえてやろうと考えました。

2. 菜の花は小娘の鼻のあたりにポツポツと玉のような汗が浮かび出しているのに気がつきました。「今度はあなたが苦しいわ。」と菜の花は心配そうに言いました。小娘はかえって不愛想に、「心配しなくてもいいのよ。」と答えました。

まもなく、小娘は菜の花の悲鳴におどろかされました。菜の花は流れに波打っている髪の毛のような水草に根をからまれて、さも苦しげに首をふっていました。

問一 文1と文2の中から、用言をとりだしなさい。

問二 文1の「そうに」と文2の「そうに」とは、どんな違いがあるか、説明しなさい。

問三 文2の①「心配」と②「心配」とは品詞としてどんな違いがあるか、説明しなさい。

問四 文1の「親しげに」と同じ構造の語を文1と文2から抜きだしなさい。

問五 文2の「菜の花は流れに波打っている髪の毛のような水草にからまれて、さも苦しげに首をふっていました。」の文について、

1. 主語文節(    ), 2. 「波打っている」が修飾していることば(    ), 3. 「さも」が修飾していることば(    ), を(    )の中書きなさい。

問六 文1と文2の中の居体言(動詞連用形から転成した

名詞)を抜きだしなさい。

問七 文1と文2の動詞で、居体言として用いることができるものを居体言の形で書きなさい。

六、次の唄の文語表現に注意して、意味を正しく理解せよ。

(一) 浜辺の歌

- |                |                |
|----------------|----------------|
| 1. あした浜辺をさまよえば | 2. ゆうべ浜辺をもとほれば |
| 昔のことぞ しのぼるる    | 昔のことぞ しのぼるる    |
| 風のおとよ 雲のさまよ    | よする浪も かえす浪も    |
| よする浪も かいの色も    | 月の色も 星のかげも     |

(二) さくら

さくら さくら やよいの空は 見わたすかぎり かすみか雲か  
においぞいつる いざやいざや 見にゆかん

## 第五章 连体词、副词、接续词、感叹词

### 第一节 连体词

#### 一 连体词的性质

仅对体言起修饰作用的词叫连体词(連体詞)。

连体词是没有活用的独立词,只能单独构成连体修饰语,不能构成任何其他文节,也不可以被修饰。

#### 二 连体词的用法

连体词只有一个用法,就是单独作连体修饰语用。

○大きな魚を取って来た。

○いかなる困難にもまけない。

也有例外,如“この(その、あの、どの)ようだ”是连体词直接后续助动词。

#### 三 连体词的分类

连体词很难从意义上进行分类,只能按形态归纳以下几种类型。

##### 1. “……の”或“……が”形的连体词

この本 その人 あの家 どの国 かの国 ほんのすこし

例の話

わが国

##### 2. “……な”形的连体词

こんな形 そんな事 あんな人 どんな物 いろんな人

大きな虫 小さな机 おかしな人

##### 3. “……る”形的连体词

ある日 さる日 さる政治家 きたる日曜日 あくる朝



とある町 かかる問題

あらゆる場合 いわゆる人情 いかなる困難

4 “……た”、“……だ”形的连体词

大したもの 大それた考え とんだ失敗

连体词的所属词汇究竟应该包括到什么范围，还没有一个统一的想法，不过，在这方面即使有些分歧，也不是什么原则性的问题。总之，如果一个词语只能作连体修饰语用，就不妨作为连体词看待。

还有一部分副词（主要是表示数量和程度的副词）可以象连体词一样直接修饰体言，副词的这种转用方法可以根据句子的内容进行分析。如：

○すこし右を見てください。

这句话如解释为“すこし……見てください”则不通，所以“すこし”在这里没有成为“見てください”的连用修饰语，只能认为“すこし”修饰体言“右”（即“偏右一点”的意思），而且这种修饰关系又不必借助于助词の，所以这时候的すこし确有和连体词相似的语法作用。

#### 練習問題十四

次の——線部の語の違いを考えて、連体詞をえらび、その文の末尾の（ ）の中に○印をつけなさい。

1. さる四月一日に入学式が行われた。（ ）
2. 悲しみの心を抱いて故郷を去る。（ ）
3. あなたはおかしなことを言いますね。（ ）
4. あなたはおかしいことを言いますね。（ ）
5. いろんな国が日本の発展に注目している。（ ）
6. きのはデパートでいろいろな物を買いました。（ ）
7. ここは映画館である。（ ）

8. 映画館である女がこう言った。( )  
 9. 君とぼくとの間には大して違いはない。( )  
 10. 君とぼくの間には大した違いはある。( )

## 第二节 副 词

### 一 副词的性质

修饰用言又没有活用的独立词叫副词(副詞)。

副词是没有活用的独立词,可以单独构成连用修饰语,不能构成主语。某些副词相互之间可以有修饰和被修饰的关系,即由一个副词修饰另外一个副词。

### 二 副词的用法

(一)单独构成连用修饰语

○雨がしとしと降る。

○今日はすこし暑い。

○ぜひご出席ください。

○春になれば,すぐ学校だ。

最后一个例句里,副词“すぐ”修饰的是一个附有助动词“だ”构成的谓语,这种时候的谓语文节通常看成是一个准用言(用言に準ずるもの)。副词修饰准用言的句子其实也很多,如“ずいぶん子供だね”、“彼はかつて大会社の社長だった”、“もうすっかり秋だ”、“朝ごはんはいつもおかゆだった”等等。此外,用其他助动词也可以构成这种准用言,同样可以受到副词的修饰,如“どうも学生らしい”“まるで雪のようだ”“灯火はさながら星のように輝いた”等等。

(二)修饰其他副词

○もっとゆっくり話してください。

○とてもはっきり見える。

能修饰其他副词的只有程度副词。

注意:

1. 由于副词有很多转用的用法,起到相当于别的词类的语法作用,所以对于副词的性质及其用法都有很多不同的看法,这些问题都归纳在本节“五副词的转用”内,上面列举的副词的性质和两种用法是副词的基本概念。

2. 副词能够单独构成连用修饰语,但是能够单独构成连用修饰语的不仅是副词。前面讲过,某些表示时间概念的名词、数词以及形容词和形容词的连用形也都可以单独构成连用修饰语,动词和体言加上助词也可以构成连用修饰语,但是这些词类除了可以构成连用修饰语之外,还可以有其他用法。下面句子里划“一”线的部分都是由其他词类构成的连用修饰语。

○昨日町へ行った。(名词)

○一時間待った。(数词)

○なつかしく思う。(形容词)

○りっぱに出来た。(形容动词)

○一人でさびしく暮らしている。(数词+格助词)

### 三 副词的分类

副词可以根据其意义或修饰方法,大致分成以下三种类型:状态副词、程度副词、叙述副词。

#### (一) 状态副词

主要修饰动词(也可以修饰其他用言),表示动作、作用的状态的副词叫状态副词(情態副詞、状態副詞)。

状态副词还可以按其意义分为以下几种。

#### 1. 拟声、拟态的状态副词

○わっと泣きだす。

○小鳥がちゅうちゅう鳴く。

○にっこり笑う。

○犬がわんわん吠えている。

○足音がばたばたとうるさい。

○スピードをぐんぐん増す。

○ちらちら雪が降っているところへ、雷までごろごろ鳴りだした。

○そんなにがぶがぶ飲んだら、いまにふらふらになるぞ。

○星がきらきら輝いている。

○いきなり車が止まった。

○じっとすわっている。

○ぼんやり見える。

○はっきり答える。

○ゆっくり話してください。

拟声拟态的副词常见的还有：しっかり、きちんと、そっと、こっそり、つい、たがいに、ふと、ほっと、なかなか、ひたすら、うっかり、さっぱり、きっぱり、つくづく、ころころ、するする、せかせか、どっしり、はらはら、そよそよ、にこにこ、わざと、こつこつ、青青と、いきいきと等等。

## 2. 时间性的状态副词

○さっき誰が来ましたか。

○すぐかえってきた。

○たちまち嵐のような拍手が起こった。

○間もなく電車が駅に入った。

○会員たちはとっくにお揃いですね。

○のちほどまたお伺いします。

○もう手遅れです。

○かつてここは都だった。

○いつもやさしい。

此外，たまたま、ときどき、折折、かねて、しばらく、すでに、あらかじめ、やがて、ついに等都可以看成是这类副词。

## 3. 数量性的状态副词

○みんな出かけた。

○たくさん買ってきた。

○彼は学校に遅れることはほとんどありません。

○すべて忘れてしまった。

○もうすっかり秋だ。

此外、ふたたび、再三、初めて、多数、ことごとく、だんだん、ますます、しばしば等都可以看成是这类副词。其中ますます、だんだん等还可以认为是程度副词，事实上很多程度副词也都有表示量的意义。

4. 指示性地说明某种状态的こう、そう、ああ、どう（又称为指示词。请参照第三章第四节）。

○自分さえよければ、人はどうなってもいい、こうした考え方の人がまだいます。

○ああして、こうしていちいち教えなければならない。

○私はそう思います。

这几个词经常构成こう（そう、ああ、どう）いう（或いった）的惯用表达方式，相当于连体词的用法。

5. 其他

○もっぱら仕事に精を出す。

○繰返し繰返し説明した。

○子供たちはかわるがわる立って歌をうたいます。

○あなたの言いたいことは、つまりこうなんでしょう。

○いろいろやってみましたが、結局失敗しました。

○とまっていた車がひとりでに動き始めた。

○ひとまずやってみる。

○まずあなたから読んでください。

○山火事はみるみる広がった。

(二)程度副词

从程度上详细说明（或限定）某种状态的副词叫程度副词。

程度副词较多地修饰形容词、形容动词或由动词表示的某种状态。程度副词还可以修饰其他副词，这是它不同于其他副词的一个主要特征。

○今日はすこし暑い。

- かなりむずかしい問題です。
- この坂は大変急だ。
- とてもきれいなところです。
- 値段はきわめてやすい。
- それははなはだ重要なできごとだ。
- それはごくたやすい御用です。
- きょうはきのうよりよほどさむい。
- あすは試験だから、いつもよりはやや早くうちを出ます。
- 近頃はずいぶん涼しい。
- 今日幾分よくなった。
- もっともすぐれた人物です。
- 彼は非常に喜んでいる。
- もっとしっかりつかまえろ。
- もうすこしゆっくり話してください。

最后一个例句里有“もう”、“すこし”、“ゆっくり”三个副词，其中“すこし”修饰“ゆっくり”，而“もう”又修饰“すこし”。

以下一些词也可以看作程度副词：ずっと、だいぶ、ちょっと、なお、はるか、いささか、すこぶる、ただ、たいそう、あまり、なかなか、相当、至極、ほぼ、大体、わずか等等。

注意：

某些程度副词有时不一定是修饰某种状态，而是直接修饰动作，一般是表示“量”的意义。如：

- ごはんをすこし食べる。
- ごはんをもっと食べなさい。
- 友人がかなり出席した。

可以看出，这种表示量的程度副词和同样表示量的状态副词是有密切关系的。不同的只是状态副词不可以修饰其他副词。

此外，能够象连体词一样直接修饰体言的副词，基本上都是程度副词，如“もう一つ”、“すこし右”、“ほぼ一カ月”等等。

### (三) 叙述副词

限定叙述的方法，即要求某种相呼应的叙述方式的副词叫叙述副词。(陳述副詞、叙述副詞)

○ちっとも勉強しない。

○決して二度としてはならない。

○もちろんまけたこともある。

○ぜひご出席ください。

○さぞさびしいでしょう。

○まさかそんなことはあるまい。

○ちょうどふたごのようだ。

○なぜ帰らないのか。

○万一そんなことになったら、わたしが責任を負う。

叙述副词可以根据其与叙述内容的呼应关系分成以下各种。

1. 与否定消极的语气相呼应

決して 到底 すこしも とても ちっとも 一向に  
さっぱり かならずしも あまり めったに ろくに まるで  
まんざら

2. 与肯定的语气相呼应

かならず きっと つまり もちろん まったく

3. 与推量(肯定推量和否定推量)的语气相呼应

恐らく さぞ さだめし たぶん きっと おおかた  
ひょっとしたら まさか よもや

4. 与愿望的语气相呼应

ぜひ どうか どうぞ なにぶんにも くれぐれも

5. 与疑问或反语相呼应

どうして なぜ なんて

6. 与比况或样态相呼应

さも ちょうど まるで あたかも

7. 与假定相呼应

たとい 万一 もし たとえ かりに いくら よしんば

#### 四 副词的构成

副词的构成比较繁杂,除了本来固有的副词之外,还有大量转化的副词

##### (一)固有的副词

あたかも 甚だ 最も やや もっぱら ただ まず  
かならず しばらく いまだ たとい みんな すこし 大変  
とても はっきり ゆっくり しっかり こう そう ああ  
どう

大部分拟声拟态的副词都可以看成是固有的副词。

(二)复合副词(包括含有其他词类或完全由其他词类复合转化的)

##### 1. 副词加助词

すぐに さすがに いっせいに ただちに わずかに  
わっと どっと しっかりと ゆっくりと はっきりと ばた  
りと のんびりと つくづくと ころころと どうか かな  
らずしも

很多状态副词,特别是拟声拟态的副词可以附加格助词と,以造成更生动的语气。

##### 2. 名词加助词

実に 誠に 先に 時に 幸いに 次第に かりに わざ  
と もとより さきほど

##### 3. 数词加助词

いくらか 二つながら

##### 4. 代名词加助词 われながら

##### 5. 动词(连用形)加助词

あえて あまりにも 至って かえって きわめて 決して  
頻りに しまい 凡べて 例えば 果して 延いて

##### 6. 其他

なるべく まもなく おもわず おもいがけなく やむを



えず もしかしたら 案の定 どっちみち なんとなく やや  
もすると なんととっても なにかかも

### (三) 叠词副词

#### 1. 副词重叠

たまたま まだまだ またまた もうもう

拟声拟态的副词大部分是采用重叠的形式，也可以看成是叠词。

#### 2. 名词重叠

ときどき いろいろ ところどころ

#### 3. 数词重叠

一一 一つ一つ 一人一人 一步一步 三三五五

#### 4. 形容词词干重叠

恐恐 青青(と) 長長(と)

#### 5. 动词重叠

みるみる かわるがわる 恐る恐る(以上动词终止形重叠)

繰返し繰返し 重ね重ね(以上动词连用形重叠)

#### 6. 复合词重叠

知らず知らず

### (四) 附加接尾词的副词(都是其他词类加接尾词构成)

散歩がてら 勉強がてら 家ごとに 人ごとに 皮ごと(以上名词加接尾词) 一日あたり ひとりあたり 五分ごとに(以上数词加接尾词) 行きがてら 帰りがてら(以上动词连用形加接尾词)

### (五) 由其他词类直接转化的副词

結局 実際 事実 普通(以上名词) あまり つまり(以上动词连用形) よく(形容词连用形) 一番(数词) 常に 非常に(形容动词)

#### 注意:

很多语法书里把“堂堂と”、“確固と”、“悠然と”等也列入副词。这些词

在文语里是形容动词，但在现代口语中只剩下连用形(……と)和连体形(…  
…たる)两种用法，所以前者往往被看成副词，后者被看成连体词。本书在第四  
章形容动词一节里把它们作为“タルト型形容动词”归纳在一起。

## 五 副词的转用

副词一般作连用修饰语，但也常转用为其他成分(严格地说，  
副词修饰副词时也不能认为是连用修饰的关系)，对于这些转用后  
的副词，是否应作其他词类看待，没有统一看法。

### (一) 副词作主语

- みんなが，君の病気を心配している。
- 学生の下ほとんどがその旅行に行った。
- しばらくはつらかったでしょう。
- あのひとのすべてが悪いというわけではない。

这几个词都是表示量的状态副词，通常把它们看作已经转化  
为名词，这些词当然也具备构成连体修饰语和谓语的用法。

### (二) 副词加格助词的构成连体修饰语

いよいよの場合 かつてのうらみ かなりの入出  
かねての約束 再三の催促 しばしの別れ しばらくの辛味  
すこしのいとま たくさんの本 たびたびのお見舞  
とかくの評判 突然のできごと はじめての経験  
まさかの時 またの遇う日 もっぱらの噂 わざとの学問

这些词大部分是表示时间和量的状态副词或程度副词。这些  
词虽然可以构成连体修饰语，但不能构成主语，也就是说不具备  
言的主要特征，从而不能作名词看待。

### (三) 副词直接作连体修饰语(请参照本章第一节)

- すこし右をみてください。
- もっと前へ出なさい。
- ちょっと左へ寄れ。
- ずっと昔の話。
- かなり遠くからも見えた。

○もう一時間待ってください。

○やや東へ寄ったところだ。

○だいたい三十人が出席した。

此外，如“ほぼ百人”、“ちょうど十二時”、“たった一人”、“もう一つ”、“すぐ近く”、“わずか一日”、“ごく最近”等等，这些直接修饰体言的副词可以说都是程度副词，修饰方向、场所、时间、数量等方面的体言。

(四) 副词加だ、です构成谓语

○そんなことを言うのはあまりだよ。

○まだです。(まだまだです)

○もうちょっとだ。

○十時に出勤とはずいぶんゆっくりだ。

○あなたの意見はどうか。(こう、そう、ああ也都可以后续だ。)

○おい、今朝の約束はきつとだぞ。

○ここまであるいてきたのは大変だったでしょう。

○もうすこした。がんばってください。

○まったくだ。

○しばらくでした。

○あいかわらずです。

○もうたくさんです。

○もうすぐです。

○中国の旅行は始めてです。

(五) 副词加する构成サ变复合动词。这一类词主要是拟态的副词。(请参照第四章第二节)

にこにこする　しっかりする　じっとする　がっかりする  
うっかりする　ぶらぶらする　はっきりする

这种サ变复合动词作连体修饰语时，往往把する变成した，表示一种状态。如：

にこにこした顔 はっきりした結論 あっさりした人  
うっかりした事

注意:

这一类副词作连用修饰语时可以附加格助词“と”，以造成生动的语气。但这些副词后加上的构成复合动词以后，就不可以再有原来的副词后面加上格助词“と”，如“にこにこした顔”是不讲的。这也是辨别状态副词和タルト型形容动词的一个方法。如果说“堂々と”是一个副词，则这里的“と”因为本来是词尾“たり”的连用形，抽掉“と”的话，只剩下“堂堂”是不能用的，同样，“堂々とした”也不能抽掉“と”，而且“堂々とした”也并没有构成サ变复合动词。

(六) 后续になる或にする表示状态的变化

○つかれてふらふらになった。

○いたずらざかりですから、服や靴など、すぐぼろぼろにしてしまう。

此外，こう、そう、ああ、どう还可以直接后续动词なる。

(七) 副词后续助词，作连用修饰语。

○かねてからその計画を練っていた。

○すこしはこちらのことも考えてほしい。

(八) 副词转为接续词或感叹词

なお また(转为接续词)

そう いや(转为感叹词)

## 練習問題十五

一、次にあげた(語群)の副詞を、一般におこなわれている副詞三分類の法則に基づいて、A・B・Cの三種類に三つずつわけ、それぞれの文法上の名称、性質或は特徴を述べ、且つ、各組に同じ性質の副詞をさらに五つずつあげなさい。

(語群) びかびか まさか かなり 決して すこし ほぼ  
はっきり ぜひ 繰り返し繰り返し

二、次のことばの中から、適当なものを選んで、( )の中に書き入れなさい。

どうしてか まさか ついに ようやく しばらく どうしても いつも 毎日

あの商人は馬の背中に塩をのせて売りに出かけた。( )行くと川があり、( )のとおり、橋をわたり始めた。ところが、ちょうど川のまん中にさしかかったとき、( )馬が川の中に落ちてしまった。馬は( )起きあがることができたが、背中の塩は水に溶けてすくなくなってしまった。商人はたいへんな損をしたが、( )馬をつかまえておこるわけにもいかない。馬は荷物が軽くなって、大喜びだった。

三、次の各文の( )の中に、あとの(語群)から適当なことばをえらんで入れなさい。(一語は二度使わないこと)

1. ( )取ってもへらない。
  2. ( )明日にはできるでしょう。
  3. ( )よろしくお願いします。
  4. ( )捨てたものでもない。
  5. こんなに星がきれいだから、( )あした雨がふることはないだろう。
  6. ( )夏はあつく、冬はさむいのでしょうか。
  7. ( )いま現れても、とうていなにもできない。
  8. ( )悪いことをしてないのに、またしかられた。
  9. 何と言われても( )平気です。
  10. ( )人の心を傷つけるようなことは言ってはいけな
- い。

(語群)一向 決して まさか いくら まんざら どうかたとい なぜ たぶん ちっとも

### 第三节 接 续 词

#### 一 接续词的性质

在句子里起承上接下的作用的独立词叫接续词(接統詞)

接续词是没有活用的独立词,可以单独构成独立语节,接续词与其他词类之间没有修饰与被修饰的关系。

#### 二 接续词的用法

接续词有连接句子和文节的两种用法。要区别这两种用法,首先要确认这样一个概念,即以句号“。”(或问号“?”、感叹号“!”)结束的一连串的话才是一个句子,把这样的两个句子连接起来才是连接句子(关于“句子”的定义请参照第二章第一节);而在句子内部的任何连接都只是连接文节的用法,被连接的是对等关系的文节(或连文节)。

##### (一) 连接文节

在一个句子里进行连接,实际上包括连接文节、连文节两种情况。

##### 1. 连接文节

○山また山を越える。

○東京および大阪は日本の二大都市である。

○今日は静かな、そして暖かい日だ。

○会場は広くかつ明るい。

○行くかそれとも帰るか、早く決めなさい。

○そんなばかげた、また、恐れいった話はない。

○あなたはビールか、それとも酒か。

##### 2. 连接连文节

○広島に行き、それから倉敷に行った。

○作品の主題をとらえ、さらに、全体の構成をあきらかにする。

○君は近代文学をやりますか、それとも古典文学をやりますか。

○あそこは物価もやすく、その上、品物もいい。

○風が吹き、かつ雨がはげしい。

○山は高く、また谷は深い。

○含みの多い、しかし、なるべくわかりやすいことばで記述する。

○兄は大変快活だが、しかし弟はそんなではない。

(二) 接続句子

1. 连接两个形式上独立的句子

○空はよく晴れていた。だが風が冷たかった。

○昨日は雨がつよかった。それでこんなに花が散った。

○彼は頭がいい。その上よく勉強もする。

○決心はついたね。それでは先方へ話そう。

○その結論は誤りだ。なんとなれば、前提がまちがっているから。

○雨が降った。そのうえ、風も強かったので、当初の計画は変更した。

最后一句，“そのうえ”的连接方法是比较特殊的，形式上连接了两个句子，从意义上分析又当别论。

2. 放在一段话的起首(也可以说是连接段落)

○さて、一方、日本の夏はどうかと申しますと、……。

○ところで、あなたのお考えをうかがいたいのですが、……。

有这种用法的接续词主要是表示转变话题的一些词。

### 三 接续词的分类

接续词可以从意义上和接续方法上划分为以下几种类型。

对等关系的连接	并列或累加	および ならびに また おまけに しかも かつ その上 なお さらに それから それに ひいては 次いで
	选择	あるいは それとも または もしくは
	说明	すなわち つまり 要するに なぜなら なんとすれば というのは
	转换话题	ところで では ともあれ ときに それでは そもそも さて
条件的连接	顺接	すると したがって そうすると そうしたら そ(う)して そこで それだから それで それでは それなら それゆえ だから ですから よって ゆえに
	逆接	が けれども しかし かしながら それでも だけ(れ)ど(も) だが ただし だって それなのに それなのに ですが ですけれども でも ところが もっとも とはいえ とはいっても とはいふものの

按照前面的分类，下面各举几例说明每种接续词的意义和用法。

(一)表示并列或累加

- 東京及び大阪は日本の二大都市である。
- 道中は山また山の连接である。
- 風邪でのどをやられ、おまけに頭痛もする。
- ここは日あたりもいいし、それにあたりも静かだ。

(二)表示选择

- インクは青または黒を使用すること。
- 移植は春もしくは秋にするのがよい。

(三)表示说明



○わたしのビザは180日すなわち6カ月日本にいることができる。

○その結論は誤りだ。なんとなれば、前提がまちがっているから。

#### (四) 表示转换话题

○さて、これから勉強するか。

○そもそも、君がまちがっている。

○ときに、君にききたいことがあります。

#### (五) 表示顺接

○とうにみんな聞いてしまった。だから、隠したって駄目です。

○おじいさんが竹を二つにわりました。すると、中からかわいい女の子が出てきました。

#### (六) 表示逆接

○とても苦しかった。でも、がまんした。

○暦の上ではもう春だ。だがまだ寒い。

### 四 接续词的构成

接续词可以说几乎没有固有的词汇，都是由其他词类转化或复合而成的。当然，其中也有少数词汇可以不必再去考虑它们曾经是怎么复合和如何转化过来的，如しかし、そして、あるいは、かつ等，其中あるいは、かつ又可以作副词用。接续词的构成可以分成两大类。

#### (一) 复合接续词(都是由其他词类复合转化的)

##### 1. 名词加助词

ところが ところで ゆえに ために

##### 2. 代名词加助词

そこで それで それから それでも それに

##### 3. 动词加助词

ならびに ついで したがって すると 要するによって

ひいては

#### 4. 助动词加助词

だから ですから だが ですが だけ(れ)ど(も) です  
けれども

#### 5. 其他

それだから それなら それなのに そうすると そうし  
たら それゆえ とはいえ とはいうものの というのは  
なぜなら なんとすれば

上述第五类接续词是否都作为一个接续词看,看法并不统一。比如“とはいうものの”,与其他单词相比较的话,似乎超出了单词的概念,因而往往被笼统地称为连語。但这些词在句子里实际上都只起到一个接续词的作用。

#### (二) 由其他词类直接转化的接续词

なお また かつ (以上为副词转化) で と では けれど  
が でも (以上为助词转化。其中可以看成是それで、そこで、  
では在讲话时的简略形式,也兼有这三者的意义;と是するとの简  
略形式) および つまり (以上为动词连用形转化)

### 五 接续词与其他词类的区别

由于接续词大都由其他词类转化而成,应该注意与其他词类的区别。

#### (一) 接续词与副词的区别

○それはあるいは(ひょっとしたら)そうかも知れない。(副词)

○野球あるいは(または)庭球のどちらかの部に入りたい。  
(接续词)

○止んだ雨がまた降り出した。(副词)

○字を書き,また本を読む。(接续词)

区别接续词和副词的方法有以下两点:(1)作后面的词句的修饰语的是副词;不起修饰作用,仅起承上启下作用的是接续

词；(2)副词在句中的位置只要不影响意义的理解可以前后移动；接续词如果改变了位置则起不到接续的作用。

## (二)接续词与助词的区别

有的助词直接转为接续词，有的助词和别的词类复合转化为接续词，比较容易混淆。

○それでは困る。(代名词和助词)

○それではまたあいましょう。(接续词)

○これはやすいけれども，品がよい。(助词)

○これはやすい。けれども品がよい。(接续词)

这种时候可以这样区别：助词和其他词类复合成接续词以后，不可以再把它们分割开来，否则意义就无法理解，如“それではまたあいましょう”，而“それでは困る”里的“それ”仍然起着代名词的作用，可以和后续的“では”分割开来。至于某些直接转为接续词的助词，有一个特征，就是它们必须是和前面的词句隔开来的，中间有句号“。”或顿号“、”或逗号“，”，而作助词用时，则必须直接附在前面的词句后面，因为助词是附属词。

下面一些例句里的识别方法也是同样。

○これは富士山についてわが国第二の高山である。(动词和助词)

○梅が咲き，ついで桃が咲いた。(接续词)

○部の発展に尽くした功績によって賞を受けた。(动词和助词)

○部の発展に尽くした功績は実に大きい。よってここにこれを賞する。(接续词)

○そこで遊んではいけません。(代名词和助词)

○しばらくすると日が照りだした。そこで二人は出発した。(接续词)

○もう季節は春だけれども，余り暖かくない。(助动词和助词)

○理屈はまさにその通りだ。だけれども理屈通りにならないのが世の中だ。(接続詞)

○よい本だが、高くとても買えない。(助動詞和助詞)

○空はよく晴れた。だが風が強い。(接続詞)

### 練習問題十六

一、次の文中の——を引いた語の違いを、例にならって区別しなさい。

例①やんでいた雨がまた降り出した。(副詞)

例②今日は約束の日だから待っていた。(助動詞+助詞)

例③今日は約束の日だ。だから待っていた。(接続詞)

① { ○でかけようとすると、ぼつりぼつり雨が降ってきた。

① { ○そこで、レインコートを持っていくことにした。( )

① { ○家の前に大きな川が流れていた。そこで私たちはよく泳いだものだ。( )

② { ○ご注文の品をお届けします。なおその時、御説明します。( )

② { ○それならなお都合がいいです。( )

③ { ○すると、今日はだめですね。( )

③ { ○そんなことをするとは驚いた。( )

④ { ○二人の争いはそれから起った。( )

④ { ○ちょっと紙を買ってきてください。それからインキも。( )

⑤ { ○考えてばかりいないで、やってみればあるいはやさしいことかも知れない。( )

⑤ { ○勝つあるいは負けるかは、やってみなければ分らない。( )

二、次の文中の( )のなかに入れるのに適当なものを末

尾の( )の中から選び、番号で記入しなさい。

1. 今の世の中は、お金があれば、たいいていの物は手に入れることができる。A( ), 過ぎ去った時間は、再び取りもどすことができないし、B( ), お金で買うわけにはいかない。(アそれで イしかし ウですから エまた)

2. 電話は生きた声を、A( )即時に送ってくれる。B( ), その手軽さの反面、声はすぐに消え、後に残らない。手紙はこれに反し、書きあげるまでは時もかかり、労力も要るが、C( ), 心をこめて、行き届いた表現をすることができる。(アしかも イつまり ウが エそれだけに オあるいは)

3. 少年はまっかになって、ジャケットをぬぎすてると、さるのあとを追いかけて、マストにとびついた。A( )見るまにロープを伝って、一番めのほげたまでよじ登った。B( ), さるのほうは、少年よりももっと身軽で、すばしこかった。C( ), かがぼろしをつかんだかと思ったとたん、さるのほうは、また、もっと上に登ってしまうのだった。「ようし、そんなことをしたって、にがしはしないぞ!」少年はそうさげぶと、さらに上のほうへ登った。D( ), さるのほうは、少年に手まねをして、もっと上へ上へと上っていく。少年も意地になって、負けまいと追いかける。E( ), さると少年はあつというまに、とうとう、いちばん上のほげたまで登りつめてしまった。(アこうして イと ウだが エだから オそして)

#### 第四节 感叹词

##### 一 感叹词的性质

表示感叹、呼唤、应答的词叫感叹词(感動詞)

感叹词是没有活用的独立词，可以单独构成独立语节，除此之外，感叹词不能构成任何其他文节，也没有修饰与被修饰的关

系。感叹词还可以单独构成一个句子。从句子的构成角度看，感叹词比接续词更具有独立性，虽然都构成独立语节。

## 二 感叹词的用法

### (一) 构成独立语

#### 1. 用于句首

○ああ，うれしい。

○おうい，待ってくれ。

○そう，そんならいいけど。

#### 2. 用于句子中间或句尾

○あなたの考え方は、なあ、わしらのとまったくくびったりしてきたなあ。

○どうも驚いたね。まあまあ。

### (二) 单独成为句子

○「山田さんですね。」「はい。」

○「あなたはどう思いますか。」「さあ。」

## 三 感叹词的分类

感叹词从意义上可以分成以下三个种类。

### (一) 表示感叹的感叹词

用于喜悦、气愤、悲伤、惊讶、恐惧等场合。

○あ，おとうさまだ。 ○ああ，だめだ。 ○ああら，そうなの。 ○あっ，雨だ。 ○あら，いらっしゃい。 ○あらまあ，ようこそ。 ○あれ，どこへやったかな。 ○いや，こまりましたよ。 ○ええ，待ってくださいよ。

○ええっ，なんですって。 ○おお，いやだ。 ○おっ，びっくりした。 ○おっと，待って。 ○おや，おそろいで。 ○おやおや，それはありがたい。 ○おやまあ，どうでしたか。 ○ね，いらっしゃいよ。 ○ねえ，だめ。 ○はて，どうしよう。 ○はてさて，こまったもんだ。 ○ははあ，なるほどね。 ○ほう，そんなものかね。 ○ほほう，感心なこと。 ○ほうら，みなさ

い。○ほら、いいでしょう。○まあ、かわいい。○やあ、こまっちゃった。○やれやれ、安心したよ。

#### (二) 用于呼唤的感叹词

这方面的词除了一部分直接用来呼唤别人的词之外，还有一些是提醒别人注意的词。

○おい、ちょっとこい。○おうい、早くしろよ。○こら、待て待て。○さ、起きなさい。○さあ、はじめよう。○そら、やるよ。○そうら、おんぶ。○それ、飛べ。○そうれ、押した、押した。○どれ、でかけよう。○ね、そうだろう。○もし、番頭さん。○もしもし、佐藤さん。○やあ、今日は。○やい、なんだと、もうーベン言ってみろ。○やいやい、てまえは一体誰だ。○よう、読んでよう。

#### (三) 用于应答的感叹词

这方面的词除了一部分直接用于应答之外，还有一些是向对方表示赞否的词。

○ああ、よしよし。○あい、もういかない。○いいえ、私ではありません。○いえ、そうじゃない。○いや、とてもだめです。○いやあ、もういりません。○いやいや、まったくちがいます。○うん、あげる。○ええ、そうですとも。○おう、そうか、そうか。○そう、そんならいいけど。○なに、なくしたって。○なあに、平気ですよ。○はあ、かけあってみます。○はあい、もうしません。○はい、分かりました。○はっ、かしこまりました。○ははっ、ごもっともでございます。○へい、どれでも、どうぞ。○いやさ、とんでもない。○え、なにがですか。

#### 四 感叹词的构成

感叹词的构成比较简单，大部分是固有的词汇，也有一部分由其他词类直接转化的词。如：

1. 由名词转化 糞 畜生

2. 由代名词转化 これ それ あれ どれ こら そら  
あら なに

3. 由形容词转化 よし

4. 由副词转化 いや いやいや いやもう そう どうも

5. 由助词转化 ね ねえ なあ

识别这些词是否已转化为感叹词,有两条标准:(1)基本上失去了原来的词类的意义,如:“あれ,どこへやったかな”,这里的“あれ”,不是一个指示事物的代名词,只表示惊奇、奇怪的语气;(2)与句子里的其他成分之间没有直接关系,如:“あの,ちょっとおたずねしますが”的“あの”,“いや,とてもだめです”的“いや”,等等。

对于感叹词的词汇究竟包括到什么范围,各家看法也不统一。现在很多语法书中,把“おはよう”、“ありがとう”、“さようなら”、“ごめんなさい”、“すみません”之类的寒暄语、“万岁”、“起立”、“きをつけ”、“右へまわれ”、“ジャ・ケン・ポン”之类的表示欢呼、喊口令之类的词语也列入感叹词。这一类词语从语气、或从其在构句方面的特点来说,确实与感叹词有很多相似之处。但是,这一类词语如从语言的表达形式来说,往往带有很大的任意性,也就是说可以任意地有意识地组成各种表达方式,比如“ありがとう”可以讲成“どうもありがとう”、“どうもありがとうございます”、“どうもありがとうございました”,甚至可以讲成“お手紙(或“昨日は”)どうもありがとうございました”。很明显,这种表达形式,与通常所说的表达感叹、呼唤、应答的感叹词是大不相同的。另外,欢呼声、口令一类的词语虽然表达形式也相对比较固定,但表示的内容明确、具体,这也和感叹词的性质不完全相同。可以这样认为,通常所说的感叹词无论从其发音方法还是音节组织来说,都不是任意地选择和组合的,感叹词的发音方法是一种接近于自然出声(如惊叫、哭、笑等)的发音方法,音节组织不是任意地组合的,也就是说不能具体地表达事物的内容。因此,即使要把寒暄语、欢



呼声、口令之类的词语归入感叹词，那也只能限于一些日常惯用的、表达形式比较固定的词语，象“お手紙(或“昨日は”)どうもありがとうございました”这样的寒暄语是不便作感叹词看的。

### 練習問題十七

次の文章の中から感動詞を抜きだしなさい。

- ①「ごめんなさい。ごめんなさい。」
- ②「おやっ、だれか来たようだ。」
- ③「まあ、だれだろう。こんな雪の降る夜ふけに。」
- ④「ごめんください。ごめんください。」  
(農夫が立って戸を開ける。すると、みのを着た娘が現れる。)
- ⑤「だれだね。おまえさんは。」
- ⑥「はい、道にまよって、困っている者でございます。お願いです。どうか、ひと晩泊めてください。」
- ⑦「ほう、道に迷ったのか。かわいそうに。この雪では道もわかるまい。だが、こんなあばら家では……。」  
(妻も炉ばたから立って、ふたりのそばに来る。)
- ⑧「まあまあ、頭から雪をかぶって……。さあさあ、入って、火におあたりなさい。こんなきたない家だけれど……。」
- ⑨「ありがとうございます。それでは、お言葉に甘えまして……。」

### 課外練習 (第五章 連体詞・副詞・接続詞・感動詞)

一、次の各文の□の中に、どんなことばを入れたらよいか、~~~~線をほどこした語に注意して、適当なことばを仮名一

字ずつ書き入れて、ちょうど□□がうまるようにしなさい。

1. あの人は決してそのようなことはします□□。
2. まさかそんな心配はな□□□が、やはり気になる。
3. よしんぼそんなことになったと□□□,わたしたちはちゃんと覚悟ができています。
4. かれはかならずしもわたしの意見に賛成した□□□□。
5. いつおいでくださっても、一向さしつかえはし□□□。
6. 万一そんなことにな□□□, わたしが責任を負う。
7. あの雲の形はちょうど山の□□□□。
8. 事件は恐らくこれ以上発展しない□□□。
9. 今ごろどうしてこんなに暖かい□□□□□。
10. ぜひ話しに行ってあげて□□□□。

二、次の文中の~~~~線をひいたことばの品詞名を、例にならって、説明しなさい。

例: よい本①だが、高くて②とても買えない。(①助動詞+接続助詞 ②副詞)

1. あけまして、おめでとうございます。ことしもまたよろしくお願ひします。
2. あの人は医者であり、また大学の先生でもある。
3. あしたは雨か、または雪だ。
4. あるいはとと思って受けた試験にパスして、外国へ留学した。
5. 今日は出かけてはいけませんよ。だってあなたは風邪をひいているのだから。
6. 明日は雨だっていうのです。
7. ぼくも読みたい。でも、すこしむずかしい。

8. いくら読んでも、むずかしくて分らない。
9. 旅行中はことにからだに注意しなければならない。
10. この話は聞かなかったことにしよう。
11. あなたはこの着物を着ると、なお美しく見えます。
12. しばらくすると、日が照り出した。そこで二人は出発した。
13. あの人の部屋にはステレオ、テレビ、それからピアノがある。
14. テニスのボールが目にあたった。それからときどき目がいたくなることがある。
15. 朝からとてもいい天気でした。それが昼すぎから急に風が吹き出し、雨まで降りだしたのです。
16. 「それ」というより早く走りだした。
17. きのうから風邪をひいています。それに頭もいたいのです。
18. これ、早く起きないと学校に遅れますよ。
19. あれ、あそこに赤い星が見えますね。
20. それは世間によくあることで、珍しくない。
21. 事実、私はなにも知らないのです。
22. これはひとり日本だけでなく、世界の問題だ。
23. きのうは大学の帰りに図書館へ行きました。さらに、古本屋へもよりました。
24. お金も大事だが、さらに大切なのは時間だ。
25. いろいろやってみましたが、結局失敗しました。
26. あの人はただお金をもうけることだけしか考えていない。
27. これが百円なんてただみたいにやすい。
28. あそびに行ってもいいですよ。ただおひるには帰っていらっしやい。

三、次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

最近、ビニルハウスがたくさん作られて、花でも野菜でも果物でも、年がら年じゅう栽培され、収穫されて、いつでも目に触れるようになりました。わたしたちの少年時代は、菊といえば秋の花であり、トマトといえば夏のものと思っていたのですが、栽培法が進むとともに、花や野菜の季節感もいづらか違って来たように思われます。A( )、道路を造るために、川や畑がうめられ、団地建設のために、山野や森林がけずられてしまい、野鳥の声も遠くなり、木木の緑もまばらになって、四季おりおりの趣も消えていく感じです。

B( )、私は、かならずしも悲観はしません。C( )、次次に近代化されていく都市や農村の風景にも、D( )流行の移り変わりの激しい風俗にも、新しい年中行事のふん囲気にも、今までになかったういういしい季節感を発見するにちがいないと思うからです。大昔から養い育てられ、日本人の心に生きている季節感の根は、そうやすやすと枯れてしまうものではないと信じていますから。

問一 A～Cの( )中に入れるのに適当なことばを、次から選び、記号で記入しなさい。

ア というのは イ そのうえ ウ また エ しかし

問二 「問一」にあげた四つの接続詞は、次の接続詞の種類のどれにあたるか、ア・イ・ウ・エの記号で( )の中に記入しなさい。

並列・添加( ) 選択( ) 説明( ) 話題の転換( ) 順接( ) 逆接( )

問三 文中にある副詞をさがして、その下に線をひきなさい。なお、次の副詞の種類にあたるものを一つずつ選んで( )の中に書き入れなさい。

状態の副詞( ) 程度の副詞( ) 陳述の副詞( )

## 第六章 助 动 词

### 第一节 助动词的性质和分类

#### 一 助动词的性质

主要接在用言后面(也可以接在体言、助动词以及某些助词后面),起一定的语法作用或增添某种意义,有活用的附属词叫助动词(助動詞)。例如:

○これは桜の花です。(です接在体言后面构成了谓语文节,从而使体言具有用言一般的性质。)

○花が咲かない。(ない接在用言后面增添了否定的意义。)

○花を咲かせた。(せ(る)和た重叠使用,给前面用言增添了使役和完了的意义。)

#### 二 助动词的分类

各个助动词都能起到不同的语法作用和增添不同的意义,同时每个助动词接在什么词以及活用词的什么活用形后面都有一定的规律,并且助动词还有各种不同的活用规律,所以,在进行助动词的分类时,应该考虑到所有这三个方面,即:①意义、②接续法、③活用。

##### (一)按意义分类

种 类	口 语	口语中出现的文语
1. 使役	せる させる しめる	
2. 被动	れる られる	
3. 可能,自发	れる られる	
4. 敬语	れる られる ます	

種類	口 語	口語中出現的文語
5. 否定	ない ぬ(ん)	ず
6. 希望	たい たがる	
7. 過去,完了	た	
8. 断定	だ です	なり たり
9. 推量	う よう まい らしい	む(ん) べし まじ じ
10. 比況	ようだ ようです みたいだ みたいですよ	ごとし
11. 样态	そうだ そうですよ	
12. 傳聞	そうだ そうですよ	

### (二) 按接續法分類

接未然形的	せる, させる, しめる, れる, られる, ない, ぬ(ん), う, よう, まい
接連用形的	ます, たい, たがる, た, そうだ(样态)
接終止形的	まい, らしい, そうだ(傳聞)
接連体言的	ようだ, みたいだ
接体言, 助詞等的	らしい, だ, です, ようだ, みたいだ

### (三) 按活用型分類

動詞活用型	せる, させる, しめる, れる, られる, たがる
形容詞活用型	ない, たい, らしい
形容動詞活用型	だ, ようだ, みたいだ, そうだ
特殊活用型	ます, です, ぬ(ん), た
詞形不變型	う, よう, まい

助動詞活用時一般不作詞干和詞尾的區別。

## 練習問題十八

一、次の言葉の中には助動詞があれば、その部分に——線を引きなさい。

植えた いたします 晴れそうだ 知らない 眠られる  
泳いだ 話そう 公園だ 知らぬ やるまい 寝かせる  
行かせる 見せる いいらしい めずらしい 起きよう  
言いようもない 降りそうもない 運動する 言わしめる  
読みはじめる やすみたい 学生みたいだ 留守でした  
知らぬようだ

二、次の各文中にある助動詞の下に——線を引き、個々の文における意味を述べなさい。

1. どうしたら一番いいか、それはわかっているようで分っていない。
2. 何かに動かされてはいるだろうが……。
3. 彼はなにか話しかけたかった。しかし言葉は出なかった。
4. あなたはすでに木村君で行きづまっている人なんだと僕には思われるのです。
5. 子供と見くびっている古藤にも憐れまれるはめになりそうな気がしてならなかった。

## 第二节 使役助動詞せる、させる(附しめる)

### 一 使役助動詞的意義

表示使役，即表示让别人做某种动作的意思的助动词叫使役助动词(使役の助動詞)。

使役助动词有せる、させる、此外、しめる是文语助动词しむの残余，意义和せる、させる相合，后面另作解释。

使役助动词在具体的使用中,意义上有些变化,主要有以下三种用法。

(一) 主动的使役,即让他者(不限于人)做某一动作。

○先生は学生に本を読ませたり,字を書かせたりする。

○教授は助手に学生を教えさせる。

○母は子供を使いに行かせる。

(二) 表示引起(诱发)

○私達が訪ねてきたことはよほど主人の心を悦ばせたらしい。

○春に入って,淋しく暖かい雨垂の音を聞いていると,何となく春の近づくことを思わせる。

○夕風が吹いてきて,水の面に時々こまかい小波を走らせた。

○校長の話聞いて,私はすっかり考えさせられてしまった。

(三) 表示容许、放任(或不可抗拒)。

○今日は休ませてもらいたい。

○失礼させていただきます。

○あんなおとな向きの映画を子供に見させていいのですか。

○私は坊やを背中からおろし,奥の六畳間にひとり遊ばせて置いて……。

○彼にかつてに言わせて置くさ。

○長女を早く死なせてから臆病になった。

## 二 使役助动词的接续法

使役助动词接在动词未然形后面,せる接在五段活用动词和サ变动词后面,させる接在除此以外的动词未然形后面。

読む(五段)→読ませる

起きる(上一段)→起きさせる



食べる(下一段)→食べさせる

来る(カ変)→来させる

する(サ変)→させる

サ变动词未然形せさせる构成せさせる, 这种形式除了在文章中仍有出现外, 一般都必须约音成为させる。

例如:

勉強せさせる→勉強させる 準備せさせる→準備させる

“感ずる”“信ずる”等サ变复合动词接させる时, “感ぜさせる”、“信ぜさせる”不能约音成“感させる”、“信させる”。因为这种サ变动词还有上一段活用的用法(请参照第四章第二节), 口语里通常用“信じさせる”、“重んじさせる”。

### 三 使役助动词的活用

使役助动词的活用属于动词活用型, 和下一段活用动词相同。

活用表

基本形	未然形	连用形	终止形	连体形	假定形	命令形
せる	せ	せ	せる	せる	せれ	せろよ
させる	させ	させ	させる	させる	させれ	させろよ

#### 用例和说明

○今日は彼を休ませようか。(未然形)

○一時間も待たされて, ほんとにイライラさせられたわ。

(同上)

○そろそろ失礼させていただきます。(连用形)

○ぼくは彼を行かせたい。(同上)

○子供を一人で寝させる。(终止形)

○こんどは女性を行かせるそうです。(同上)

○あの人にその仕事をつげさせることはできません。(连

体形)

○あまり乳飲児を泣かせるのはよくないことです。(同上)

○わたしに作らせれば、もっと上手に作りますよ。(假定形)

○警察に調べさせれば分るでしょう。(同上)

○家の中にいる人に戸をあけさせる。(命令形)

使役助动词各活用形の用法和动词基本相同。

#### 四 使役句的构成

使役句中的被使役者(即使役的对象)有以下几种表示方式。

(一)动词为自动词时,被使役者用格助词<sub>を</sub>来表示。

○今日は彼を休ませようか。

○あまり赤んぼうを泣かせるのはよくない。

但这一条并非绝对的,有的时候也可以用<sub>に</sub>来表示被使役者。例如:

○夜警に校舎を回らせる。

○次郎に山を降りさせる。

(二)动词为他动词时,被使役者用格助词<sub>に</sub>来表示。

○父は花子に英語を太郎から習わせた。

○先生は自分で分るまで学生に考えさせる。

(三)使役句中有时为了把被使役者与其他的宾语等连用修饰语区别开来,可以用<sub>を</sub>、<sub>に</sub>命じて等接在被使役者后面,其中<sub>を</sub>、<sub>に</sub>是文语性质的表达方式。

○国民をして経済の発展に理解をもたせ、ひいては国民生活の安定をはかることが大切だ。

○彼をしてその遂行をあきらめさせたほどの難事業だ。

○司令官は随員に命じて村人に道を尋ねさせた。

注意:

1. 見せる、似せる、着せる等下一段活用动词本身带有使役的意思。

○この本を見せてくれませんか。

○田中先生の声に似せて電話をかけて、友達をびっくりさせた。

○子供に着物を着せる。

見せる、着せる并不能完全取代“見させる”、“着させる”的使用，要注意它们之间的区别。

2. 近来把动词未然形加せる、させる讲成サ行五段活用动词的情况很多。例如：

読む→読ませる→読ます

書く→書かせる→書かす

聞く→聞かせる→聞かす

食べる→食べさせる→食べさす

这种用法还不能看作标准的用法，因为如果完全把他们作五段动词看待的话，则另有不妥，因其假定形和命令形事实上并不太使用，未然形也不太使用，这几个活用形一般仍旧用せる、させる的活用形。

3. 一些动作性汉语名词加する构成的サ变复合动词，如“孤立する”、“普及する”、“発展する”、“感動する”等等，中国人容易把它们看成是他动词，但日语里是自动词，要注意它们的用法。

○少数を孤立させる

○体育活動を発展させて、人民の体位を向上させよう。

○体育を普及させる

○私は彼の話に感動させられた。

4. せる、させる后接尊敬助动词れる、られる，可以构成敬语表达方式（请参照第五节敬语助动词）。这时候的せる、させる当然不具有使役的意义。例如：

○殿下には見学を終えさせられて、御宿舎に赴かせられた。

但这种用法一般场合不使用。

5. せる、させる后接被动助动词れる、られる，即被使役的意思，有人称之为使役被动态，请参照第三节被动助动词里有关“被动句的构成”部分。

#### (附) しめる

しめる是文语的残余，在现代口语里常用于写文章和演讲等场合。讲话时几乎不用。

しめる的意义和せる、させる相同。

しめる的接续法和せる、させる基本相同，但因为带有文语性

質, 除了接在动词未然形后面之外, 还接在文语形容词和形容动词及文语助动词なり、たりの未然形后面。

しめる的活用和下一段活用动词相同。

用しめる的使役句里, 也用を和に表示被使役者, 但较常见的是用をして表示, 这也是文语的影响。

○私をして言わしめれば, 彼は悪人である。

○技術を向上せしめるためにいろいろのこころみがなされてきた。

○関係官庁に, 保健制度を再検討せしめるつもりであります。

○事業を成功せしめたのは, 彼の努力であった。

○彼を今日あらしめたのは内助の功におうところが大きい。

○これは実に膚を寒からしめる一瞬であった。

○事務を円滑ならしめて仕事の能率をあげようと思う。

○母の愛情が彼をして大人物たらしめた。

○彼をして行かざらしめることは不可能だ。

### 練習問題十九

一、例文にならって, 1~4の文中の使役助動詞の下に——線を引き, 又, 例文の使役の意味にもっとも近いものを一つ選び, その文の番号に○印をつけなさい。

例文○過ちを認めさせ, 今後同じまちがいを繰り返さないことを約束させた。

1. 一つの文が牛のよだれのようにだらだらと続き, どこが頭でどこがしっぽか分からないような話し方をする人がよくあります。そんなのは聞く人の頭を疲れさせてしまいます。また, 「……とは限らないといえないこともない。」いったような言い

方も、聞く人の頭を混乱させます。

2. 宅の四つ目垣には、野生の白ばらをからませてあるが、夏が来ると、これに一面に朝顔を這わせる。

3. 昔気質の厳格な父は、子供心にも、どうしてこうもきびしいかと思うほど、映画さえ見させなかった。

4. 万全の策を取らせたいと考えている。

二、次の各文中から「使役」の助動詞を見つけなさい。

1. 女王の戴冠式が行わせられました。

2. この仕事はあなたにまかせているのですから、自由にやってください。

3. なんとも言えぬ親切さを感じさせられる。

4. 速やかに治療を加えしめたまえ。

三、次の中国語を日本語に訳しなさい。

1. 困难的工作与其让别人干,不如自己干。

2. 自己不来,让别人来。

3. 他想说什么,就让他说什么好了。

4. 依我说,你有责任。

5. 由于反动政府的不抵抗主义,使敌人一步步侵入到内地来了。

6. 让农民向政府缴公粮。

7. 不让身体不太好的人从事过于剧烈的劳动。

8. 要在农村普及科学知识。

### 第三节 被动助动词れる、られる

#### 一 被动助动词的意义

表示被动,即表示承受来自别人(或事物)的某种动作或影响的意思的助动词叫被动助动词(受身の助動詞)

被动助动词有れる、られる。被动助动词在具体使用中主要

可以归纳以下几个用法：

(一)表示直接承受某种动作，即“遭受”、“受到”、“被”的意思。

○山田さんはときどき先生に叱られる。

○おかしなことを言ったので、私はみんなに笑われました。

○私は足を虫にさされて、いたくてたまりません。

○田中さんは先生にほめられた。

○私はみんなから代表に選ばれた。

○私は友達に仕事を頼まれた。

如上面例句所示，被动助动词所表示的利害关系，对于被动者来说，有不利的场合，也有有利的场合，但日语里一向是用被动的表达方式来表示对被动者不利的场合较多，由于这种原因，如上面的例句“私は友達に仕事を頼まれた”一句，可以说是无所谓利害关系的被动，也可以说带有一定程度的“受动”的味道，即并非自己很乐意、很主动地为别人做事。此外如“先生に教えられた”、“おいしいものをいっぱい食べさせられた”之类的讲法，很明显地不符合日语的表达习惯。

(二)表示间接地承受某种动作，即由于别人(或事物)的某种动作间接地受到了影响。

○今度の旅行は雨に降られてしまってつまらなかった。

○朝早くから客に來られると閉口する。

○あの人も息子に死なれてから急にふけた。

○夜は子供に泣かれてよくねむれなかった。

○廊下に大きな箱を置かれて、やっと通れるぐらいの道はばしかない。

这种用法主要是受影响、受害的意思，包括第一种用法里的对被动者不利的用法，是日语被动表达方式的最基本的用法，有的书里称之为“迷惑の受身”。

(三)以无生物为主语，不带有感情色彩或利害关系。

○机の上に本が置かれている。

○花壇に花が植えられている。

○場内が笑いにつまれたことはいうまでもない。

○これは外国人によって設計された建物です。

以无生物作为被动者,在古代日语里很少见,近代日语受西欧语言的影响,这种用法已经相当广泛,有的书里称之为“非情の受身”。

## 二 被动助动词的接续法

被动助动词接在动词未然形后面,れる接在五段活用动词和サ变动词后面,られる接在除此以外的动词的未然形后面,还可以接在使役助动词せる、させる的后面。

叱る(五段)→叱られる

見る(上一段)→見られる

攻める(下一段)→攻められる

来る(カ変)→来られる

する(サ変)→される

せる } (助动词) → { 行かせられる→行かされる  
させる } { 起きさせられる

サ变动词未然形せ接られる构成せられる,这种形式除了在文章中仍有出现外,一般都必须约音成为される。例如:

批判せられる→批判される 要求せられる→要求される

五段动词后续使役助动词せる再接被动助动词られる时,“…せられる”也通常约成“……される”。例如:

行かせられる→行かされる 働かせられる→働かされる。

## 三 被动助动词的活用

被动助动词れる、られる的活用属于动词活用型,和下一段活用动词相同。

## 活用表

基本形	未然形	连用形	终止形	连体形	假定形	命令形
れる	れ	れ	れる	れる	れれ	れろよ
られる	られ	られ	られる	られる	られれ	られるろよ

### 用例和说明

○態度をきちんとすれば、人に笑われない。(未然形)

○天才は生きているとき、そのほんとうの価値を認められないことが多い。(同上)

○ゆうべは、友達に遊びに来られて、勉強ができなかった。(连用形)

○毎日母の手伝いをさせられます。(同上)

○出るくいは打たれる。(终止形)

○そう言われると、一言もないのですが。(同上)

○言われるままに金を払った。(连体形)

○人に顔を見られるのがはずかしい。(同上)

○君に頼まれれば仕方がない。(假定形)

○あいつは執念ぶかい男だから人に侮辱さられれば必ず復しゅうする。(同上)

○人に批評されろ(よ)。(命令形)

○長いものに巻かれろ。(同上)

被动助动词的各个活用形的用法和动词基本相同。但命令形现在很少使用，如前面的“人に批評されろ”一般讲“人の批判を受けよ”。

### 四 被动句的构成

被动者作主语的句子叫被动句，主动者(或曰施动者)作主语的句子可以叫做主动句。例如：



○警察はどろぼうをつかまえた。(主动句)

○どろぼうは警察につかまえられた。(被动句)

被动句的构成一般有以下几种形式。

#### (一)主宾易位句

主动句里的宾语(即被动者)放到被动句里作主语,以主动句的主语(即主动者)作补语,这个补语用格助词に或から表示。

例如:

○警官は犯人を射殺した。(主动句)

○犯人は警官に射殺された。(被动句)

○家族のものも彼をきらっている。(主动句)

○彼は家族のものからもきらわれている。(被动句)

#### (二)带宾语的被动句

这一类句子和“主宾易位句”一样,被动者作主语,主动者作补语。但是有时会出现这样一种情况,主动句里不仅有宾语,还有表示动作对象的补语,而这个补语才是真正的被动者。因此,这类主动句改成被动句时,被动者成为主语,宾语则仍是宾语。

例如:

○友達はいつも彼に節約することを勧める。(主动句)

○彼はいつも友達に節約することを勧められる。(被动句)

还有一种情况,主动句里的宾语前面往往冠有表示领属关系的连体修饰语,这种主动句改成被动句的时候,可以把主动句的宾语改成被动句的主语,也可以把宾语的连体修饰语改成被动句的主语,而宾语不变。

○スリは彼の財布をとった。(主动句)

○彼の財布はスリにとられた。(被动句。习惯上不这样讲)

○彼はスリに財布をとられた。(被动句)

○母は妹の日記を読んだ。(主动句)

○妹の日記は母に読まれた。(被动句。习惯上不这样讲。)

○妹は母に日記を読まれた。(被动句)

注意：

日语习惯上不讲“彼の財布はスリにとられた”，而用“---は---に---を……れる(られる)”的形式，即以被动者作主语，这种带宾语的被动句常常带有被动者受到影响或损害的含义。

### (三) 自然表明句

自然表明句是指被动句里没有必要或无法出现主动者的句子。(这类句子译成汉语往往不必译出“被”字。)

- 空地に家が建てられた。
- オリンピックは四年ごとに行われる。
- 卒業試験は二月末日に行われます。
- 記念切手が発行された。
- 机の上に花瓶が置かれている。

### (四) 被动句里的施动者

被动句里的施动者可以用に、から、によって来表示。

- ゆうべは一晩中、子供に泣かれて一睡もできなかった。
- 感謝状が知事から彼に贈られた。
- 話し合いによって、紛争が解決された。

有时候施动者还可能用で表示，但一般是用于表示自然原因的情况。

- 豪雨で橋が流されてしまった。

## 第四节 可能(自发)助动词れる、られる

### 一 可能(自发)助动词的意义

表示可能，即表示具有某种能力或某种可能性的助动词叫可能助动词(可能<sup>かのう</sup>の助動詞)。

可能助动词还可以表示某种自发的心情，有的书里把这种用法专门列为“自发助动词(自发<sup>とほう</sup>の助動詞)”。

可能(自发)助动词有れる、られる。

### (一) 表示可能

- この山なら私にものぼられよう。
- きょうはつごうが悪くて行かれません。
- となりのへやがうるさくて、なかなかねむられない。
- 問題全部答えられればよいがな。
- 明日は来られる人だけでよいから来て手伝ってほしい。

### (二) 表示自发

- 育ちのよさが感じられる人でした。
- なんだか不思議に思われる。
- 当時の姿がまざまざと思いだされる。
- 城の石がきに昔のおもかげがしのばれる。
- 外地の娘のことが案じられる。
- あなたからのお手紙がなによりも待たれます。

所谓自发,实际上只是指某种自然地产生的心情,所以通常是接在一些和感情、心情有关的动词后面,也就是说常表示心理动态,因此,一般的动词就很少和自发的助动词发生关系。

## 二 可能(自发)助动词的接续法

可能(自发)助动词れる、られる的接续法和被动助动词れる、られる相同,即れる接在五段活用和サ变动词未然形后面,られる接在除此之外的动词的未然形后面。

注意:

1. 可能助动词れる接在五段活用动词后面时通常发生约音,例如:

読む→読まれる→読める

書く→書かれる→書ける

行く→行かれる→行ける

話す→話される→話せる

这种用法已作为规范的语言看待,而且通常把“読める”“書ける”等称为“可能动词”。

サ变动词后续られる表示可能的用法不多,通常是词干直接加“できる”。例如:出発できる。

2. 上、下一段活用动词和カ变动词后面接られる，现在也经常发生约音。例如：

見る→見られる→見れる  
起きる→起きられる→起きれる  
出る→出られる→出れる  
食べる→食べられる→食べれる  
来る→来られる→来れる

这种用法现在还没有被承认为规范语言，但用的人不少。

### 三 可能(自发)助动词的活用

可能(自发)助动词れる、られる的活用除了没有命令形之外，其他五种活用形和被动助动词れる、られる相同。

活用表和用例从略。

### 四 使用可能助动词的句子的构成

使用可能助动词的句子，表示能否的对象一般用が、は，亦称“对象语”(对象語)。例如：

○日本語が話せる(話される)。

○これはもう食べられない。

在这种句子里，动作的主体用には、にも或は、も表示。

○私は日本語が話せる。

○彼にも日本語が話せる。

能否的对象也可以用を表示，例如：

○病気をなおせる薬。

○この辺に書留を出せる所はありませんか。

#### 【参考】 可能的表达方式

表示“能够”、“可能”的意思时，大致有以下几种表达方式。

1. 动词未然形后面接可能助动词れる、られる。

○今日はつごうが悪くて行かれませぬ。

○これは三日前のものだから、もう食べられない。

2. 用可能动词(即五段动词未然形后续可能助动词れる并约

音而成)。

○これもよい措置といえよう。

○まだこんな難しい本を読めるところまでいっていない。  
表示自発的时候也有这种用法。

○あの話を思い出すと、ひとりで笑えてくる。

○あの場面をみるたびに、泣けてしかたがない。

○なんだかそう思えてならない。

3. 动词连体形后面加“ことかできる”。

○ここに置いた本は誰でも借りて読むことができる。

○あなたは自転車に乗ることができますか。

サ变复合动词可以用词干直接接できる。例如：

○時間どおりに出発することができるでしょう。→○時間どおりに出発できるでしょう。

4. 动词连用形接うる(える)。(请参照第四章第二节下一段活用动词部分)

○太陽が西からのぼることはありえない。

○月まで飛んで行きうるだろうなどとは思ってもみなかった。

5. 动词できる、見える、きこえる、分る等都带有“能够”、“可能”的意思。

○あなたは自動車の運転ができますか。

○雲がないので、富士山が見えた。

○この小さい音がきこえますか。

○こんなむずかしいことは子供には分るはずはない。

6. 表示“不能”的意思的时候，还可以用“动词连用形+かねる”或“动词连体形+わけにはいかない”的形式。

○今すぐお返事いたしかねます。

○言いたしかねてもじもじしていた。

○こんな天気に船を出すわけにはいきません。

○今日はいそがしいので、遊んでいるわけにはいかない。

## 第五节 敬语助动词れる、られる和ます

### 一 敬语助动词的意义

对别人表示尊敬的意思的助动词叫敬语助动词(尊敬の助動詞)

れる、られる用于尊敬地叙述别人的动作与行为,ます表示郑重、有礼貌地和别人讲话。

### 二 れる、られる

#### (一) れる、られる的意义

れる、られる表示尊敬地叙述别人的动作与行为。

○あなたが先日言われた本はこれでしょう。

○だんなさまは家で好んで和服を着られます。

○明日にも診療を受けられればすぐなおりますよ。

○昨日ひっこして来られた鈴木さんです。

○社長が提案された件についてはもう検討したのかね。

#### (二) れる、られる的接续法和活用

敬语助动词れる、られる的接续法和被动助动词れる、られる基本相同,敬语助动词れる、られる的活用除了没有命令形之外,其他活用形也和被动助动词的相同。

注意:

1. 敬语助动词接在サ变动词后面时,为了避免误解,更多的是用サ变动词词干(主要指サ变复合动词)接なざる。例如:

○どうか無理されませんように。→○どうか無理なさらないように。

○いつ帰国されますか。→○いつ帰国なさいますか。

4 そんなにご心配なさらないように。

后面两个例句是以“ご+サ变动词词干+なざる”构成的敬语表达方式。

“なさる”不能用“される”替换，即不能讲“いつご帰国されますか”、“そんなに心配されないように”。此外，动词以“お+动词连用形+なさる”的形式构成的敬语表达方式不能用“される”替换“なさる”，如：

○まだお聞きなさらなかったのですか。(される×)

○もうお話しなされたのですか。(される×)

2. 敬语助动词られる接在せる、させる后面时，构成敬语表达方式，要注意和使役助动词后接被动助动词的用法区别开来。这种敬语表达方式里的主语通常用には来表示。例如：

○女王には満足げにほほえませられた。

○殿下には被災地の視察に向わせられた。

○終始、静かな微笑をたたえさせられ、患者の一人一人にねぎらいのおことばをたまわった。

这种用法一般场合不使用。

### 三 ます

#### (一) ます的意义

ます表示郑重、有礼貌地和别人讲话，有的书里专门列为“郑重助动词”(丁寧の助動詞)。ます常用于敬体的会话或文章里，所以也称之为“敬体助动词”。

○分りますか。

○私は日本語がよく話せません。

○これは私ではありません。

#### (二) ます的接续法

ます接在动词或动词活用型助动词的连用形后面，敬语动词いच्छる、おच्छる、くださる、なさる、ござる的连用形接ます时要发生イ音便。

読む(五段)→読みます

見る(上一段)→見ます

食べる(下一段)→食べます

来る(カ変)→来ます

する(サ変)→します

(さ)せる、(ら)れる、たがる(助动词)→(さ)せます、(ら)れます、たがります

いらっしゃる、おっしゃる、くださる、なさる→いらっしゃいます、おっしゃいます、くださいます、なさいます

注意:

1. いらっしゃる等四个敬语动词仅限于特别郑重的时候才用“いらっしゃります”的接续形式,“ごさいます”已成为固定的表达形式。

2. ます的命令形“ませ”、“まし”一般只接在いらっしゃる等四个敬语动词后面,如“いらっしゃいませ”、“いらっしゃいまし”等,此外“遊ばず”“召しあがる”等也可以后接ます的命令形。

### (三) ます的活用

ます的活用属于特殊活用型。

### 活 用 表

基本形	未然形	连用形	终止形	连体形	假定形	命令形
ます	ませ ましよ	まし	ます	ます	ますれ	ませ まし

用例和说明:

○私は日本語はよく分りません。(未然形)

○さあ、帰らましょう。(同上)

○日本へ来ましてから一年たちました。(连用形)

○あす雨が降らましたら、運動会が延期になりましょ

(同上)

○今後ともよろしくお願います。(终止形)

○あの人はそんなへりくつは言いますまい。(同上)

○あそこに見えますのが郵便局です。(连体形)

○あなたがいらっしやいますなら、私もお伴いたします。

(同上)



○お目にかかることができますすれば幸甚に存じます。(假定形)

○早くお帰りなさいませまし。(命令形)

○どうぞおいでくださいませまし。(同上)

○どうぞ、めしあがりませ。(同上)

ます的未然形ませ只能接助动词ぬ(ん)、ましょ只能接助动词う。

ます的连用形一般只接助动词た。但有时也接助词たり、て等。

ます的终止形和连体形有时还用“まする”的形式，这是文语的残余，比ます更为郑重，也是一种较旧式的、严肃的说法。例如：

○私たちはさように考えますが諸君のご批判をうかがいたいと存じます。(终止形)

○とかくの世評がありまするので、事実をあきらかにしておく必要があると思います。(连体形)

ます的假定形ますれ(ば)一般不大使用，而用“ましたら”或“ますなら”代替(见前面例句)。但用ますれ(ば)则有一种更郑重的感觉。

ます的命令形常用ませ，而ましの使用较少。命令形一般只接在いらっしゃる等敬语动词后面(见前面接续法部分)。

## 練習問題二十

一、A組の「れる・られる」と同じ使い方をしている「れる・られる」をBC組より選び、その番号を( )の中に書きなさい。

- A { ①このパンは食べられるそうだ。( )  
②船まで流されるようなあらしだった。( )  
③フランスから帰られる先生を迎えに行った。( )  
④父の病気が案じられる。( )

- B
- a 左手でもそのくらいは投げられる。
  - b あそこを散歩しておられるのが石川先生です。
  - c あの老人からは昔の人の良さがしのばれる。
  - d ぼくは危ないところを彼に助けられた。
- C
- A おじさんはいつ来られるかな。
  - イ 忘れようとしてもすぐ死んだ母のことが思いだされる。
  - ウ とうとう人に笑われるようなことをしてしまった。
  - エ きみはぼくより早く出られるだろう。

二、次の文章の中にある a~d の「れる」(d は「れる」の連用形「れ」となっている)の違いを述べなさい。

あの山にたやすく登られるかと思って、先生にうかがった  
a  
 ら、だいぶ骨が折れるらしい。それに熊におそわれると、逃げ場  
b c  
 がなくて困るそうだ。先生が登られたときは犬さえ出なかつた  
d  
 ということだ。

## 第六节 否定助动词ない、ぬ(ん)

### 一、否定助动词的意义

表示否定,即“不”、“没有”的意思的助动词叫否定助动词(打消の助動詞)。讲话时一般多使用ない(但关西地区用ぬ的现象也很普遍),在文章里则两者都用。

ない、ぬ(ん)的具体用法如下。

(一)表示否定

○ぼくはさっぱり分らない(ぬ・ん)。

○教室には誰もいない。

○彼がいかなければぼくもいかない (いかねば……いかぬ・ん)。

○ぼくはどこへも行きません (行かない)。

○風も吹かず、よい天気だ。

(二) 表示婉转的劝诱、请求及希望等意思。

○よかったら遊びに来ない(か)?

○お暇のとき、勉強を見てくださらない(かしら)?

○ごいっしょにお茶をのみません(か)?

○早く春が来ないかなあ。

(三) 用“ないで”的形式表示婉转的禁止。

○あまり早く歩かないで(ね)。

○ぼくの机にざわらないで(よ)。

注意:

ない和ぬ(ん)要尽量避免在一个句子里两者同时并用,如“行かなければならない”、“行かねばならぬ(ん)”,最好不要说成“行かねばならない”或“行かなければならぬ”。

## 二 否定助动词的接续法

ない和ぬ(ん)的接续法基本相同,都可以接在动词和动词活用型助动词后面。但要注意,サ变动词接ない的时候用未然形し,即“しない”,而接ぬ(ん)的时候要用未然形せ,即“せぬ(ん)”。此外,ぬ(ん)还可以接在助动词ます的未然形后面,即“ませぬ(ん)”,但ない没有这种接续法。

行く(五段)→行かない、行かぬ(ん)。

見る(上一段)→見ない、見ぬ(ん)。

食べる(下一段)→食べない、食べぬ(ん)。

来る(カ変)→来ない、来ぬ(ん)。

する(サ変)→しない、せぬ(ん)。

(さ)せる(助动词)→(さ)せない、(さ)せぬ(ん)。

(ら)れる(助动词)→(ら)れない、(ら)れぬ(ん)。

ます(助动词)→ませぬ(ん)

注意:

1. ない不能接在动词ある的未然形后面, あるの否定形式应是形容词ない, 但作为文语的残余, ある可以以“あら”的形式后续“ぬ”, 即“あらぬ”, 在口语里因为有“あらぬ噂”、“あらぬ疑い”之类的用法, 即只有连体形的用法, 所以可以把“あらぬ”作连体词看待。

2. 助动词ない很容易和形容词ない混淆, 最基本的区别方法是, 助动词ない必须接在动词和动词活用型助动词的未然形后面, 而形容词ない除了独立使用外, 应接在形容词和形容词或形容词活用型助动词及形容词活用型助动词的连用形后面(具体请参照第五章第三节)。

### 三 否定助动词的活用

ない的活用属于形容词活用型, ぬ(ん)的活用是特殊活用型。

活 用 表

基本形	未然形	连用形	终止形	连体形	假定形	命令形
ない	なかる	なく なかつ	ない	ない	なけれ	○
ぬ(ん)	○	ず	ぬ	ぬ	ね	○

#### 用例和说明

(一) ない

○教室には誰もいなかろう(ないだろう)。(未然形)

○つごうが悪いなら, 行かなくてもかまいません。(连用形)

○もし雨が降らなかったら, あそびに行きましょう。(同上)

○あすは早く起きなければならない。(终止形)

○そろそろ帰らないと, 暗くなるよ。(同上)

○英語で話せないのは残念だ。(连体形)

○戸があかなければ, 中には入れない。(假定形)

注意:

1. 助动词ない的各活用形的用法和形容词ない基本上相同。

2. ない<sup>的</sup>未然形“なかる(う)”平时不大使用，一般是用“ないだろ(う)”。

3. 样态助动词そうだ也可以接在助动词ない后面，如“雨が降らなそうだ”。而形容词ない接そうだ时是“なさそうだ”。但“雨が降らなそうだ”这种讲法不大使用，较多的是“雨が降りそう(に)もない”。

(二)ぬ(ん)

○たまには飲まずに帰ってきてください。(连用形)

○万里を遠しとせずして中国に来られた。(同上)

○火のない所に煙は立たぬ。(终止形)

○とんでもございません。私にはそんなことはできません。

(同上)

○自分の気に入らんことには見向きもせぬ人だから，評判はよくないね。(连体形)

○分らぬ(ん)ことは尋ねるがよい。(同上)

○早く行かねばまにあわんぞ。(假定形)

○口も利かねば，笑いもしない。(同上)

注意：

ぬ<sup>的</sup>连用形ず后面常加格助词に，加强了前后词句的联系，相当于“ないで”的意思(见前面用例)。

★否定助动词ない<sup>的</sup>惯用句型

1. ……にすぎない。(意为“不过……”、“只是……”。)

○いまの話は，ただ私の希望にすぎないのです。現実にはなかなかうまくいかないでしょう。

2. ……かも知れない。(意为“说不定……”、“也许……”。)

○今夜はひどく冷えるな。あしたは雪かも知れない。

3. ……わけにはいかない。(意为“不能……”、“不可以……”。)

○きょうはいそがしいので，あそんでいるわけにはいかない。

4. ……にほかならない。(意为“无非是……”、“不外乎……”。)

是……”。)

○今日の成功を見たのは絶えない努力の結果にほかならない。

5. ……てたまらない; てならない; ……てやまない。(意为“……(得)不得了”、“……(得)很”。)

○大学試験に合格したときはうれしくてたまらなかった。

○母の病気が心配でならない。

○私はその日の一日も早く訪れるのを心から願ってやまない。

6. ……てはいけない; ……てはならない。(意为“不许……”、“不可以……”、“不得……”。)

○どんなことがあっても暴力をふるってはいけないね。

○これは子供が見てはならないものです。

7. ……なければならぬ(なければいけない; なくてはならない; なくてはいけない)。(意为“必须……”、“要……”、“应该……”、“不……(就)不行”。)

○経験をよく総括しなければならぬ。

○道を歩くときはもつと注意なくちゃいけないよ。

○早く寝なくてははいけませんよ。

#### 四 和现代口语有关的文语否定助动词ず

文语否定助动词ず的一些用法在口语中使用仍很频繁,但接续法及活用形都不同于现代口语。

文语否定助动词ず除了可以接动词后面外,还可以接在形容词、形容词或形容词活用型和形容词活用型的助动词后面。

例如:

○すくなくらぬ人びとが涙を流した。

○心ならずも片方の腕を切ってしまった。

文语否定助动词の活用形通过下表可以看出它有两个系列,其中“ざり”的系列本来是“ず+あり”约音形成的。

## 活 用 表

基本形	未然形	连用形	终止形	连体形	已然形	命令形
ず	ず ざら	ず ざり	ず	ぬ ざる	ね ざれ	ざれ

### 用例

- 知らずば、言<sup>つて</sup>聞かせよう。(未然形)
- 虎穴に入らず(ん)ば、いずくんぞ虎児を得む。(同上)
- 無用のもの入るべからず。(终止形)
- 百聞は一見に如かず。(同上)
- 急がねば間に合<sup>ら</sup>まい。(已然形)
- 知らねばこそ安心していられたのです。(同上)
- はなやかな優勝のかげ、知られざる悲劇があつた。(连体形)

○そんなことはありうべからざる話だ。(同上)

### ★ず的慣用句型

1. ……ずには
- {

いられない。(意为“不由得……”、“不禁…  
…”、“忍不住要……”。)

おかない。(意为“势必……”、“不能不…  
…”。)

○全く笑わずにはいられない。

○彼の演説は各界の人びとの反響をよびおこさずにはおかない。

2. ……ざるをえない。(意为“不得不……”、“只得……”。)

○……認めざるをえない。

○……物価安定を急がざるをえない。

【参考】なくて和ないで

这里要讲的なくて和ないで专指否定助动词ない的用法，即

不涉及形容词ない的用法。因为形容词ない一般没有ないでの用法，只有なくての用法，如：“広くなくて”是可以讲的，但“広くないで”的讲法则不通。

否定助动词ない以なくて和ないでの形式，可以使前面的文节与后面的用言连接起来。如：

○誰も来なくてのんびりした。

○時間をむだにしないで勉強している。

这两个例句前一句用了なくて，后一句用了ないで，如果把它们替换使用，则都不符合习惯的表达方法。

なくて和ないでの基本意义和用法如下。

(一)なくて

なくて通常用于表示因果关系的情况，因而，①它可以连接两个主体的事项；②后项既可以是动态句也可以是状态句，即既可以连接动词，也可以连接形容词、形容动词(包括一些表示状态性质的动词)。如：

○雨が降らなくて助かった。

○病気がなおらなくて心配した。

○彼に連絡がとれなくて困っている。

○せっかくいったのに、誰にも合えなくて残念でした。

○町が遠いから、どこへも行けなくて苦しいです。

なくて也可以用来连接并列的两个事项。如：

○いままでの序論にすぎなくて、これからが本論です。

○あの人は何もしなくて、みんなやったのは私です。

此外，还有一些惯用的句型，只能用なくて。如：

○もういかになくていいです。

○都合が悪ければ、行かなくてもかまいません。

○そうしなくてはならない(いけない)。

なくても、なくては的用法请参照第七章第三节接续助词ても、ては的用法。



## (二)ないで

前面的なくて显然是以ない的连用形加て构成的，而ないで的构成则在语法界里看法不一，有的说是由なくて转化而来，有的说是不い后面接格助词で；但这里的で无疑和て一样起到了一种接续作用（请参照第七章第三节接续助词て的用法）。

ないで主要表示一种手段或方法，因而，①前后项都是动态性的；②一般不用于两个主体进行的两个事项，即通常表示一个主体以“不……”的手段去进行另一项动作；③后项是意志性的动作，即不后续状态性的事项。

○今日は授業をしないで，教育映画を見せた。

○誰にも言わないでこっそり逃げた。

○食事もしないで仕事をつづけている。

○町へ行かないで勉強に没頭している。

○お菓子を食べないで，ご飯を食べてください。

○そんなに急がないでゆつくり読みなさい。

○ケーキを買わないで家に帰りました。

下面一些用法可以看成是只有手段、方法，即只有前项，而不必再提出后项。通常是表示“请别……”、“请不要……”的意思。

○ごみを捨てないでください。

○そんなことばは使わないでほしい。

○そんなことは気にしないでくれ。

○このことを皆に言わないでね。

○いまはなににも聞かないで。

还有一些用法，可以说是超出了手段、方法的范围，但可以看成是某种状态。

○彼はまだ起きないでいる。

○山田さんはなににも知らないでいる。

○知りもしないでべらべらしゃべる。

○お前は実際見ないで，見たとうそを言ったんだな。

**注意:**

なくて和ないで在某些場合用法的区别并不明显, 譬如下面一些例句中, ないで也用在相当于因果关系的先后项中。

○子供がいつまでもねむらないで若い母親の方が泣きだしそうだった。

○母が来ないで父が来た。

○藤原はまじめに働かないで叱られてばかりいる。

**練習問題二十一**

一、次の中国語を日本語に訳しなさい。

1. 他很忙, 也许明天来不了。
2. 请不要看着书上回答。
3. 我再也不能沉默下去。
4. 这本书翻翻觉得很有趣, 不能不把它读完。
5. 无风不起浪。
6. 下雨也好, 不下雨也好, 我一定要去。
7. 那样的事只不过是暂时的现象。
8. 我认为这无非是一种借口。
9. 既是你来求我, 那只得答应你。
10. 不能白要人家的东西。

二、次の文の( )のなかに「なくて」と「ないで」のどちらかをいれなさい。

1. 愚公はすこしも動揺し( ), 毎日山を掘りつづけた。
2. 泣いてばかりい( ), わけを話しなさい。
3. もっと早く寝( )はいけませんよ。
4. 僅かな成績に満足し( ), より一層努力しよう。
5. 暑いから、窓をしめ( )ください。
6. つごうが悪いなら、行か( )もかまいませんよ。

7. 田中さんは上手すぎるので、今度の試合には出( )も  
らしましょう。

8. 雨が降ら( )も傘を持って歩く。

9. 返事もし( )だまって出ていった。

10. 彼は家に帰ら( )学校に向かった。

11. 様子が分ら( )あせている。

12. 早く帰ら( )はならない。

## 第七节 希望助动词たい、たがる

### 一 希望助动词的意义

表示希望(或愿望)的助动词叫希望助动词(希望<sup>きぼう</sup>の助動詞)

希望助动词有たい和たがる,たい主要表示一种心中的希望,  
たがる则表示一种表露在言行上的可以察觉的希望,意义有所不  
同,たがる在后面另作讲解。

### 二 たい的意义

たい表示心中的希望,所以一般用于表示讲话人自己的希望,  
但也有一些其他的用法。

(一)表示讲话人自身的希望,这是主要用法。

○今日は早くうちへ帰りたい。

○今は誰にも会いたくない。

(二)用提问、推测、传闻、假定、样态、说明的表达方式涉及他  
人的希望。

○君も行きたいか。

○あなたも(彼も)行きたいでしょう。

○彼も(あなたも)行きたいそうですね。

○彼も(あなたも)行きたいと言ったね。

○お前も行きたくれば、はっきり言うがよい。

○大学に行きたくても行けない人もいる。

- 彼も行きたらうな顔をしていますね。
- ほんとは彼も行きたいのですが。
- 本を借りたい人は必ず手続をしてください。

注意:

1. 由于たい表示一种内心潜在的希望,所以一般是用来表示讲话人自己的希望。
2. 在小说之类的文章里,作者以描写人物心理状态的手法,可以用たい来描述人物的希望。

### 三 たい的接续法

たい接在动词和动词活用型助动词的连用形后面。

- 行く(五段)→行きたい    見る(上一段)→見たい
- 受ける(下一段)→受けたい    来る(カ変)→来たい
- する(サ変)→したい    (さ)せる(助动词)→(さ)せたい
- (ら)れる(助动词)→(ら)れたい

たい接在被动助动词后面,一般是对别人提出某种要求或劝诱,其意义相当于“……(て)もらいたい”。例如:

○人に尊敬されたいのなら,自分で尊敬される仕事をしたらいいよ。

○この点については慎重に考慮されたい。

○全員必ず参加されたい。

○この本を読むときに,……を参照されたい。

### 四 たい的活用

たい的活用属于形容词活用型。

活 用 表

基本形	未然形	连用形	终止形	连体形	假定形	命令形
たい	たかる	たく たかつ	たい	たい	たけれ	◎

## 用例

○君が行きたかろうと行きたくなかろうと、とにかく明日行かなければならない。(未然形)

○一部の学生は旅行に行きたくないようだ。(连用形)

○あの映画はぜひ見ておきたかった。(同上)

○あなたはもっときれいな旅館に泊まりたいでしょうね。(终止形)

○彼も早く帰りたいと言っています。(同上)

○言いたいことは山ほどあるが、どこからいいだしていいか分からない。(连体形)

○田中さんがあなたに頼みたいんですよ。(同上)

○君は帰りたいければ、帰ってもいいよ。(假定形)

## 説明:

1. たいの未然形“たかろ(う)”现在不大用,表示推量时可以用“たいだろう”。

2. たい可以用“た”(相当于形容词的词干)后续接尾词さ、げ以及样态助动词そうだ。例如:

○わが子の顔がみたさに、はるばるやってきた。

○なにかしら、言いたげな様子でした。

○なんとかして行きたそうだ。

## 五 たがる的用法

たがる主要表示一种表露在言行上的希望,所以通常用来表示可以察觉到的他人的希望,即主要用于第三人称。例如:

○とても素晴らしい映画なので、彼も見たがっている。

○テレビばかり見たがって、勉強の方はお留守なんです。

○どういうわけか、彼はあまり自分のことを口にしたがらない。

○あまり行きたがるものだから、つい連れて行く気になった。

たがる有时表示的并不一定是某人在某个时候所表露的愿望,而表示某种习惯。

○老人は過去を語りたがるものなので、全然おもしろくない。

○裏話を聞きたがる。

○子供はあめばかり食べたたがるから、なるべく見せないようにしている。

○人はとかく自分の手柄を過大評価したたがる。

○花見時分の天気は、どうかすると降りたがる。(“降りたがる”是一种拟人化的表达。)

在条件句、定语句里,或者在传闻、推断、说明以及回忆过去的场合,たがる的主体也可以是第一、二人称。

○子供のころ、私は人の食べているものを食べたがった。

○冬にはあなたはすきやきをたべたがっていましたね。

○君が行きたがっていることは僕も知っている。

○君も行きたがっているそうだね。

○私が行きたがっているのに、あなたは知らん顔をしている。

注意:

たがる虽然通常是表示他人的希望,但一般不用于长者或需要尊重的人。譬如下面的例句是不妥当的。

×先生は研究の成果をまとめて、出版したがっている。

另外,たい同样也应该注意这一点。

たがる的接续和たい相同,因为たがる实际上是由たい的词干「た」后续接尾词がる构成的。

だがる的活用属于动词活用型。

### 活 用 表

基本形	未然形	连用形	终止形	连体形	假定形	命令形
たがる	たがら	たがり たがっ	たがる	たがる	たがれ	○

たがる的未然形只有“たがら”，没有“たがる”，表示推量时用“たいだろう”。

たがる的假定形“たがれ”很少使用，一般是用たい的假定形“たけれ”。

【参考】 “……が……たい”和“……を……たい”

这里要讲的是使用希望助动词たい的句子的构造。这里的“……が”“……を”是指希望的对象，即对象语或宾语。如果たい前面的动词是自动词的话，则不可能带有宾语或对象语，从而也就不存在“……が……たい”“……を……たい”的区别问题（“家を出たい”、“山を降りたい”的“家を”“山を”是移动的場所，不是宾语或对象语）。因此，这里要区别的只是“……が……他动词+たい”和“……を……他动词+たい”。

一般说来，“……が……たい”的形式表示一种较单纯的、本能的愿望，句子的构造也比较简单，希望的对象在句子里处于较突出、强调的地位。譬如：

- 水が飲みたい。
- 映画が見たい。
- 餡が食べたい。
- 小説が読みたい。

当然，这些句子里的希望的对象也可以用を来表示。

在有些场合，看来必须使用“……を……たい”的形式。比如表示带有某种具体要求或行为涉及其他事物的场合，即表示较复杂的、理性的希望的场合，这种时候句子的构造也比较复杂，除了谓语、宾语（对象语）之外，还有其他成分，比如有各种形式的连用修饰语（包括汉语里常说的补语）等等。

- レコードを二、三枚買いたいのです。
- 水を手ですくってのみたい。
- この手紙をポストに入れてもらいたい。

- それを君にあげたい。
- 息子に数学を教えてもらいたい。
- 与えられた任務を果したいと思って、けんめいに働いた。
- こちらの言いぶんを認めさせたいから、こうして談判しているんだ。

## 練習問題二十二

一、次の中国語を日本語に訳しなさい。

1. 我想到那里去看看,可是一直没空,所以没去成。
2. 如果您真想买,价钱可以让一点。
3. 他大概是不想见我,才没有来吧。
4. 有什么想看的地方,我随时可以陪同。
5. 详细请参照下列参考书目。
6. 他想早点回去,就让他回去了。
7. 年轻人一听到舞曲就想跳舞。
8. 那时候只要一放假我就想去爬山。
9. 他好象要讲点什么。

二、次の各文の( )中に「が」と「を」があるが、「が」も「を」も使える文はそのままにして、「が」を使って表現が不自然になってしまう文の「が」を消しなさい。

1. つめたい水(が・を)飲みたい。
2. へや(が・を)美しくかざりたい。
3. 本(が・を)借りたい人は必ず手続をしてください。
4. 私はそれ(が・を)みたかった。
5. 私は子供のいる幼稚園(が・を)見に行きたい。
6. もう一杯お茶(が・を)いただきたいのですが。
7. 10分ほど時間(が・を)もらいたい。
8. 僕は彼(が・を)行かせたい。



9. 私はこの本(が・を)読みたいのです。

## 第八节 过去、完了助动词た

### 一 过去、完了助动词的意义

表示过去、完了等意思的助动词叫过去、完了助动词(過去・完了<sup>かこ</sup>の助動詞)。

这种助动词只有た一个词。

た的具体用法如下。

(一)表示过去,以现在为基点,叙述过去的事情。

○この間の映画はとてもおもしろかった。

○去年は一度もスキーに行かなかった。

○私はあのごろはまだ学生だった。

○私は富士山を見たことがある。

(二)表示完了

○ああ、これでやっと仕上がった。

○もうすっかり治ったから、あしたは学校に行けるぞ。

○中に入って見たら、人が大勢集まっていた。

○あしたお会いしたとき、お渡しします。

○終わった人から先に帰ってかまいません。

○むこうに着いたら、すぐ手紙をください。

○借りたものは返さねばならぬ。

○うんと勉強したあとは、気持がよいものです。

从上面例句可以看出,因为完了不受时间限制,所以既可以有现在的完了,过去的完了,也可以有未来的完了,或假定的完了,甚至无时间概念的完了(即常理性、反复性的完了),在表示过去的完了时,有时不能区分究竟表示过去还是完了,其实可以说两者兼而有之,所以也没有必要区分。

(三)表示状态,一种存续的状态,即表示动作、作用的结果继

续存在的意思,相当于“ている”、“である”的意思,一般出现在连体修饰语文节里。

○右の壁にかけた図案は古川さんの設計図です。

○まるで絵にかいたような景色だ。

此外如:すぐれた技術、汚れた着物、やせた人、尖った屋根、眼鏡をかけた人、澄んだ水、きれいに咲いた花、年取った人、にこにこした顔、はっきりした説明、名を知られた作品、広広とした野原、堂堂とした態度、等等,都是这种用法。

(四)表示强意、证实或限定等等意思。

○なんだ,そんなところにあったのか。

○あと一勝すればいいんだから,もうわが方の優勝は決まったね。

○一週間立っても返事がないところを見ると,断られたな。

○あしたは君の誕生日だったね。

○あそこにいるのは山田さんの妹さんだったわね。

此外,还有一些较特殊的用法,通常是用于命令等场合。

○どいた,どいた,子供は近寄るな。

○さあ,来た。

○ちょっと待った。

○買った,買った。

○もっとしっかり歩いたら。

## 二 过去、完了助动词的接续法

た接在用言和助动词的连用形后面。接在五段活用动词的ガ、ナ、バ、マ行动词后面时要发生音便成为“だ”。

話す(サ五)→話した

書く(カ五)→書いた

立つ(タ五)→立った

帰る(ラ五)→帰った

笑う(ワア五)→笑った

泳ぐ(ガ五)→泳いだ

死ぬ(ナ五)→死んだ

学ぶ(バ五)→学んだ

読む(マ五)→読んだ

見る(上一段)→見た

受ける(下一段)→受けた

来る(カ変)→来た

する(サ変)→した

高い(形容词)→高かった

静かだ(形容动词)→静かだった

(さ)せる、(ら)れる、たがる(助动词)→(さ)せた、(ら)れた、

たがった

だ、ようだ、そうだ(助动词)→だった、よりだった、そうだっ

た

ます、です(助动词)→ました、でした

### 三、过去、完了助动词的活用

た的活用是特殊活用型。

#### 活 用 表

基本形	未然形	连用形	终止形	连体形	假定形	命令形
た	たろ	○	た	た	たら	㊦

#### 用例

○彼は多分もう出かけたたろ。(未然形)

○あの時はお世話になりましたた。(终止形)

○夏休みには旅行したかったが、忙しくてどこも行けなかった。(同上)

○いまやっと勉強がすんたところです。(连体形)

○せっかく食事を用意したんですから、召しあがってい

てください。(同上)

○君がそんなことを言ったら，彼女は泣くだろう。(假定形，表示假定)

○万一誤りがあったら，ほくは全責任を負う。(同上)

○行ってみたら誰もいない。(假定形，表示确定)

○帰って来たかと思ったら，また出かけてしまった。(同上)

说明：

1. 的未然形“たろ(う)”不大用，表示推量时一般用“ただろう”。

2. 的假定形たら在口语里一般不后续助词ば，从意义上来说たら不单表示假定条件，也表示确定条件。(请参考第七章第三节)

【参考】 日语的时和体

关于日语的时和体，有些问题还在探讨之中。一般说来，“时”是表示时间概念的语法形式，“体”是表示动作的具体过程的语法形式。

(一) 时

“时”是表示动作、状态发生在哪一时刻或哪一段时间的语法形式，日语里把这种“时”称为“時”、“時制”或“テンス”。时的内容包括过去、现在和未来，但作为时的表现形式在日语里只有两种，即各种谓语的“现在形”和“过去形”，一般语法书中称之为“現在(未来)形”和“過去形”，或“非過去形”和“過去形”，也有用“する”和“した”或“る”和“た”来表示的。

从前面各章节中我们知道，能够构成谓语的，主要有有用言或体言加助动词的形式，我们暂且把体言加助动词的形式称为“体言谓语句”，形容词和形容动词构成的谓语句称为“形容词谓语句”，动词构成的谓语句称为“动词谓语句”。

	現在形	過去形
体言谓语句	体言+助动词だ	体言+だ的连用形(だっ)+た
形容词谓语句	形容词终止形(い) 形容词谓语句终止形(だ)	形容词连用形(~かつ)+た 形容词谓语句连用形(~だっ)+た
动词谓语句	动词终止形(る)	动词连用形+た(音便だ)

这里列的只是现在形和过去形两种表现形式，并不意味着现在形只用于表示现在，过去形只用于表示过去。一般说来，现在形较多地表示现在和未来，但也表示过去和超时间的事实；过去形较多地表示过去，但也表示现在或未来或超时间的某种情形。所谓“超时间”指的是某些习惯、反复或真理等事实的时间概念。

#### 1. 现在形表示的时间概念

- 今日は十一日だ。(表示现在)
- この映画はすばらしい。(表示现在)
- あ！富士山が見える。(表示现在)
- 明日は十二日だ。(表示未来)
- 明日の映画はきつとすばらしい。(表示未来)
- 明日はきつと富士山が見えるぞ。(表示未来)
- 昨日は十日だ。(表示过去)
- 昨日午後から会議がある。(表示过去)
- テープレコーダーは昨日からここにある。(表示过去)
- 十一日の次の日は十二日だ。(表示超时间)
- この映画はいつ見てもすばらしい。(表示超时间)
- 国会は衆議院と参議院からなる。(表示超时间)

#### 2. 过去形表示的时间概念。

- 昨日は十一日だった。(表示过去)
- 昨日の映画はすばらしかった。(表示过去)
- 昨日は富士山が見えた。(表示过去)

○目の前に高くそびえた山山。(表示现在)

○まがりくねった道。(表示现在)

○手術の良好だった人はすぐ帰れる。(表示未来)

○この薬はご飯を食べたあとでお飲みください。(表示未来)

○借りたものは返さねばならぬ。(表示超时间)

注意:

1. 从前面关于现在形和过去形的用法可以看出,日语关于时的表现形式并没有严格的分工。

2. 语言的表现形式总是以讲话时的心情、态度为转移的,日语里称这种心情、态度的表现形式为“ムード”,可以译为“语气”。例如:

○そうだ,今日はあなたの誕生日だった。(“だった”表示证实某一事实的语气)

○そうだ,今日はあなたの誕生日だ。(“だ”表示纯粹的断定)

事实上,上面两个句子讲的都是“今日”即现在的事情,但却采用了不同的表达方式。

3. 过去形的“～た”,在日语里是作为一个助动词来看待的,这一点和印欧语等有明显的区别,即日语的过去形不是通过单词本身的变化所产生,而是通过和助动词た的结合所产生的。而且た本身也有活用,它的活用形有的很明显地体现着讲话人所赋予的“语气”,如“たら”、“たら”。同时,还可以表示“完了”、“状态的持续”等,这是“体”的表现形式。从而,た在句子里有时既体现“时”的概念,又体现“体”的概念和“语气”的概念。例如:

○中に入ってみたら,人が大勢集まっていた。(“たら”表示过去完了,并表示确定条件)

○東京に着いたら,すぐ手紙をください。(“たら”表示未来完了,并表示假定条件)

## (二) 体

“体”是表示动作的具体过程和事物的具体状态的语法形式,日语里称之为“相”或“<sup>ク</sup>アスペクト”或“態”。“体”的内容主要包括“开始”(如“～始める”)、“进行”(如“～ている”)、“完了”(如“～た”)、动作结果的留存或状态的持续(如“～てある”、“～ている”)

等。下面简单介绍一下这几个方面的体的表现形式。

1. 表示动作的开始, 主要有动词连用形加补助动词“始める”、“だす”、“かける”等。如:

○桜の花が咲き始めた。

○急に雨が降りだした。

○やくそくの時間が過ぎても来ないので帰りかけると, 向こうから田中さんがやって来ました。

2. 表示动作正在进行, 主要用动词连用形加ている(或ておる), 也可以直接用“时”的现在形。

○午後三時から五時まで私は小説を読んでいた。

○彼はいま小説を読んでいる。

○では, 下で待っている。

○北京に住む旧友からの手紙を受け取った。

3. 表示动作结果的留存或状态的持续, 主要用动词连用形加ている、てある, 或直接用“时”的过去形。

○昨日から梅の花が咲いている。

○これはまちがっている。

○知らせが黒板に書いてある。

○彼はたかさんの小説を書いている。

○めがねをかけた人です。

○年取った人と話をするのはおもしろくない。

4. 表示完了, 主要用动词连用形加てしまう、おわる, 或直接用“时”的过去形。

○明日までに読んでしまう。

○これはもうすぐ読みおわる。

○やっとできた。

注意:

1. 从前面几种体的用法来看, 体的表现形式与时的表现形式比较的话, 分工相对稳定一些。但同时我们也看到, 有的表现形式并不只表示一种体,

如时的过去形就可以表示“状态的持续”和“完了”两种体。

2. 从前面例句中可以看出,时和体的表现形式总是综合在一起的,往往一种表现形式既表示了“体”又表现了“时”,如“(午後)……読んでいた”表示过去进行,“(いま)……読んでいる”表示现在进行,“(では)下で待っている”表示未来的进行。

3. 每一种体可以有多种表现形式,这一点从前面例句中可以看出,这里不作具体介绍。

4. 关于体究竟有多少种,语法界尚未形成统一见解,常见的还有以下几种。

①表示动作的未了

○これから行く。

②表示作准备性的动作,又叫“备放体”(準備体、安置体)

○その人には電話を掛けておきました。

③还有的书里把动词连用形加てしまう称为“完结体”(終結態),把动词连用形加てくる和ていく称为“近向体”(接近態)和“远向体”(離遠態),或“近向態”和“遠向態”,把动词连用形加てみる称为“突驗態”等等这里不作具体介绍。

④体的表现形式也会因“语气”而改变,如:

○胸をわずらっている。(以“动作的进行”表示客观情形)

○胸をわずらってしまった。(以“动作的完了”表示惋惜的心情。)

### 練習問題二十三

一、次の文章の中から「過去・完了」の助動詞を見つけ、文中における活用形を説明しなさい。

親ゆずりの無鉄砲で子供の時から損ばかりしている。小学校にいる時分、学校の二階から飛び下りて一週間ほど腰をぬかしたことがある。なぜそんな無闇をしたと聞く人があるかも知れぬ。べつたん深い理由でもない。新築の三階から首を出していたら、同級生の一人が冗談に、いくらいばっても、そこから飛び



おりることはできまい、弱虫やーい、とはやしたからである。小使におぶさって帰って来た時、おやじが大きな眼をして、二階ぐらいから飛びおりて腰をぬかさやつがあるかと言ったから、この次はぬかさずにとんで見せると答えた。

二、次の中国語を日本語に訳しなさい。

1. 那时候,承蒙您多方关照。
2. 暑假里我想去旅行,可是正忙着,哪儿也没去成。
3. 我去的时候,他已经出去了。
4. 不,我也是刚写完。
5. 那个戴眼镜的女人是誰?
6. 花凋谢了,也就没有人来看了。
7. 到里面一看,很多人正聚集在那里。
8. 工作完了请到我这里来。
9. 小张来了请叫醒我。
10. 不急,下次见面的时候还给我就行。
11. 我以为怎么也找不着了,却原来在这儿呢。
12. 对了,今天是你的生日。

## 第九节 断定助动词だ、です

### 一 断定助动词的意义

断定某种事物和状态的助动词叫断定助动词(断定の助動詞)。

断定助动词有だ和です。だ构成简体表达方式,です构成敬体表达方式,意义相同。另外,だ的连用形で加补助动词ある也可以起到和だ、です同样的断定的作用,である后面另作讲解。

だ和です主要表示断定,但它们的各个活用形在句子里不一定起到断定的作用,比如未然形接在活用词后面时通常是为了构成推量的表达方式。です接在形容词或形容词活用型助动词后面

时仅仅是为了构成敬体表达方式，だ的假定形接在活用词后面构成假定的表达方式等等。

○明日は日曜日だ(です)。

○これは私の本です(だ)。

○それはぼくのだ(です)。彼のはもっと長いだろう(でしょう)。

○面白くないならやめましょう。

○風が大変強いです。

## 二 断定助动词的接续法

断定助动词主要接在体言后面，也接在部分副词、某些助词(如の、から、まで、ばかり、だけ、ぐらい、ほど、など、まり、ずつ)等后面。

学生(体言)→学生だ(です)

大変(副词)→大変だ(です)

(北京)から(助词)→(北京)からだ(です)

此外，断定助动词各活用形还各自有比较复杂的接续法，除了接在上面这些词类后面之外，还有以下一些接续法。

1. 未然形だろ(う)、でしょ(う)可以接在活用词的终止形后面(包括动词、形容词和部分助动词)。

○雨がやむだろ(う)。でしょ(う)。

○広州はもっと暑いだろ(う)。でしょ(う)。

○笑われるだろ(う)。でしょ(う)。

○行きたいだろ(う)。でしょ(う)。

2. だ的假定形なら可以接在活用词后面(包括动词、形容词和部分助动词)。

○君が行くなら、僕も行こう。

○面白くないならやめましょう。

○先生がいらっしゃるなら、私もお伴いたします。

○やってみたいなら、やってみたまえ。

13. です可以接在形容词及助动词たい、らしい、た、ん后面，构成敬体表达方式，だ没有这种接续法。

○おもしろいです(おもしろかったです)。

○読みたいです(読みたかったです)

○おもしろいらしいです。

○雨が降りませんでした。

注意:

1. だ、です不能接在助动词う、よう、まい后面。
2. 形容词(如“静かだ”、“静かです”)和助动词よりだ、ようです、そうです的词尾“だ”、“です”不是断定助动词。
3. 助动词ます后面一般不接断定助动词，但了的假定形なら有时接在它后面，多为女性用语。

### 三 断定助动词的活用

了的活用属于形容词活用型，です是特殊活用型。

#### 活 用 表

基本形	未然形	连用形	终止形	连体形	假定形	命令形
だ	だろ	だっ で	だ	(な)	なら	○
です	でしょ	でし	です	(です)	○	○

用例

○反対するのは君ぐらいだろう(でしょう)。(未然形)

○あのころは私はまだ学生だった(でした)。(连用形)

○集会の場所は倶楽部だったり(でしたり)レストランだったり(でしたり)定まっています。(同上)

○わが輩は猫である。(同上)

○鯨は魚でない。(同上)

○今日は勤労感謝の日で(ですて)、学校は休みです。(同上)

- 今日は日曜日だ(です)。(终止形)
- 会議は明日の午後だそうだ。(同上)
- 今日はとても暑いです。(同上)
- それはなによりの証拠なのだ。(连体形)
- 発展途上国なのに、大活躍をした。(同上)
- 優等生なので、なんの心配もない。(同上)
- 秋山は級長なはずはない。(同上)
- あれは山なものか、もちろん雲さ。(同上)
- こんな寒さですのに、ようこそ。(同上)
- 準備不足ですので、自信がありません。(同上)
- あす雨なら会場を室内に移そう。(假定形)
- やってみたいなら、やってみたまえ。(同上)

説明:

1. だ的连用形只有“だっ”和“で”，比形容动词的词尾少了“に”，这也是它们的区别之处。“だっ”的形式后面一般只接助动词た、助词たり，但有时候也接助词て，即“だっ”て，如“すこしだってぜんぜんないよりでした”，这种时候だっ”起到一种转折作用，即“であっても”的意思，相当于副助词でも”的意义(请参照第七章第四节里だっ”的用法)。

2. だ和です的终止形后面有时连接终助词こと、もの，但不可以连接一般体言。如：

- いいにおいだこと(ですこと)。
- だって、お金がないんだもの。
- でも、お会いしたかったんですもの。

3. だ的连体形后面很少连接一般体言，通常只接形式体言の、はず、助词のに、ので、ものか等，见前面例句。な后面接形式体言的通常是构成“なのだ”、“なのです”的形式，起到强调语气的作用，有时也说成“なんだ”、“なんです”。

のに、ので一般接在だ的连体形な后面，但也有讲成だのに、

ですのに和ですの的。如：

○もう四月だのに(ですのに・なのに)，まだオーバーがぬけない。

○ふだんはあんなに丈夫だのに(ですのに・なのに)，どうしてこんな病気にかかったのでしょうか。

○日曜日ですのに(なのに)，やはり出勤しました。

○今日は日曜日ですので(なので)いつもよりおそく起きました。

4. だ的假定形なら后面通常不加助词ば就可以表示假定的意思。

#### 四 断定的另一种表达方式である

である是断定助动词だ的连用形で后面连接补助动词ある构成的，在讲演和文章里多用である，口语谈话中多用だ、です。であります、でございます是である的敬体表达形式。这些词有的书里称之为复合助动词，意义和だ、です相同。

である的接续法和だ相同。

である的活用和动词ある基本上相同，它们的未然形后面不能接ない，因为である的否定形式はない，である的否定形式是でない。动词ある的活用没有命令形，而である则可以有であれ命令形。

用例：

○今年の冬はきっとスキー客でにぎわうであろう。(未然形)

○あしたは天気であろうと，ではなからうと，かならず行きます。(同上)

○魯迅先生は偉大な文学者であったばかりでなく，偉大な思想家，政治家でもあった。(连用形)

○私はみなさんの先生であり，学生でもある。(同上)

○犬は動物である。(终止形)

○みんなが反対である以上、実施すべきではない。(连体形)

○地球上の生物にとって、水は不可欠の物質であることはいうまでもない。(同上)

○金属でさえあればいい。(假定形)

○軍用であれ、非軍用であれ、一切の船舶は通航させない。(命令形)

从上面用例中可以看出，である往往可以在で和ある中间插入助词は、も、さえ、すら、こそ等，所以である作为一个单词看待仍然有不妥当之处。

### 五 和现代口语有关的文语断定助动词なり、たり

文语断定助动词なり和たり在现代口语中(主要用于文章语里)仍有部分用法出现。

(一)“なる”是文语指定助动词なりの连体形，用于口语里通常是“という”的意思，相当于汉语的“所谓”的意思，口语里常用“なるもの”这种形式接在体言后面，可以加强语气，有时还带有轻视、讽刺等贬意。

○日本のすきやきなるものを一度食べてみたいと思っていた。

○あなたのお話のあき子なる女性はどんな人ですか。

○共同声明あるいは宣言なるものは、多分二十九日に発表されるのではないかというふうにみられております。

此外，下面一些用例也是文语助动词なりの用法。

○私が今話したことは、この本に書いてあることを分りやすく説明したにほかならない。(“なら”是なりの未然形；“ほかならぬ(ない)”是一个惯用句型，敬体表达方式“ほかなりません”。)

○子供たちがおばあさんのうちへ遊びに行きたがるのは、小遣をもらえるからにほかならない。(同上)

○時は金なり。(终止形)

(二)“たる”是文语断定助动词たりの连体形，用在口语里主要是接在体言后面表示某种资格，相当于としての意思，即汉语的作为……”的意思。

○人の師表たるものは、まず自身が学生であるべきだ。

○学生たるものが、勉強もしないであそんでばかりいてはいけない。

○医師たるひとびとに、この本の一読をおすすめします。

此外，下面一些用例也是文语助动词たりの用法。

○母の愛情が彼をして大人物たらしめた。(未然形)

○もはや一日たりともためらうことはゆるされない。(终止形)

#### 文语断定助动词なり和たりの活用表

基本形	未然形	连用形	终止形	连体形	已然形	命令形
なり	なら	なりに	なり	なる	なれ	なれ
たり	たら	たりと	たり	たる	たれ	たれ

#### 練習問題二十四

一、次の文中の    線をひいた語が「断定」の助動詞であれば◎印で囲みなさい。

1. 僕は学生だ。しかし、寮生活はもういやだ。
2. 明日も雨が降りそうです。
3. そうです。そのとおりです。
4. まるで夢のようだ。
5. このあたりは静かなんだから、気持がいい。

6. いかにも幸福なようですね。

7. 人間のほしがるものは生活の幸福なんだよ。

二、次の中国語を日本語に訳しなさい。

1. 集会地点一会儿是俱乐部，一会儿是饭店，没一定。

2. 他不仅是一位有名的小说家，而且是一位优秀的历史学家。

3. 如果我是一只鸟，我就飞回去了。

4. 已经是九月底了，还象盛夏一般热。

5. 得到今天的成功，无非是不断努力的结果。

## 第十节 推量助动词う、よう、まい、らしい

### 一 推量助动词的意义

表示推测(或推断)之意的助动词叫推量助动词(推量<sup>たいりょう</sup>の助動詞)。

推量助动词有う、よう、まい、らしい，下面分别讲解。

### 二 う、よう

(一)う、よ<sup>う</sup>的意义

う、よう表示对自身以外的事物的推测，还可以表示意志、劝诱等意思。

1. 表示推量

○あすあたりから天気がよくなるう。

○あの人が日本の着物を着たら、きっと美しからう。

○いまでも丈夫だらうと思います。

○間もなく空も晴れよう。

○その中、春も来よう。

○あすはもしかすると雨が降るだらう。

2. 表示意志，主要表示讲话人自身的意志。

○頭が痛いから、学校をやすもう。



- 日本語を教えてあげましよう。
- 休みに読もうと思って参考書を買って来た。
- こんどこそ頑張ろうと決心しました。
- あしたの朝は早く起きよう。

3. 表示劝诱、希望、号召, 主语包括讲话人在内。

- 山田君, いっしよに学校へ行こう。
- あの映画を見ましようね。
- みんなで相談しようじゃないか。
- もう一度考えてみようじゃありませんか。

4. 以“う(よう)とする”的形式表示意志(可以表示他人的意志), 或动作、作用、状态即将实行或实现的意思。

- 手紙を書こうとしたが, ペンがないのでやめた。
- 出かけようとして玄關まで出てきたら, 田中さんがたずねてきた。

- あの人は夜になっても帰ろうとしなかった。
- 電車のドアがしまろうとしたとき, 男の子がとびのつた。
- 夜があけようとするころやっと仕事がおわつた。
- 梅の花がいまにも開こうとしている。

(二) う、よりの接续法

う、よう接在活用词的未然形后面, 其中う接在五段动词、形容词、形容动词以及形容词活用型和形容动词活用型及特殊活用型助动词后面, よう接在五段以外的动词、下一段动词活用型助动词后面。

- 読む(五段)→読もう
- 高い(形容词)→高かろう
- 静かだ(形容动词)→静かだらう
- たい、ない(助动词)→たかろう、なかろう
- だ、ようだ、そうだ(助动词)→だらう、ようだらう、そうだらう

た、ます、です(助动词)→たろう、ましよう、でしよう

見る(上一段)→見よう

受ける(下一段)→受けよう

来る(カ变)→来よう

する(サ变)→しよう

(さ)せる、(ら)れる(助动词)→(さ)せよう、(ら)れよう

从上面可以看出,う、よウ的接续范围很广,但在现代口语里实际上往往用だろう、でしよう代替了动词、形容词以及动词活用型和形容词活用型助动词及た等后面接う、よウ的用法,具体用法散见于前面各章节。

### (三) う、よウ的活用

う、よウ是词形不变型助动词,它们只有终止形和连体形两种用法,而且连体形的用法也不多。

#### 用例和说明:

○夕方から雨が降るだろう。(终止形)

○あの大きな声で呼ばれたら、目もさめよう。(同上)

○来春は大学入試を受けようとしている。(同上)

○苦痛であろうが、がまんしてもらいたい。(同上)

○あそこに誰かいるだろうから、その人に伝えてください。

(同上)

○疲れもあろうし、実際に行きたくない気持もあろう。(同上)

上)

○あの人がそんな悪い事などしようはずがない。(连体形)

○勉強しながらいねむりしようものなら、ひどくしかられるよ。(同上)

○なろうことなら、わたしがかわってやりたいところだ。

(同上)

○あの人の負けよう道理がない。(同上)

○折もあろうにこんなときにやってきた。(同上)

注意：う、ようの连体形后面不接一般的体言，只接はず、こと、もの等少数几个形式体言。另外，文语的接续助词に接在う、よう后面的用法在现代口语里还比较常见，这里的う、よう也应作连体形看（参照第七章第三节“十七”）。

#### ★う、よう的惯用句型

1. ……う（よう）じゃないか。（参照前面例句）（表示号召、希望，意为“让（我们）……吧”、“（我们）该……啦”。）

○ぼつぼつ会議をはじめようじゃないか。

2. ……う（よう）が……う（よう）が……。（意为“（无论）……也好，……也好……”。）

……う（よう）と……う（よう）と……。（同上）

○雨が降ろうが（と）やりが降ろうが（と），行かなければならない。

○雨が降ろうと，風が吹こうと，毎日出かけて行きました。

3. “う（よう）が（と）……まいが（と）”（参照本节まい的部分）

4. ……う（よう）ものなら……。（参照前面例句）（意为“如果……，那就……”。）

○こんなきたないものを食べようものなら，すぐ病気になるよ。

○あの人にそんなことを言おうものなら，（君はあの人に）なぐられるよ。

5. “うに”（主要是“こともあろうに”、“人もあろうに”之类的用法（参照第七章第三节“十七”）（表示谴责、责怪的意思）

○雨が降ったらこまろうに，あの子はかさを持たずに出かけた。

○あの人こともあろうに，人の家に火をつけたのですよ。

○あの人人もあろうに，あんばかな女と結婚したのよ。

### 三 まい

#### (一) まいの意义

まい表示否定的推量、意志或劝诱

##### 1. 表示否定的推量

○まさかそんなこともあるまい。

○この分ではあすも晴れまい。

○彼も賛成しますまい。

○彼はおそらく承知しまい。

##### 2. 表示否定的意志

○あの人にはもう二度と頼むまいと決心した。

○これからは映画を見まいと思った。

○私は今後彼と交渉しますまい。

○こんな誤りは二度としまいと思っていた。

##### 3. 表示否定的劝诱

○これからお互いに冗談を言うまい。

○すぎさったことはくよくよ考えますまい。

此外、まい后面加终助词ぞ还可以表示禁止的意思。

○そんなことはいうまいぞ。

○二度と繰り返すまいぞ。

#### (二) まいの接续法

まい接在五段活用动词和助动词ます的终止形以及五段以外的动词和助动词(さ)せる、(ら)れる的未然形后面。

降る(五段)→降るまい

(見)ます(助动词)→(見)ますまい

見る(上一段)→見まい

受ける(下一段)→受けまい

来る(カ变)→来まい

する(サ变)→しまい

**注意:**

カ变动词“来る”和サ变动词“する”后续まい的规范的接续法是“こまい”和“しまい”。但也有不少人把“こまい”讲成“くるまい”和“くまい”，某些地区还讲成“きまい”，“しまい”也往往讲成“するまい”和“すまい”。

**(三) まいの活用**

まい是词形不变型助动词，只有终止形和连体形两种用法，而且连体形的使用也不多。

**用例和说明**

○君にはなにもいうまい。(终止形)

○見まいと思っても，つい見てしまう。(同上)

○おいしくありますまいが，一つお上りください。(同上)

○別に珍らしくもあるまいし，おもしろくもあるまい。(同上)

○誘っても来まいから，誘いませんでした。(同上)

○時と場合によっては，承諾しまいものでもない。(连体形)

○あろうことか，あるまいことか，わたしにこんなことを言いました。(同上)

○誘っても来まいはずだから，誘いませんでした。(同上)

**注意:**まい的连体形后面不接一般体言，只能接もの、こと、はず等几个形式体言。

**★まい的惯用句型**

1. ……う(よう)と……まいと……，……う(よう)が……まいが……。(意为“(无论)……也好，不……也好……”。)

○行こうが行くまいが，ぼくの自由だ。

○私は夜があけようが，あけまいが，目がさめるとすぐに散歩に出かけます。

○できようとできまいと，宿題は出さなければなりません。

○雨が降ろうと降るまいと，予定は変えません。

2. ……まいに……。 (表示责怪、责备的意思。)

○自分のものなら、そんなに浪費しまいに。

○冬でもあるまいに、厚い靴下なんかはいて。

#### 四 らしい

(一)らしい的意義

らしい表示有根据有把握的推断,即虽然不能断定,但有某种理由作出较确切的推断,有时也表示婉转的断定。

○天気予報によると、あしたも雨が降るらしい。

○この風じゃ、明日あたりから荒模様になるらしい。

○この本はおもしろいらしい。

○あの人の話を聞くと、仕事はなかなかつらいらしいですよ。

○あの辺は夜は静からしい。

○そこにいる人はどうも女らしい。

○この忘れものは、あの人のらしいよ。

○ぼくのいったとおりでまちがいはないらしいな。

○どうも、君の考えは、まちがっていたららしいよ。

最后两个例句实际上带有一种婉转的断定的语气。

(二)らしい的接续法

らしい接在体言、副词和部分助词(如の、から、まで、だけ等)后面,接在动词、形容词和助动词的终止形后面,接在形容动词的词干后面。

学校(体言)→学校らしい

そう(副词)→そうらしい

(二人)だけ(助词)→(二人)だけらしい

降る(五段)→降るらしい

見る(上一段)→見るらしい

受ける(下一段)→受けるらしい

高い(形容词)→高いらしい

(さ)せる、(ら)れる、たがる(助动词)→(さ)せるらしい、  
(ら)れるらしい、たがるらしい

ない、ぬ(ん)、たい、た(助动词)→ないらしい、ぬ(ん)らし  
い、たいらしい、たらしい

静かだ(形容动词)→静からしい

(三)らしい的活用

らしい属于形容词活用型助动词，但没有未然形和命令形。

### 活 用 表

基本形	未然形	连用形	终止形	连体形	假定形	命令形
らしい	○	らしく (らしかつ)	らしい	らしい	(らしけれ)	○

#### 用例

○ちょうどここで、前の列車に故障があつたらしく、列車は徐行を始めました。(连用形)

○密談でもしているらしくひそひそと声が聞こえる。(同上)

○においで分つたのだが、つつみの中は食べ物らしかった。(同上)

○集まったのは日本人だけらしい。(终止形)

○もう九時です。あの人は今日は来ないらしいですね。(同上)

○あの人はまだ知らないらしいから、君の方から知らせてやりなさい。(同上)

○観光地としてはいいらしいが、農耕には適しないようだ。(同上)

○電車の中で田中さんらしい人を見かけました。(连体形)

○そとへ出たいらしいので出してやりました。(同上)

○田中さんを誘えばいっしょに行ってくれるらしいのに、誘わなかった。

説明:

1. らしい的连用形らしく接ございます时象形容词一样发生音便。如:

○あの方も今春は帰国するらしくございます。→あの方も今春は帰国するらしゅうございます。

2. らしい的连用形らしく从语法上的一般理论来说可以后接ない,即らしい的否定形式,但一般不大使用。譬如说“不会下雨”,通常是“估计不会下雨”,而不是“不估计会下雨”,所以应该是“雨が降らないらしい”,而不是“雨が降るらしくない”。

3. らしい的假定形らしく,现在几乎不用,而用“らしいなら”或“らしかったら”。

○雨が降るらしいなら,よみましょう。

○用事があるらしいなら(らしかったら),呼ばなくてもいい。

这种用法往往在接别人的话题的时候出现,一般场合不大用。

#### (四)助动词らしい和接尾词らしい的区别

1. 助动词らしい是表示推断的意思,而接尾词らしい是表示具有某种性质、气概等意思,不表示推量的意思,用日语来说是“……としてふさわしい”的意思,如:

○ほんとうに大学生らしいですね。

○学生なら,学生らしく勉強しなさい。

○そのころ,本らしい本もなかった。

○今日はやっとな春らしくなった。

○ぼくは男らしい男になりたい。

○このごろの女性はあまり女らしくない。

○小さい家で,庭らしい庭ありません。

从上面的用例可以看出,接尾词らしい是和前面的词构成一



个整体来表示某种性质的，因此实际上是构成了一个形容词。由于它所表示的是性质、气概等意思，因此修饰这个形容词的副词要相应地用“とても”、“いかにも”、“ほんとに”等词，而助动词らしい因为是推量的意思，如要加上与之呼应的副词的话应是“どうも”之类的词。

2. 助动词らしい是对某项事物进行推断，所以接续范围几乎没有限制；而接尾词らしい要和前面的词构成一个表示某种性质的形容词，所以一般是接在名词、代名词后面（偶尔也有形容动词词干接らしい的例子，如“いやらしい”），而不能接在活用词后面，并且，作为一个形容词，作连体修饰语的时候较多。

3. 助动词らしい是对某个事物的推断，如果它前面的词是体言，那么这个体言前面可以加连体修饰语，因为这时候らしい推断的不是一个词，而是一个事件的所有内容。而接尾词らしい和前面的名词构成一个形容词以后，这个名词也就成了形容词的一部分，因而在这个形容词前面不能再加连体修饰语。

4. 因为助动词らしい是推断的意思，所以在名词与らしい之间加上である也不影响原意，而接尾词らしい是和前面的名词构成一个形容词，所以不能插入である。如：

○ベソチに腰かけている人は、どうも女(である)らしい。

(助动词)

○向こうから来るのは村の子供(である)らしい。(助动词)

○あの娘さんはしとやかで、とても女(である×)らしい。

(接尾词)

○彼は非常に子供(である×)らしいところがある。(接尾词)

词)

助动词らしい可以改成だ，即由推断改为断定，接尾词らしい则不可以。

5. 助动词らしい一般不能有らしくない的用法，而接尾词らしく则可以象所有形容词一样有らしくない的用法。

## 五 和现代口语有关的文语推量助动词む(ん)、べし、まじ、じ

### (一) む(ん)

む(ん)是文语推量助动词，意义基本上相当于现代口语的助动词う、よう，接续法也基本相同。现代口语里常用む的音便形式ん。

む(ん)的终止形有时出现在口语里。

○彼は日本文学を学ばん(む)として日本へ留学した。

○彼の言わん(む)とするところは，理解できる。

○太陽が海のかなたにしずまらん(む)とするころ，彼の飛行機はとびたつた。

○あらん(む)限りの努力をする。

### (二) べし

べし是文语推量助动词，在文语里表示的意思很多，在口语里通常表示“应该”、“理应”、“当然”、“义务”等意思，也有表示决心或劝诱、命令的时候。现代口语里べし的未然形べから、连用形べく、终止形べし、连体形べき时有出现，特别是连体形べき使用较多。

べし在文语里是形容词活用型助动词。

### 活 用 表

基本形	未然形	连用形	终止形	连体形	已然形	命令形
べし	べから	べく べかり	べし	べき べかる	べけれ	○

### 用例和说明

#### 1. 未然形

○無用のもの，入るべからず。(禁止)

○彼の暴力は許すべからざる行為である。(可能)

#### 2. 连用形

○なすべくしてなしえなかった。(意志)

○両国間の国境衝突事件は起るべくして起った。(当然)

○わたしがそんな大金を手に入れることなど望むべくもないことだ。(当然)

○そのころ、わたしは日本にいなかったのだから、あなたが結婚したことは知るべくもないことでした。(当然)

べくして和べくもない可以看作一种惯用型，べくもない的具体含义是“……はずがない”、“……わけがない”。

### 3. 终止形

○汽車に注意すべし。(劝诱或命令)

### 4. 连体形

○悪いことをしたのは君だから、あやまるべきだ。(应该、当然)

○言うべきことははっきり言わなければならない。(应该、理应)

### 注意:

1. べしは口语里接在动词和动词活用型助动词的终止形后面，但接在サ变动词后面时，仍象在文语里一样，是“すべし”，而不是“するべし”。

2. 表示否定的时候，譬如“不应该去”要讲成“行くべきではない”，而不能讲成“行かないべきだ”。

3. 因为べし是形容词活用型助动词，所以“べき”作为它的连体形直接连接后面的体言，但结句时又不完全象形容词，因为要用“べきだ”才能够结句。

### (三) まじ、じ

まじ、じ是文语推量助动词，表示否定的推量和否定的意志。

まじ在文语里是形容词活用型助动词，口语里一般只有它的连体形まじき出现，じ是词形不变型助动词。

まじ在口语里常接在动词ある后面，并且只有连体形的用法，所以“あるまじき”常被作为一个连体词看待。

- これは学生にあるまじき行為だ。(不应该)
- そんなことはあるまじきことだ。(不可能)
- 色は変らじ。(不会)
- 死すとも止まじ。(决不)

### 【参考】意志的表达方式

意志的表达方式主要有以下几种。

#### 1. 动词现在形表示意志

意志动词,并用现在形结句,或用连用形加ます、未然形加使役助动词せる・させる、否定助动词ない,可以表示讲话人要做什么和不要做什么的意志。例如:

- あしたの旅行は雨が降っても決行する(決行します)。
- それでは弟を代わりに行かせます。
- ぼくはどこへも行かない(行きません)。
- 僕が行くから,君は行かなくてもいいです。

#### 2. 推量助动词う、よう表示意志

这种意志带有下决心的意义,也就是说经过思虑之后终于决定要做什么事情,因此在表示别人的意志的时候,一定要在う、よりの后面加上“としている”或“とした”、“と言った”、“と思っている”等,表示一种已经下了决心的持续状态。用例请参照本节关于う、よりの内容。

#### 3. “つもりだ”表示意志

つもりだ表示意志,是以客观的表现法向人家说明已经作出的某种决定,即“打算”、“计划”的意思,相当于“う(よう)と思っている”的意思,因而可以表示自己或他人的意志。例如:

- 来月帰国するつもりです。
- 若いころ医者になるつもりだった。
- あしたの会には出席するつもりですか。
- 田中君は、返事がないところを見ると、参加しないつもり

なのだろう。

○彼は大学を受験するつもりで上京した。

#### 4. まい表示否定的意志

まい接在意志动词后面,表示自己(或自己一方)的强烈意志,相当于“决不”、“不想”的意思,它所表示的意志也象う、よう一样表示下决心的意思。用例请参照本节关于まい的内容。

5. 意志动词后面加“……てみせる”、“ぞ”,可以表示较强烈的意志,还可以在意志动词前面加“よし”(感叹词)来表示断然下定决心的语气。

○今度こそ勝ってみせる。

○この間の試験は五十点だったが、この次の試験には百点をとってみせる。

○よし、あしたからたばこをやめよう。

○よし、ぼくも行くぞ。

希望助动词たい所表示的意思只是心中的希望,不等于说下决心要干某件事情的意志,含义不同于意志的表达方式。

试比较下面例句:

○スキーにも、スケートにも行きたいんだけど、ひまがないわ。

○どうしようかな。行こうか行くまいか?よし、行こう。

○おこられたって、かならず行くわよ。

这三个例句,第一句的“行きたい”只是“想去”,没有下决心,第二句的“(よし),行こう”是下决心的时候讲的话,第三句的“行く”在这个句子里表示既定的决心。再看下面一个例句。

○いくらすすめても、彼は見ようとしませんでした。実際のところ彼は見たくなかつたのです。

#### 【参考】 推量、推断的表达方式

推量、推断的表达方式主要有以下几种。

### 1. だろう、でしょう

だろう、でしょう本来是由表示断定的助动词だ、です加推量助动词う构成的。现在，活用词未然形加う、よう表示推量的用法并不常见，而是改用终止形加だろう、でしょう，所以有的书里把它们直接作为两个助动词看待。

○今夜は雪になるだろう。

○まもなく先生もお見えになるでしょう。

一般说来，だろう、でしょう是以一种积极的口气进行推量，但有的时候明明已经可以断定，为了征求别人的意见或婉转地表达自己的看法，也可以用だろう、でしょう，有的时候是疑问或质问的意思。

○誰もかさをさしていないから、今、雨はやんでいるのででしょう。

○より一層健康に留意することが必要でしょう。

○どうして私には知らせてくれなかったのだろう(か)。

○彼が来ないのはなぜなのだらう(うか)。

○どうしたのだらう(うか)。

○いったいどういうことだらう(うか)。

だろう如上面例句，在疑问或质问时可以不加终助词か，还可以省去う，显得语气更加强烈。

另外，表示客气、郑重的语气时，可以在名词、形容动词词干后面接でございましょう，动词连用形接ますでしょう，形容词う音便连用形后面接ございましょう，文章语里还可以用であろう，演说之类的场合用でありましょう。

○何かの間違いでございましょう。

○父もすぐまいりますでしょう。

○もうすこし大きゅうございましょう。

○まもなく完成するであらう。

○大きな成果が期待できるでありましょう。

## 2. う、よう

う、よう接在活用词未然形后面，是一种文章语气较重的讲法，所以口语中常用だろ、でしょう接在活用词终止形后面来代替这种用法，所表示的意思基本上相同，用例参照本节う、よりの内容。

## 3. まい

まい表示否定的推量，有“……ないだろう”的意思，但比ないだろう语气更重，带有“肯定不会”甚至“绝对不会”的意思。例如：

- 再びこの地を訪れることはあるまい。
  - この程度の資料では，結論的なことは言えまい。
  - もう四月だから，北海道もそれほど寒くはあるまい。
- まい还可以表示断然的否定。例如：
- 子供じゃあるまいし，分らないはずはない。

## 4. かも知れない

将かも知れない表示的推量与だろう作比较，可以说だろう是积极地进行推测，而かも知れない则是保守的推测，即虽然推测有某种可能性，但又充分意识到还有与之相否的可能性。如果说だろう的前面可以比较自然地用たぶん、おそらく、かならずや、きっと等副词修饰这种推量的话，则かも知れない的前面可以比较自然地用あるいは、もしかしたら、ことによると等不很肯定的副词来修饰。例如：

- 急げば間にあるかも知れない。
- 彼はことによるとまだ知らないかも知れないから，教えてやろう。
- あの店のほうがもっと安いかも知れない。
- 彼の病気はもう助からないかも知れない。
- 何か事故があったかも知れない。

## 5. らしい

らしい是对某一事物，通过有相当可靠（讲话人认为可靠）的依据进行推量，由于讲话人是有把握的口气讲话，所以可以说是“推断”，即接近于断定的推量。

○傘をもっていないところを見ると、雨はもう止んだららしい。

○どこかに出かけたらしく、鍵がかかっている。

○彼の話を聞くと、かなり大変らしい。

○今年は梅雨明けがどうもおそらしい。

这些例句，都可以说讲话人有相当确切的证据（包括观察到的情形、收集到的情报），从而比较自信地对事物或情形进行推断。

らしい还可以表示委婉的断定，请参照本节关于らしい的内容。

#### 6. ようだ、ようです（请参照第十一节）

ようだ也可以表示推断的意思，与らしい的意义很相近，但ようだ是比らしい更直接地对事物本身的情形进行叙述的推断。如果说らしい带有较强的主观性，讲话人强调了自己的见解，那么ようだ则带有更多的客观性，讲话人避免使用主观判断的语气。所以可以认为らしい是主观地认为有把握的推断，ようだ则是客观的实事求是的描述性的推断。如：

○において分ったのだが、包みの中は食物らしかった。（のようだった）

○夜中に雨が降ったらしく、地面がぬれている。（ようで）

由于ようだ是比况助动词，从它的本来词义出发，即使表示讲话人的推断，也仍然带有描述客观情形的意义。下面一些ようだ的用例是直接描述讲话人看到、感受到的某种客观情形，不能用表示主观推断的らしい替换。

○顔色が悪いようですね。病気にでもかかったのですか。

○まだなにか質問がありますか。もうないようですね。

○あなたはどこかでお会いしたようですね。



○この本はべらべらめくった感じではおもしろいようだだったので、つい買ってしまった。

○なんとなく寒くなって来たようだ。

根据情报(或传闻)所作出的推断,らしい和ようだ都可以用,但らしい较多地带带有传闻的意思。

○あの人の話を聞くと、仕事ははかどっているらしいですよ。(はかどっているようです。)

○天気予報によると、あしたは雨が降るらしゅうございます(ようでございます)。

○この本はおもしろいらしい(ようだ)。(用らしい较多地表示根据传闻作出的推断,用ようだ则较多地表示自己观察后的感觉。)

如果判断的根据是未定的或是假定的,则判断只是讲话人的主观意测,这种场合不可以用表示客观描述性质的ようだ,只能用らしい。如:

○郵便局に問い合わせたところ、航空便で出せば、あした中に届くらしい。(ようだ×)

7. みたいだ、みたいです(参照第十一节)

みたいだ、みたいです与ようだ、ようです表示的意思相同。

8. そうだ、そうです(参照第十二节)

样态助动词そうだ、そうです主要表示样态,描述一个事物本身具有的样子、情形,但有时候也可以表示讲话人根据样态加以推断的语气,可与らしい、ようだ替换使用。例如:

○これはなにかわけがありそうだ。

○これが今後の政情安定のかぎとなりそうだ。

但そうだ主要在于描述事物本身的样态,能和らしい、ようだ替换使用的场合不多。

9. 其他

○そんなことをするのはあの人にちがいない。(にちがい

ない=肯定、毫无疑问)

○あしたは雨が降るにきまっているさ。(にきまっている=肯定、必定)

### 練習問題二十五

一、次の例文の    線の語と同じ使い方のものを一つ選び、記号を( )の中を書きなさい。

1. (例) あすは雨が降るらしい。( )

- ア 中学生らしい中学生だ。
- イ 小鳥はかわいらしい。
- ウ まもなく講演が始まるらしい。
- エ あの人は男らしいりっぱな人だ。

2. (例) あのことはみんなで相談しよう。( )

- ア まもなく空も晴れよう。
- イ 宿題は今夜中にかたづけよう。
- ウ 私にはこの料理は食べようがありません。
- エ あの子のほおはリンゴのようだ。

3. (例) 春が近づいたのであろう。夜道がけむっている。

- ( )
- ア 鉛筆をけずろう。
- イ もうそろそろ夜も明けるだろう。
- ウ かれはようやく語ろうと決心した。

4. (例) 彼はおそらく明日は来まい。

- ア かれが行かなければほくも行くまい。
- イ 川の水は、もうこれ以上ふえまい。
- ウ 私はもう、あなたにはなにもいいますまい。

二、次の文の( )の中に仮名一字ずつ適当なことばを入れなさい。

1. そんなことのある( )( )がない。
2. ちょっとでも注意しよう( )( )なら、すぐくっかかる。
3. 行こ( )( )行く( )( )( ), ぼくの勝手だ。君には関係ないよ。
4. あの人の話を聞くと、仕事はなかなかつらい( )( )  
( )ですよ。
5. 残る( )( )して残った。

三、次の文中の \_\_\_\_\_ 線を引いた所の語を口語に直しなさい。

1. 個人の利益を第一とするのは、今日の青年にあるまじき行為である。
2. 学問を求めんとするものは、まず謙虚でなければならぬ。
3. 私の言わんと欲するところもここにある。
4. 戦車はこの機を逃さじとばかり動きだした。
5. 彼は革命に身を捧げるべく決意した。
6. それは言うべくして行われぬ。

四、次の中国語を日本語に訳しなさい。

1. 用也好, 不用也好, 反正是我的钱, 你別管。
2. 这件事难道不应该和大家商量一下再决定吗?
3. 又不是疯子, 当着人家的面怎么可以干那种失礼的事。
4. 据说这次台风过去, 气温就会上升。
5. 车内禁止吸烟。

第十一节 比况助动词ようだ、ようです、

みたいだ、みたいです

#### 一、比况助动词的意义

原义表示比喻的助动词叫比况助动词(比况の助動詞)。

比况助動詞有ようだ、ようです和みたいです、みたいです。みたいだ和みたいです后面另作讲解。

比况助動詞本来主要表示比喻的意思，后来又派生了较多的用法。

(一)表示比喻

○みんなが騒ぎだして、蜂の巣をつついたようだ。

○風のようにやってくる。

○綿のように疲れている。

○月日の立つのは水の流れるようだ。

(二)表示例示。

○君のように字がうまいと、得だね。

○そのようなことでは、とても承知してはくれまい。

○コーラのような冷たい飲み物がほしい。

○北海道のように寒い地方では春と夏がいっしょに来る。

○今日もいつものように七時に家を出ました。

○夏になると、毎日のように夕立が降る。

○彼のようにけちな男は見たことがない。

○人に笑われるようなへまはしないつもりだ。

(三)指示某一内容

○この原理はつぎのようである。

○ご承知のように、中日両国は二千年あまりの友好往來の歴史を持っています。

○第一章に示したような方法でやってみなさい。

(四)表示推断(参照第十二节“参考 推量推断的表达方式”)

○どこかで君に会ったようだね。

○私は早く帰ったが、試合はだんだん面白くなるようだった。

○地震のようだと思って急いでガスを止めた。

○なにか事故があったようですね。電車が十分おくれてい

ますよ。

○学校に出てこないところをみると、彼はもう国へ帰って  
しまったようだ。

○まだなにか質問がありますか、もうないようですね。

○大分冷えてきたようですね、ストーブをつけましょうか。

○おれには彼の気持がよく分るような気がする。

○この仕事は君には荷が重すぎるようだ。

最后三个例句可以认为是用来表示一种婉转的断定的语气。

(五)表示要求、愿望和目的,用“ように”、“ようにする”的形  
式。

○早く家に帰りますように。(要求)

○そんなことはしないように。(要求)

○夜は早く寝るようにしなさい。(要求)

○展示品に手を触れないようにしてください。(要求)

○一日も早く全快なさいますように,お祈りします。(愿望)

○丈夫に育ちますように。(愿望)

○汽車にまにあうように,早めに出かけた。(目的)

○遅刻しないように気をつけなさい。(目的)

○風邪をひかないように,気をつけてください。(目的)

○合格するようにがんばる。(目的)

○痛みが治まるように,注射を打ってもらいました。(目的)

○風がよく通るように,もっと窓をあけなさい。(目的)

(六)以“ようになった”表示出现某种倾向或结果

○最近は多くの人が海外へ行くようになった。

○彼もだいたいフランス語が話せるようになった。

○中国へも自由に行けるようになった。

## 二 比况助动词的接续法

ようだ、ようです接在体言加助词の、用言和部分助动词(如  
动词活用型助动词及ない、たい、た等)连体形后面,还可以接在连

体词(そ、あ、ど)の的后面。

学生(体言)+の→学生のようにだ(ようです)

こ(そ、あ、ど)の(连体词)→こ(そ、あ、ど)のようにだ(よう  
です)

降る(动词)→降るようだ(ようです)

高い(形容词)→高いようだ(ようです)

静かだ(形容动词)→静かなようだ(ようです)

(行っ)た(助动词)→(行っ)たようだ(ようです)

### 三 比况助动词的活用

ようだ、ようです属于形容词活用型助动词

#### 活 用 表

基本形	未然形	连用形	终止形	连体形	假定形	命令形
ようだ	ようだろ	ようだっ ようで ように	ようだ	ような	ようなら	○
ようです	ようでしょ	ようでしょ	ようです	○	○	○

#### 用例

○この辺は紅葉のころには燃えるようだろう(ようでしょう)。(未然形)

○とても丈夫なようだった(ようでした)。(连用形)

○学校をやすんでダンスをしているようでは、卒業はできないでしょう。(同上)

○まるで石のよりに固いパンを食べさせられた。(同上)

○きょうは寒くて、まるで冬のようだ(ようです)。(终止形)

○雨はもうすぐ晴れるようだよ(ようですよ)。(同上)

○話がうまくいかないようだから(ようですから)、あきら

めましょう。(同上)

○どうしてもだめなようなら、早くあきらめなさい。(假定形)

○気がすまないようなら、お断りになってもいいんですよ。

说明:

ようだ象形容词词一样,词干よ的独立性也很强,有时词干后面直接接一些终助词。如:

○一日も早く全快なさいよう,お祈りします。

○一日も早くマスターするよう努める。

○まるで絵のようよ。

○まるで夢のようね。

○ひどく疲れているようよ。

○なんだか、縁起が悪いようね。

#### 四 みたいだ、みたいです的用法

(一)みたいだ、みたいです的意义

みたいだ、みたいです表示比况、推断的意思,和ようだ、ようです的意思相同,但不能表示ようだ、ようです所能表示的愿望、目的等意义。

与ようだ相比,みたいだ相对地属于俗语的说法,因而表示婉转的断定时一般仍是用ようだ,而不用みたいだ。

(二)みたいだ、みたいです的接续法

みたいだ、みたいです接在体言后面是其主要用法,是直接接在体言后面,而ようだ、ようです接在体言后面时要插入助词の。みたいだ、みたいです接在动词、形容词和一部分助动词的连体形后面的用法现在也逐渐多起来了。

○うれしいわ。まるで夢みたい(だ)。

○あの人はおこっているみたいな顔をしている。

○なんだか常識がないみたい。

○あの人が学校をやめたみたいなことを言っていたよ。

(三) みたいだ、みたいですの活用

みたいだ、みたいです属于形容词活用型助动词。

活 用 表

基本形	未然形	连用形	终止形	连体形	假定形	命令形
みたいだ	みたいだろ	みたいだ っ みたいで みたいに	みたいだ	みたいなら	みたいなら	○
みたいで す	みたいで しょ	みたいで し	みたいで す	○	○	○

用例和说明

○あの犬は狼みたいだろう(みたいでしょう)。(未然形)

○時にはスポーツマンみたいだったり、時には音楽家み  
いだたり、一体職業は何だろう。(连用形)

○外側は本物みたいで、だまされました。(同上)

○あなたみたいにお金をたくさん持っている人は買えます  
が、私みたいな貧乏人には買うことができません。(同上)

○一面に霜が降りて、まるで雪が降ったみたいだ(みたいで  
す)。(终止形)

○げんかんで音がするから、だれか来たみたいだよ。(同上)

○なにか針みたいな先のとがったものはないでしょうか。  
(连体形)

○聖人君子みたいならかげぐちをいう人はいないだろう。

(假定形)

みたいだ的词干也可以独立使用。例如：

○うれしいわ。まるで夢みたい。

五 和现代口语有关的文语比况助动词ごとし

ごとし是文语比况助动词，表示比喻、例示或指示某一内容的



意思。

ごとし的接続法和现代口语助动词ようだ基本相同。

ごとし是形容词活用型助动词,在口语里其连用形ごとく、终止形ごとし、连体形ごとき常有出现。

### 活用表

基本形	未然形	连用形	终止形	连体形	已然形	命令形
ごとし	ごとく	ごとく	ごとし	ごとき	○	○

#### 用例和说明

○さくらの花びらが雪の降るごとく散る。(连用形)

○首相は外交問題について次のごとく見解を述べた。(同上)

上)

○人生は航海のごとし。(终止形)

○あたかも木に縁って魚を求むるがごとし。(同上)

○その夜の月の光はまひるのごとき明るさだった。(连体形)

形)

○トマト、じゃがいもごときものを野菜と言う。(同上)

○お前ごときものに負けるようなおれではないぞ。(同上)

#### 練習問題二十六

一、次の\_\_\_線の助動詞「ようだ」を、A 推断・B たとえ(比況)・C 例示に分けて、記号を( )の中に書きなさい。

1. 兎の毛はまるで雪のように白い。( )
2. 世の中にはかれのような献身的な人もいる。( )
3. 戸をあける音がずる。だれか来たようだ。( )
4. 立板に水を流すように話す。( )

5. 校舎はもうできあがったようだ。( )
  6. 今靴音がしたようだが, だれか来たのかな。( )
  7. その音はまるで百雷の落ちるようであった。( )
  8. 霧のような雨が降る。( )
  9. 方法は正しいようだが, 答えが間違っている。( )
  10. デパートのような大きなお店でしか買えません。( )
- 二、次の文の( )の中に、「ために」と「ように」のどちら

かを入れなさい。

1. 友達は金を借りる( ), たずねてきた。
2. ちょっと周君に来る( )伝えてください。
3. ことばの意味を知る( ), 字引きを引く。
4. 毎日新聞を読む( )してください。
5. 私たちは自由に日本語が話せる( )練習しなければ  
ならない。
6. 早く健康になります( )してください。
7. 入学試験の( ), 夜おそくまで勉強している。
8. 忘れ物が無い( )もう一度部屋の中を見ておこう。

## 第十二節 样态助动词そうだ、そうです

### 一 样态助动词的意义

表示样态、迹象等意思的助动词叫样态助动词(样态<sup>ようたい</sup>の助动词)。

样态助动词有そうだ和そうです。

样态助动词主要用于客观地描述讲话者观察到、感觉到的某种情形、样子、迹象、趋势等。

(一)表示情形、样子

○このリンゴは赤くておいしそうだ。

○彼はあまり行く気がなさそうな返事をした。

○彼はいかにも丈夫そうな体をしている。

○まだ十分使えそうな冷蔵庫が、惜し気もなく捨ててある。

(二)表示趋势,即说明将要出现某种情形的前奏、迹象。

○今日も雨が降りそうだ。

○大分不穏な情勢で、両国の間に一波乱起きそうだ。

○横波を受けて、ボートが転覆しそうになる。

○強い風に吹かれて、倒れそうになっている。

(三)夸张或比喻

○胸がさけそうだ。

○忙しくて、目が回りそうだ。

○折れそうな細い手。

(四)表示有某种可能性

○いかにもあいつが言いそうなことだ。

○明日の会に来そうな人はどんな人たちかね。

○これぐらい説明してやればわかりそうなものだと思いが、まだ分らないらしい。

○この調子なら、今週中には退院ということになりそうだね。

○この実験の結果、少なくとも、次のようなことが言えそうだ。

そうだ有时也可以用来表示一种婉转的断定，譬如上面列举的最后两个例句就带有这种语气。

## 二 样态助动词的接续法

样态助动词接在动词和动词活用型助动词的连用形、形容词和形容动词以及形容词活用型助动词的词干后面。

降る(五段)→降りそうだ(そうです)

起きる(上一段)→起きそうだ(そうです)

負ける(下一段)→負けそうだ(そうです)

来る(カ变)→来そうだ(そうです)

する(サ変)→しそうだ(そうです)

面白い(形容词)→面白そうだ(そうです)

丈夫だ(形容动词)→丈夫そうだ(そうです)

(ら)れる(助动词)→(ら)れそうだ(そうです)

(行き)たい(助动词)→(行き)たそうだ(そうです)

注意:

そうだ接在形容词ない和よい后面时是“なさそうだ”“よさそうだ”,即词干后面加“さ”再接そうだ(请参照第四章第三节形容词的用法),但接在助动词ない和たい后面时是“なそうだ”“たそうだ”,即不加“さ”,如:

○心配はなさそうだ。(接形容词后面)

○性質はよさそうだ。(同上)

○なんとかして行きたそうだ。(接助动词后面)

○どうしても聞き入れなそうだ。(同上)

但是,象前面例句里的“聞き入れなそうだ”这种用法是不大多的,较常用的是:

○聞き入れそうもない。

○来られそうもない。

○雨が降りそうに(も)ない。

○間にあいそうに(も)ない。

作为そうだ的否定形式还可以用そうで(は)ない。

○雨が降りそうで(は)ない。

### 三 样态助动词的活用

样态助动词的活用属于形容词活用型。

活 用 表

基本形	未然形	连用形	终止形	连体形	假定形	命令形
そうだ	そうだら	そうで そうだっ そうに	そうだ	そうな	そうなら	○ ○
そうです	そうですよ	そうですし	そうです	(そうです)	○	○

### 用例

- 面白そうだろう(そうでしょう)。(未然形)
- 見るからに元気そうだろう(そうでしょう)。(同上)
- もっと聞きたそうだった(そうでした)。(连用形)
- 雨が降りそうで、傘を持っていきました。(同上)
- 母親は子供たちのプレゼントを嬉しそうに受け取った。

### (同上)

- 彼は自信がありそうだ(そうです)。(终止形)
- 雨が降りそうだと、困るね。(同上)
- それもありそうなことですね。(连体形)
- 値があがりそうなら買っておこう。(假定形)

### 説明:

1. そうだろ(う)、そうでしょ(う)实际上不大用，只有表示疑问或征求对方意见时才用，见前面例句。

2. そうだ的词干也可以单独使用。如：

○とてもたのしそう。

○雨が降りそうよ。

此外“雨が降りそうもない”的“そう”也是そうだ的词干。

## 第十三节 传闻助动词そうだ、そうです

### 一 传闻助动词的意义

表示传闻，即表示从某处听说某件事情的意思的助动词叫传闻助动词(伝聞の助動詞)。

传闻助动词有そうだ和そうです。

○天気予報によると、夕方から雨が降るそうだ(そうです)。

○あの映画はとてもおもしろいそうだよ(そうですよ)。

○大変立派だそうだ(そうです)。

○あの人は若く見えるが、もう五十(歳)だそうだ(そ

です)。

○弟も行きたいそうだ。

## 二 传闻助动词的接续法

传闻助动词接在用言和部分助动词的终止形后面。

降る(动词)→降るそうだ(そうです)

高い(形容词)→高いそうだ(そうです)

丈夫だ(形容动词)→丈夫だそうだ(そうです)

(子供)だ(助动词)→(子供)だそうだ(そうです)

(さ)せる、(ら)れる、たい、ない、た(助动词)→(さ)せる  
そうだ、(ら)れるそうだ、たいそうだ、ないそうだ

## 三 传闻助动词的活用

传闻助动词そうだ、そうです的活用属于形容动词活用型,但只有连用形そうで和终止形そうだ的用法。

用例和说明:

○大学にお入りになったそうで、おめでとうございます。

(连用形)

○もう花が咲きだしたそうで、一度公園へ遊びに行きましようか。(同上)

○田中さんの話では、山田さんのテニスはじょうずだそうだ(そうです)。(终止形)

○きょうはお客さんが大勢来て大変だったそうですね。(同上)

注意:

1. 有时そうです的后面也可以接助动词ので,表示原因。

○田中さんもいらっしゃるそうですので、私も参ります。

2. 传闻助动词和样态助动词都是そうだ、そうです,识别这两者的方法最好是看它们的接续法,接在活用词终止形后面的是传闻助动词,其他接续法是样态助动词。

## 練習問題二十七

一、次の文の( )の中に仮名または漢字を一字ずつ適当なことばを入れなさい。

助動詞「そうだ」には、「勝( )そうだ」「美( )そうだ」のように動詞の( )( )( )や形容詞の( )( )などについて様態を示す場合と、「勝( )そうだ」「美し( )そうだ」のように動詞の( )( )( )や形容詞の( )( )( )などについて伝聞を示す場合とがあり、意味の相違に関連して両者の接続法に相違のあることが知られる。また、「そうだ」自身の活用形も必ずしも同一ではなく、( )( )の意味を示すものの活用形の種類が( )( )の意味を示すものに比べていちじるしく少なく、( )( )( )( )( )の二つの語形に限られている。

二、あとの1~10の\_\_\_線の語で、次の\_\_\_線「そうに」と同じ意味に使われているものを選び、その文の番号に○印をつけなさい。

○勤めから帰ってきた父が、夜おそくまで机にしがみついている進一を見て、そんなにつめると、体に毒だよと心配そうに靠った。

1. 海はおだやかだそうだ。
2. まったくおだやかそうに見える。
3. 悲しそうな顔をしている。
4. 彼は合格したそうだ。
5. この本はよさそうだ。
6. いかにも幸福そうだ。
7. こんどの試験には合格しそうな気がする。
8. お菓子をたべたそうな顔つきだ。

9. 山本君も野球を見に行つたそうだ。  
 10. この道を行つた方が、近いそうだ。

課外練習 (第六章 助動詞)

一、次の表の空欄に、各助動詞の活用形を記入しなさい。

基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	假定形	命令形
せる						
ない						
ぬ						
た						
だ						
です						
そうだ (様態)						
そうだ (伝聞)						

二、例にならって、次の文中の——線をひいたことばの品詞名を言いなさい。(注意:助動詞はかならずその下位分類の名で示しなさい。)

例 1. それは丈夫だそうだ。(①形容動詞の一部 ②伝聞の

① ②

助動詞)



例 2: 今日は日曜日だ。(名詞+断定の助動詞)

1. 学生なら学生らしくしなさい。
2. このあたりは静かなんだから、気持がいい。
3. 雑誌でもないし、新聞でもない。
4. 私だってできないことはないだろう。
5. あの人はテニスがとても上手だってね。
6. あの人に聞いたら、知らないだって、知らないはずはないのに。
7. 今日は出かけてはいけませんよ。だってあなたは風邪をひいているんだから。
8. 体がいくら丈夫だって、きたえなければ病気になるとは限らない。
9. 彼は非常にまじめですから、信頼してもよいでしょう。
10. 彼はまじめによく勉強します。ですから、きっと合格するでしょう。
11. マラソンの選手は疲れきって、苦しげに息をしながら走っている。
12. 「そんなにつめると、体に毒だよ。」と心配そうに言った。
13. 北海道は夏でも涼しいそうだ。
14. 火事でも出そうものなら、大変なことになりますよ。
15. 私にだまってかってなことをしようものなら、決してゆるしませんよ。
16. どうしてもだめなようなら、早くあきらめなさい。
17. まったくしようのないやつだ。
18. 秋になったら、始めたいと思う。
19. あのかたったら、とてもけちなのよ。
20. あの人が学校をやめたみたいなことを言っていたよ。
21. 地球上の生物にとって水はなくてはならない物資だあ

ることはいうまでもない。

22. 田中さんは泣きださんばかりの顔で、たのみに来た。

23. このごろの日本の女性はあまり女らしくない。

24. 電車の中で田中さんらしい人を見かけました。

25. きのはほんとうに春らしい暖かい一日でした。

三、次の各文の( )の中にかな一字ずつ適当なことばを入れなさい。

1. こうした好意にはまったく感激( )( )( )  
( )た。

2. ゆうべは、友達に来( )( )て、勉強ができなかった。

3. まったく笑わずにはい( )( )( )( )。

4. 話しあいを成功( )( )( )には、話しあいに必要な規律を守ることが、話しあいの参加者に要求( )( )  
( )。

5. 帰ってきたかと思っ( )( )、また出かけてしまった。

6. いまの話は、ただ私の希望に( )( )( )( )  
のです。現実にはなかなかうまくいかないでしょう。

7. 社長といえば、聞こえがいいが、何のことはない、小さな店の主に( )( )( )( )。

8. 夜になっても帰って来ないところをみると、事故にあったと判断( )( )( )をえない。

9. 彼の暴力行為はゆるす( )( )( )( )( )  
行為である。

10. 車内では年寄りや体の不自由な人に席を譲る( )( )  
ではないか。

11. 言う( )( )と思ったが、つい言ってしまった。

12. あしたは天気で( )( )( )と、では( )( )

( ) ( ) と、かならず行く。

13. 雨が降( ) ( ) と、降る( ) ( ) と、予定は変更しません。

14. 君が行( ) ( ) が、行( ) ( ) ( ) が、ぼくは出発するよ。

15. 夜が明け( ) ( ) とするころ仕事が終わった。

16. あのの人にそんなことを言おう( ) ( ) なら、なぐられるよ。

17. このごろは大分フランス語が話せる( ) ( ) ( ) になった。

18. 人に笑われる( ) ( ) ( ) へまはしない積りだ。

19. 一面に霜が下りて、まるで雪が降った( ) ( ) ( ) だ。

20. 田中君はあまり行く気がない( ) ( ) ( ) ( ) 返事をした。

21. これぐらい説明してやれば分り( ) ( ) ( ) ものだと思うが、まだ分らないらしい。

四、次の各文の( )の中に入れるのに適当なことを末尾の( )の中から選び、記号で記入しなさい。

1. これは三日前のものだから、もう( )。(a 食べることができない b 食べられない)

2. ここに置いた本は誰でも借りて( )。(a 読める b 読むことができる)

3. 突然の訪問にびっくり( )。(a された b させられた)

4. ( )地主にとりあげられた。(a 農民の耕地は b 農民は耕地を)

5. 話し合い( )紛争が解決された。(a によって b に)

6. 1949年上海は解放( )。(a された b した)

7. せっかく行ったのに、誰にも会え( )残念でした。(a なくて b ないで)

8. 今日は授業をし( ), 教育映画を見せた。(a なくて b ないで)

9. 私は夜が明けようが、明け( )が、目がさめると、すぐに散歩に出かける。(a ない b まい)

10. できようと、でき( )と、宿題は出さなければなりません。(a ない b まい)

11. この薬はご飯を食べ( )あとで飲みなさい。(a た b る)

12. 日本へ( )前に、すこし日本語を勉強した。(a 来た b 来る)

13. ( )人と話をするのはおもしろくない。(a 年取った b 年取る)

14. あしたお会い( )ときにお渡しします。(a した b する)

15. 彼は( )才能を持っている。(a すぐれた b すぐれる)

16. スキーにも、スケートにも( )けれど、ひまがないわ。(a 行こうと思う b 行きたい)

17. こんどこそ( )と決心しました。(a 頑張ろう b 頑張りたい)

18. 大分冷えてきた( )ですね。ストーブをつけましょうか。(a よう b らしい)

19. こんどの台風がすぎたら、気温があがる( )。(a ようだ b らしい)

20. 噂によると、彼は仕事をやめた( )。(a ようだ b らしい)

21. 顔色が悪い( )ですね。病気にでもかかったのです

か。(a よう b らしい)

22. いつでも輸血できる( ), 血液型をしらべてある。  
(a ように b ために)

23. 参考書を借りる( ), 図書館へ行った。(a ように b  
ために)

24. 強い風に吹かれて、( )になっている。(a 倒れるよう  
に b 倒れそうに)

25. 忙しくて目が( )。(a 回るようだ b 回りそ  
うだ)

五、次の日本語を中国語に訳しなさい。

1. 国民をして経済の発展に理解を持たせ、ひいては国民生活の安定をはかることが大切だ。

2. 終始静かな微笑をたたえさせられ、患者の一人一人にねぎらいのおことばを賜わった。

3. 長女を早く死なせてから、臆病になった。

4. なんとも言えぬ親切さを感じさせられた。

5. お父さんはさぞびっくりせられるでしょう。

6. これは実に膚を寒からしめる一瞬であった。

7. 田中さんは上手すぎるので、こんどの試合には出ないで  
もらいましょう。

8. 「伝」という字は、中国では「传」となっているから、注意  
されたい。

9. 花見時分の天気はどうかすると降りたがる。

10. あと一勝すればいいんだから、もうわが方の優勝はきま  
ったね。

11. 勉強しながらいねむりをしようものなら、ひどくしから  
れるよ。

12. あの人には人もあろうに、あんなばかな女と結婚したの  
よ。

13. このごろは毎日のように夕立が降る。
14. いかにもあいつが言いそうなことだ。
15. それは言うべくして行われぬ。

## 第七章 助 词

### 第一节 助词的性质和分类

#### 一 助词的性质

接在体言和用言等独立词后面、确定词与词之间的关系或增添某种意义、没有活用的附属词叫助词(助詞)。

例如:

○兄が弟に本を渡した。(句中的“が”“に”“を”表示了“兄”“弟”“本”与“渡した”之间的关系,决定了它们在句中的地位。)

○ハイキングに行こうと思うが、① 天気が悪いのでやめた。②

(句中的“に”“と”“が”②和前面例句中的助词的作用完全相同,“が”①和“ので”表示的是一种接续关系,即在前后文节中起连接的作用。)

○田中さんは毎日小説ばかり読んでいます。(句中的“で”——即て——和前面例句中的が①、の②的作用相同;“は”接在“田中さん”后面用以提示叙述的题目,限定了谓语的叙述范围;“ばかり”接在“小説”后面,增添了“光”“只”“净”的意思,并关连到后面的谓语,起到一种从状态、程度上限定谓语的修饰作用。)

○いかがでしょうか。(句中的“か”增添了疑问的意义。)

#### 二 助词的分类

助词的分类有各种不同的方法,但综合起来有三个方面是助词分类时所必须考虑的,即:①职能(即语法作用);②接续法;③后续性。根据这三方面的规律进行分类,可以把助词分为以下四类。

格助词;主要接在体言后面,说明这一体言在句中的地位。有

后续性。

**接续助词:**接在用言或相当于用言的活用连语后面,起承前接后的作用。有后续性。

**副助词:**接在各种词后面,增添某种意义,并使整个文节象副词一样关连到后面的文节(部分副助词无后续性)。

**终助词:**接在各种词后面,主要处在句子的末尾(有时也用在文节的末尾),表示各种语气。无后续性。

关于助词的相互重叠的规律,散见于后面各节。

从职能来看,格助词和接续助词主要表示词与词之间的关系,所以这两者又称为“关系助词”(関係助詞);副助词和终助词不表示词与词之间的关系,但能增添某种意义,所以这两者又称为“添意助词”(添意助詞)。

## 練習問題二十八

次の文中の( )の中に仮名一字ずつ適当な助詞を入れなさい。(注意:文1~5に格助詞,6~9に接続助詞,10~13に副助詞,14~17に終助詞を入れること。)

1. それは君の本で、あれが彼( )本だ。
2. 冷たい風( )音立てて、船( )中まで吹きこんでくる。
3. 砂浜( )カニ( )遊んだ。
4. 東京( )( )大阪のおじさんのところ( )遊びに行った。
5. 「さようなら」( )言て、友達( )別れて、家( )帰りました。
6. この品は値段が安い( )( )だれも買わない。
7. 彼は小心な( )( ),ひとりで寝られない。
8. 明日は天気になる( )いいけれども。



9. 彼は知っ( )い( )( ) ( )教えてくれない。
10. 彼( )( )( )話させないでぼくたちに( )話させてください。
11. 屋上から( )富士山がよく見えますよ。
12. 風雨( )( )防げれば、どんな所( )( )けっこうです。
13. そんなに( )( )していただいて、恐縮です。
14. ああ、かならず行く( )( )。
15. あら、そんなこと、わたし知らない( )。
16. こんどまちがえたら承知しない( )。
17. 試験に失敗したからって、あまりがっかりする( )よ。

## 第二节 格助詞

### 一 格助詞の性質

日語的单词本身没有格的变化，表示某一个体言在句中属于哪种格(即决定该词与其他词的关系，亦即该词在句中的地位)的助词叫格助词(格助詞)。

格助词共有九个：

が の を に へ と から より で

格助词接在体言后面，也可以接在相当于体言性质的词或词组后面。

格助词有后续性，因为它所附属的文节必须关联到后面的文节，其中格助词の构成连体修饰语，其余的格助词构成主语或连用修饰语关连到谓语。

格助词所表示的格可以分为三种：

主格助词，が、の

连体格助词，の

连用格助词，を、に、へ、と、から、より、で

格助词一般不能相互重叠，如果重叠的话，则前面一个格助词就失去了格助词的作用，如“これからがおもしろい”，句子中的“が”表示“これから”和“おもしろい”互为主谓关系，从而“これから”相当于一个体言性质的词组。格助词的接在其他格助词后面的场合较多，如：との、への、からの、よりの、での等等，の前面的整个文节相当于一个体言性质的词组。

格助词和副助词重叠的场合较多(参照“第四节副助词”)，也有和接续助词重叠的场合(如：てから、ての等)。

## 二 が

### (一) 接续法

が接在体言和相当于体言性质的活用词连体形或某些助词的后面。

○人がいる。

○どうともするがよい。

○朝早く起きるのがつらい。(が前面的の作形式体言看)

○なにもあの人だけがえらいんじゃないさ。

### (二) 意义和用法

#### 1. 表示主语

○この方が山本先生です。

○風がふく。

○やってみるがよい。

○これからがおもしろい。

#### 2. 表示希望、好恶、巧拙、难易、能力等的对象语。

○結果が聞きたい。

○やわらかいのがすきだ。

○秋山は絵がうまい。

○この万年筆が使いよい。

○漢文が読める。

注意:

が表示希望の対象, 往往可以用を代替, 其区别请参照第六章第七节。表示可能的对象的也有用を代替的时候, 请参照第七章第四节。现在を的用法正在增多, 如“～をできる”“～をすきだ”“～を言いにくい”。格助词の也有表示主语或对象语的用法, 其比较见于本节“三の”的部分。

3. が有时起到相当于の的作用, 即构成连体修饰语, 是文语的残余。

- 千円が値打ちはある。
- 今が今まで本当と信じていた。
- 言うが程のことはない。
- するがままにさせておく。
- 君が代。

注意:

1. 接续助词里也有が, 应注意区别于格助词が。
2. 格助词の也有表示主语或对象语的用法, の与が的区别见本节“三の”。

### 三 の

#### (一) 接续法

の接在体言和相当于体言性质的活用词连体形以及助动词后面, 还可以接在部分副词后面。

- これは私の本です。
- しばらくの間。(接在副词后面)
- 弟からの手紙。(接格助词后面, 此外, どの、への、よりの、で〇等也是同样的接续法。)
- 本人にあつての上の話。(の接在接续助词て后面。)
- そればかりのことで泣くなんてみっともない。(接副助词后面, 这种用法很多。)
- 喜ぶのはまだ早い。(接活用词连体形后面使之具有体言性质, 作形式体言看。)
- これは私のです。(不构成连体修饰语, 和前面的词构成体

言性质的词组。)

○みかんはいくらぐらいのがいいですか。(同上)

注意:

因为本书已经在形式体言里列入了的(请参照第三章第五节),所以凡是不构成连体修饰语而又和前面的词构成体言性质的词组的の,都作形式体言看。

(二)意义和用法

1. 构成连体修饰语,对受其修饰的体言加以详细的说明。

○私の時計はスイス製です。

○これは友達の田中さんからの手紙です。

○鉄の意志。

以下是构成特殊的连体修饰语的の。

○リンゴの新しいのがほしい。(=新しいリンゴがほしい。)

○洋服の着古したのをやった。(=着古した洋服をやった。)

2. 构成主语和对象语。

○私の卒業した学校。(“私の”为主语文节)

○話の好きな人。(“話の”为对象语文节)

○水泳のできる人。(“水泳の”为对象语文节)

注意:

1. 构成主语和对象语的の,可以用が替换,意义上没有什么不同,但句子的结构有所不同。用の表示主语或对象语的时候,它的谓语一般不结束句子,而要修饰一个体言,即构成通常讲的“定语从句”;用が表示主语或对象语的时候,它的谓语也可以结句,也可以不结句。例如:

○大地震のあった年,私は丁度東京にいた。

○1923年9月1日,関東地方に大地震があった。

○熱の出る病気はたくさんあるが,熱の出ない病気もたくさんある。

○病気にかかって高い熱が出た。

前面几个例句中用の的地方都可以用が替换,但用が的地方不可以用の替换。

下面两个例句从形式上看可以用の替换が,但从语感上来说显得很勉强或有可能引起句子意思的含混不清。

○私が小学生だったころ。

○私が子供だった頃。

2. 下面一些の作其他种类的助词看。

○どうのこうのと難しいことばかり言う。(の为副助词)

○へや代が高いだの食事がまずいだのと文句ばかり言う。(だ的为副助词)

○どうしたの? (の为终助词)

#### 四 を

##### (一) 接续法

を接在体言后面,也可以接在某些副助词后面。

○花を見る。

○珍しいのを見つけた。(を前面的的是形式体言)

○試験のときには、鉛筆と消しゴムだけを持ってくればよい。(を接在副助词后面,通常省去不用)

##### (二) 意义和用法

1. 表示他动词的宾语(包括自动词后续使役助动词的情况)。

○学生は図書館で本を読みます。

○きょうの会では、みんなでこの問題を考えたいと思っています。

○停留所で電車が来るのを待っていたがなかなか来ない。

○電車の中でスリに財布をぬすまれた。

○山田を帰らせて、小川を残らせた。

○来年大学に入ることを目標として勉強している。

2. 表示临时带有他动词性质的自动词的目的或对象。

○昼夜工事を急いでいる。

○病気で一週間会社を休みました。

○これで、私の授業を全部終わります。

○一に困難を恐れず、二に死を恐れない。

3. 表示动作移动或经过的场所, 将后面的动词为移动性动词。

○日本では、人はみちの右がわを歩き、自動車はみちの左がわをはります。

○夏休みには、北海道や九州を旅行してきました。

○汽車はふみきりを通り、鉄橋をわたる。

4. 表示经过的时间或时间点(和前面“3”的用法相同)。

○そこで三年をすごした。

○二時間を待ちつづけた。

○もう十時を過ぎたでしょう。

5. 表示出发点(和“3”的用法相同)。

○私は毎朝八時に家を出て、学校へ行きます。

○田中さんは東京駅を立って、大阪へ向かった。

○私の家へは、駅で電車を降りてから十分ぐらいかかる。

○山田さんは今年の三月大学を卒業して、今、銀行につとめている。

○このごろ、やっと先生の手を離れて、ひとりで研究ができるようになった。

注意：格助词から也可以表示出发点，其比较见本节“八から”。

## 五 に

### (一) 接续法

に接在体言和相当于体言性质的活用词连体形或连用形以及部分助词后面。

○つくえの上に本がある。

○今夜はうんと温度がさがるにちがいない。

○見るに見かねて義勇軍をくりだした。

○上野へ行くにはどの電車に乗ったらいでしょうか。

○映画を見に行く。

○もう卒業するばかりになっている。

### (二) 意义和用法

#### 1. 构成连用修饰语

(1) 表示存在的場所、動作发生的时间(或某种时间性场合)。

○つくえの上に本がある。

○山に住む。

○三時に出かける。

○夏休みには北海道を旅行しました。

○最後に一言申しあげたいことがあります。

○水を飲むにあたり、井戸を掘った人を忘れない。

○電車から降りたとたんに気分が悪くなった。

(2) 表示动作的归着点。

○本は机の上におきますよ。

○椅子にこしかけてください。

○東京駅につく。

○壁に地図をはった。

(3) 表示作用或状态变化的结果。

○氷がとけて水になる。

○大人になる。

○小切手を現金にかえる。

○わが国を強大な社会主義国に築きあげる。

(4) 表示动作的目的。

○調査に赴く。

○映画を見に行く。

○川を渡るのに二時間かかった。

○骨折のため、すわろうにもすわれない。

○北京へ行くには、どの汽車に乗ったらいいでしょうか。

(5) 表示动作的对象。

○旧師にあう。

○山田さんに頼む。

○先生に教えてもらった。

○宣長に私淑する。

○弟に数学を教える。

○私はあなたの考えに反対です。

(6) 表示比较、比例、衡量或评价的基准。

○弟におとる。

○親に似ている。

○二と三の和は五に等しい。

○帯に短く、たすきに長い。

○この紙をひとりに五枚ずつ配ってください。

○地球は太陽のまわりを一年に一回まわっている。

○私の家は駅に近いです。

○運動は体にいいです。

○これはわれわれにとつて大変有利なことである。

○日本は美しい風景にめぐまれている。

○経験にとんだ人がすくない。

○子どもたちは元気にあふれている。

(7) 表示动作、作用的原因、动机或理由。

○それを見て、あまりのおかしさに、思わず笑ってしまった。  
た。

○彼はその仕事の成功にすっかり自信をつけてしまった。

○家屋が強い風に倒壊した。

○その火事は、たばこの火の不始末による。

○みやげに衣類をかってきた。

○事実によって判断する。

○一年目の報酬に五十万円もらった。

(8) 表示被动的时候其作用的来源(相当于“7”的用法)。

○波にさらわれる。

○田中さんの熱心な気持ちに心を打たれた。

(9) 表示使役的对象(相当于“5”的用法)。

○先生は学生に作文をかかせる。



○赤ちゃんにミルクをのませる。

(10) 表示状态(说明动作或作用的情形)。

○さっきの地震は大きかったね。初めは左右に、それから上下にゆれたね。

○あの人は骨と皮ばかりにやせている。

○新道と旧道は村はずれで直角に交差している。

○駅まで山沿に歩いた。

(11) “动词连用形+に+同一动词”(に介于两个相同的动词之间)起强意作用。

○考えに考えて、この問題を解くことができた。

○待ちに待ったお正月がやってきた。

(12) “用言+には+同一用言”(には介于两个相同的动词或形容词之间)用以缓和语气。

○行くには行くが、何時に行けるか、ちょっと分らんよ。

○教えるには教えるが、あまりあてにならないよ。

○痛いには痛いが、がまんできないほどではない。

(13) “……ずに”表示动作的否定。

○たまには飲まずに帰ってきてください。

○まったく笑わずにはいられない。

(14) “お(ご)……になる”构成敬语表达方式，以尊敬的口气叙述他人的动作。

○この本はお読みになりましたか。

○どうぞお休みになってください。

○山田先生はご帰国になったそうです。

2. 构成对等文节。

(1) 表示并列、列举。

○トマトにきゅうりにたまねぎをください。

○雪に月に花の眺めともによい。

(2) 表示添加。

○あの人協力してやれば鬼に金棒だ。

○じっさい泣き面に蜂でしてね。

### 3. 构成主语

(1) 对主语表示敬意,常用には、にも。

○先生には益益御清栄のことと存じあげます。

○このごろ母上にはいかがお過しでいらっしゃいますか。

○宮様にはことのほかお喜びであった。

(2) 表示具有某种能力的主语,常用には、にも。

○この山なら私にも登られよう。

○これは子供にでもできることです。

○彼には分るはずはない。

#### ★に的惯用句型

○今の話しは私の希望にすぎないのです。(“……にすぎない”意为“只不过……”。)

○私が今話したことは、この本に書いてあることをわかりやすく説明したにほかならない。(“……にほかならぬ”意为“无非是……”“不外乎……”。)

○これをやったのはあの人に違いない。(“……に違いない”意为“肯定……”“无疑……”。)

○あしたはあめが降るにきまっている。(“……にきまっている”意为“必定……”“肯定……”。)

以上に的几个惯用句型,相当于作连用修饰语时的“衡量、评价的基准”一类的用法。に后面的文节应作为补助文节看待。

○英語にしろ, フランス語にしろ, 語学はわかいときにならうほうがいい。(也可以用“……にせよ……にせよ……”的形式,意为“无论……也好,无论……也好……”。)

○あなたにしろ, あの人がそんなことをするとは思っていません。

以“にする”构成的一些惯用句型请参照第四章第二节する和

なる的用法部分(自动词和他动词部分)。

★について、に関して、において、に対して、にとって、における。

这是一些惯用的复合词组，相当于某些助词的用法，如において相当于格助词で，における相当于での，に対して和にとって仍相当于に，について和に関して则相当于表示话题的副助词は的用法。此外，によって、に当たって、にして(は或も)等，都可以相当于一个助词的用法。也就是说，不要机械地把に后面的文节作谓语文节看待，而应把に与其后面的文节整个地作复合助词看。例如：

○大会は東京において三日にわたって開かれた。

○日本における四季の変化は他の国々に見られないものである。

○あの方の家族についてあまりくわしいことは知りません。

○この問題に関してあなたの意見を聞かせてください。

○親に対してそんなことを言っは、いけません。

○それはわたしたちにとって興味のある問題です。

○親の残した財産によって生活する。

○開会にあたって一言ごあいさつを申し上げます。

○昔は働くにしても働くところがなかった。

○この二、三日は冬にしては、あたたかすぎる。

注意：

1. 接续助词部分也有に、のに，应注意区别于格助词に。

2. 目的某些用法与へ、と、から，で有相似之处，其比较见各个助词的用法部分。

## 六 へ

(一) 接续法

へ 接在体言后面。

◎家へ帰る。

## (二)意义和用法

へ主要构成连用修饰语，后续移动性动词。へ后面也可以接の，即“への”，这时“……へ”的文节相当于体言性质。

### 1. 表示动作的目标、方向。

○北へ進む。

○港へ向かう。

○鳥は山のほうへとんでいった。

○どうぞ、こちらへ。

### 2. 表示动作的归着点。

○もうそろそろ東京へ着くころだろう。

○山頂へ達する。

○私は国へ帰って、医者になるつもりです。

○私は今度、学校の近くのアパートへひっこします。

### 3. 表示动作、作用的对象。

○友人へ手紙を書く。

○私も田中へ話しておきました。

○これは母への手紙です。

○あの人へは人形がいいでしょう。

### 注意：

へ本来是表示方向的，如“1. 表示动作的目标、方向”。虽然现在也有人用に来代替这种用法，但一般还是用へ显得自然。

“2. 表示动作的归着点”“3. 表示动作、作用的对象”都是在现代口语里发展起来的，这两种用法都可以用に替换（但“への”的用法不能用“にの”代替）。两者的区别是：へ表示归着点或对象时仍带有方向性，意味着动作的全过程；に则表示最终的归着，所以如果表示移动的结果，则一般用に显得更自然。例如：

○家に帰っている。

○アメリカに行っている。

○二階の寝室に上がっている。

此外，纯粹表示事物存在的地点，不能用へ代替，如：

- あそこに立っている。
- 本は机の上にある。
- 北京に住んでいる。

## 七 と

### (一) 接续法

と接在体言或相当于体言性质的活用词连体形及部分助词后面,但接在以活用词结尾的文节(如引用句或思考内容等)后面时,形式上看是接在活用词终止形后面,但实际上と所附属的文节在整句话里只不过相当于一个连用修饰语的成分,也就是说等于一个体言文节的用法。

- 友達と出かける。
- 見ると聞くとは大いに違う。
- 誰かと一緒に出かけた。
- きっと合格するだろうと思う。

### (二) 意义和用法

#### 1. 构成连用修饰语

(1) 表示动作所需要的对手、对象或动作的共同进行者。

- 敵と闘う。
- 友達と会う。
- 友達との約束を忘れた。
- 母とテパートへ行きました。
- 彼は妹と暮している。

注意:

“友達との”的と已经和前面的词构成一个体言性质的词组,以下同。

(2) 表示比较的对象。

- 私の国と比べると,日本の方があついです。
- これは前のと違う。
- わたしと同じ考えのかたはありませんか。
- いままでとは逆な生活をはじめた。

(3) 表示事物转变的结果或使事物转化的结果 (请参照第四章第二节中する和なる的用法部分)。

○氷がとけて水となる。

○春もたけなわとなる。

○長い間の努力も水の泡となった。

○マラソンの選手は一団となって、門を出た。

○裁判の結果、有罪と決まった。

○雷鋒同志を手本として、誠心誠意人民に奉仕しよう。

(4) 表示引用、思考、称谓等的内容。

○「ありがとうございます」とお礼を言いました。

○入口に休業と書いた紙が貼ってある。

○標札には「横川」とあった。(“とある”实际上是“と書いてある”的省略。)

○かならずお会いすることができるものと信じている。

○病気が早くなおようと祈る。

○試運の結果は大体良好と認められた。

○ちょうど昼食を食おうとしたとき、やってきたよ。

○何だろうとあけてみると……。(“……とあけてみる”实际上是“……と思ってあけてみる”的省略, 这类用法很多。)

○私は田中と申します。

○「愚公・山を移す」という愚話がある。

○誰でもできるとは限りません。

(5) 表示动作、作用的<sub>情</sub>形或状态。

○十年、二十年と時が立つうちには、悪いことはみな忘れて、いい思いだけが残るものですね。

○フランスからアメリカへとずっと見物して回りました。

○敵の陰謀は次から次へと(つぎつぎと)破産した。

○税金だけでも何十種類とあった。

○二度とそんなことはしまい。

○しっかりと結ぶ。

注意:

例句中のつぎつぎと、しっかりと等已经构成复合副词,在拟声、拟态的副词里带有と的(如:はっきりと、ゆっくりと、どつと、ぐつと等)都可以说是格助词的と,但这种情况没有必要把副词和格助词と区别开来,应该整个地作复合副词看,请参照第五章第二节。

(6) 表示比喻。

○命の綱と頼る兵糧。

○国のため花と散った。

○弾丸が雨霰と降り注ぐ。

2. 构成对等文节

(1) 表示并列、列举。

○春と秋(と)の遠足。

○学年の初めと終わり(と)のクラス会。

○見ると聞くとは天地の差だ。

○「ひかり」は東京と大阪の間を三時間十分で走ります。

注意:

表示并列和列举的と在不发生误解的情况下可以省去最后一个と,但并列用言时或有可能产生误解时不宜省去最后一个と,例如:

○あるとないとではこちらも違うのか。

○第三冊はまだ早いが,第一冊と第二冊との指導要領をつくりなおしている。(这里是“修改第一册和第二册这两册的「指導要領」,如果省去最后一个と,则有可能理解为“修改第一册课本和第二册的「指導要領」”。)

(2) 表示整数和零头。

○全部で一年と二カ月でした。

○一年は365日と四分の一である。

★と的的一些惯用句型

○あの子は夜になっても帰ろうとしなかった。(“……うとする”“……ようとする”,意为“要……”“想要……。”)

○願書の提出は一月二十五日まで。なお、郵送の場合は一月三十一日の消し印のあるものまで受け付けることとする。(“……こととする”或“……ことにする”, 意为“決定……”“規定為……”。)

○私は留学生として日本へ来ました。(“……として”意为“作为……”。)

○田中さんは医者としてよりも政治家として有名だ。

○あなたがどう思おうと、わたしにはわたしとしての考えがある。

○あのとき始めていたとすると、今ごろはもうおわっているでしょう。(“……とすると”“……とすれば”“……としたら”, 意为“如果……”“假如……”。)

○たとえわれわれの仕事が大きな成績をあげたとしてもうぬぼれたり、思いあがったりしてよい理由はどこにもない。(“……としても”意为“即使……”“哪怕……”。)

○きのうの雨で、花という花はちってしまった。(“何々という何々”意为“所有的……都……”, 相当于“……はみんな”的意思)

○真冬なので、山という山は真白な雪におおわれて、とてもきれいです。

○夜となく昼となく、ただ働くことだけが彼らの生活でした。(“……となく……となく”意为“无论……”“不分……”“……也好……也好……”。)

○かならずしも負けるとは限らない。(“……とは限らない”意为“不一定……”。)

○どこへ行くともなく家を出ました。(“……ともなく”相当于“とくに……しようとするつもりではなく”, 意为“说不上要(干什么)”。)

○年をとるとともにからだがよわってきた。

○ことばの意味とはいいたい何であろうか。(“……とは”



意为“所谓……是……”，“とは”所附属的文节应作主语文节看。>

注意：

1. に和との某些用法的比较。

① 表示动作的对象のに和と。

○甲が乙に(と)会った。

○自転車がバスに(と)ぶつかった。

这两个例句中用に和と都可以，但意思有所不同，用に的时候，表示动作是由主体单方面地采取的行动，用と的时候，表示动作是由双方共同采取的行动。譬如下面的例句，一般说来是由单方面采取行动，不能用と代替句中

的に。

○田中さんに手紙を書く。

○先生に教えてもらった。

○彼にはまだ話していないから，分るはずはない。

下面的例句则是必须由双方共同采取行动的意思，不能用に代替と。

○「さようなら」と言って，友達と別れて，家へ帰りました。

○花子と結婚した。

类似“結婚する”“別れる”这种意味着必须由双方共同采取行动的词还有很多，如：握手する、喧嘩する、話し合う、にらみ合う、戦う、つきあう、絶交する、仲直りする、等等。

至于动作的共同进行者，如表示“いっしょに……する”这种意思的句子里，不存在动作的对象，也就不可能用に，如：

○娘とでかける。

○子供と寝る。

② 表示变化的结果。

○氷が溶けて水に(と)なった。

○やがてこの村も工業地帯に(と)なるだろう。

以“となる”或“になる”的形式构成的句子，一般可以相互代用，但用に的时候显得口语化一些，用と的时候则带有文章语的腔调，所以一般讲话时用に，但有些成语里的と则不能随便地改成に，如：

○ちりも積れば山となる。

“……を……にする”和“……を……とする”，这两个句型是常见的，意义上也有些相近，但能相互替换的场合却不多，例如：

○私は妹を医者にしようと思います。

○一つのものを二つにする。

○大豆を粉にひく。

○氷を水にする。

这种句子都不能用と替换に，因为这些句子都意味着“使……变成……”，也就是说对事物进行改造，使之成为另外一种状态。而“……を……とする”则只能表示“使……充当(作为、当作)……”的意思，并非对事物进行改造，也就是说，只不过是把某一事物“当作”“看作”另一事物而已。如：

○(誰々)を始めとする代表团。

○雷鋒同志を手本として，立派な戦士になろう。

○これは五十万人を必要とする大仕事である。

上面这些句子里的と不能用に替换。

“……を……とする”还表示假定(或认定)的意思，不能用に替换。如：

○ABの長さはCDにひとしいとする。

○彼の意見が正しいとすれば，ぼくの意見は間違っていることになる。

2. 用于句首的とすると、すると、というと、といえども、といっても、というのは、这些都可以作接续词看待，请参照第五章第三节。

3. 还有接续助词的と，应注意区别于格助词，请参照本章第三节。

## 八 から

### (一) 接续法

から接在体言和某些助词后面。

○会議は十時から始まる。

○九月に入ってから，急に涼しくなった。

### (二) 意义和用法

#### 1. 构成连用修饰语

(1) 表示时间、空间、顺序等的起点。

○昨日から降りつづく雨がまだやまない。

○学校から帰ったところです。

○東京から出発する。

○君から始めなさい。

○さて，何から始めようか。

○入学してから一日も休んだことがない。

(2) 表示動作、作用经由的场所。

○汽車のまどから海が見える。

○雨戸のすきまから朝日の光がさしこんでいる。

(3) 表示動作、作用的起源。

○父から毎月お金を送ってもらう。

○これは友達からの送り物です。(这里的から因接了格助词的在后面,在句子里已经不起表示连用修饰语的作用。)

○日本語は田中先生から教わりました。

○宿題を忘れて先生から叱られた。

(4) 表示摆脱、分离的基点。

○やっと忙しさから解放された。

○雪から鉄道交通を守る。

○毎月のサラリーから両親に仕送りをしているのでは、たいへんですね。

○試験の問題はこの本の中から出すことにします。

(5) 表示数量上的最起码的程度。

○この川は深い所は十メートルからある。

○このごろは物価があがったので、生活費も一カ月に四万円からかかる。

○デモに参加した人は十億からあった。

(6) 表示判断、比较的依据。

○あの人の成績からすると、大学受験はとてもむりだ。

○うちの経済状態からいって、そんな高いものはとても買えません。

○君から見るとうちの子は元気がない。

○去年からすると今年は雷がずっと多い。

(7) 表示動作、作用的起因(原因)。

○ちょっとしたゆだんからたいへんなことになる。

○たばこの火から火事を起すことが多い。

○風邪から肺炎をひきおこした。

(8) 表示事物构成的材料或要素。

○日本酒は米から作る。

○水は酸素と水素からできている。

○この本は上下二冊からなる。

## 2. 构成主语

○スポーツスマンからこれを発表した。

○先生へは私から申しあげましょう。

○それはいったい誰からいただいたことでしょう。

### ★からの一些特殊用法

から有时构成相当于连体修饰语的文节,如:

○川から向こう側が工業地帯です。

○彼から三番目の列。

○ここから下は切り捨てよう。

○半島から右の方。

○これから先は暮らしが楽になります。

○八時から十時までの間はここにいる。

から还可以和前面的词构成名词性质的词组。

○七月十六日からは夏休みです。

○兄からの手紙はさっき着いた。

注意:

1. 表示起点(出发点)的から和を (请对照本节“を”的用法) 的区别。

格助词から和を都能表示移动性动作的起点(或出发点,以下略),后续动词应该是表示移动性动作的词,相比之下,用を的场合着重表示移动的场所(即离开场所),而から则带有明显的方向性。下面几个例句只有语感上的不同。

○へやを(から)出る。(用を表示“走出房间”,から则表示“从房间出去”的意思,后者不常用。)

○東京を(から)出発する。(用を表示“离开东京”,用から则表示“从东京出发”的意思。)

如果后续动词意味着包括出发场所及后来经由的全过程的话,则只能用表示方向性的から,而不能用着重表示离开场所的を,即不能用を代替から。如:

○ここから走る。(或:学校から走る。)

○田舎から来た。(或:子供の家から来た。)

“……から……まで”或“……から……へ”实际上也是这种意义,不可以用を代替から,如:

○毎日学校から家まで歩いて帰る。

○私はあした羽田からアメリカへ出発します。

○今日は家へ帰って準備をするから,あすは家から(駅へ)行く。

表示从什么地方产生什么东西时也只能用から,如:

○涙が(目から)出る。

○血が足から出る。

○汗が体じゅうから出る。

用を表示离开某些生活(或工作、学习)的场所,除了意味着一般动作性的“离开”之外,往往还带有抽象的长期或永久性的脱离,而から则仍然只能表示一般性的“起点”,如:

○病院を出る。(可以理解为某人“走出医院”,也可以理解为病人“出院”)

○病院から出る。(只能理解为“从医院外出”)

○家を出る。(可以理解为“外出”,也可以理解为“脱离自己的家庭”)

○家から出る。(只能理解为“从家里外出”)

○学校を出る。(可以理解为“离开学校去外边”,也可以理解为“毕业”)

○学校から出る。(只能理解为“从学校外出”)

○私が小学校を出た時,父が死にました。(这句话不可能用から。)

有的时候,作为起点的场所没有明显的范围、界线,实际上等于一个方向性的起点,应该用から,不用を,如:

○海から出る。

○山から出る。

○東から出る。

○左から出る。

○部屋の中から出る。(“部屋”是有界线的,但“部屋の中”则没有一个界限,不能用“を”。)

## 2. 表示授受关系的に和から

严格地说,应该是表示授方的に和から,如下面一些例句:

- 先生から(に)教えてもらいました。
- お父さんから(に)毎月お金を送ってもらう。
- これは先生から(に)いただいた本です。
- これは友達から(に)もらったのです。

从意义上来说,用に偏重于主动地向别人请求或索取的意思,用から则偏重于来自授方的给予的意思,所以,这里的に也可以看成是表示请求或索取的动作的对象。在下面一些例句中,明显地表示单方面地请求或索取的意思,应该用に,而不是用から,如:

- お医者さんに見てもらいましょう。
  - 彼に一緒に行ってもらった。
  - では、これは田中にやってもらうことにしよう。
- 有些事情是不便采取请求或索取的行动的,应该用から,而不用に,如:
- 卒業のとき、学校からほうびをもらいました。
  - 会社から給料をもらう。

## 3. 还有接续助词的から,要注意区别(见本章第三节)。

## 九 より

### (一) 接续法

より接在体言和相当于体言性质的活用词连体形以及部分助词后面。

- 誰よりも背が高い。
- 思ったよりたくさんありますね。
- いままでよりよくなったようです。

### (二) 意义和用法

より主要构成连用修饰语。

#### (1) 表示比较的基准、标准。

- 長江は黄河より長い。
- あなたは私よりだいぶ若いんですね。

○聞くよりは見る方がいい。

○軍事家というよりはむしろ政治家と言ったほうがいい。

○花よりだんご。

○それはなによりです。

○それよりかこれがいい。(“よりか”是口头谈话时的一种讲法,比“より”语气略强。)

(2) 表示限定(常以“……より……ない”的形式出现)。

○もうあきらめるよりほかない。

○こうするよりほかには方法がない。

○あなたよりほかにはこれのできる人はいません。

○この道よりほかには、駅へ行くみちはありません。

(3) 表示时间、空间上的起点(是比から更郑重的说法)。

○満七歳より入学を許可する。

○北京駅より出発する。

○学校は午前九時より始まる。

○川の水は上流より下流へながれる。

○戦友よりの手紙。

(4) 表示事物构成的材料和要素(与“から”同)。

○日本酒は米より作る。

★よりの一些特殊用法

1. 构成相当于连体修饰语的文节(主要是限定界线、范围、程度等)。

○それはいまよりずっと昔の話だ。

○応接室より手前に会議室がある。

○赤道より北を北半球という。

○あぶないですから、白線より内側にさがってください。

2. 作程度性的副词使用。

○われわれは、現状に満足せず、よりよい生活をめざして努力すべきだ。

○次の会には、より多くのかたがたにお集まりいただきな  
いと思います。

○すばらしい成果をかちとるためにより一層努力しよう。

## 十 で

### (一) 接続法

で接在体言及部分副助詞后面。

○中国のお茶は世界で一番有名です。

○これだけではまにあわない。

### (二) 意义和用法

#### 1. 构成连用修飾語。

(1) 表示動作、作用的場所或範圍。

○私たちは毎日学校で日本語の勉強をしています。

○彼は私たちのクラスで一番背が高いです。

○それはどこでお買いになりましたか。

○先生の指導のもとで研究をつづけている。

○上海では交通が非常に便利です。

○外交の面でも一連の大きな成果をおさめた。

○もちろん、これはここでの話しです。

(2) 表示時間的範圍和期限。

○明日の午前中で終わるだろうと思う。

○いま忙しいから、あとで来てください。

○あとでまた会いましょう。

○今日ではもう電気がない生活など考えられない。

○現在では病気もすっかりなおり、元気に働いている。

○この仕事は二、三日でできるでしょう。

○汽車で行けば、二時間でたりる。

(3) 表示動作進行时的状态。

○私はアパートにひとりで住んでいる。

○みんなでいっしょに歌いましょう。



○先生も学生の立場で考えてみてください。

○映画を見たつもりで貯金しよう。

(4) 表示動作、作用进行的基準。

○この列車は一時間に二百キロのスピードで走っています。

○三尺で一メートルになる。

○これは千円で買いました。

○私は一カ月三万円でくらしている。

(5) 表示動作、作用的手段或材料。

○日本語で話してください。

○自転車で行きましょう。

○電話か手紙でお知らせします。

○そのニュースはラジオで聞いた。

○デパートは人でいっぱいです。

○日本のさけは米で作ります。

○へやを花でかざりましょう。

(6) 表示原因。

○きのうは病気で学校を休みました。

○旅行ですっかり疲れました。

○列車遅刻で迷惑した。

○いまの電話で代表団はまだ出発していません。

○おかげさまで元気です。

2. 表示主語、通常用では、でも。

○県でもそれを奨励している。

○学校ではそんなことを教えないはずだ。

○政府でもとくにこれを重視しています。

注意:

1. 表示材料的で和から(或より)。

○日本のおさけは米で作ります。

○日本のおさけは米から作ります。

在这样的句子里で和から都可以用，都表示用什么材料做什么物件的意思，但不是所有的被使用的材料都可以用から，严格地说，から所表示的材料是做成某一物件的要素，而不表示这种要素的时候不能用から，如：

○部屋を花でかざる。(から×)

○万年筆で字を書く。(から×)

作为构成某种物件的材料，后续から意味着从这一物件转变成另一物件，有一种转变的过程，用で则偏重于手段性质，不表示转变的意思。如：

○ビールは麦とホップから造る。(で○)

○日本の家は木で造る。(から×)

后面一句不能用から替换で，用“から”等于说“房子”产生于“木头”，逻辑上不通。

○この本は上下二冊で(から)できている。

这里~~的~~で表示一种状态，即“上下二冊の状態~~で~~できている”。而用から则仍然表示构成某一物件的要素，有一种转化、产生的概念。如果后续动词“なる”的话，则纯粹表示转化的结果或事物的产生，只能用から，不能用で。

如：

○この本は上下二冊からなる。(で×)

2. 用于场所和时间方面的で和に

这两者几乎不能替换，如：

○彼は学校にいる。(で×)

○彼は学校に来ている。(で×)

○彼は学校で日本語を勉強している。(に×)。

以上是用に表示存在的地点或到达的地点(参照本节“五に”)，用で表示行动、动作的场所，两者不能混淆。

○あの人は去年の九月に日本へ来ました。(で×)

○学校は午前九時に始まる。(で×)

○この仕事は二、三日でできるでしょう。(に×)

○またあとであいましょう(に×)

以上是用に表示时间点，用で表示时间的范围和期限，同样不能混淆。

○彼はそこに立っている。

○彼はそこで立っている。

前者表示“站在什么地方”，后者表示“在什么地方做什么”，意思不一样，

后者实际上不大可能出现，“そこで立っている”在某种特定的场合(如有人问“他在那儿干什么?”)，或许有可能使用。

○この仕事は明日の午前に終わると思います。

○この仕事は明日の午前中で終わるつもりです。

前者把“明日の午前”作为一个时间点看待，这种时间点还可以扩大为“来月に”“一九八五年に”“次の世紀に”；后者把“明日の午前中”作为一个时间范围看待，意味着“在这一段时间里”。

○五時に閉店です。(で◎)

○余震は三時十分でやんだ。(に◎)

这种情况，用“に”仅表示动作或作用发生的时刻，句中的“閉店”“やむ”都只是在这一时刻发生的瞬时性动作、作用，用“で”则意味着以某一时刻作为由一种状态转入另一种状态的转折点，这时候的“閉店”“やむ”是这一时刻后的状态，这种状态是持续性的，而不是瞬间性发生的动作、作用。

### 3. 表示原因的で、に、から

严格地说，で表示需要说明的原因，に表示对于某种情况所产生的反映，から表示事件的起因、发展的起点。

○この作品で有名になった。

○睡眠不足で，ついあくびをしてしまった。

●地震で家屋が倒れた。

○病氣で寝ている。

这些用で表示原因的句子都在于说明“是因为什么原因才有了某种结果”，不可以用に或から替换，因为既不存在“对于什么产生什么反映”的意思，也不表示“事件的起因、发展”的关系。

○李さんの呼び声にびっくりした。

○子供のいたずらに手をやいている。

○彼の成功にすっかり喜んでる。

○突然のできごとにめんくらう。

○勉強にあきている。

这些用に表示原因的句子都表示“对于什么产生了何种心理反映”，用で无法表示这种意义，所以一般不能用で替换，即使替换了也很勉强，显得语句不通顺。同样也不能用から来替换，因为“因”和“果”之间不存在发展的关系。

○勉強に(で)つかれている。

○鳥の啼き声に(で)しびれてしまった。

○酒に(で)よっぱらいました。

○ガスに(で)中毒した。

这些句子用时表示生理反映,即“对于什么什么产生了何种生理反映”,用时则不表示这种反映的关系,着重在于说明原因,即说明“某种状态是因为何种原因而产生的”。这种句子同样不能用から代替に或で。

○雨に(で)ぬれた。

○木の葉が風に(で)そよいでいる。

这些句子用时表示自然反映,用で说明某种自然现象形成的原因,但除非有必要特别说明原因的时候,一般还是用に。下面两句更多地表示事物间的接触关系,即反映性的结果,不使用で,如:

○ほこりにまみれた。

○日にやけた。

以上这些表示自然反映的句子里,同样不能使用から。

○ちょっとしたことから,夫婦げんかをしてしまった。

○過度の疲労から,病気が再発した。

○この二つの国はなにかの問題から戦争を始めた。

○私の不注意から,みんなにご迷惑をかけました。

○長い間の経験からこういうことが分った。

○さきほどの地震から火災が各地に発生している。

○風邪から肺炎を併発した。

这些用から表示原因的句子都表示“事件的起因”,“因”和“果”之间有一种发展的关系,即“由什么什么发展到什么什么”,可以用で替换から,但意思就完全在于说明“某项结果的原因是什么”。这些句子不能用に替换から,因为这里面不存在“对于什么产生什么反映”的意思。

○風邪から休んでいる。×

○地震からびっくりしている。×

这两句话之所以不通,是因为“因”和“果”之间不存在发展关系。

で、に、から所表示的因果关系,都是事物之间的相互关系,即对客观事物的叙述,它们只能表示原因,而不能表示讲话人用以命令别人或要申述自己的主张、采取某种行动(即意志)的理由,如:

○ちょっとしたことから夫婦げんかをしましょう(或しなさい)。×

○病気で休もう(或休みなさい)。×

○地震にびっくりしましょう(或しなさい)。×

关于因果关系表达方式请参照本章第三节里的“【参考】 因果关系的表达方式”

4. 不属于格助词の。

下面一些句子里的で不是格助词,要注意识别。

○弟は中学生で,妹は小学生です。(助动词)

○中華民族は勤勉で勇敢だ。(形容动词的词尾)

○子供でもできる。(でも为副助词)

○本を読んでいる。(接续助词)

此外,“話しをしないでください”,有的书里认为这里的で应作格助词看,但从语法作用来看更接近于接续助词,请参照本章第三节“二て”的部分。

5. で,それで,では,でも可构成接续词,请参照第五章第三节“接续词”。

## 練習問題二十九

一、次の各組の——線をひいた語で、例文の——線の語と同じ使い方・意味をしているものを一つ選び、その文の記号(ア・イ・ウ……)を( )の中に書きなさい。

① 例文:本が読みたい。( )

ア 李さんが読みたいそうです。 イ 赤いボールペンがほ  
しい。ウ 残念だがあきらめよう。エ 千円が値打ちはする。  
オ 苦しい。が, がんばるよ。

② 例文:東京を離れる。( )

ア川を渡る。 イ本を読む。 ウこれで私の授業を全部終  
ります。エもう十時をすぎたでしょう。オ北京を去る。

③ 例文:彼はその事業の成功にすっかり自信をつけてしま  
った。( )

ア庭の中に池がある。 イこの仕事は川上君にさせよう。  
ウ将来はパイロットになりたい。 エあまりの寒さにふるえて

しまった。オ京都は海に遠い。

④ 例文:これは私の見たことのある絵だ。( )

ア彼は気持のやさしい男だ。イ健康で元気なのが私の自慢です。ウきれいな着物を着て、どこへ行くの? エあなたはいつ帰ってきたのですか。

⑤ 例文:風で倒れる。( )

ア遊園地で迷子になった。イ病気で学校を休んだ。ウ演説はあと一時間で終ります。エ手で動かす。オ今日は勤労感謝の日で、学校は休みです。

⑥ 例文:友達と山へ行く。( )

アちりも積れば山となる。イ行けと言われた。ウ弟と映画を見に行く。エ早く来てくれるといいね。

⑦ 例文:私は日本語より知りません。( )

アこうなつては勉強するより仕方がない。イ山田君より西沢君のほうが背が高い。ウボールペンは万年筆より便利です。エそれはいまよりずっと昔の話です。

⑧ 例文:学校から帰ったところです。( )

ア生活の不満からやけになったのかも知れない。イ君から見るとうちの子は元気がない。ウ動くから一つも写せない。エ食塩は海水から作る。オ猿も木から落ちる。

二、次の文の( )の中に、文末の( )の中から適当な助詞を選んで入れなさい。

1. 私はときどき寂しい気( )します。(が、を)
2. 遠くから機械の音( )聞こえました。(が、を)
3. 先生は冗談を言って学生( )笑わせた。(に、を)
4. 日本人の友達に東京の中( )案内してもらいました。  
(で、を)
5. ご飯を食べてから旅館の近く( )散歩します。(に、を)

6. まっかな朝日が東( )出ました。(から、を)
7. 私の父はバンコックの郊外( )農園を持っています。  
(に、で)
8. 午後はその部屋( )会議がある。(に、で)
9. 私は学校の寮( )住んでいます。(に、で)
10. 部屋( )テレビを置いたので、狭くなりました。(に、  
で)
11. 小鳥が木の枝( )とまっている。(へ、に)
12. 鳥は山のほう( )飛んでいった。(へ、に)
13. 大阪に着いてから友達( )電話を掛けて、その人の家  
へ行きました。(に、と)
14. 卒業のとき、学校( )ほうびをもらいました。(に、か  
ら)
15. 子供が自動車( )ひかれて、死にました。(に、から)
16. 私は勉強( )あきますと、レコードを聞きます。(に、  
で)
17. また、あと( )会いましょう。(に、で)
18. 私たちの学校は駅( )近いです。(に、から、で)
19. わたしの国の学校制度は日本( )同じです。(に、と)
20. 紙( )人形を造ります。(から、で)
21. 伊豆( )泊まった所は民宿です。(で、に)
22. 約束の時間( )五分ぐらい前に着いた。(から、より)
23. 勉強は四時十分( )終わります。(まで、に)
24. 勉強( )いそがしいため、どこへも行くことができ  
ません。(が、の)

課外練習 (第七章助詞 第二節格助詞)

一、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

正月というものは、子供たちにとっては期待の一語( )  
尽きた。期待そのものであった。なにかすばらしいものをいっ  
ぱい詰め込んで、正月はどこ( )( )ともなくやってくる  
のである。洪作はもう二、三年前までのように、大みそかの夜に  
何回も眼をさまし、正月の近づいて来る足音に耳を傾けるよう  
なことはなかったが、それでもやはり正月( )<sup>①</sup>やって来ると  
いうことは楽しかった。

五時に起きて村の神社( )初詣でに出かけた。子供たち  
はどの家( )も、いよいよ正月がやって来たといった神妙な  
顔をして、平生より無口になって、家の人たちの中に混って、ま  
だ明けきれぬ薄暗い中<sup>②</sup>( )神社へ( )向かった。

問一 文中の( )の中に仮名一字ずつ、格助詞を入れな  
さい。

問二 ①「の」と同じ働きをする「の」を次のア～エの文  
の中から一つ見つけだしなさい。

ア喜ぶのはまだ早い。イみかんはいくらぐらいのがいい  
ですか。ウそればかりのことで泣くなんて、みっともない。  
エわが国ほど人口の多い国はない。

問三 ②「より」と同じ意味に使われる「より」を次のア  
～エの文の中から二つ見つけだしなさい。

ア聞くよりは見るほうがいい。イあなたよりほかにはこ  
れのできる人はいません。ウ満七歳より入学を許可する。  
エ花よりだんご。

二、次の日本語を中国語に訳しなさい。

1. 一人であぶないからと、金さんがいっしょに来てくださ  
いました。

2. 夜汽車は、京都、大阪、神戸、姫路と關の中を走ってい  
た。



3. 君から見ると、うちの子は元気がない。
4. この町には公園より見るところがない。
5. あいつが年よりも若く見えるなんて、そんなことはあるもんか。

6. 学校ではそんなことを教えないはずだ。
7. スポーツマンからこれを発表した。
8. デモに参加した人は十億からあった。
9. 真冬なので、山という山は真白な雪におおわれている。
10. 昨日の雨で、花という花はちってしまった。
11. 文房具は三階より(も)上に売っているはずだ。
12. 去年からすると、今年は雷がずっと多い。
13. オリンピックにたくさんのチームや選手を送ることは、

資金の上からむずかしいね。

14. その品はいくらぐらいから売り出すのですか。
15. 秋田君は兄弟で音楽会に出かけた。
16. 千円が値うちはする。
17. 御主人に先立たれてね、奥様がお気の毒でなりません

わ。

18. この意見に賛成のかたは御起立ください。
19. 針の折れそうなのでやっとな縫った。
20. 万年筆の長く使いなれたのは一番書きいい。

三、次の( )の中に入れるのに適当なことを、末尾の( )の中から選び記号で記入しなさい。

1. 「さようなら」と言って、友達( )別れて、家へ帰りました。(aとbに)
2. あしたの夕方( )来てください。(aまでbに)
3. では、田中さん( )やってもらうことにしよう。(aからbに)
4. 私が小学( )出たとき、父がアメリカへ行ってしまう

た。(aを bから cより)

5. あの人はお父さん( )よく似ている。(aと bに)
6. この仕事は二,三日( )できるでしょう。(aに bで)
7. 私はプール( )端から端まで泳いでみた。(aを bで)
8. 子供のいたずら( )手をやいている。(aに bで)
9. 川を渡る( )三時間かかった。(aには bのに)
10. 国際ホテルへ行く( )どのバスに乗ったらいいでしょうか。(aには bのに)
11. これを見て,あまりのおかしさ( )思わず笑ってしまった。(aに bで)
12. きのは大使館( )用事があって,行きました。(aに bで)
13. 病院はくすりの匂い( )する。(aが bを)
14. 彼は大きな目( )している。(aが bを)
15. 彼は母の病気( )たいへん気にしている。(aが bを)
16. 試験の結果( )気になる。(aが bを)
17. 大雨が降って,川( )あふれようとしている。(aが bに)
18. コップ( )あふれるほどビールをつぐ。(aが bに)
19. あの方は入学試験( )パスして,よろこびにあふれている。(aが bに)
20. ひとりっ子なので,親( )あまえてこまりました。(aが bに)
21. 池のそば( )花が咲いている。(aに bで)
22. お父さんは東京の郊外( )土地を買った。(aに bで)
23. 飛行機は空のかなた( )消えていった。(aに bへ)
24. 通学上( )言えば,アパートは駅に近いほうがいいにきまっている。(aから bを cで)
25. 紅茶( )よければ,入れましょう。(aが bは cで)

### 第三节 接续助词

#### 一 接续助词的性质

接在用言以及活用连语的后面，象接续词一样起承前接后的作用的助词叫接续助词(接続助詞)。但应注意，接续助词不能象接续词那样连接两个形式上独立的句子，因为接续助词是附属词，它必须接在独立词后面构成一个文节。

接续助词有后续性，因为它必须关联到后面的用言(或相当于用言性质的词组)。

接续助词按其接续方法可以分成两大类：①并列性接续；②条件性接续(前项为后项的条件)。如下图所示。

并列	条件			
	假定		确定	
	顺接	逆接	顺接	逆接
て				
し				
ながら	ば	ても	ば	ても
(つつ)	と	たって	から	が
たり	ては	と	ので	けれども
			と	のに
			なり	

注意：

1. 上表内列举的只是部分接续助词。
2. 接续助词的用法很复杂，前面列举的各个接续助词只是根据其主要用法作了分类。
3. 接续助词相互之间不能重叠使用，一般也不能与格助词重叠使用(但也有例外，如：てから、ての等)。

#### 二 て(附して)

##### (一) 接续法

て接在动词、形容词以及动词或形容词活用型助动词的连用形后面,接在ガ、ナ、バ、マ行五段动词后面时要发生音便为で。

- 春がすぎて夏が来た。
- 値段が高くて手が出ない。
- 私をハワイへ行かせてください。
- だれも来なくてのんびりした。
- 泳いで川を渡った。

## (二) 意义和用法

### 1. 构成对等文节

(1) 表示顺序,用于动作、状态、事项的继续或推移の場合。

- 中学校を卒業して高校生になる。
- 夏がすぎて秋になった。
- デパートで買物をして、映画を見て、コーヒーを飲んで帰りました。

(2) 表示并列、添加。

- やすくてうまい。
- あの山は高くてけわしい。
- わが国は土地が広くて、物産も豊かです。

### 2. 构成连用修飾語

(1) 表示原因、理由。

- 雨が降ってずしくなる。
- お目にかかれて大変うれしかった。
- 風邪をひいて、学校を休みました。

(2) 表示手段、方法。

- 団結していっそう大きな勝利をかちとろう。
- 立って話しなさい。
- 泳いで川を渡った。
- 手をたたいて賛成した。

(3) 起用言和补助用言之间的连接作用。

○きれいな花が咲いている。

○このとけいは父に買ってもらいました。

此外如：やってみる、放っておく、歩いている、教えて頂戴、送っていただく、来てください、やってしまう、話してやる、雨が降ってきた、走っていった、等等，都属于这种接续关系。

有时て会和后面的补助用言发生约音现象，如：

ている→てる

ておる→とる

である→たる

ておく→とく

てしまう→ちまう→ちやう

でしまう→じまう→じやう

ています→てます

ていらした→てらした

ていらっしゃい→てらっしゃい

注意：

1. なくて和ないで（具体用法请参照第六章第六节）

○連絡がとれなくてあせっている。

○そんなに急がないでゆっくり読みなさい。

なくて的形成有两种可能性，一是形容词（或补助形容词）ない的连用形后续て，一是助动词ない的连用形后续て；但ないで必须是助动词ない后续て。

对于ないで的有不同看法，有的认为是格助词的，有的认为是接续助词的所转化的。从接续法和语法作用（即接续作用）来看，还是作为接续助词看待比较妥当。

2. て用于句末时还可能起到相当于终助词的作用，用てよ、てね的形式更比较常见，这种用法一般是女性用语（请参照本章第五节）。

○もう用事はすんで？

○今申し上げたことは、おわかりになって？

○あなたの答えはまちがっていてよ。

○お手紙ちょうだいね、待っててよ。

○ちょっとまって。

○おねがい、私にも教えて。

○あした、きつとうちにいらっしやつてね。

○私にもくつを買ってよ。

## (附) して

して是文语的接续助词，由文语サ变动词す的连用形し加接续助词て构成。现代口语里主要接在形容词和形容动词的连用形以及某些助动词的连用形后面，意义相当于て。

○任重くして(=重くて)道遠し。

○みんなの協力なくしては(=なくては)，この仕事はできなかつたでしょう。

○労多くして(=多くて)功すくない仕事。

○明晰にして(=明晰で)簡潔な解答。

○士気旺盛にして(=旺盛で)赴く所敵なし。

○言わずして(=言わないで)知る。

○期せずして(=期しないで)あなたの意見と一致した。

注意：

1. して作格助词用。

○ひとりできなくても、みんなして(=で)力を合わせてやればすぐできます。

○三年にして(にして=で)卒業する。

○彼をして(をして=表示被使役的对象)言わしめれば、「くだらない」の一語につきるでしょう。

2. しで作副助词用，主要接在连用修饰语后面调整或加强语气。

○とかくしてそうなりがちだ。

○いまにして思えば、あの時があなたの方に会った最後です。

○不幸にして身をもってその職に殉じた。

○不合格の知らせを受け、のぞみは一瞬にして消えてしまった。

○第一、あの方がだまって休んだことからしてゆるせません。

○あの頭のいい田中さんをもってしても、この問題はそう簡単に解けないと思う。

## 三 し

(一) 接续法

し接在用言、助动词的终止形后面。

○この花は色もきれいだし，においもいい。

○いやだとことわるわけにもいかないし、しかたがないんですね。

## (二) 意义和用法

### 1. 构成对等文节

○景色はいいし、気候も温和だ。

○夏は涼しいし、冬は暖かい。

○あの庭には池もあるし、山もある。

○体も丈夫だし、成績もいい。

### 2. 构成连用修饰语

(1) 并列两个以上的事实作为后项的理由。

○朝は早いし夜は遅いし、こどもたちの顔を見ることがほとんどない。

○勉強はするし、お手伝いはするし、本当に感心な子だよ。

○雨もふるし、すこし風邪をひいているし、するから、きょうは一日家にいよう。

○あの人は頭もいいし、からだもじょうぶだし、そして、気だてもいいし、ほんとうに申し分のない人です。

注意: 最后的一个“し”往往改成“ので”“から”, 意义基本上不变。

(2) 列举一个主要事实作为后项的原因(意味着还有别的原因)。

○年もとったし、あまりむりな仕事はしないほうがいい。

○お近いですし、どうぞおあそびにいらっしやってください。

○皆知っていることだし、何も隠す必要はないだろう。

○ぼく一人で行くわけでもあるまいし、心配はご無用です。し有时还可以用于句末。

○旅行には行きたいけど、まだ体がじゅうぶんじゃないしなあ。

○でもどうしてご存知なのかしら? 恵子さんが言うわけは

ないし。

#### 四 ながら(附つつ)

##### (一) 接续法

ながら主要接在动词和动词活用型助动词的连用形、形容词和形容词活用型助动词的终止形、形容动词词干后面,也可以接在体言和少数副词后面。

- ごはんを食べながら本を読む。
- 踏まれながらも芽を出した。
- 小さいながらよく走る。
- 行きたいながら遠慮している。
- 残念ながら, 今日はお目にかかれません。
- 老人ながら, 体格がよかった。
- いつもながら親切だ。

##### (二) 意义和用法

ながら可以构成对等文节和连用修饰语文节, 有如下意义。

##### 1. 表示两项动作同时进行。

- 道を歩きながら考えた。
- 働きながら大学に通う。
- 涙ながらに話す。
- 向こうから田中さんが笑いながらやってきた。

##### 2. 逆态接续, 连接两项不相适应或反常地相关联的事项。

- 毎日よく勉強していながら, 試験の成績はいつも悪い。
- むずかしいと言いながらもこの本をおわりまで読んでしまった。

- 今日は晴れていながら寒い。
- 知っていながら人に聞く。
- 手に持っていながら探す。
- 年が若いながら, なかなかしっかりしている。
- 素人ながら専門家のできないことをやる。



○私はいよいよながら承知した。

○批判されながらもやめない。

3. 表示“一如……”“像……那样”等意思。

○いつもながら親切だ。

○昔ながらのしきたり。

4. 表示“原样”“原封不动”的意思(与“3”同)。

○生まれながらの音楽家。

○皮ながら食べる。

5. 表示“全部”“都”等意思。

○兄弟三人ながら秀才だ。

○彼は経験と学問と二つながら持っている。

○三日ながら雨天だった。

注意:

1. ながら后续格助词の、通常是“……ままの”的意思; ながら后续副助词も只起到加强语气的作用,通常是强调相逆的关系,可以把ながらも作一个复合接续助词看待。

2. しかしながら,是一个复合接续词,由接续词しかし加ながら,起到强调语气的作用。

3. 下面是由ながら构成的一些惯用语,可以作副词性连语看,从意义上来看,不超出前面列举的“1~5”的范围。

○御苦労ながら,この速達を秋田にわたしてください。

○残念ながら,お伴することはできません。

○お粗末ながら,さしあげましょう。

○失礼ながら,その本をとってくださいませんか。

○恐れながら,お伺い申し上げます。

○及はずながら,骨折りましょう。

○憚りながら,申し上げます。

○ついてながら,申しあげます。

○われながら恥しい。

○ローリングもさることながら,ピッチングがさらにひどい。

○当時のことを思い出してみると,この十年間の変化の激しさに今

ながら、驚かざるをえない。

○いながらにして最新の学術情報を入手できる。

## (附) つつ

つつ接在动词和动词活用型助动词的连用形后面。つつ本来是文语里较常见的接续助词，在口语里使用已不大多，但以“动词连用形+つつある”的形式表示动作、作用的继续的表达方式还比较常见。

1. 表示两项动作同时进行，相当于ながら的作用。

○はたらきつつ学校を卒業した。

○子どもを教育するには、興味をもたせつつ，指導していくことがたいせつだ。

2. 连接两项不相适应的事情，相当于ながら的作用。

○悪いと知りつつ，改めようとなしない。

○母親は口では子供を叱りつつも，やっぱり心の中では子供がかわいくてたまらないのです。

3. 以“～つつある”的形式，表示动作、作用的继续，相当“ている”的意义。

○いま船はみなとに向かって進みつつある。

○それは私の病氣も回復に向かいつつあったときでした。

## 五 たり

### (一) 接续法

たり接在用言和部分助动词的连用形后面。接在ガ、ナ、バ、マ行五段活用动词后面时要发生音便为だり。

○見たり聞いたりしたことを作文に書いてごらんなさい。

○このごろはさむかったり，あたたかかったりして，天気が定まらない。

○おっしゃることも本当だったり，うそだったりして，とりとめがございません。

○先生は学生に本を読ませたり、質問に答えさせたり、字を書かせたりします。

○万歳と叫んだりした。

## (二) 意义和用法

たり主要用来表示动作、作用、状态的交替发生，意为“あるいは……、あるいは……”，而且通常情况下都在たり(最后一个たり)后面接动词する，以这种形式结句，或以这种形式连接后面的用言，因此たり本身的作用一般是构成对等文节。

1. “……たり……たりする”的形式。

○押したり引いたりしてみる。

○行ったり来たりする。

○夏休みに海へ行って泳いだり、山にのぼったり、小説を読んだりして過ごしました。

○ホテルでは、部屋がりっぱだったり、部屋にふる場がついていたりすると、ねだんはずっと高くなる。

2. 用“……たり(など)する”的形式，举出一项具有代表性的事物，带有“诸如此类”的语气。

○交渉の相手を軽く見たりしてはいけない。

○それくらいの事で泣いたりするものではない。

○うそをついたりなどしてはいけません。

○もし品があまりよくなかったりしたら、買うのはやめます。

3. 用“……たり……たり”的形式，直接连接后面的用言。

○山を越えたり、川を渡ったり、できるだけ、直線コースをとった。

## 六 ば

### (一) 接续法

ば接在活用词假定形后面，但现代口语里形容动词以及形容动词活用型助动词的假定形なら后面一般不后续ば也能起到同样

的作用，“过去、完了”助动词的假定形たら后面一般也不后续ば。

- 雨がやめばでかけよう。
- 内容がよければば買しましょう。
- 私に言わせればばあなたは責任がある。
- 本当に買いたければば、すこし負けてあげましょう。
- 景色がきれいならば観光客が多いだろう。
- ぼくが君ならば、そんなことには賛成しない。
- 雨が降るようならばやめましょう。
- 魚が釣れそうならば行ってみよう。
- 周君にあったらばよろしく言ってくれたまえ。

## (二) 意义和用法

### 1. 构成连用修飾語

#### (1) 表示假定顺接条件。

- それでよければば、あげましょう。
- 一生けんめい練習すればばきっとじょうずになりますよ。
- 早く行かなければば間に合いません。
- あなたさえよければば、わたしはかまいません。

#### (2) 表示确定顺接条件。

- 働き出してみればば、そんなにつらくはなかった。
- ここまで送ってもらえばば、もう一人で帰れる。
- こちらが好意を示せばば、相手も親切にしてくれた。

#### (3) 表示恒常的条件(包括某些习惯的或反复的现象)

- ちりも積ればば山となる。
- 春になればば花が咲く。
- 五に五をたせばば十になる。

#### (4) 提示话题、根据、一般用いえば、よれば等等。

- 三月の広州と言えば、春たけなわである。
- 目下の情勢について言えば、われわれは大いに有利な立場にある。

○博士の説によれば、このような状態はありえない。

○お金のことならば、お父さんによく聞いてみてからにしましょうね。

2. 构成对等文节，主要用于列举共存的事项，常用“……も……ば、……も……”的形式。

○あんな本はおもしろくもなければ、ためにもならない。

○彼は勉強もすれば運動もする。

○気候もよければ、景色もいい。

○弁も立てば筆も立つ。

★ば的惯用句型。

1. ……ばいい。(意为“如果……就好了”“如果……就可以了”。)

○ぼくはもっと勉強すればよかったと思う。

2. ……ば……ほど……。 (意为“越……越……”。)

○多ければ多いほどいい。

○日本では北へ行けば行くほどさむくなる。

3. ……さえ……ば……。 (意为“只要……就……”。)

○これさえあれば、ほかにはなにもいりません。

○この機械は100円だまを入れさえすれば、動き出します。

4. ……ばこそ……。 (意为“正因为……所以……”、“正因为……才……”。)

○君のためを思えばこそ、そう言ったのだ。

5. ……なければならぬ。(意为“必须……”)

○まじめに勉強しなければならぬ。

注意:

1. ば在文语里可以接在活用词的未然形后面，表示假定条件，这种用法在现代口语中仍有一些残余(请参照第四章第五节)。

○死なばもろとも。

○やすくば買おう。

○行かずばなるまい。

2. をばは关西地区的方言,此处的ば是副助词は的一种变形。

○お茶をば飲むが,酒をば飲まない。

○便りをばよこさない。

## 七 と

### (一) 接续法

と接在活用词终止形后面。

○一に二をたすと,三になる。

○直行だと,一時間ぐらいで行けます。

### (二) 意义和用法

と主要构成连用修饰语,有以下各种意义。

#### 1. 表示假定顺接条件。

○大風が吹くと倒れるだろう。

○明日になると天気もよくなるう。

○彼に知らせると困る。

○早く行かないと間に合いませんよ。

○直行だと,一時間ぐらいで行けます。

#### 2. 表示确定顺接条件。

○ここまで送ってもらうと,もう一人で帰れる。

○よくみると,これは中古だ。

○考えてみると,そんなことはないはずだ。

○読んでみると,そうむずかしくもない。

#### 3. 表示恒常的条件(包括某些习惯或反复的现象)。

○春になると,青い芽が出る。

○水が澄むと,大魚はすまない。

○六を三で割ると二となる。

○長い間本を読むと,目が疲れる。

4. 表示同时或紧接着发生的两个事项或动作,前项为后项产生的契机。

(1) 表示两个不同的主体同时或紧接着进行的动作、作用。

○学校につくと、ベルが鳴った。

○家に帰ると、日がくれた。

○道を右に曲ると、駅が見えた。

○ふと横をみると、その猫はいなかった。

(2) 表示同一主体相继进行的两项动作和作用。

○火事だと聞くと、とびおきた。

○父は通信簿の成績を見ると、すぐどなりだした。

○家につくと、すぐ昼ごはんのしたくにとりかかった。

○工場長は知らせを聞くとすぐ現場へかけつけた。

5. 提示话题、根据。

○はっきり言うと、明日から来なくてもいいのだ。

○統計によると、わが国の石油の産量は毎年20%の伸びを見せている。

○結果を示すと、次の通りです。

○君の考えだと、あとで何か問題が起こりそうな気がする。

★と的惯用句型

1. ……といい。(意为“如果……就好了”“如果……就可以了。”)

○彼が来てくれるといいなあ。

2. というと、となると、とくると。(表示说起、提起、提到等意思，有的书里把它们作为复合副助词看待，类似的还有といえば、ときたら等。)

○北海道というと、もう雪だろう。

○大学院となると、なかなかすぐに合格しないよ。

○水泳とくると、全然駄目だ。

注意：

1. と、すると、そうすると、そうなると等可以作接续词用。

2. ともすると、ややもすると等可以作副词用。

【参考】 ば、と、たら、ならの用法和比较

ば和とは是接续助词，たら是“过去、完了”助动词た的假定形，なら是“断定”助动词だ的假定形，由于たら和なら后面通常不接续助词ば就可以连接后项，实际上也起到了一个接续助词的作用，所以有的语法书里把这两个词也列入接续助词。

在实际使用中，ば、と、たら、なら在意义上有很多相近的地方，有些地方可以替换使用，但会产生一些意义上的差别，有些地方又不能替换使用。下面着重从能否替换使用的角度来区别这几个词的意义和用法。因为なら的用法相对比较特殊，在谈ば、と、たら时暂不涉及なら。

(一) ば的用法。

ば在文语里就是一个使用频繁的接续助词，主要强调前项为后项的“条件”，在口语里也是同样，前项可以是假定条件，也可以是确定条件，而后项则一般是说话人的意志和主张，也就是说，说话人为了提出后项的意志或主张，从而设立了某项条件为前提。因此，后项一般不是既成事实。

1. 假定条件：あなたが行けば僕は安心だ。(たら○；と×)
2. 确定条件：ここまで送ってもらえばもう一人で帰れる。  
(と○；たら○)
3. 恒常条件：春になれば花が咲く。(と○；たら○)

此外，提示话题或根据(如いえば、よれば，参照本节ば的用法)，也应看成是“确定条件”。

下面一些例句是错用了ば的句子。

×ご飯をたくさん食べれば、体がふとりました。(因为后项是“体がふとりました”这一既成事实，所以前项不是说话人提出的条件。后项应改为“体がふとる”，意为“(要)多吃饭，才(就)会胖”。)

×中に入ってみれば、人が大勢集まっていた。(“中に入ってみる”不成为“人が大勢集まっていた”的条件，可以把句中的



“みれば”改为“みたら”或“見ると”。)

×社員たちは食事をすませば、鎌を手に麦畑に向かった。  
(と○;たら×)

×風邪をひけば、この薬を飲みなさい。(说话人设立“風邪をひけば”这样一项条件,逻辑不通,等于说“你必须耍得感冒”。前项可以改为“熱があれば”,也可以改为“風邪をひいたら”,意为“如果得了感冒”。这个句子不能用と。)

×大阪へ行けば、すぐ友達に電話をかけよう。(应该是“大阪に着いたら……”。)

## (二) と的用法

と作为一个接续助词,意义比较多,主要是在口语里发展起来的。と的基本意义是表示前项与后项的继起或并存关系,强调前项为后项的契机,因此と主要是用来表示事物之间的相互联系,前项并非是人为地主观地提出条件,后项也不是说话人的主观性的意志和主张。

1. 假定条件:ご飯をたべないと、おなかがすきますよ。(ば○;たら○)

2. 确定条件:ここまで送ってもらうと、もう一人で帰れる。  
(ば○;たら○)

3. 恒常条件:春になると、暖かくなる。(ば○;たら○)

4. 两个事项的继起或并存,前项为后项的契机:よくみると、自分のものではない。(たら○;ば×。因为“よくみる”不成为“自分のものではない”的条件。)

○汽車が駅につくと、大勢の乗客が降りた。(たら○;ば×)

○山の上に登ると、日本海が見えました。(たら○;ば×)

5. 一个主体紧接着进行的两项动作,ば、たら都没有这种用法:家につくと、すぐ昼ご飯のしたくにとりかかった。(ば×;たら×)

○新橋駅を出ると、すぐ神田をめざした。(ば×;たら×)

○私は電車にのると、まどのそばにこしかけた。(同上)

此外，提示话题或根据的と(参照本节との用法)也可以看成是表示“确定条件”的用法。

下面一些例句是错用了との句子。

×来年の夏休みになると、国へ帰ろうと思う。(后项是说话人的意志或主张,不与前项构成事物之间相互关联的关系,因为“夏休みになると”等于说“一到夏天就会怎么样”,而不是“就要怎么样”。ば×;たら○)

×東京につくと知らせてください。(ば×;たら○)

×大阪に行くと、すぐ友達に電話をかけよう。(同上)

×分らないところがあると、先生に聞いてください。(ば○;たら○)

△ご飯をたくさん食べると、体がふとりました。(用と不妥当,过分强调事物之间的相互联系,后项应是“体がふとります”,这个句子也可以把前项改为“ご飯をたくさん食べたら……”。)

### (三) たら用法

たら是“过去、完了”助动词た的假定形,无论是用于假定条件或是确定条件,都带有“实现”“完了”“产生”的意义,而且たら本来是可以后续ば的假定形,一般说来たら是象ば一样提出某项条件,后项也基本上是说话人的意志和主张,但たら是提出带有实现、完了的意义的条件,所以和ば所提出的条件很不相同,同时由于它的后项一般是讲话人的意志和主张,从而又不同于と。たら很少表示带有普遍规律的恒常条件,因为它限定事物的实现、完了,譬如说“春になれば(なると)花が咲く”,是表示一种普遍性的常规现象,而“春になったら花が咲く”,则强调条件的产生、实现,偏重于表示具体的时间和个别的场合。たら也可以用来联系两个继起或并存的事项,前项为后项的契机,和との意义相近,不过带有更大的偶然性。たら不能表示一个主体相继进行的两项动作,因为这种情况只是表示动作的推移,前项和后项是先后继起的关系。

1. 假定条件：東京に来たら、知らせてください。(ば×;と×。因为这句话要求“到了东京”这样的一个条件的产生和实现。)

○夏になったら、国へ帰ろうと思う。(同上)

○七時になったら、出発することにしよう。(同上)

○電車にのったら、たばこをやめなさい。(同上)

○気分が悪かったら帰った方がいい。(と×;ば○; 可以用ば是因为可以把“気分が悪ければ”作为一个纯粹的条件,不像前几句那样必须要有动作的实现、产生和完了。)

○分らないところがあったら、先生に聞いてください。(と×;ば○。原因同上)

2. 确定条件：ここまで来たら、もう一人で帰れる。(ば○;と○。)

○そんなに暑かったら、窓をあけなさい。(ば○;と×)

3. 恒常条件,很少表示带有普遍性的常规现象,较多地表示某种习惯或某些反复现象,像“春になったら花が咲く”这一类句样,着重强调条件的产生和实现。

○夏になったら、よく川へ泳ぎに行った。(ば△;と○)

○昔、このあたりは大雨が降ったら、水びたしになった。

(同上)

前面这两个句子,用ば显得有些勉强,正如前面所述,ば的后项一般不能是既成事实。当然,这里两个句子指的是过去的习惯性的、反复的现象,后项虽然用“た”结句,但并不意味着“结果的产生”或“既成事实”,仅仅意味着事情发生在过去而已。

4. 两个事项的继起或并存,前项为后项的契机;あさ起きたら、朝顔が咲いていた。(と○;ば×)

○中に入ってみたら、人が大勢集まっていた。(と○;ば×)

下面一些例句是错用了た的句子。

×あなたが東京に行ったら、私もいっしょに行こう。(“あなたが行ったら”即意味着“你去了”,则不可能“私もいっしょに

行く”。ば○;と×。)

×私は電車に乗ったら、まどのそばにこしかけました。(たら不表示一个主体先后紧接着进行的两个动作。)

#### (四) なら的用法。

ならは“断定”助动词だ的假定形,也是可以后续ば的,因此通常是说话人提出的条件,后项也一般是说话人的意志和主张,但なら由于它本来的意义是对事物的断定,因此なら(ば)表示一种“如果是(这样)的话”的意思,从这个意义出发,它表示的是一种纯粹的假设,也可以说是违背现实(或不管现实如何)的纯属虚构的条件。此外,なら用来接前面提起的话题的场合较多,意义仍然是“如果是(这样)的话”。

1. 假定条件:僕がやるなら,まずこっちから始めるな。(ば○;と×,たら×)

○あす雨なら会場を室内に移そう。(なら可以改为だったら、であれば。)

○ぼくが鳥なら,飛んで帰るんだが。(同上)

2. 接前面的话题:「ぼくも行きたいですね。」「行きたいなら,はやく行きなさい。」(ば○;たら○;と×)

○君がそれを買うなら,僕はこれを買おう。(と×;ば○;たら○。用ば意味着“你买我也(才)买”,用たら则有些勉强,意味着“你买了那个,我就买这个”。)

○逃げるなら,逃げてみる。(ば×;と×;たら×。)

下面的例句是错用了なら的句子。

×春になるなら花が咲く。(等于说“如果春天是会来的话,花就开”,不通。ば○;と○;たら○。)

×夜になるなら涼しくなる。(同上)

#### (五) 归纳

1. ば、たら、なら的后项都可以是说话人的意志和主张,只有と不可以。

2. ば、たら、と都可以表示恒常条件(たら有所不同),只有なら不可以。

3. たら和と可以表示两个事项继起或并存的契机,ば和なら不可以。

4. と可以表示一个主体相继紧接着进行的两项动作,ば、たら、なら都不可以。

5. なら可以表示纯粹的接前面的话题,ば、たら、と都没有这种意义。

## 八 なり(附や)

### (一) 接续法

なり接在动词、助动词的终止形后面。

○昨夜はとても疲れていたので, 家へ帰ってくるなり寝てしまった。

○田中さんは一年前に家を出たなり, 帰ってこない。

### (二) 意义和用法

なり主要构成连用修饰语,意义如下。

1. 表示紧接着(几乎同时)发生的两个事项,相当于との用法。

○彼は目をとじるなり寝入った。

○朝起きるなり, 顔もあらわないで, はたけへ出かけた。

○マラソンの選手はゴールに着くなり, ぼったりとたおれてしまった。

2. 表示一直维持某一状态,通常是“……(た)なり”的形式。

○母親の目を見つめたなり, まばたきもしなかった。

○買ったなり, まだ読んでいない。

○今朝家を出たなり, まだ帰らない。

注意:

1. “2”的用法,意味着一直维持某一状态,实际上相当于“……たまま”的意思,从而往往作为一个相当于体言性质的词组来用。例如:

○すわったなりの姿が美しかった。

○立ったなりを写真にとった。

○あの話はそれなりになりそうだ。

○あれはとうとう貸したなりとなりそうだ。

2. なり接在体言后面作接尾词用,要注意区别于接续助词なり。

○子供は子供なりの考えがある。(子供なり=子供として)

○果物を皮なり食べる。(皮なり=皮のまま)

○箱はそれなりおいていってください。(それなり=そのまま)

○親のいいなりになっている。(いいなり=いったとおり)

○梅の実を青いなり食べる。(なり=まま)

3. なり还有副助词的用法,请参照本章第四节。

#### (附) や

や本来是文语接续助词,在现代口语里主要用在文章语里,接在动词终止形后面,意为“一……就……”,相当于との“表示同时或紧接着发生的两个事项或动作”的用法(见本节“七と”的用法“4”),与なりの用法也有些相似。

○ベットに入るや,ねむってしまった。

○おこった友だちは本をつかむや,ゆかになげつけた。

(“……や否(いな)や”是や的惯用句型)。

○ベルがなるや否や,教室を出た。

○母を見るや否や,泣きだした。

注意:

副助词和终助词里都有や,要注意它们与接续助词や之间的区别。

#### 九 ては、は

##### (一) 接续法

ては接在动词和形容词以及动词活用型和形容词活用型助动词的连用形后面,接在ガ、ナ、バ、マ行五段活用动词后面时要发生音便为では。

接在形容词和形容词活用型助动词后面时,因为这些词的连用形是“……で”,所以接在后面的不是では,而是は。

- 先生が字をまちがえては困ります。
- こんなにあつくては何もできません。
- 話があまり簡単では分りにくい。

(二) 意义和用法。

1. 表示假定顺接条件, 后项多为消极或否定的表达方式, 意思相当于汉语的“如果……那就……”。

○運転手が信号をまちがえるようなことがあってはたいへんです。

- この川でおよいではいけません。
- お金がなくては何にもできない。
- 開会が七時では少し早すぎるだろう。
- 相手が佐藤では誰が立ち向かってもし勝ち味がないね。
- 社長が辞職するようでは、社員も落ちついてられまい。

2. 表示确定顺接条件, 后项仍然是多为消极或否定的表达方式, 意思相当于汉语的“既然……就……”。

○演説がこんなに長く続いては、だれも飽きてしまうだろう。

- お父さんがご病気では、いろいろと心配なことでしょう。
- 体がこんなに弱くてはとても仕事はできません。
- 周囲がこう静かでは、さびしいこともあるだろう。

3. 表示动作的反复。

- 雨が降ってはやみ、やんでは降って、実にいやな天気だ。
- 図書館へ行っては本を借りてきます。

★ては的惯用句型。

1. ……にしては……。 (意为“作为……来说”)

- 外国人にしては、なかなかうまい字を書きますね。
- 夏にしてはすこし涼しすぎませんか。

2. てはならない、てはいけない、てはこまる, 等等。 (意为“不可以……”“不许……”等。)

- そんなことをしてはいけない。
- うそを言ってはならない。
- 勝手に出入りしてはこまる。

注意:

1. ては(では)在讲话时往往说成“ちゃ(じゃ)”。

○行っちゃ(=ては)いけない。

○こんなにがぶがぶ飲んじゃ(=では)いけない。

なくては还可以读成なくっちゃ,可以约音成なきゃ,甚至にゃ,如“行かなくては”可以说成“行かなくっちゃ”,“行かなきゃ”,“行かにゃ”。

2. ては本来是接续助词て和副助词は的复合,所以有的书里仍把这里的是作为副助词看,但考虑到ても一般都作为接续助词看,而且ても的构成是和ては一样的,所以还是把ては作为与ても对称的词列入接续助词比较妥当。

## 十 ても、も(附とも、と、ども)

### (二) 接续法

ても接在动词和形容词以及动词活用型和形容词活用型助动词的连用形后面,但接在ガ、ナ、バ、マ行五段活用动词后面时要发生音便为でも。接在形容动词和形容动词活用型助动词后面时,因为这些词的连用形是で,所以接在后面的也是も,而不是でも。

○あしたの旅行はあめが降っても決行します。

○病院へ行ったら,少しぐらい痛くても泣いたりしてはだめだ。

○表向きはあんなに賛でも内情は火の車だそうだ。

### (二) 意义和用法

1. 表示假定逆接条件,相当于汉语的“即使……也……”、“无论……也……”的意思。

○話して聞かせても,わかるまい。

○父が承知しても,私は協力しないつもりだ。

○それがだめなら,死んでも死にきれない気持だ。

○どんなに丈夫でもそんなに長くは使えないだろう。



2. 表示确定逆接条件，相当于汉语的“虽然……可是……”、“尽管……可是……”的意思。

○いくらすすめられても聞き入れなかった。

○なんべん呼んでもも返事がなかった。

○どんなに努力してもも彼には勝てなかった。

○見たところ丈夫なようでもも本当はあまり丈夫ではありません。

3. 表示恒常条件。

○馬は暗くてもも平気で歩ける。

○夏は七時打つてももまだ明るい。

○いつ試験をされても，ふだんから勉強していればこまることはありません。

★ても的惯用句型

1. ……てもいい； ……てもかまいません。(意为“可以…”、“即使……也没关系”。)

○行かなくてもいい。(=行かなくてもかまいません。)

2. ……ても…ても…。(意为“无论怎么……”)

○働いても働いても生活は楽になりません。

注意：

形容词或形容词活用型助动词后续ても时，可以在中间添一促音っ，通常是讲话时使用。

○もう行かなくってもいい。

○どんなに悲しくっても泣いてばかりいてはならない。

(附) とも、と、ども

とも、と、ども都是文语接续助词，用于逆态接续，现代口语里主要是用在文章语方面。

(一) とも、と

主要接在形容词连用形和助动词う、よう、まい、ず(文语)、たり(文语)、なり(文语)等的终止形后面，也有接在动词终止形后面

的时候，意义相当于ても。接在形容词连用形后面时也可以单用も，而不用とも。

○いかにこまるとも，がまんすべきだ。

○どんなに苦しくとも途中でやめるな。

○どんなことがあろうと(とも)必ずやりとげる決心だ。

○そんなことは言わずとも知れたことだ。

○そんな無理をせずともいいのに。

○一日たりとも忘れてはならない。

○おそくとも今月末までにはなんとかしたい。

○多少とも経験のある人がよい。

★とも、との慣用句型

1. ……う(よう)と， ……う(よう)と……。(意为“无论是…  
…还是……”、“……也好，……也好，都……”。)

○雨が降ろうと(とも)，風が吹こうと(とも)，毎日出かけて  
行きました。

○だれであろうと(とも)，どんな場合であろうと(とも)，わ  
れわれの正当な権利を犯すことを許さない。

2. ……う(よう)と， ……まいと……。(意为“……也好，不  
……也好，都……”。)

○あなたが行こうと(とも)，行くまいと(とも)，私には関係  
はありません。

○人が見ていようと(とも)，見てまいと(とも)，不正なこ  
とはすべきではない。

注意：

1. 这里的と不同于顺态接续的と。

2. とも接在形容词连用形后面时有时还可以省去と，只用も，意思不  
变，如：

○今夜の雪は少なくも十センチは積るだろう。

○行きたくも行けない。

3. とも还有终助词的用法，如：

○ああ、いいとも。

(二) ども

ども用在口语里的場合不多，接续法仍按文语的接续规律，接在动词已然形后面，表示确定逆接条件，意为“虽说（虽然）……可是……”，一般用といえども，可以作为一个惯用句型看。

○関係者といえども，みだりに出入することを禁止する。

○子供といえどもばかりにはできない。

○行けども行けども緑の野がつづく。

十一 たって、って

(一) 接续法

たって、っての接续法和でも、も基本相同（请参照ても部分）接在ガ、ナ、バ、マ行五段活用动词后面时要发生音便为だって。

○そんなに急いだってもう間に合わない。

○すこしぐらい痛くたってがまんしなさい。

○体がいくら丈夫だって，きたえなければ病気になるいとも限らない。

(二) 意义和用法

たって、って的意义也和ても、て基本上相同，但一般用在说话の場合。

1. 表示假定逆接条件，相当于汉语的“即使……也……”、“纵然……也……”的意思。

○おこられたたって私はやめないわよ。

○そんなに古くなった薬はいくら飲んだってきかないでしょう。

○いくら神さまだたってこれだけにはできないでしょう。

2. 表示确定逆接条件，相当于汉语的“尽管……可是……”的意思。

○泣いておどかしたたってだめです。

○呼んだって返事もしない，なにをおこっているのかしら。

〇いいところに隠したんだから、さがしたたって分りっこないさ。

### 3. 表示恒常条件。

〇馬は暗くたって平気で歩ける。

注意:

1. たって可以接在活用词终止形后面,常用“たって”的形式,相当于“と言っても”、“としても”的意思。

〇逃げようったって,もう逃がさないから。

〇いまから帰るったって,電車もない。

〇体が悪いったって,立って歩けないわけじゃあるまいし,ずうずうしいやつだなあ。

〇いくら静かだっただって,ガスも水道もないような不便な所ではこまるよ。

〇子どもだっただってこのくらいのことはできるよ。

2. 体言后续だって(如“子供だって”)通常作副助词看,请参照第四节副助词部分。

## 十二 こととて、とて

### (一)こととて

こととて接在活用词连体形后面,也可以接在体言加的后面。

こととて主要用在文章里,用法如下:

1. 表示理由、根据等确定顺接条件,相当于“……だから”的意思。

〇馴れぬこととて失敗してしまいました。

〇知らぬこととて,失礼いたしました。

〇子供のこととて,できなくともしかたがありません。

2. 表示确定逆接条件,相当于“……といっても”的意思。

〇こどもたちができごころでやっただこととて,すこし悪ふざけも度がすぎますね。

〇いかに,いたずらざかりのこととて,その無軌道ぶりが並

はずれたんだよ。

(二)とて

とて接在活用词终止形后面,多用于文章里,相当于讲话时用  
たつて的意味,即表示としても、といつても的意思。

1. 表示假定逆接条件,即“即使……也……”等意思。

○いくらたくさん本を読んだとてそれだけで人生の役に立  
つだろうか。

○今からどんなに急いだとて,列車の発車時間にはもう間  
に合わない。

2. 表示确定逆接条件,即“虽然……可是……”等意思。

○理論的には説明できたとてじっさいにそれをやってみせ  
なければ,ほんとうに正しいかどうか分らない。

○いまさら悲んだとて仕方がない。

★とて的惯用句型。

1. ……からとて……。 (=からと言って……)

○一年ぐらい外国で生活したからとて,その国のことがわ  
かるものではない。

○さむいからとて,家の中にばかりいるのはからだによく  
ない。

からとて有时发音为からって,如:

○いくら子どもがほしがるからって,なんでも買ってやる  
のは教育的じゃない。

2. こととて也应看成是とて的一种惯用句型,但意义有所不  
同,所以另作为一个单词列出。

### 十三 から

(一)接续法

から接在活用词终止形后面。

○暑いからまどをあけてください。

○雨がふりそうだから,かさを持って行きましょう。

## (二) 意义和用法

から主要构成连用修饰语,用于确定顺接条件,表示原因和理由的意义,后项往往接主观性强的表现方式,如表示说话人的意志、主张、推测、请求、命令、质问等意义的后项。

○お客さんが来るからへやの掃除をしておこう。

○試験が近づいたから, あそんではいられない。

○星が出ているから, あすもいい天気だろう。

○その本が読みたいから, 貸してくれませんか。

○あぶないから気をつけなさい。

○あまりたくさんあるから, どれがいいか分からない。

★からの慣用句型。

1. ……からは……。(意为“既然……就……”。)

○日本へ来たからは日本の習慣にしたがいます。

2. ……からには……(=同上)

○あの人があんなに強く反対するからには, 何か理由があるのだと思います。

3. ……からと……。 (=からと言って; からと思って)

○一人であぶないからと, 金さんがいっしょに来てくださいました。

○あなたがやってくれるからと, 安心しているのです。

4. ……からと言って……; ……からとて……; ……からって……。 (意为“虽说……也……”。)

○安いからといって, 品物が悪くてはこまる。

○人に悪口を言われたからとて, そんなに気にしなくてもいい。

○冷蔵庫に入れてあるからって安心してはいけません。

5. ……ものだから……。 (意为“正是因为……, 所以……”。)

○私が失礼なことを言ったものだから, あの人は帰ってしまったのです。

6. ……さえ……だから……。 (意为“连……都……，所以……”。)

○大人でさえおもしろがるのだから，子供がやりたがるのはあたりまえだ。

7. ……くらいだから……。 (=同上)

○あの人は自分で小説を書くくらいだから，もちろん文章のよしあしは十分に分っている。

注意：

1. からの倒置，即原因部分放在句尾，一般用“……から。”或“……からだ”结句。

○おねえさん，ここにいらっしやい，いい方法があるから。

○あの人が欠席したのは病気だからではなく，用事があったからだと思います。

○いたずらなあの人が今日はすごく大人しい。なぜかというと，今朝お父さんに叱られたからです。

2. から转化为终助词，用于句末，表示决心、断定。

○そんなことをしたら承知しないから。

3. だから，ですから可以作为接续词使用。

#### 十四 ので

##### (一) 接续法

ので接在活用词的连体形后面。

○雨がふっているので，旅行するのをやめました。

○病気だと聞いていましたが，思ったより元気なので安心しました。

○試験が近づいたので，みんないっしょけんめい勉強しています。

##### (二) 意义和用法

ので和から一样，主要构成连用修饰语，用于确定顺接条件，但一般表示产生某一客观情形的原因，也可以表示委婉的理由。

○風が強いので，ほそりがひどい。

○余りなまけたので，失敗した。

○強い雨なので外出は見合わせた。

○月があるので，雲の流れる速さがよくわかる。

○ちっとも存じませんので，失礼いたしました。

○時間がおそくなりましたので伺いませんでした。

○定刻に開会いたしたいと存じますので，六時までに起こして下さい。

注意：

ので在说话时有时讲成んで，或者略成で。

○金がないというんで(=ので)，すこし貸してやった。

○うっかりしていたで(=ので)，後れてしまった。

## 【参考】 因果关系的表达方式

### (一) 因果关系的表达方式的归纳

日语里因果关系的表达方式很多，为了方便检阅，可以把它们大致分为四类：1. から类 2. ので、で、て类；3. に类；4. 其他。下面介绍各类表达方式中的主要句型。

因为大部分因果关系的表达方式都在前面及后面各章节中有介绍，所以下面有些地方仅列出句型，不一定都列举例句。

#### 1. から类

(1) 活用词终止形+から……。 (见本节“十三”)

(2) 活用词连体形+ものだから……。 (见本节“十九”)

(3) 连体文节+ことだから……。 (后项多为消极的结果。)

○子供のことだから，あまりあてにしないほうがいい。

○はじめのことだから，失敗することもある。

(4) 活用词终止形+からこそ……。 のだ。

○あなたがいたからこそ，この仕事もうまく行ったのです。

(5) 活用词假定形+ばからこそ……。 のだ。

○君のためを思えばこそ，みんなが意見をだしてくれたの

だ



(6) 活用词终止形+からと(或からといって、からとて、からって)……。 (见本节“十三”)

(7) 活用词终止形+からは(或からには)……。 (见本节“十三”)

(8) 体言+さえ……だから……。 (见本节“十三”)

(9) 构成接续词的から,如:だ(です、でございます)から、である(であります)から、それだから等等。

(10) 倒置的から(或からだ), 常换成“ためだ”、“のだ”等(见本节“十三”)。下面是这种倒装句的一部分惯用句型。

なぜなら	} というと	} ……からだ。			
なぜか			} といえは	} (……ためだ)	
どうしてか					} (……のだ)
なんとなれば					
というのは					
それは					
活用词连体形+のは					

○出かけるのはやめた方がいい。なぜなら, 明日雨が降るそうだから。

○いたずらなあの子が今日はすごく大人しい。なぜかといううと, 今朝お父さんに叱られたからです。

○「君はどうしてこんなに水ばかり飲むんかね。」「どうしてかというと, 暑くてすごく汗をかいたんだ。」

○あの人はあまり信用できません。というのは, 前に一度私はだまされたことがあるのです。(からです)

○あくびが出るのは寝不足のため(睡眠がたりないから)です。

(11) 体言+(格助词)から……。 (见本章第二节“八”)

○私の不注意からみなさんにご迷惑をおかけしました。

2. ので、で、て类

(1) 活用词连体形+ので……。 (见本节“十四”)

(2) 名词+で(格助词)……。 (见本章第二节“十”)

○地震で家が倒れた。

(3) 活用词连体形+もので(もんで)……。 (见本节“十九”)

○あんまりバスが込んでいたもんで(もので)、乗れなかった。

(4) ……だもの……。 (见本节“十八”)

○ちっともじっとしていないだもの、うまく撮影できないわ。

(5) 连体文节+おかげで……。 (或“……のは……连体文节+おかげだ)。)

○先生のおかげで、大学に入ることができました。

○朝ねぼうしたおかげで、バスに乗り遅れてしまった。

○私たちが幸福にくらせるのも、みんなあのかたのおかげ  
です。

(6) 连体文节+せいで……。 (或“……のは……连体文节+せ  
いだ。)

○天気のせいで気分が悪い。

○頭がふらふらするのは熱のせいだ。

(7) 体言+がもとで……。

○風邪がもとで、結核が再発した。

(8) 连体文节+ぐらいで……。

○一度失敗したぐらいで、そう悲観するなよ。

(9) 动词、形容词、助动词的连用形+て(で)……。 (见本节  
“二”)

○風邪をひいてて学校をやすんだ。

○天気が悪くて風邪をひいた。

○父に死なれてて、大学へ進学することができなくなった。

(10) ……なくて……。 (此处的“なく”可以是形容词的ない、

也可以是助动词的ない。) (请参照本节“二”和第六章第六节)

○仕事が多くなくてのんびりしている。

○最近雨が降らなくて困っている。

注意:

“动词未然形+ないで”一般不用于表示因果关系,但并不是绝对不可能。请参考本节“二”和第六章第六节。

○藤原はまじめに働かないで、叱られてばかりいる

(11) 连体文节+こととて……。 (见本节“十二”)

(12) したがって……。 (或“したがいまして……”)

○これはたいへんよい品物です。したがってねだんも高いです。

(13) ついては……。 (つきましては……)。

○張先生が近く定年退職されることになりました。つきましては下記の通り送別会を開きたいと思います。

(14) 格助词で构成的接续词,如:それで、そこで、そういうわけで、ところで,等等。

(15) 接续助词で构成的接续词,如:こうして、このようにして、かくして、かくて,等等。

(16) 形容动词和形容动词活用型助动词的连用形“……で”。

○問題が複雑で, 解決に手間どった。

○今日は日曜日で, 人出が多い。

3. に类

(1) 体言+に(格助词)……。 (见本章第二节“五”)

○家屋が強い風に倒壊した。

(2) 连体文节+ために(或ため)……。 (请参照第三章第五节)

○風がつよいために, 船が出られません。

○台風のため休航いたします。

(3) 活用词连体形+のに……。

○値段が高いのにびっくりした。

注意:

这里的のに不是表示逆接条件的のに。

(4) 连体文节+(が)ゆえ(に)……。

○文章が難解なゆえに読者層は薄い。

○真理であるがゆえに反駁をおそれないのだ。

(5) 体言+によって……。

○たばこの火の不始末によって、火事が起こった。

(6) 连体文节+だけに……。(或それだけに……)(见本章

#### 第四节“十一”)

○機械の精密度が高いだけに、製造技術も複雑である。

(7) 连体文节+ばかりに……。(见本章第四节“十”)

○ちょっと油断したばかりに、とんだ目にあったよ。

#### 4. 其他

(1) 活用词连体形+のだ。

○十二歳の時、私は母のもとを離れた。学校にあがったのである。

(2) 活用词连体形+わけだ。(请参照第三章第五节)

○誰も知らせてあげなかったから、来ないわけだ。

(3) 活用词连体形+ゆえんは……にある。

○私がこの案を出したゆえんはここにある。

(4) 活用词终止形+し(接续助词)……。(见本节“三”)

○問題がむずかしいし、それに人手も足りないし、なかなか仕事はかどらない。

(5) 动词连用形+た結果……。

○みんなで相談した結果、李君が行くことになりました。

(6) 动词连用形+たあげく(举句)……。

○長い間苦勞したあげく、とうとう死んでしまいました。

(二) 因果关系的后项表达方式。

在因果关系的表达方式里，除了把原因部分倒装在句尾的场合（一般称倒装句），一般都是前因后果的结构。“前因”即通常讲的原因和理由，“后果”即结果。但这只是笼统的讲法，譬如关于“地震で家が倒れた”这样一个话题，我们不说“为什么理由房屋倒了”，而应该是“什么原因房屋倒了”，又如“うるさいから、やめなさい”，这里的“やめなさい”也不能作为“结果”来看，但“うるさいから”则完全可以作为“理由”来看。因此，严格地说来，如果后项是既成事实，即“结果”的场合，那么前项应该是“原因”，而如果后项是讲话人的意志、主张等的时候，前项则应作为说话人的“理由”来看。区别这一点，便于了解哪一些因果关系的后项必须是既成事实，哪一些不一定是既成事实。

1. 格助词から、に、で和接续助词て等的后项。

关于格助词から、に、で表示原因的用法请参照本章第二节的有关部分，て的用法请参照本节“二”。这几个词所表示的因果关系，都是客观地叙述的既成事实，从说话人的表达意图来说，只是在一句话里说明了事物本身的因果关系。因此，作为から、に、で和て的后项，不可能是讲话人的意志和主张等表达方式。此外，以它们构成的各种因果关系的表达方式都同样是既成事实的叙述，比如用に构成的ために、ばかりに、ゆえに、用で构成的もので、せいで、おかげで、用で构成的こととて、なくて，等等。可以说除了接续助词から（以及用接续助词から构成的其他表达方式）和ので以外，我们前面归纳的各种因果关系的表达方式一般都是既成事实的叙述。换句话说，只有接续助词から和ので可以表示“原因”和“理由”，其他的都只能表示“原因”。

下面以から、に、で、て为例，试把它们的后项改成意志等表达方式，会发现要么是句子不通，要么是完全改变了句子的原意。

(1) (格助词)から(表示某一结果的起因)

○ちょっとしたことから，夫婦げんかをしてしまった。

×ちょっとしたことから，夫婦げんかをしてしまおう。

(2) に(表示对于某一事物所产生反映)

○地震にびっくりした。

×地震にびっくりしよう。

○木の葉が風にそよいでいる。

×木の葉，風にそよぎなさい。

○酒によっぱらいました。

×酒によっぱらいましよう。

(3) で(客观叙述事物之间的因果关系)

○病気で学校を休んだ。

×病気で学校を休もう。

○仮病で学校を休もう。(で表示手段)

○この作品で有名になった。

△この作品で有品になろう。(で作为手段看，但“有名になろう”仍显得很勉强。)

(4) て(客观地叙述事物之间的因果关系)

○風邪をひいて学校を休んだ。

△風邪をひいて学校を休もう。(て作为手段看，但这种手段在通常情况下是不现实的。)

○天気が悪くて，予定どおりに出発できなかった。

×天気が悪くて，旅行をやめよう。

○仕事が多くなってのんびりやれる。

×仕事が多くなってのんびりやりましょう。

2. 接续助词から和の的的后项。

接续助词から和のので，从讲话人的表达意图来说，是先提出某项原因或理由，再叙述其结果或结论，但ので本来是由格助词的加上格助词で(也有人认为是助动词だ的连用形で，这并不矛盾，从词源上来说，格助词で也产生于助动词だ，不过作格助词使用以后具备了某些だ所无法表示的意义和语法作用)所构成的，所以ので更多地表示对客观事物的叙述，后项很少是讲话人的意志和主张。

一般认为，用から是为了提出讲话人主观上认定并加以强调的原因和理由，因此，前项和后项并不一定是既成事实，比如说前项可以是讲话人推测、假设的某种原因或理由，这种场合纯属讲话人的主观想象，不可能用表示客观叙述的语气的ので来替换。例如：

○彼はおそらく来ないだろうから，もう会議をはじめよう。  
(ので×)

更重要的是，から提出了讲话人认定的某项原因和理由，从而它的后项既可以是既成事实，也可以是讲话人的意志和主张。如果后项是既成事实，那么可以说から表示了“事物之间的因果关系”；如果后项是讲话人的意志或主张，则只能说から表示了讲话人提出的理由，而后项是讲话人的主观意图，除了接续助词ので之外，其他各种因果关系的表达方式都没有这种用法。但ので也不是处处可以替换から，勉强替换往往会引起语气上的矛盾。例如：

○あついから，窓をあけよう。(后项是意志。ので×)

○もうまにあわないから帰しましょう。(后项是意志或劝诱。ので×)

○空が暗くなってきたから，雨が降るかも知れない。(后项是推测。ので×)

○きこえないから，大きな声で言え。(后项是语气强烈的命令。ので×)

○危ないから，そっちに行ってはいけませんよ。(后项是禁止性的语气。ので×)

ので由于で的缘故，表示客观地叙述的语气较多，因而它的前后项一般是既成事实，或自然界的常理性的客观事实。

○風が強いので，ぼこりがひどい。

○山に近いので，昼間はひどく暑い。

○火星は地球より小さいので，引力が弱い。

○試験が近づいたので，みんないっしょけんめい勉強して

います。

○仕事が終わったので、今あと片づけをしています。

○あまり隣の部屋がうるさいので、よくねむれませんでした。

以上这些句子里的ので都可以用から替换，但客观性的语气比较少一些，主观性的语气比较多一些。

由于ので的语气比较客观，而から的主观性强强调往往显得比较生硬，妇女们讲话时为了避免过分强调自己的主张，用ので的时候比较多。另外，在请求、拜托别人做某件事情的时候，或婉转地提出自己的看法的时候，虽然这些后项不是既成事实，但用ので显得更为客气。例如：

○外出をしたいと思いますので、留守をよろしく願います。

○十六日は公休日なので一日休ませていただきます。

○以上のような事情がありますので、この案には賛成しかねます。

## 十五 が

### (一) 接续法

が接在活用词终止形后面。

○急いだが間に合わなかった。

○すみませんが、ちょっとおいてください。

### (二) 意义和用法

1. 表示确定逆接条件，相当于汉语的“虽然……可是……”的意思。

○春は来たがまだ寒い。

○仕事はむずかしいが、終りまで続ける。

○ハイキングに行こうと思つたが、天気が悪いのでやめた。

2. 连接相对比的两个事项，意为“虽然……但是……”、“……而……”等等。



○勉強も結構だが、健康を忘れてはだめだ。

○日本では自動車は道の左がわを走るが、わたしの国では右がわを走ることになっている。

○口も達者だが、することも達者だ。

3. 単純の接続, 有时无非是为了连着讲后面的一句话, 有时是为了起一个话头。

○夜中に目がさめたが, もう雨がやんでいた。

○私も時折行くが, 本当に景色がよい所だ。

○すみませんが, これを貸していただけますか。

○わたしが山田ですが, 何か御用ですか。

★が的慣用句型。

1. ……う(よう)が……う(よう)が……。 (意为“(无论)……也好, ……也好……”。)

○バスで行こうが, 自転車で行こうが皆さんの自由にしてください。

2. ……う(よう)が……まいが……。 (意为“(无论)……也好, 不……也好……”。)

○人が見ていようがいまいが正しくないことをしてはならない。

注意:

1. が可以转化为接续词, 接续词だが, ですが是由助动词与接续助词が复合构成的, 请参照第五章第三节。

2. が有时无用于句末, 表示含蓄、委婉的语气, 相当于终助词的用法。

○いかがでしょう, これがよろしいと思いますが。

○私はそんなつもりではなかったのですが。

○あの人が来てくれたらよかったのだが。

○大学へ入学できればいいがな。

## 十六 けれども

### (一) 接续法

けれども接在活用词终止形后面。

○ほしいけれども、お金がないから買えません。

○あれもおもしろいけれども、この方がもっとおもしろいですよ。

## (二) 意义和用法

けれども的意義和が基本相同，けれども有时略成けれど，けど，也有略成けども的时候，比けれども的語氣略輕一些，隨便一些。

1. 表示確定逆接條件，相當於漢語的“雖然……可是……”。

○熱はさがつたけれども，まだ頭が痛い。

○今日は日曜日けれども学校へ行かなければならない。

○いっしょけんめい勉強したんだけど，試験はよくできなかった。

2. 連接對比的兩個事項，意為“雖然……但是……”、“……，而……”等等。

○これは大きいけれども，それは小さい。

○彼は英語も達者けれども，ドイツ語も上手だ。

○子供にはむずかしいけれども，大人ならすぐできるはずだ。

3. 單純的接續，有時僅僅是為了連着講下面一句話，有時是為了提起一個話頭。

○首相は昨夜羽田につきましたけれども，空港で次のようにあいさつを述べた。

○あまりおいしくないかも知れないけれども，どうぞめしあがってください。

○あの人は頭がいいかも知れないけれども，よく勉強するから，成績がいいんだよ。

○私は田中ですけれども，山田さんはいらっしゃいますか。

注意：

1. けれども也有轉用於接續詞的用法。

2. けれども、也可以用于句末表示含蓄、委婉的语气，相当于终助词的用法。

○あのとき、あなたがひとこと「ごめんなさい。」と言ったら、あの人もあんなにおこらなかつただろうけど。

○あしたは休ませていただきたいのですけど。

## 十七 のに(附に)

### (一) 接续法

のに接在活用词连体形后面，有时候可以接在形容动词和形容动词活用型助动词的终止形后面。

○あの人は日本語がじょうずなのに，あまり日本語で話そうとしません。

○田中さんはからだは小さいのに，なかなか力があります。

○こんなに静かだのに(=なのに) どうしてねむれないんですか。

○もう四月だのに，まだオーバーが脱げない。

### (二) 意义和用法

のに表示确定逆接条件，连接两项相逆的事项，常含有反常、意外、责怪、不满、失望等语气，相当于汉语的“可是”、“却”、“偏偏”等意思。

○山田さんはビールは飲めるのに，日本酒は飲めない。

○九月のおわりだというのに，真夏のような暑さだ。

○熱心にたのんでいるのに聞き入れてくれない。

○呼んでいるのに返事もしない。

○早く来るはずなのに，まだこない。

○今日は結婚式なのに，朝から雨だ。

○ふだんはあんなに丈夫だのに，どうしてこんな病気にかかったのだろう。

○この品は安くて上等なのに，案外買う人がすくない。

○まだ早いのに，もうでかけるのか。

★のに的慣用句型。

……というに……。 (加强逆接的语气。)

○もう九州では花見だというに、東北地方ではまだ雪が降っている。

注意:

にに经常用于句末表示不满、后悔、责怪等语气,相当于终助词的用法。

○もうすこし早く起きれば、汽車に間に合ったのに。

○ああ、いつも今日ぐらいじょうずに歌えればいいのに。

○もっと精をだして勉強したらよかったのに。

○いいかげんによせばいいのに。

(附) に

に是文语接续助词,接在活用词连体形后面。に的用法如下:

1. 表示确定逆接条件,相当于に的意义的。

○早く来ればよいに, まだ来ない。

○よせというに, なぜやめないのか。

○雨が降ったらこまろうに, あの子はかさを持たずに出かけたよ。

○あの人はこともあろうに, 人の家に火をつけたのですよ。

○あの人は人もあろうに, あんなばかな女と結婚したよ。

○折もあろうに, こんなときにやってきた。

○冬でもあるまいに, 厚い靴下なんかはいて。

2. 单纯的接续,常用“思うに”、“要するに”等提起话头。

○思うに, 国家の発展は国民経済の安定にあると言えますよ。

○わたしの言いたいことは、要するに, みんなもっとよく勉強しなければならないということなのです。

○一言で言うに, そういうことは当分の間は望めそうもない。

注意:

にに也常用于句末表示不满、后悔、责怪等语气,常用う(よう)に、まいに

等形式，相当终助词的用法。

○天氣がよかったら，もっと楽しい旅行だったでしょうに。

○ふだん勉強しておけば，試験の前になってあわてなくてもよかつたろうに。

○自分のものなら，そんなに浪費しまいに。

#### 十八 くせに

くせ来自名词，但常与格助词に复合构成一个相当于接续助词的词。

くせに接在活用词连体形以及体言加的后面，表示确定逆接条件，一般都带有对别人责怪、责难、不满的语气，比のに语气更强。

○あなたは知っているくせに，私に教えてくれないのですね。

○大学を出たくせに，こんなやさしいことも分らないのか。

○あの人は体が大きいくせに，力がない。

○あの人はお金がないくせに高いものばかり買ったがります。

○学生のくせに学校へも行かないで，あそんでばかりいる。

#### 十九 もの、もので、ものだ(です)から

もの来自名词，もの、もので、ものだ(です)から都可以在句中起到相当于接续助词的作用。

もの一般接在だ、です的终止形后面，もので、ものだから、ものですから接在活用词连体形后面，也有接在だ、です的终止形后面的时候。

(一)もの

もの表示确定顺接条件，多用于口语，强调原因，后项一般是既成事实。

○子供だもの，仕方がないさ。

○あんなにきれいだもの，皆に好かれるわ。

○勉強しなかったんだもの、合格するはずはない。

○長い将来ですもの、きっと後悔すると思いますわ。

注意:

もの用于句末相当于终助词的用法,请参照本章第五节。

(二) もので

もの表示确定顺接条件,多用于解释,说明(甚至辩白)产生某项结果的原因,有比ので语气强烈的感觉,后项是既成事实,もので有时也讲成もんで。

○昨夜おそくまで起きていたもので、あさねぼうしてしまいました。

○あまり天気がいいもので、どこかへ出かけたくなった。

○ついいそがしかったもんで、お電話するのを忘れてしまいました。

○道がこんでいたもので、遅れてしまいました。

(三) ものだから、ものですから

ものだ(です)から和ものでの意义相同,但是比もので更强调主观认定的原因。ものだから在口头讲话时也可以讲成もんだから。

○雨がひどいものだから、どうしても出られない。

○つい疲れてうたたねをしていたものですから、かぜをひいてしまいました。

○あのかたは旅行家だものだから、いろいろめずらしいお話をなさいます。

二十 ものなら

ものなら一般接在推量助动词う、よウ的后面以及表示可能的动词、助动词等的连体形后面,讲话时ものなら常讲成もんなら。

(一) 接在推量助动词う、よう后面,表示假定顺接条件,通常是假设一个未确定的事项,而后项一般是消极的或否定的,意义相当于汉语的“假如……就(不得了啦)”、“万一……就……”等等。

○そんなことをしようものなら，たいへんだ。

○失敗しようものなら，大目玉を食う。

○手術がもうすこし遅れようものなら，命を落としていたろう。

○うそをつこうものなら，二度と口をきかないぞ。

(二)接在表示可能的动词、助动词后面，表示假定顺接条件，通常是假设一个不大可能实现的事项，相当于汉语的“如果能……的话，那就……吧”的意思。

○ひとりで行けるものなら，行ってみなさい。

○できるものなら，やってみなさい。

○これぐらいの練習で彼に勝てるものなら，勝ってほしいね。

○そんなにたくさん食べられるものなら，食べてごらん。

○そんなことでいいものなら，だれも心配はしないよ。

## 二十一 ものの

### (一) 接续法

ものの接在活用词的连体形后面。

### (二) 意义和用法

ものの只表示确定逆接条件，ものの所表示的转接意义是，承认前项是事实，即“それはほんとうだ”，但后项却是与前项不相符的事实，意为“虽说……可是……。”

○そうはいうものの，なかなかそう簡単にはいきませんよ。

○答えを教えてあげると約束はしたものの，実はぼくにもよく分らないでこまっている。

○苦しいことは苦しいものの，また楽しいこともある。

○そうはおっしゃいますものの，わざわざここへいらっしゃることはごさいますまい。

★ものの的惯用句型。

1. ……からいいようなものの……。 (意为“因为……还可

以,可是……”。)

○私の前だからいいようなものの,人の前で言ったらなぐられるぞ。

2. ……とはいうものの……。(意为“虽说……可是……”。)

○からだがよわい,よわいとはいうものの,まだ病気で学校を休んだことはない。

## 二十二 ものを

(一) 接续法

ものを接在活用词连体形后面。

(二) 意义和用法

ものを只表示确定逆接条件,与のに的用法相似,含有遗憾、不平、不满等语气。

○そんなにじょうずに歌えるものを,なぜ歌わなかったのですか。

○子供達があんなに見たがっているものを,見せてやらないなんてかわいそうだ。

○ちょっと気をつければいいものを,不注意だからけがをするのですよ。

○言いたいことがあれば,言えばよさそうなものを,どうして言わないだろう。

○汽車がおくれなければ,母の死に目に間に合ったものを,残念なことをした。

## 二十三 ところが(ところ)

ところ来自名词,ところが或ところ可以在句中起到相当于接续助词的作用。

ところが(ところ)一般接在助动词た的后面,即以“……たところが……”的形式出现。

ところが(ところ)的意义和用法如下。

(一) 表示确定顺接条件,连接两个并存的<sub>1</sub>事项,前项为后项的



契机,相当于たらの部分用法(请参照本节“【参考】ば、と、たら、ならの用法和比较”)。

○あしたは晴れるだろうと思って寝たが、翌朝起きてみたところ、やっぱり晴れていた。

○そのくすりを飲んだところが、どんどんよくなって病気は一週間ですっかりなおりました。

○組長に相談したところ(が)、彼は大賛成した。

○面会人があるというから会ったところが、それは田中の息子でした。

(二)表示确定逆接条件,后项往往是与自己的意愿相反的事情,相当于汉语的“可是”、“却”的意思。

○叱られると思ったところが、かえってほめられた。

○店をひらいたところ(が)、客がさっぱり来ませんでした。

○仲直りしてみたところが、一べん深まった溝はなかなか埋まらないものだ。

## 二十四 ところで

### (一) 接续法

ところでの接续法与ところが相同,即一般接在助动词た的后面。

### (二) 意义和用法

1. 表示假定逆接条件,与ても的用法相同,意为“即使……也……”、“纵然……也……”等,后项一般是消极或否定的语气。

○これ以上議論したところで、ますます混乱するばかりだ。

○どんなにたくさん本を買ったところで、読まなければなんにもならない。

○話してみたところで、分るまい。

2. 表示确定逆接条件,和ても的用法相同,后项也是消极或否定的语气。

○一生懸命教えたところで、ちっとも勉強してくれない。

○君がかげでそんなことを言ったところで、何にもなりはしない。

○人の前でいばったところで、あなたのねうちが下がるだけです。

## 二十五 どころか

どころかのどころ也是来自名词ところ。どころ还有一些特殊的用法，见后面的讲解。

### (一) 接续法

どころか接在体言、副词以及活用词的连体形后面，还接在形容动词的词干后面。

○おまえなんかには、千円どころか、百円だって貸せないぜ。

○しばらくどころか、一カ月も待たされた。

○あの状態じゃ子供を育てるどころか、お嫁にも行けないわ。

○静かどころか、大変騒しいところだ。

### (二) 意义和用法。

1. 列出份量较轻的前项并后续程度上更进一步的事项，意为“不仅(岂止)……而且……”。

○田中さんは英語どころか、フランス語もドイツ語も知っています。

○百円どころか千円もかかった。

○彼はヨーロッパどころか、アフリカへまで行ったことがある。

2. 举出两个完全相反的事项，否定前项，并强调后项的事实，意为“根本不是……而是……”。

○私は独身どころか、もう子供が三人もあります。

○寒いどころか、汗が出るぐらいだ。

○楽しいどころか、苦しいわけでした。

○山田さんは貯金どころか、その日その日の生活も困るくらいだ。

○今日は雨が降るどころか、雲一つないいい天気だった。

3. 以“……どころか……ない”的形式，强烈地否定前项，因为后项是程度上更进一步的被否定的事实，意为“别说……连……也(不)……”。

○あの方は漢字どころか、平仮名も書けない。

○田中さんは部屋を掃除するどころか、顔も洗わないくらいのなまけものだ。

○君には千円どころか、百円だって貸せないぜ。

注意：

“体言或活用词连体形+どころ(の話、の騒ぎ)ではない”，可以表示一种强烈的否定，“意为根本谈不上……”、“岂但……”、“岂止……”，即意味着实际情况要坏得多，糟糕得多。

○落ち着いて勉強するどころ(の話)ではない。(根本谈不上……)

○忙しくて映画どころの騒ぎではない。(同上)

○困るどころの騒ぎではない。(岂但……；岂止……)

○痛いどころの騒ぎではない。(同上)

### 練習問題三十

一、次の中国語を日本語に訳しなさい。

1. 雨也停了，天也快黑了，我们该回家了。
2. 又是唱，又是跳，高兴得不得了的样子。
3. 又高又陡，我爬不上去。
4. 又要吃批评，又要做工作，处境困难。
5. 又好又便宜，为什么不买。
6. 这段时间一会儿冷，一会儿热，气候变化不定。
7. 不打人骂人。
8. 又不是三岁小孩子，这点儿道理该懂得的。

9. 即勾结又争夺。

二、次の文中、「ば」「と」「たら」「なら」の使い方が不適当なものである。どう改めるのがよいか、その部分に——線をひき、正しい使い方を書きなさい。

1. 私は一人とさびしい。
2. 決めれば、早く決めてください。
3. 夜になるなら、涼しくなります。
4. 先日、新聞を見れば、ちょうど君の作品が載っていた。
5. 飲みたいと、飲んでもいいよ。
6. 彼は店内をみまわしたら、窓ぎわの椅子に腰をおろした。
7. 気分がわるいと、帰ったほうがいい。
8. ベルが鳴れば、学生たちはすぐ教室に入った。
9. 急用で田中さんに電話をかければ、病気で休んでいた。
10. 山の上に登れば、日本海が見えました。
11. 仙台に着けば、むかえに東北大学のバスが来ました。

三、次の中国語を日本語に訳しなさい。

1. 从前这一带只要下一天大雨，田地就浸在水里。
2. 慢慢走的话，需要三十分钟。
3. 如果这是事实的话，问题就严重了。
4. 如果近的话，走着去吧。
5. 只要你在，就不会变成这种结局。
6. 回头一看，中村正笑盈盈地走进来。
7. 如果你今天没有时间，不去也行。
8. 要是我去的话，那一定带你去。
9. 他一读完信，就捧腹大笑起来。
10. 上了电车，请不要吸烟。
11. 三个臭皮匠，顶个诸葛亮。
12. 那张画，画得即不高明，又没意思。

四、次の文中のことばを一カ所だけなおして表現を正しくしなさい。

1. 足りないので、もっと持ってこい。
2. 地震に家が倒れた。
3. 病気に学校を休んだ。
4. 借金でなやまされている。
5. 風邪で学校を休もうと思う。
6. 相談した結果、私が行きましょう。
7. 子供のいたずらで手をやいている。
8. 雨で運動会を中止しよう。
9. 君が注意してくれないので、まちがえたんだよ。
10. よく分らなくて、聞いてみよう。

五、次の中国語を日本語に訳しなさい。

1. 差不多就算了,可是(你)……。
2. 虽说是四月份了,可是还冷。
3. 老张唱得那么好,为什么不让他唱呢?
4. 虽说不去也没关系,但还是应该去。
5. 读了好几遍,可还是不太懂。
6. 无论走多么快,傍晚之前是到不了的。
7. 不但不安静,简直是个闹哄哄的地方。
8. 昨天我特意去找他,可恰巧他不在家。
9. 劝了他,可是反而招怨了。
10. 那家伙并不怎么有钱,却尽想买高价货。

六、次の文中の( )の中に、文末の( )の中から適当なことばを選んで書き入れなさい。

1. こちらも寒い( ), ハルビンはもっと寒い。(ので、が、のに)
2. 寒い( ), 部屋に入らない。(ところで、のに)
3. ちょっとお伺いします( ), 李先生はいらっしゃいま

すか。(が、のに、と)

4. 太陽が出ている( ), 雨が降り出した。(ながら、のに)

5. 僕がたすけたからいいような( ), でなかったら危かったですよ。(ものの、ものを、もので)

6. ついそがしかった( ), お電話するのを忘れてしまいました。(ものの、ものを、もので)

7. 当って砕けるとばかりに、直接話をしてみた( ), 簡単にまとまってしまった。(ところが、ところで)

8. 知らない( ), 彼は共謀者の一人だよ。(ところが、どころか)

9. あの人はいくら親切にしてあげた( ), ありがたいとは思わないのです。(ところが、ところで)

10. 君に金を貸した( ), 必要なものを買わずに無駄に使いをするに決まっている。(ところが、ところで)

11. みんなが反対する( ), 彼はやめない。(のに、ながら)

12. みんな反対する( ), 私はやはり行かなければならない。(が、のに、ながら)

13. たとえみんなが反対する( ), 私はやはりいかなければならない。(とはいえ、と言っても、にしても)

### 課外練習 (第七章 助詞 第三節 接続助詞)

一、次の日本語を中国語に訳しなさい。

1. 私がたすけてやったからいいようなものの、でなかったらあぶなかったですよ。

2. 落ち着いて勉強するどころの話ではない。

3. 君も気がつかなかったものを、ぼくだけの責任にするのはおかしい。

4. 手術がもうすこし遅れようものなら、命をおとしていたろう。

5. 冬でもあるまいに、厚い靴下なんかはいて……。

6. 値段が安くて、お金がないから買えない。

7. あれはとうとう貸したなりとなりそうだ。

8. 教師が教室へ入るやいなや、騒ぎはびつたりと静まった。

9. 彼の講義ときたらまったく分らんよ。

10. 人はたくさんいるが、本当にやさしい人となると案外すくないものだ。

11. 子供のやったこととて、大目に見ることにした。

12. 子供たちができごころでやったこととて、すこし悪ふざけも度がすぎますね。

13. 寒いからとて、家の中にばかりいるのはからだによくない。

14. 彼は新入社員ながら、古参顔負けの働きをする。

二、次の各文の( )の中のことばで、もっとも適するものを一つ選び、○印で記号を囲みなさい。

1. 山田さんは貯金 (aばかりか bどころか)、その日その日の生活にも困るくらいだ。

2. なん回やった (aところが bところで)、ぼくの方が勝つにきまっている。

3. 叱られると思っていた (aところが bところで)、かえってほめられた。

4. いくら腹が立った (aところが bところで)、何にもならない。

5. 電話がかかって (aくると bくれば cきたら)、呼んでください。

6. あした学校へ (a行ったら b行くと c行けば)、この手紙を先生に渡しなさい。

7. あの船に乗って (aいたら bいれば), 沈没して溺死して  
いたかも知れない。

8. あなたが東京に (a行ったら b行けば), 私も一緒に行  
く。

9. 彼はこの手紙を (a読みおわったら b読みおわると), 腹  
をかかえて笑いだした。

10. 山の上から (a見おろすと b見おろせば), 町が一目に見  
わたせました。

11. 遠くを (a見ると b見れば c見て), 煙突から煙が出てい  
る。

12. 新華社通信に (aよれば bよって), わが国の曲芸団は日  
本で大歓迎を受けたそうだ。

13. お風呂に (a入りながら b入って c入ってから) ねまし  
た。

14. 月給があがった (aからには bくらいだから cからとい  
って), 生活が楽になるとはかぎらない。

15. 外国旅行をする (aからには bものだから cからとい  
って), あの国のことを前もって調べておくべきだ。

16. その仕事に一生をかけてきた彼に (aとって b関して  
c対して), こんどの失敗は残念だった。

三、つぎのことばの中から適当なものを選んで番号を( )  
の中に書きなさい。

1. ア くらいだから イ ことだから ウ ものだから  
エ からには オ からといって

① あんな自動車をもっている( ), あの人には金持ちかも知  
れませんが。

② おもしろい小説を読んでいた( ), つい乗り過ごして  
しまった。

③ あの人があんなに強く反対する( ), 何か理由がある



のだと思います。

④ 安い( ),品物が悪くては困ります。

2. アものなら イものか ウものを エものの

① 火事でも出そう( ),大変なことになりますよ。

② 一度はあきらめてみた( ),どうしても思い切れない。

③ 最後までやればできた( ),なぜ途中でやめてしまったのですか。

#### 第四节 副助词

##### 一 副助词的性质

###### (一) 副助词的意义

接在各种词后面构成一个文节,增添某种意义并使这个文节象副词一样关连到后面的用言的助词叫副助词(副助詞)。

###### (二) 副助词的后续性和分类

副助词的后续性比较复杂,有的有后续性,有的无后续性(请参照本章第一节有关部分)。

副助词可以按有无后续性这一点进行分类。

###### 1. 有后续性的词

即必须关连到谓语文节的副助词。这一部分词通常是把它所附属的文节加以提示或强调,因而必须要有后面的用言对此进行说明叙述。有的书里称这部分词叫“係助詞”(かかりじょし或けいじょし),中文里常译为“提示助词”,为了便于后面的讲解,这里暂称为“提示性副助词”。主要有以下一些词。

は も こそ さえ でも だって なり(と) しか(ほか)

###### 2. 无后续性的词

即不一定关连到谓语文节的副助词,这一类词添意性较强。在不直接关连到谓语时(如“これだけだ”、“心配したほどのことはない”等场合),一般是与前面的词构成一个相当于体言性质的词

组(或曰词团)，特别是接在活用词连体形后面时，往往相当于一个形式体言的作用，这一部分词在这里暂称为“添意性副助词”，主要有以下一些：

ばかり だけ く(ぐ)らい ほど など ずつ きり  
まで

3. 可以构成对等文节的副助词。

这一部分词也没有后续性，这里暂称为“并列性副助词”，主要有以下一些：

やら か や の だの とか

4. 其他(一般都有后续性)。

ぞって たら(ったら) てば(ってば)

此外，还有一些出现在口语里的文语副助词将附在与其相应的词后面介绍。

(三) 副助词的相互重叠。

副助词相互重叠使用的场合较多。

1. 提示性副助词与其他副助词的重叠。

提示性副助词因为要提示或强调它所附属的文节，并要求后面的用言对此加以说明、叙述，因此它总是处在这个文节的最后边，从而这个文节里如果有其他副助词时，则必须处在提示性副助词的前边。

○この事だけは譲歩できません。

○いろいろ調査してみたが、こればかりはどうしても分らない。

○簡単な会話ぐらいは知っている。

○数えてみたら、三人に二つずつぐらいしかないんだよ。

○上巻だけでもかまわないから、買ってきてくれ。

○簡単な勘定ですから、そろばんを使うまでもありません。

2. 各类副助词的相互重叠。

提示性副助词的相互重叠较常见的有こそは、さえも两组。

○去年はなまけてしまいましたが、今年こそはがんばりたい。

○風が強いばかりでなく、雨さえも降り始めた。

添意性副助詞の相互重疊比較自由一些，但也不是可以随意重疊的，较常见的是など、ぐらい、ずつ等几个词的重疊使用。

○ごく軽い運動や散歩などぐらいはしてもかまわない。

○一人300円ぐらいつつ分担しよう。

并列性副助詞一般不能相互重疊。

(四) 副助詞与其他助詞的重疊

副助詞可以与格助詞和接續助詞重疊使用。

1. 副助詞与格助詞的重疊。

提示性副助詞与格助詞重疊时，一般是格助詞在前，提示性副助詞在后。

○私にはできません。

○何をも欲しがらない。

○誰ともなかよくする。

○紙でもカバンは作れる。

○南洋からも学生が来る。

○杭州へは行きません。

提示性副助詞一般不与格助詞重疊使用，格助詞を也很少与提示性副助詞重疊使用。

在不引起誤会的場合，提示性副助詞可以代替格助詞使用。  
如：

○教室は(=を)は掃除しました。

○夏は(=には)海へ行きたい。

○今度の旅行は，四国も(=へも)行くことになりました。

○誰でも(=にでも)できるというような仕事ではない。

○日本に十年もいながら，東京さえ(=へさえ)行ったことがない。

下面一些句子里如果省去格助词则有可能引起误会或语意不通,甚至改变句子的原意。

○山田さんには頼んでいますが,秋田さんにも頼んでみたいです。(省去“に”的话,容易误解为“山田さん”和“秋田さん”去求别人。)

○そんなことは誰からも聞きませんでした。(省去“から”的话,显然会改变句子的原意。)

○誰とでも喧嘩するんじゃない。(省去“と”的话,也会改变句子的原意。)

○去年よりはよかったそうだ。(同上)

○石炭からはいろいろな化学原料や薬品が取れる。(省去“から”则句子语意不通。)

添意性副助词与格助词重叠时,有时在格助词前边,有时在格助词后面,一般说来在格助词前面的场合较多。

○おとなしいばかりで役に立たない。(副助词在前)

○言葉ができるだけでは,翻訳者としては不十分です。(同上)

○この外国人はこれぐらいの本はらくに読めます。(同上)

○心配するほどのことはない。(同上)

○いちばん仲のよい友だちにまで私はうたがわれているのですか。(副助词在后)

○両親にぐらいは話しておくべきだ。(同上)

○この花は山にだけ見られる。(同上)

○自動車でばかり行った。(同上)

一般说来,添意性副助词与格助词重叠时,是不可以任意调换它们的位置的,譬如上面这些例句,调换了它们的位置,大都破坏了句子的结构(格助词在后面时,它所附属的文节整个地相当于一个体言,副助词在后面时,则主要是限定谓语的程度、状态)。但如最后一个例句“自動車でばかり行った”,也可以讲“自動車ばかり

で行った”，意义有所不同，前者为“いつも自動車で行く”，后者为“今度使ったのは自動車だけだ”。再如：

○こんな硬いものをナイフなどで切れるもんか。

○こんな硬いものをナイフでなど切れるもんか。

前者为“用刀子之类的东西”，后者为“(用刀子切)之类的手段”，语气有所不同。再如：

○注射だけでなおる。(意为“只需用注射一种方法就可以治好。)

○注射でだけなおる。(意为“只有用注射才能治好。)

## 2. 副助词与接续助词的重叠。

副助词与接续助词重叠的情况也比较多，本章第三节里的是、ても两个接续助词也是这种重叠的结果。

副助词与接续助词重叠时，一般是副助词在后。

○そうしてこそ立派な軍人だ。

○そのことは、よく考えても見ませんでした。

○そう思いながらも、つい仕事に追われてのびのびになつてしまった。

○それだけやってさえおけば、あとはもういいよ。

○武力に訴えてでも取って来るといきましている。

○毎日遊んでばかりいる。

○そんな無理をしてまで買わなくてもいいじゃないか。

## 二 は

### (一) 接续法

は接在体言(或相当于体言性质的词语)、副词、助词以及活用词连用形后面。

### (二) 意义和用法

1. 表示主题，指定叙述的题目，要求对此进行说明。

(1) 主语作主题(が→は)

○これははなんですか。

○君はどう思うか。

○父は二階にいます。

○雪は白い。

(2) 宾语作主题(を→は)

○ご飯はどこで食べますか。

○家はどこにひっこしたのですか。

○教室は掃除しました。

(3) 连用修饰语作主题(包括以格助词に、へ、と、から、で等构成的文节,常和は重叠使用)。

○店先には見本だけが並んでいる。

○桂林(へ)は一度も行ったことがない。

○中腹からは海が見える。

○彼とは一度会ったことがある。

○学校ではそんなことは教えないはずだ。

(4) 连体修饰语作主题(の→は。但应注意,连体修饰语文节提示为主题之后,一般都不能再作为连体修饰语看待,应考虑该文节与谓语之间的关系)

○李さんの日本語は上手です→李さんは日本語がじょうずです。

○私たちの課外活動はどこでやりますか→私たちは課外活動をどこでやりますか。

(5) 以“については”、“に関しては”、“としては”、“にあたっては”等形式提示主题。

○それについては, 執行委員から説明いたします。

○そのことに関しては, わたしはなにも知らない。

○会社側としては, これ以上要求に応じることはできない。

○問題を解決するにあたっては, その正面を見るだけでなく, 反面をも見るようにしなければならない。

(6) 副词性文节或词组作主题。

○あすは雨が降るだろう。

○今ごろは、彼は機械の前に立って、せっせと働いているに  
違いない。

○うまくいった場合は優勝すると思う。

○たいていは、黙ってお帰りになる人が多いんですよ。

○試験場にいるときは、心もち会釈をするように。

2. 提示两个对比的事物,常用“……は……(だが),……(も)  
……(だ)”的形式。

○陳君は行くが、君は?

○彼は専門知識は持っているが、常識に(は)かけている。

○酒はすこし飲むが、たばこはすわない。

○こんな急速な発展はわが省ではもちろん、全国でもめず  
らしいです。

○今日は行けるが、明日はいけない。

有时提出一个事项,而另一个与之对比的事项并不讲出来,但  
对比的意思还是很明确的。

○僕は今日は行けない。

○僕は、お酒はすこし飲んでもかまわないと思う(与之对比  
的事项可以是“たばこはすわないほうがいい”)。

从前面的例句可以看出,一个句子里有时既有“主题”,又有需  
要对比的事项,一般说来,主题在前,关联到全句末,而提示对比的  
事项在后,仅关联到与之相呼应的谓语。

3. 起强调或调整语气的作用。

(1) 起强调作用,提示某一词语。

○ビール一杯ぐらいは飲めるでしょう。

○旅費は五十万円ばかりはかかる。

○すこしはあるでしょう。

○たまにはあそびにきてください。

○一日三回,食後一錠は二錠服用のこと。

(2) 引起否定的叙述,并加强否定的语气。

○今朝はそんなに寒くはない。

○わたしのうちは大通りのそばにあるので、あまり静かはありません。

○これは君の本はない。

○彼も行くじゃ(=では)ないか。

○みんなでがんばろうじゃ(=では)ありませんか。(“う(よう)ではありませんか”是一种反问的表达方式,但实际上表示的是积极鼓动的、带有号召性的语气。)

○どんなに脇迫されても、屈服はしない。

○絶対に忘れはしない。

○僕も遊んではいられない。

○重要な会議だから、行かないわけはいかない。

○こんな大雨が降るとは夢にも思わなかった。

○やせている人が、からだがよわいとは限らない。

○その本はまだ読んではいません。

(3) 表示一种让步性的语气,一般引起逆态接续。

○読んではみたが、分らないところが多い。

○準備してはあるが、十分じゃない。

○せっかくではございますが、こればかりは辞退させていただきます。

○行くには行くが、今日は行けない。

○丈夫には丈夫だが、見かけはよくない。

○安い(こと)は安いが、きずがある。

○借りはしたが、すぐ返した。

(4) 提示条件,请参照本章第三节接续助词“九ては”。

○また悪くなるようなことがあつてはたいへんだから、ゆっくりねていращゃい。

○こんなにあつてはなにもできません。



○お父さんがご病気では、いろいろと心配なことでしょう。

○この川で泳いではいけません。

动词连用形加ては还可以表示动作的反复。

○風邪をひいては学校を休む。

注意：

1. 关于は的意义和用法，如前所述，分为①主题、②对比、③强调等三个部分，但は的基本作用仍是提示，事实上有些地方很难把这三者截然分开。

2. は有时发生音便。

○読みはしない→読みやしない。

○ありはしない→ありやしない。

○行ってはいけない→行っちゃいけない。

○飲んではいけない→飲んじゃいけない。

○彼も行くではないか→彼も行くじゃないか。

○そいつはおもしろい→そいつあおもしろい。

○そんなことはありませんよ→そんなことありませんよ。

3. は和を重叠时(一般不重叠)，は有时变成ば，这种用法不常见。

○便りをばよこさない。

○本をば返さない。

4. 以は和具他词构成的接续词(如または、それでは、では等)和感叹词(如それはそれは、これはこれは等)请参照第五章。

### 【参考】 は和格助词が

#### (一) は、が的比较范围

は的用法如本节“二”所示，可以提示主题，提示两个对比的事项，还可以起到对某一词语的强调作用。

主题不等于主语，这在前面的讲解中已经明确，因为被提示为主题的除了主语之外，还有各类连用修饰语。は在提示某些对比的事项的时候，也可以象提示主题一样，把句子的各种成分提示出来。因此，在比较は和が的用法的时候，主题のは和对比のは都要涉及。

主格助词が(见本章第二节“二”)表示某一体言(或相当于体言性质的词或词组)在句子里是主语格,有时又表示好恶、巧拙、能力及希望等的对象,也可以称为“对象格”。主格的が和对象格的が都有可能提示为主题,在下面的比较中都要涉及。

所以,这里要进行比较的,具体地说,应该是“表示主语或对象语的が和提示主语或对象语为主题或对比事项のは”。至于句子的其他成分则不在这里涉及。

## (二)用はの場合

は的作用是提示一个需要对之进行解释和说明的事项,从这个涵义来说,不仅提示主题,就是提示两个对比事项的时候也是同样的性质,总之都要求后项有叙述,亦即句子的着重点在于后项的叙述,以下一些场合需要用は。

1. 围绕某个事项进行提问,以及对这种提问的回答,要求说明这一事项“是什么”、“怎么样”等等。如:

○「これはなんですか。」「これは本です。」

○「あの人はいまどこにいますか。」「あの人はいま北京にいます。」

○「ここはどうですか。」「ここはきれいです。」

○「君は行くか。」「私は行きます。」

一般说来,后项是疑问词作谓语的时候不能用が代替は,因为主语显然是需要进行叙述的主题,回答时也同样。但最后一个例句可以改成“君が行く(の)か”,因为这里的谓语不是疑问词,这样改了以后意思也和原句不同。

○君は行くか。(意为“你去吗?”或“你去不去?”)

○君が行く(の)か。(意为“是你去吗”,回答当然也应该是“はい,私が行きます”。)

2. 围绕某些已知事物进行叙述。

① 围绕既经提出的事物,继续进行叙述。

○きのうは大郎が来ました。大郎はリンゴをみやげに持っ

てきました。

○あ、家が燃えている。あの家は酒屋だ。

② 虽然未经提起的某一事物，但已为对方所知，无须交待“谁”、“什么”，直接进行叙述。比如①向别人作(自我)介绍，②表示真理、公理或一般规律、道理和习惯以及周知的事物，③围绕一个眼前的事物作叙述。

○私は田中です。(作自我介绍,说明“我是谁”,如果用“私が田中です”,就显得很别扭,除非是人家问起“どなたが田中さんですか”の場合。)

○こちらは山川さんです。(介绍别人,和前句同)

○吾輩は猫である。(同上。夏目漱石的《吾輩は猫である》里的第一句话。)

○雪は白い。(说明事物的真理,也可以说是众所周知的事实。如改成“雪が白い”则有可能是告诉人家“雪才是白的,别的东西没有雪那样白”,或是对客观情景的描写,即着重在于点出“雪”这一事物。)

○太陽は東から出る。(同上)

○北京は中華人民共和国の首都です。(众所周知的事实。)

○ここはきれいですね。(围绕眼前的事物进行叙述,比如,可以设想这样一个场面:两个人刚下车,看到车站附近的景色很好,其中一个人就讲了这样一句话,即围绕两个人都已经看到的事物进行叙述。)

○あ、家が燃えている。あの家は①酒屋だ。あの家の隣は②学校だ。(は①是既经提出的事物,は②似乎是一个未曾提起的事物,但实际上“あの家の隣”已经是一个双方已知的事物,道理与前一句同。)

○「あなたはどうしてずっと学校に来なかったのですか。」  
「私は盲腸炎で入院しておりましたものですから、ずっと学校へ来られませんでした。」(两个人刚见面就讲了这样一段话,这里是

围绕一个无须交代“是谁”的人物进行提问和回答，和“①”的用法同。）

○「お父さんはお元気ですか。」(同上)

○今日はあついですね。

### 3. 提示对比的事项

提示对比的事物，实际上必须要对事物进行比较性的说明，重点也是在于叙述(见本节“二”)。

○彼は頭はいいが，体はよくない。

○赤は止まれ，青は進めの信号だ。

○彼は作曲家で，彼女はピアニストだ。

这一类句子除了类似第一句的情况不便改用が(因为第一个例句显然只能是对比性的提示)以外，第二和第三句之类的句子都可以改成が，但意思不同，譬如第二句改用が的话，将变成“なにが止まれ，なにが進めの信号”的语气，这种讲法恐怕只有在纠正别人讲错了话的时候才能用。第三句也是同样。

4. 关联到全句，甚至关联到后面几个句子的主语一般总是提示为主题，可以考虑下面几种场合。

① 一个主语关联到两个以上的谓语时，这时候通常是被叙述的主题。

○私は昨日買って来た本を全部読んでしまった。(は是主题，关联到全句，改用が的话，不是叙述的主题，只是一个主语，因此很可能只关联到就近的谓语，即“私が買って来た”，然而整个句子的主语则不一定是“私”，可以是别人，除非当人家问起“谁把昨天买来的书全读完了”的时候，“私が”才有可能关联到句末。)

○工場長は知らせを聞くと，すぐ現場へかけつけた。(は是主题，关联到句末。这句话不可以改用が，因为两个动作显然都是“工場長”的，同时也很难想象“是工场长一听到消息，立刻赶到现场”这种表达方式，即既要说明是“谁”，又要说明“他一怎么样就怎么样”，这种既想交代主语又想对主语进行说明的表达方式是不存

在的。)

○林君は高校生です。来年大学を受けようと思っています。それで、いま受験準備をしています。(は关联了几个句子,因为主题既经提示,后面句子的主题又没有改变,无须再作提示。)

○この小説はおもしろいから、ぜひ読んでごらん。(“この小説は”在前半句里是主语,在后半句里是宾语。)

○君は、彼と仲がいいから、お願いするのだが。(“君は”在前半句是主语,但在后半句则相当于补格“君に”的作用。)

② 复句里的总主语,通常要关联到全句,一般总是作为主题来提示的。所谓复句,指句子里包含有两组以上的主谓结构,这时候除了一组作为全句中心的主谓结构之外,其余的主谓关系可以构成主谓定语从句、主谓条件从句、主谓谓语从句。

○あの人<sup>が</sup>帰って来たのは、桜の花が咲いている頃であった(“あの人<sup>が</sup>帰って来た”是一个主谓定语从句)

○これは私が買ったのです。(“私が買った”同上。)

○あの人<sup>は</sup>、私が心配するほど気にかけていなかった。(“私が心配する”从形式上来看是主谓定语从句,但实际上加上“ほど”构成了一个副词性的连用修饰语。)

○私は仕事が終わったらすぐ家へ帰ります。(“仕事が終わったら”是主谓条件从句。)

○天気がよければ、私たちはハイキングに行く。(“天気がよければ”同上。)

○象は鼻が長い。(“鼻が長い”是主谓谓语从句。)

○西洋人は色が白い。(“色が白い”同上。)

“象は鼻が長い”这类句子如果要改成“象が鼻が長い”,则在于告诉人家“是象(不是别的)鼻子长”;而如果改成“象は鼻は長い”,则很可能是把“鼻”提示为对比的事物,或引起逆态接续,总之这句话给人以没有结束的感觉,可以讲成“象は鼻は長いけど, a. 口は小さい(或 b. あまり役立たない)”,当然, b 的讲

法是不附合事实的,但如果说“彼は体は大きいけど、あまり役に立たない”,则不成问题。

复句里的作为全句中心的主语不一定要提示为主题,特别是包含有条件谓语句和定语谓语句等场合,如:

○日ざしが強いので、葉が枯れた。(“葉が枯れた”是全句的中心,但又不是被提示的主题,只是交代了一个客观情形,见后面“が”的用法。)

○私が本を読んでいると、家内が急いで入ってきた。(同上)

○あなたが①来なかったのが②いけなかった。(が②所表示的主语虽是全句的主语,但不是主题,而是告诉对方“なにがいけなかった”。)

注意:

下面一些句子里的是不一定关联到全句。

○陳君は行くと思います。(“思います”只能是讲话人自己的思考,所以“陳君は行く”是被思考的内容。)

○あの人は正しいと思っている。(“思っている”可以表示他人的既定看法,也可以表示自己的既定看法,因而这句话可能是“他认为是正确的”,也可以是“我认为他是正确的”。)

### (三)用がの場合

が不能提示主题,只是表示它所附属的体言是主语(或对象语),因此,が是指示“谁”、“什么”等事物的,重点在于交代主语(或对象语,以下略)。以下一些场合需要用が。

1. 疑问词作主语时用が,回答时主语也是が。

○「どれがあなたのですか。」「これが私のです。」

○「誰が行きますか。」「わたしが行きます。」

○「どこが難しいですか。」「ここが難しいです。」

○「何が好きですか。」「これが好きです。」

这种句子无法用は代替が,因为不可能把一个不知道的东西作为主题来叙述。

2. 非疑问词作主语,后项是疑问、意志等形式,一般出现在谈

话的进程当中，要求对方告诉自己（或自己告诉对方）是谁（或什么），即要求交代一个主语。

○「あなたがこれをこわしたのか。」「はい、私がこわしたのです。」

○「私は盲腸炎で入院しておりました。」「ああ、あなたが盲腸炎で入院したのですか。」「ええ、私が盲腸炎で入院したのです。」

○みんなが行かないので、私が行ってまいりました。

这些句子在句尾带有“の(です)か”时，前面的主谓结构带有定语性质。

3. 交代一个未知的事物。

① 描写眼前出现的（从讲话人的概念来说的）客观情景，或某一情形、事实。重点在于交代一个未知的事项。

○むこうから田中さんがやってきた。

○おや、ベルが鳴った。あっ、先生が来た。

○あ、家が燃えている。

○お腹が痛い。

○桜の花が咲きました。（可以改用は，但意思是告诉人家“樱花怎么样了”）

以上这些句子都不使用は代替が，因为都只是在交代一个未知事项，而这些事项还不能直接作为主题来叙述。

当然也有例外的场合，如水上勉的小说《饥饿海峡》的第一句话就是：

○海峡は荒れていた。

这种描写手法不能简单地看成是客观情景的描写，重点不是交代“海峡”，而是告诉读者“海峡怎么样”，即希望一下子就把读者置身于故事情节之中，使读者感觉到一开始就接触故事的主题的情趣，如果改为“海峡が荒れた”，就可能把“海峡”作为故事情节里的一个陪衬的景物，而不是故事的主题，而且接下去恐怕必须马上

再交代一个别的主语，不能直接围绕“海峡”写下去，或者至少要用“この海峡は”、“これは”等来重新作一番提示。

② 谈话或写文章时须要先作交代的事项(往往是第一次出现的人和事物)。

○昨日は太郎が遊びに来た。太郎はみやげにリンゴを持ってきた。

○昔、男がいた。……

4. 复句里各个从句的主语用が(对照“用はの場合”)，因为这些主语都只是和它就近的谓语形成主谓结构，不是讲话人要提示的主题。

○あなたが来なかったのがいけなかった。(“あなたが”改成“あなたは”的话则关联到“いけなかつた”。

○先生がいるうちに全部やっちゃいましょう。(“先生が”只关联到“いる”，因为“やっちゃいましょう”显然不是“先生”所为，所以不可能改成“先生は”。)

○日ざしがつよいので、葉が枯れた。(不能改成は。)

○あなたがいかなければ、私もいきません。(同上)

○象は鼻が長い。(见前面“用はの場合”。)

○あなたは日本語が話せますか。(が改成は带有与“别的语言”对比的性质。)

### 三 も

#### (一) 接续法

も接在体言(或相当于体言性质的词语)、副词、助词以及活用词连用形后面。

#### (二) 意义和用法。

1. 从同类事物中举出一项以暗示其他事物的存在。

○今日も雨降りだ。

○どうか私にもも見せてください。

○野球の試合も見た。



○バスでも行ける。

2. 并列、列举同类的两个以上的事物。

(1) 常用“……も……も”的形式。

○先月も今月も赤字だ。

○空気も水もきれいよ。

○机もテーブルも買いたい。

○山も野も畑も雪が一面に積んでいる。

○南も北も風が入る。

○雨も降るし、風も吹く。

○紀律もあれば、自由もある。

○特別にきれいでもなくまた珍しくもない。

○さいわいに調べられもせず、叱られもしなかった。

○東も西もわからなくなった。

○よいもわるいもありはしない。

(2) 采用“……が(は)……も……”等形式，即列举的事项中只有其中一项用も。

○あなたが行くなら、私も行きます。

○留学生は、アジアやヨーロッパばかりでなく、アメリカからもも来ている。

○今年の流感は東京ではもちろん、日本全土までもも広がった。

(3) も置于两个同一词之间，形式上起并列作用，意义上是起强调语气的作用。

○兄も兄なら、弟も弟だ。

○質はよいが、高いも高いね。

○飲みも飲んだし、食いも食った。

○似ても似つかぬ兄弟だ。

(4) 以“だれもかれも”、“どれもこれも”之类的形式表示“一切”、“全部”的意思。

- この案は誰も彼も賛成するにちがいない。
- どれもこれも気に入らない。
- この季節は日本じゅうどこもかしこも花でいっぱいです。

(5) 疑問词后续も表示全面的肯定或全面的否定。

- 日本人は誰もそう考えている。
- わたしはあまいものとからいものと、どちらもすぎです。
- ここにあるものはどれもいい品ばかりです。
- どこも不景気は同じだ。
- 事実は何よりも雄弁であった。
- 参考書はいくらもある。
- そうしたいという者は何人もいた。(以上全面肯定)
- 机の上にはなにもありません。
- これはまだ誰も知らないことです。
- わたしがみたところ、どこも悪いところはありません。
- あの人はどこにもいませんでした。
- このへやならどこからも見えません。
- 明日はどこへも行きません。(以上全面否定)

注意:

在现在的口语体文章中和演说中常见“誰もが……”这样的讲法，格助词“が”接在副助词“も”后面，这种接续法可以说是绝无仅有的，有人认为这是直译西方语言的结果，例如“日本人の誰もがそう考えている”，按照日语的通常说法应是“日本人は(日本人なら)誰もそう考えている”。

3. 加强语气。

- 猿も木から落ちる。
- 夜も明けない前から起きだして仕事をする。
- 科学の進んだ今日でさえも，まだ分らないことはたくさんある。
- 全部持っていかれたので，すこしもありません。

- 小山ほどもある波がよせてきた。
- きょうで十日も雨が降りつづいています。
- 病気で五年間も寝たままです。
- こんな品だが、五千円もとられた。
- むだには一銭も使ったことがない。
- 大衆のものは針一本糸一筋もとらない。
- 一日も早く職場にもどりたい。
- 一刻も早く出発せよ。
- 一尺もあろうかという鯉だったんだ。
- 手にとろうともしない。
- そんなことはよく考えてもなかった。
- よくも集めたんだね。
- 不幸にも犠牲してしまった。
- 早くも風を食って逃げてしまった。
- あまりにももひどい。(“あまりにも”可作副词看。)
- 批判されながらも、仕事をやめない。(“ながらも”可作复合接续助词看。)
- それはいうまでもないことだ。(“いうまでもない”是一个惯用的连语。)
- 病弱にもかかわらず、よくここまでがんばった。(“にもかかわらず”相当于接续助词的作用,用于句首则相当于接续词的作用。)
- いつまでもも仲よくしていこう。(“いつまでも”可作副词看。)
- これをしも否定するか。(“しも”可作副助词看,是文语副助词し和もの结合,起强意作用。)
- 誰しも同じことだ。(“しも”同上;“誰しも”又可作副词看。)
- ねだんが高いものが、かならずしも品がいいとは限らな

い。(“しも”同上;“かならずしも”可作副词看。)

○おそくも五時には帰れる。(も可作接续助词看)

○おそくも九月末には初雪が見られる。(同上)

○今夜の雪は、すくなくも十モンチはつもるだろう。(同上)

#### 四 こそ

(一) 接续法

こそ接在体言、副词、接续词、助词后面。

(二) 意义和用法

こそ既作提示又起强调作用，两者通常是兼而有之。

1. 提示并突出强调主语，相当于汉语的“唯有”、“才”、“正是”等意思。

○これこそ本物です。

○大衆こそ真の英雄である。

○あのたてもこそ代表的な日本家屋です。

○毎日の努力こそ成功の原因なので、いっしょうけんめいにやってください。

○太陽こそは、あらゆる生命の源泉である。

2. 强调其他各种文节。

○あすこそ早く起きよう。

○去年はなまけてしまいましたが、ことしこそがんばりたいと思います。

○あなたが行ってこそ、みなさんがおよろこびになるのですよ。

○努力があつてこそ本当の成功がある。

○口で言ったりこそしないが、心の中では大変感激している。

○しかられこそしなかったが、内心はびくびくしていた。

○山はけわしくこそないが、なかなか登りにくい。

★こそ的慣用句型和惯用語。

1. ……こそ+动词假定形……。 (意为“唯有……”、“只有……”。)

○苦しみこそあれ、決して楽しい毎日ではなかった。

○前進こそすれ、後退などけっしてしないぞ。

2. ……ばこそ…… (意为“正因为……”。)

○本を読めばこそ物の道理が分るのだ。

○君のためを思えばこそ、こうやっているのだ。

3. ……(た)からこそ……。 (意为“正因为……”。)

○あなたがすすめたからこそ、私もその気になったのだ。

○君だからこそ、相談するのだ。

4. 慣用語

○「先日はありがとうございました。」「いいえ、こちらこそ。」

○それでは、みなさんにやっていただきます。われこそはと思うかたは、どうぞここへ出ていらっしゃってください。(われこそ—表示不甘落后的决心。)

○ようこそいらっしゃいました。

○外国で病気をすることは、それこそ心ぼそいものです。(それこそ是副词性质的用法，“それはひじょうに”的意思或“それは”的强意。)

## 五 さえ(附すら、だに)

(一) 接续法

さえ接在体言、副词、助词以及活用词连用形后面。

(二) 意义和用法。

1. 表示类推。举出一项极端的事例，暗示其他一般性事例，可以用“さえも”的形式作进一步强调。相当于汉语的“(就)连…也……”。

○子供(で)さえ知っている。

○そこは電気さえないような山の中です。

○七月になって、ぬか雨さえ降らない。

○いちばん仲のよかった友達とさえけんかをしてしまった。

○見知らない人からさえ激励の手紙が来た。

○紙でさえこんなに丈夫にできる。

○疾さえ流して感激した。

○母親にさえいわなかったんだから、ほかの人に相談するはずはないよ。

注意:

でさえ往往可以作为一个固定的提示性副调使用,在这种场合原来属于格助词的,不可以再作格助词看。でさえ相当于でも,但语气更重。でさえ有时还附加も作进一步强调,后项多与肯定的语气相呼应。例如:

○ヒマラヤは夏でさえ雪がある。

○科学の進んだ今日でさえ(も),まだ分らないことはたくさんある。

○おとなでさえ(も)おもしろがるのだから,子供がやりたがるのはあたりまえだ。

2. 表示限定唯一必要的某项条件,多用“……さえ……ば”的形式,相当于汉语的“只要……就……”的意思。

○天気さえよければ行く。

○これさえあれば,ほかにはなにもいりません。

○怠けさえしなかったら,誰だって一応のところは行ける。

○話してくれさえすればいい。

○過労になりさえしなければ,ちょっとやってもいいです。

○努力(し)さえすればきっとできる。

○きたなくさえなければ,どれでもいい。

○からだが丈夫でさえあればいい。

○金属でさえあればいい。

○時間と根気とさえあればいい。

○それだけやってさえおけば,あとはもういいよ。

3. 表示添加。意为在一个事项上又加上另一个事项,相当于

汉语的“而且”、“甚至”的意思。可以以さえもの形式作进一步强调。

- 強い雨のところに、風さえ吹き出したからつまらない。
- やさしいうえに面白くさえできている。
- このごろは手紙どころか、年賀状さえくれなかった。
- 首になったうえに病気にさえなった。

#### (附) すら、だに

すら和だに是两个文语助词，在口语里它们的意义和用法已基本上被さえ所代替，但仍然时有出现。

##### (一) すら

すら主要接在体言和格助词后面。表示类推和添加的意思，有时候也用すらも、ですらの形式，意为“连……也……”。

○電車がこんでいて、まっすぐに立っていることすらできませんでした。

○むかしは小学校へすら行かせてもらえない子どもが大勢いました。

○きのうの試験はやさしくて、私のような者ですらできました。

○あの方は朝ねぼうで、試験の時ですら遅刻しました。

○ガスどころか、水道すらないような不便な所です。

○雨が降って、風すら吹き出した。

##### (二) だに

だに主要接在体言和格助词后面，表示类推，口语里很少使用。意为“连……也……”。

○星一つだに見えない。

○夢にだに知らない。

#### 六 でも

##### (一) 接续法

でも接在体言、副词、助词以及活用词连用形后面。

## (二) 意义和用法

1. 表示类推。通常是举出一个极端(分量较轻)的事项以暗示一般场合。相当于汉语的“就连……也……”、“哪怕……也……”的意思。后项多与肯定的语气相呼应。

○子供でも知っている。

○私にでもできそうだ。

○忙しいので、日曜日でも会社へ出なければなりません。

○ゆずってくださいるなら、一枚、二枚でもよい。

○新しい畳でも叩けば、ほこりが出る。

○ちょっとでもいいから、見せてほしい。

○雨天でもあすの旅行は行きます。

○今からでもおそくはありません。

2. 表示全面的肯定,接在疑问词和不定词后面,与积极或肯定的语气相呼应,相当于汉语的“无论……都……”。

○なんでもおすきなものをお取りなさい。

○こんなことはだれでも知っていることだ。

○これはどこにでもあるというようなものではない。

○いつでもあなたのご都合のいいときでけっこうです。

○ほしければ、いくらでも持っていきなさい。

○いつまででもお待ちしております。

○どんなにすきなものでも、毎日食べていればいやになるものだ。

○今日は、飛行機でどこへでも行かれる。

○誰とでも喧嘩するんじゃありません。

3. 表示概指事物,举出一两项事物表明大致的范围。相当于汉语的“……之类”、“或是……”、“譬如……”等意思。

○まだ時間があるので、お茶でも飲んでいきましょう。

○先生にでも相談してみたらどうでしょうか。



○こんなときおかあさんでもいてくださるといいんだが。

○誕生日のおいおいにネクタイでもあげましょう。

○落ちでもすると大変だ。

○新聞でも雑誌でも時間つぶしに貸してくださいませんか。

○このへやはカーテンでもかけて、花でもかざったら、もっときれいになります。

○じゃ、君はあくまで知らぬとでもいうのか。

注意：

副助词でも是一个固定了的表示一个概念的词，要注意区别于其他的でも加もの場合。例如：

○野でも山でも鳥が啼いている。(でも=格助词で+副助词も。)

○答案はペンでも万年筆でも書ける。(同上)

○彼は政治家でもある。(でも=助动词だ的连用形で+副助词も)。

上面这些句子里的も去掉也讲得通，但副助词でも则不可以拿掉も。

## 七 だって

(一) 接续法

だって接在体言、副词、助词后面。

(二) 意义和用法

1. 提示一个代表性的事项，暗示这种场合与别的情况相同、不例外，等于“……もやはり(同じ)”，相当于汉语的“即使也……”“哪怕……也……”、“就是……也……”。

○子供だってそのくらいのことはできます。

○もうなげ売りだってします。

○女だってかまわないでしょう。

○親にだって言えないこともある。

○日曜日だって休まない。

○いまからだっておそくない。

○石川君だってこの案には賛成だ。

2. 并列地提示两个以上的事项，相当于汉语的“无论……无论……”。

○あの人なら英語だって，フランス語だってできます。

○田中さんだって，山田さんだってもうみんな来ていますよ。

○アメリカへだってヨーロッパへだって行ける機会があったのに。

○四時までだって，五時までだって，あなたのいらっしゃる時までお待ちしましょう。

3. 接在疑问词、不定词后面，意为“无论谁(什么、多少、哪里、什么时候)都……”。

○そんなことは誰だって分らないでしょう。

○おもちゃならなんだってよろこびます。

○見たければいくらだって見せてあげますよ。

○そんなものはちっともめずらしくないよ。どこにだってあるだろう。

○あの人はいつだって家にいない。

4. 接在“一度、一円、一人”之类的数词后面，与否定的谓语相呼应。

○私は学生時代には一度だって遅刻なんかしませんでした。

○そんな悪い子はひとりだっていません。

○あの人から一円だってもらったことはありません。

○私はお酒など一滴だって飲みませんでしたよ。

○一日だって休んだことはない。

○一度だって負けたことはない。

注意：

下面一些句子里的だって不是副助词。

○「どうしてやめたの。」だって，つまらないもの。」(接续词)

○あしたは雨だってさ。(だって=だという)

○体がいくら丈夫だってきたえなければ病気になるとも限らない。(だって=形容动词词尾だ+接续助词って, 见本章第三节“十一”。)

○いくら本を読んだって分るはずはない。(だって=接续助词, 见本章第三节“十一”。)

## 八 なり(なりと、なりとも、など)

### (一) 接续法

なり(と)接在体言(或相当于体言性质的词语)、助词以及用言的终止形后面。

### (二) 意义和用法

1. 表示概指事物, 举出一项或两项事物表明大致的范围, 相当于“でも”的用法。可在なり后面加上と或とも, 意为“或是……”“……之类”。

○サイダーなりとのんでください。

○どこへなり(と)気の向く方へ行こう。

○山へなり海へなり行きたいと思います。

○医者になりと相談したら。

○ちょっとなり(とも)じっとしてられない。

○近いから, 歩いてなりと行けます。

2. 并列两项(或更多)事物以供选择, 用“……なり……なり……”的形式, 这种情况なり后面不加と或とも, 意为“或是……或是……”、“……也好……也好……”。

○あなたなり私なり誰か行かなければなりますまい。

○ここまで来ればあなたの家は近いから, ひとりでもバスに乗るなり歩くなりして帰れるでしょう。

○ペンなり筆なりで早く書いてしまえ。

○新聞なり雑誌なりを読んで待ってください。

这种并列的なり所构成的文节有时相当于一个体言的资格, 可以在后面加上格助词, 如上面列举的最后两个例句。

3. 表示一种最低的要求,用“せめて……(だけ)なりと……”的惯用句型,相当于汉语的“哪怕……”、“至少……”。

○安着の知らせなりと忘れずに出してほしい。

○せめて私になり知らせてくれればよかった。

○一カ月も二カ月もというのではない。二、三日だけなりと貸してもらいたいんだ。

注意:

1. なり表示列举选择时,有时只在两个事项中间置一なり,相当于“なり……なり”的意义。

○こまることがあったら,おとうさんなりおかあさんに,すぐ相談しなさい。

2. “大なり小なり”成为一个惯用语。

○この間の台風で大なり小なり被害を受けなかったところはないだろう。

3. 有的人把なりと说成なと,但这不是普通的说法。

4. 下面一些用法的なり不作副助词看。

○授業が終わるなり,「さよなら」も言わずに教室を出ていってしまった。(なり是接续助词,见本章第三节“八”)

○彼は私の目を見つめたなり,まばたきもしなかった。(なり同上)

○あなたなりにやっていたらだけければけっこうなんです。(なり是接尾词。)

## 九 しか(附ほか)

### (一) 接续法

しか接在体言(或相当于体言性质的词语)、副词、助词以及形容词和形容动词的连用形后面。

### (二) 意义和用法

しか表示限定某一事项,否定其他一切,即“除此之外……”的意思,因此后面必须是否定的表达方式,从形式上来看是否定句,实质上是对前面限定的事项的肯定。“……しか……ない”构成一惯用句型,意为“只有……”、“只……”。

○酒は葡萄酒しかありません。

- 私は会話しかならいませんでしたから、本は読めない。
- バスも電車もないから、歩いて行くしかない。
- 一日二、三枚しか書けません。
- ドイツ語はちょっとしか習いませんでした。
- もっと熱くしようと思ったんだけど、なまあたたかくし

かならないや。

- この鳥は稀にしか姿をあらわさない。
- そんなことはうそとしか思われぬ。
- 銀行は三時までしかあいていません。
- 象はあつい国にしかいない。
- 今度の旅行は東京へしか行きませんでした。
- 日本語は日本でだけしか使わぬことばです。
- 私にはこれくらいしかできません。

#### (附) ほか

ほか本来是名词,有时在句中起到和しか相同的作用。

- ここにはサイダーほか(しか)売っていません。
- 三十銭ほか(しか)持っていません。
- そうするほか(しか)仕方がない。

#### 十 まで

##### (一) 接续法

まで接在体言、助词以及活用词连体形后面。

##### (二) 意义和用法

1. 表示动作、作用所及的范围、终点,意为“到……”、“到……

为止”。

- 六時まで待ちましたが、来ないので先に行きます。
- いままでどこで生活していましたか。
- 夏休みは京都まで行ってきました。
- いつまでも待ってはられない。

- 三時までの授業。
- 入学申し込みの締切は月末までです。
- 朝早くから夜おそくまでけんめいに働いている。
- 朝の四時まで起きていた。
- 午前の十時までに来てください。
- 答ができるまで計算をつづける。

2. 表示程度或限度。

- あくまで戦う決心だ。(“あくまで”可作副词看)
- 僕はどこまでも反対する。(“どこまでも”可作副词看)
- そんなにまでしてくれなくていい。
- ためしに聞いてみたまでさ。(まで意为“不过……”、“仅仅……”。)

○もうこうなったらいちかばちか実行してみるまでだ。  
 (“までだ”意为“只好……算了”、“最后只有……”。)

- 高ければ買わないまでのことだ。(“までのことだ”同上)
- 千代子は目が赤くなるまで泣いた。
- 本は読めるが、まだラジオを聞けるまでにはならなかった。

○いうまでもなく、日本は島国である。(“いうまでもなく”可作副词看，意为“不用说……”、“当然……”。)

○ここで一一例をあげるまでもない。(“までもない”意为“不必……”、“用不着……”。)

○失敗するまででももう一度やってみる。(“までも”意为“即使……”、“即便”……。)

○右はお礼まで。(“右はお礼まで”用于信的结尾处，意为“谨此先致谢意”。)

3. 举出一个极端的事例，暗示一般的(分量较轻的)场合，或表示添加的意思。相当于汉语的“连……也……”、“甚至于……”的意思。

- あなたまでも私をうらぎるんですか。
- 心ない鳥までも彼の死を悲しんでいるようだ。
- そんなことをすると、子供にまで笑われますよ。
- いよいよだめなら絶交しようとまで思っていた。
- 彼は自分の命をすててまで国家の財産をまもりました。
- 寒いところへ雨まで降ってきた。
- 若者どころか、年寄まで一生懸命働いている。

## 十一 ばかり

### (一) 接続法

ばかり接在体言、副詞、助詞以及活用詞連体形后面。

### (二) 意义和用法

1. 表示大概的程度，相当于汉语的“大约”、“左右”等意思。

- コップの中に水が半分ばかり入っています。
- 一年ばかりロシア語を習ったけれども、もうみな忘れてしまった。

- 千円ばかり貸してくれないか。
- そればかりのことで泣くなんてみつももない。
- 彼はわざわざばかりの時間を惜んで、英語を勉強した。

2. 表示限定范围，相当于汉语的“光”、“只”、“净”、“仅仅”等意思。

- 田中さんは毎日小説ばかり読んでいる。
- 学校では日本語ばかりならっている。
- 目ばかりが光っていた。
- 本ばかりに頼ってはなににもできない。
- 名ばかりの旧蹟。
- 知らない人ばかりです。
- あの人は背が高いばかりであまり力はない。
- 時間をついやすばかりで何の効果もない。
- すわってばかりいないで、ときには運動しなさい。

○私達は英語ばかりでなく、フランス語もドイツ語もできます。

○彼は漢字が書けないばかりか、平仮名も片仮名も書けない。

○張君が行くものだとばかり思っていた。

3. 表示即将接近某种状态的程度, 相当于汉语的“快要”、“即将要”、“眼看就要”、“只等……了”等意思。多用“……ばかりになっている”、“……ん(ぬ)ばかり”的形式。

○すっかり準備が終わって、旅行に出かけるばかりになっている。

○田中さんは泣きださんばかりの顔でたのみに来た。

○もう卒業するばかりになっている。

○悲しみに胸がはりさけんばかりだった。

○村人はとびあがらんばかりに喜んだ。

○いやと言わんばかりの顔で出ていった。

4. 用“……(た)ばかりに”的形式表示原因, 相当于汉语的“只因为……”“只不过……”的意思, 与“2”的用法同。

○ちょっと油断したばかりに、とんだに目にあったよ。

○薄着をしたばかりに、風邪をひいてしまった。

○あなたが大声を出したばかりに、子どもが泣きだしてしまった。

○この子は体がわるいばかりに大学に入れない。

5. 用“……(た)ばかり”的形式, 表示某项动作刚完成不久, 相当于汉语的“刚刚”的意思。

○これは昨日買ったばかりの洋服です。

○田中さんのうちでは赤ちゃんが生まれたばかりです。

○まだ日本に来たばかりで、日本語がよく分らない。

○さっき聞いたばかりの話をもうわすれてしまった。

注意: 除了“1”的用法之外, 口头讲话时ばかり有时讲成“ばっかり”、“ば



かし”、“ばっかし”。

★ばかり的慣用句型。

1. ……ばかりだ。(接动词连体形后面,表示“只有”、“越来越”、“一个劲地”等意思,与用法“2”同。)

○こうなった以上,闘うばかりだ。(“只有”的意思。)

○病状は急速に悪化するばかりだ。(“越来越”的意思。)

○雪はますますはげしくなるばかりで,ちっともやみそうにない。(同上)

○五十を越えると,白髪はふえるばかりだ。(同上)

2. ……とばかりに……。 (表示虽然没有说出来,但有某种情形。与用法“3”同。)

○わたしが話しかけたら,あの人はいやだとばかりによこをむいてしまった。(“とばかり”意为“满脸……的神色”。)

○会議が開かれると,彼はこの時とばかりにいろいろ提案を出した。(“とばかりに”意为“认为……是机会”。)

○敵の銃声がやんだ。戦士たちは今だとばかりに敵陣につっこんだ。(“とばかりに”同上。)

○全社中にきこえよとばかりに叫びつづけた。(“とばかりに”意为“几乎要”、“简直要”。)

3. 副詞＋とばかり(に)……。 (强调语气,与用法“3”同。)

○どおとばかり倒れた。

○あつとばかりにとびあがった。

○群衆がわつとばかりおしよせてきた。

4. ……たいばかりに。(“たい”是希望助动词,表示由于某一愿望,而做了一件平常不做的事情,与用法“4”同。)

○国慶節の夜の花火が見たいばかりに,農村からわざわざやって来た。

5. ……ばかりでなく……; ……ばかりか……。意为“不仅……而且……”,“岂但……而且……”。ばかりか比ばかりでなく

语气更重一些。用例见用法“1”。

## 十二 だけ(附のみ)

### (一) 接续法

だけ接在体言、副词、助词以及活用词连体形后面。

### (二) 意义和用法

1. 表示限定一定的范围和数量。相当于汉语的“只”、“仅”的意思。

○みんな出かけて、私だけうちにいた。

○この作文は漢字をつかわないで、ひらがなだけで書いてください。

○それだけはしないでください。

○友達とだけ相談してきた。

○成績だけをならべて欠点にはふれない。

○体が大きいだけで、力はない。

○考えてみただけでも、恐ろしい。

○当時のような状況のもとでは、病気は病人自身にとって苦痛なでなく、戦友たちを心配させた。

○八人のうち、三人だけフランス語ができます。

○一冊だけ借りてきた。

○賛成者はたった一人だけしかいなかった。

2. 表示限于某种程度。

(1) 表示一般的程度。

○それだけ日本語を話せば間に合います。

○この問題に関心を持つ人はどれだけあるでしょうか。

○この店にあるかどうか、見るだけ見てみよう。

○入用なだけもっていきなさい。

(2) 表示最高的程度。

○どうぞおすきなだけ、めしあがってください。

○あの人はお金があるときには、あるだけ使ってしまうく

せがある。

○できるだけ努力してみましょう。

(3) 用“……ば……だけ……”、“……ばそれだけ……”等形式,表示前后两项事物的程度完全吻合。随着前项程度的变化,后项程度也相应地变化。

○人数が多ければ,それだけ力も大きくなる。

○いちどつまずけば,それだけ利口になる。

○努力すれば,するだけ成績があがる。

○建物が高いだけそれだけながめがいい。

(4) “……だけのことはある”表示“それだけのねうちはある”相当于汉语的“值得”。

○この本は読むだけのことはある。

○いろいろなことがわかって,時間をかけて調べただけのことはありました。

○いっしょけんめいに勉強しただけのことはあって,今度の試験はよくできた。

(5) “……だけあって”表示“それだけのねうちがあって”、“それにふさわしく”,相当于汉语的“正因为”、“不愧为(是)”等意思。

○あの外国人は日本に長くいるだけあって,日本語がとても上手です。

○あの人はスポーツの選手だけあって,体格がいい。

○日本人が自慢するだけあって,さくらの花は美しい。

○この品物は質のよいだけあって,ねだんも高い。

(6) 用“……だけある”的形式结句,表示“不愧为”、“毕竟是”等意思。

○さすがに彼は軍人だけある。

○さすが労働模範だけある。

(7) “……だけに……”的形式表示“……だから,いっそう

……”的意思，相当于汉语的“正因为”的意思。

○年をとっているだけに，父の病気はなおりにくい。

○期待が大きかっただけに，失望も深かった。

○試験の前だけに，かぜをひかないように気をつけてください。

○機械の精密度が高いだけに，製造の技術も複雑である。

○いつも体が丈夫なだけに，一度病気になると危険だ。

注意：

1. 表示原因的“ばかりに”和“だけに”。

ばかりに一般接在动词“た”后面，表示某项既成事实的因果关系，而作为后项的结果通常是不好的、消极的。这里的ばかり是限定范围的用法，表示原因只限于某一点，所以通常是带有“只不过”、“只因为”的语气，从而后项自然地带出不良的结果的时候较多。

だけに的接续范围很广，作为因果关系的后项，不一定就是既成事实，后项也无所谓消极或积极。这里的だけ表示的是程度，表示前项的程度和后项的程度是相对应的，从而だけに表示原因时，也表示这种程度相等的因果关系，译成中文是“正因为……（才）……”的语气。

ばかりに和だけに的例句请参见前面的用法分析。

2. 接在数词后面的ばかり和だけ。

ばかり接在数词后面时一般是概指的意思，即表示大概的数量、程度，因此带有“大约”、“左右”、“前后”、“上下”等意思。

だけは明确地限定数量、程度，是“只有”、“仅”的意思。

试比较：

○一カ月ばかり（一个月左右）　一カ月だけ（仅一个月）

此外，“二人”、“三円”、“五冊”之类的数词后面一般只能后续表示明确限定的だけ，表示数量很少的意思，从而往往可以构成“……だけしかない”的句型，这种用法是ばかり所不具备的。

反之，“すこし”、“わずか”、“ちょっと”等副词虽然也是数量很少的意思，但表示的程度是含糊的，因此一般后续概指某种程度的ばかり，意为“一点点”、“一些”、“少许”，但一般不后续だけ。

## (附) のみ

のみ多用在文章语里,很少用于口头谈话。

のみの接续法与だけ相同。从意义上来说主要是限定范围,相当于汉语的“仅”、“只”、“唯有”的意思,即与だけ、ばかり表示限定范围的情况相同。

○学歴のみを問題にすべきではない。

○一週間水のみで生きのびた。

○用意は全部できた。あとはただ決行するのみだ。

○試験でいい点をとるのみ考えているようでは,学校で勉強する意味がない。

○あたりは静かであたは波の音のみ聞こえる。

“のみならず”作为一个惯用词组,相当于“だけでなく”的意思,意为“不仅”、“不但”。

○この問題は,われわれのみならず日本国民全体の問題として考えるべきだ。

○彼は英語のみならず,フランス語,ドイツ語にも才能を認めしている。

“のみならず”还可以作为接续词用。

○彼は失業に苦しんでいる。のみならず,病気にも苦しめられている。

“のみか”也可以表示“のみならず”的意思,语气更强调。

○われわれは頭をさげないのみか,最後まで戦わねばならぬ。

## 十三 きり(ぎり)

### (一) 接续法

きり接在体言和活用词连体形后面,讲话时接在体言后面的きり可以讲成“ぎり”、“つきり”。

### (二) 意义和用法

1. 限制事物的程度、分量，相当于汉语的“仅”、“只”、“限于”的意思。

○もうこれきりですよ。(これぎり)

○一人きりになってしまった。

○美しいきりで，何の役にも立たない。

○部屋には机が一つあるきりで，ほかにはなにもない。

2. 以“……きり……ない”的形式，表示“……だけある”的<sup>2</sup>意思，相当于“……しか……ない”的用法，きり也可以和しか重迭使用。

○京都へはまだ一度きり行ったことがない。

○お米はもうこれぎりしかなかったのかね。

3. 表示最后的界限，与否定的谓语相呼应，意味着“从那以后再也不(没有)……”或“仅仅……而不(没有)……”，常用“……(た)きり……ない”的形式。

○あの人はそれぎり見えない。

○卒業の年に行つたきり，学校に行かないけど，先生もずいぶん変わったでしょうね。

○あの人から本を借りたきりで，まだ読んでいない。

○何を聞かれても笑っているきりで，だまっていた。

○三年前に別れたきり，一度も会つたことがありません。

#### 十四 くらい(ぐらい)

##### (一) 接续法

くらい接在体言、副词、助词以及活用词连体形后面，くらい主要用于口头讲话，用くらい还是用ぐらい主要取决于个人的习惯。

##### (二) 意义和用法

###### 1. 表示程度。

(1) 表示程度、分量，相当于汉语的“大概”、“大约”、“上下”、“左右”。

○「あなたの家から学校までどのくらいかかりますか。」「二十分くらいかかります。」

○一時間くらいは待とう。

○あなたは毎月いくらくらいお金を使っていますか。

(2) 表示某种状态的程度，相当于汉语的“差不多”、“几乎”、“大概”。

○富士山はこの山と比べものにならないくらい美しい。

○嬉しくてしばらくはものも言えないくらいでした。

○彼女は成績も意気込みも男にまけないくらいでした。

○やっと車が一台通れるくらいの狭い道だった。

(3) 表示比较的基准的程度。

○それはリンゴくらいの大きさですか。

○私もあなたくらい日本語ができるといいね。

○あの人くらい親切な人はすくない。

○秋くらい空のきれいな時はない。

○外国で病気をするくらい心細いことはない。

○やっと退院したくらいだから，とても働けない。

2. 表示限度，举出一些最起码的、最低程度的、分量最轻的事项，有时带有轻视的语气。

○両親にくらい話しておくべきだ。

○私も英語くらいならなんとか話せる。

○この外国人はこれくらいの本はらくに読めます。

○いくらお金がないと言っても百円くらいは持っているでしょう。

○おぼろをした時でも，顔くらいはあらっていきなさい。

○おなかがいたいくらいで泣く人があるか。

○途中でやめるくらいなら，やらないほうがいい。

○降参するくらいなら，死んだ方がましだ。

注意:

1. くらいの部分用法和ほど相似, 其比较见本节“十五ほど”部分。
2. くらい还可以表示“……ごろ”的意思。如:  
○日曜日くらいから練習を始めよう。

## 十五 ほど

### (一) 接续法

ほど接在体言、助词以及活用词连体形后面。

### (二) 意义和用法

ほど主要表示程度。

1. 表示程度、分量, 与くらい、ばかり的用法相同, 相当于汉语的“大概”、“大约”、“上下”、“左右”等意思。

- 会場にはまだ十人ほど残っている。
- ビールを一ダースほど用意した。
- あれは西山の二倍ほどの高さの山だ。
- 一日にどれほどの収入がありますか。
- 単語をしらべるのにこれほど時間がかかるとは思わなかった。

2. 表示状态的程度。

- 屋根がとぶほどの風が吹いた。
- きのうは足がいたくなるほど歩きました。
- 目がまぶしいほど輝いている。
- 猫の手を借りたいほど忙しく仕事をしている。
- 子供のけんかです。親が出ていくほどのことではありません。
- 田中さんの病気はあなたが心配したほどのことはないようだ。

3. 表示比较的基准的程度。

- 今年は去年の夏ほどあつくはない。
- まえに聞いていたほどいい景色ではない。



○わが国ほど人口の多い国はない。

○この学校では田中さんほど頭のいい人はいません。

4. 表示条件性的程度,作为条件一方的程度的加深,与其相对应的另一事项的程度也就越深,常用“……ば……ほど……”的形式,相当于汉语的“越……越……”的意思。

○ねだんが高ければ高いほど品がよくなります。

○早ければ早いほどいい。

○日本では北へ行けば行くほど寒くなる。

“……ば……ほど……”的形式有时也可以改用“……ほど……”的形式,意思不变。

○発展がはやいほどいい。

○体が丈夫なほど仕事ができる。

○困難なところへほど進んでいく。

注意:

ほど和くらい都可以表示程度,而且都可以表示大概的程度,在一般性场合(不带讲话人感情色彩)两者可以替换使用,例如:

○講演会に三百人くらい(ほど)集まった。

○一カ月くらい(ほど)かかりました。

ばかり(见本节“十一”)也有这种用法,都是表示大约、大概、上下、左右的意思。

○どれくらい(ほど)かかりますか。

这句话不可以用ばかり,即不可以讲“どればかり”,但可以讲“どれだけ”。此外,これ、それ、あれ后面都可以接くらい、ほど、だけ、ばかり。

但是,くらい除了表示这种一般性的大概的程度之外,往往还可以带上讲话人的感情色彩,如くらい表示“限度”(见くらいの用法“2”)的情况,是举出一项起码的、最低程度的、分量最轻的或者带有轻视语气的事项,这种用法是ほど所不具备的。例如:

○両親にくらい話しておくべきだ。(ほど×)

○これくらいの本はらくに読める。(ほど×)

○いくらお金がないと言っても、百円くらいは持っているでしょう。(ほど×)

○たまには手紙の一本ぐらいよこしなさい。(ほど×)

○一人ぐらい人数が足りなくても大丈夫です。(ほど×)

くらい本来是表示大概程度的，通常情况下不能用来接在“一人”、“一本”、“一冊”之类的数词后面，只有表示最低限度的时候才可以这样用，譬如上面例句中的“手紙の一本ぐらい”、“一人ぐらい”，意为“封把信”、“个把人”。由于くらい有这种意思，还可以接在副词“ちょっと”“すこし”后面。ほど没有这种用法。

くらい可以直接接在连体词この、その、あの、どの后面，如“どのくらい時間がかかりますか”，ほど没有这种用法。

くらい可以后接副助词ずつ，如“三百円くらいずつ分担しよう”。ほど没有这种用法。

ほど除了表示一般性的大概程度之外，也可以带上讲话人的感情色彩，表示分量之多，程度之甚（くらい有时也可以表示程度之甚的语气）。

○ビールをオーダーほども用意したが。(ほど在这里意味数量多。这句话也可以改用くらい，但只能表示大概的程度，从而くらい后面就不可以后续も。)

○きのうは足がいたくなるほど歩いた。(ほど表示程度之甚，改用くらい也有这种语气。)

○きのうの試験ほどむずかしい試験はない。(ほど意义同上，改用くらい有些勉强。)

但是，如果用“……ほどのことではない”、“……ほど……ない”表示事情“还不至于……地严重”、“还没有到……地步”的时候，则不能改用くらい。

○泣いて残念がるほどのことではない。(くらい×)

○今年は去年の夏ほど暑くない。(くらい×)

○心配したほどのことはなかった。(くらい×)

此外，“……ば……ほど……”表示“越……越……”的意思(用例见ほど的用法分析)，不可以改用くらい。

## 十六 など(附なんぞ、なぞ、なんか)

### (一) 接续法

など接在体言、副词、助词以及活用词连体形后面。

### (二) 意义和用法

1. 表示例示，意为“……之类”、“……什么的”。

○あまり家にいないで、たまには公園などへ散歩に行った方がい。

○毎日いそがしくて、本など読む時間がない。

○家が貧しかったので、小遣いをほしいなどと思ったことがない。

○あまり急ぎなどなさるなよ。

○私は歌いなどいたしませんでした。

“急ぎなどなさる”、“歌いなどする”的用法是把“など”接在动词的连用形后面，后面的“する”、“なさる”是补助动词。

2. 表示概括，在列举几个事物以后，于最后一个事物后面加上など进行总的概括。相当于汉语的“……等等”的意思。

○田中さんは英語，フランス語，ドイツ語，中国語などを話すことができる。

3. 表示轻视或谦虚的语气，带有一种“あまり大したものではない”的语气。

○君はいつもうそばかりついているから，君の言うことなどだれも信用しない。

○こんなまずい料理など，とても食べられない。

○私のことなどどうぞご心配なく。

○私など出席しなくてもいいでしょう。

#### (附) なんぞ、なぞ、なんか

なんか和なんぞ、なぞ分别从なにか、なにぞ转化而来，与などの用法基本相同，など是比较郑重的讲法，なんか比较随便，多用于口头讲话中，なんぞ、なぞ是比较粗俗的讲法，なんぞ多为老人使用。

##### 1. 例示

○ぼくは野球なんか大好きだ。

○朝寝なんぞ(なぞ)するのはなまけものだ。

## 2. 概括。

○若いうちは、酒やたばこなんぞ(なぞ)飲まないほうがいい。

○ぼくは絵や音楽なんかにあまり興味が無い。

## 3. 轻视或谦虚。

○あなたにくらべたら、私なんかまだまだ努力が足りません。

○君なんか(なんぞ, なぞ)とても辛抱できないよ。

○おまえなんかの言うこと、誰が聞くものか。

## 十七 ずつ

### (一) 接续法

ずつ接在数词、程度副词和部分表示程度的副助词后面。

### (二) 意义和用法

1. 表示等量重复, 意味着相等程度、份量的事物反复出现。

○毎日三時間ずつ勉強しています。

○毎日牛乳を一本ずつ飲んだ方がいい。

○この時計は一日に五分ずつおくれる。

○日本語がすこしずつ上手になりました。

2. 表示等量分配, 用“……に……ずつ……”的形式, 意为“每……”、“各……”。

○みなさん、この紙を一枚ずつ持っていきなさい。

○子供たちに鉛筆を五本ずつやった。

○みんなですこしずつ金を出しあって、病気の友だちに花をおみやげにあげます。

○これからは二週間に一課ずつ教えていくのだ。

## 十八 やら

### (一) 接续法

やら接在体言、副词、助词以及活用词终止形后面。

### (二) 意义和用法

1. 表示不定。接在疑问词后面,表示不确切的语气。

○そこになにやら落ちていますよ。

○誰やらがそう言った。

○また手袋をどこへやら忘れてしまった。

○いつの間にやら雨が降り出してしまいました。

○どこのどなたやらさっぱり分らない。

やら接在一般的体言后面也可以表示不定的语气。如:

○兄は仙台やらへまいりました。

○藤原やらから聞いた。

2. “……とやら”的形式表示不确切的传闻的内容。

○田中さんとやらおっしゃる方がいらっしゃいました。

○あの人は、今、目黒の東町とやらに住んでいるそうです。

○年回りが悪いとやらで話は中止になった。

3. 表示并列、列举两件以上的事物,而且带有暗示其他类似事物的语气。

○おかしやらくだものやら,おなかいっぱいいただきました。

○歌うやら踊るやら,とても賑やかだった。

○恥しいやらきまりが悪いやら,どうしてよいか分らなかつた。

○赤くやら青くやらさまざまに塗ったのが見える。

用“……のやら……のやら”的形式列举意义相反的词句,带有不知是其中的哪一类的语气,后接词多是“分らない”。

○来るのやら来ないのやら,さっぱり要領をえない。

○田中さんはうれしいのやらかなしいのやらわからないような顔をしている。

## 十九 や

(一) 接续法

や主要接在体言后面,有时也接在活用词终止形或部分助词

后面。

(二) 意义和用法

や主要表示并列、列举两个以上的事物，往往带有暗示此外还有类似的事物的语气。

- そこには、本や新聞や雑誌などがある。
- 大きいのや小さいのやたくさんある。
- 読むや書くやで暇がない。
- あれやこれやと考えてみたが、わからない。

注意：

や还有接续助词的用法(参照第三节“八”)，还有终助词的用法(参照第五节“十二”)。

## 二十 か

(一) 接续法

か接在体言、副词、助词以及活用词终止形后面。

(二) 意义和用法

1. 表示不定。接在疑问词、不定词后面。

- 何かかほしいものがありますか。
- 本当に困ったら誰かが助けてくれるだろう。
- いつかは分ることだ。
- どこからか、きれいな音楽がきこえてきた。
- 今日はいくらか暖かいようだ。
- 捨てておかないで、何とかしなさいよ。
- 秋山はどうかしただろう。
- きょうはなぜかさびしいんです。
- この汽車に乗るのも何年ぶりかです。

2. 接在疑问词以外的各种文节后，表示不确切的推断。

- あの人は田中さんとかいう人です。
- 時間がはやすぎたのか，会場にはまだ誰も来ていない。
- 寝不足のためか頭がいたい。

○こよみの上では今日から春だ。気持のせいか、昨日よりあたたかく感じられた。

○近いうちに一度家へ帰るかも知れない。

○以上の事情があつてか彼は口をきかなかつた。

3. 表示选择。从列举的几个事物中选择某一个，通常是并列两个事物，用“……か……か……”的形式，最后一个か的后面如果接有格助词、副助词或助动词だ、らしい等的时候，可以省去か。

○土曜日か日曜日に伺います。

○こんどのクラス幹事は木下君か上山君(か)でしょう。

○ごはんにするかマントにするか，早く決めたまえ。

○あのかたには二度か三度お会いしたことがあります。

○明日もまたくもりか雨でしょう。

○答えはイエスかノーか，二つに一つです。

用“……かどうか”的形式表示“(是)还是(不是)……”的意思。

○学校はあした休みかどうかまだ分かりません。

○できるかどうかいまのところ分らない。

用“……か……(疑问词)か”的形式表示不确定的事物。

○コーヒーかなにかか飲みましょう。

○それは田中さんか誰かがやってくれるそうです。

○デパートかどこかで買いましょう。

用“……(する)か……(し)ないか(のうちに)……”表示两件事实紧接着(几乎是同时)发生，意为“正当……的时候……”。

○家につくかつかないかに，雨が激しく降りだした。

○答案を書き終えるか終えないかのうちにベルが鳴った。

## 二十一 の

### (一) 接续法

の接在体言、副词、助词以及活用词终止形后面。

### (二) 意义和用法

表示并列。通常是并列两个事项，后面接“という”的情况较多，或相当于“という”的意思的词句，相当于汉语的“(什么)……啦、(什么)……啦”。

○あるのないのと言(げん)を左右にする。

○やれ忙しいの，やれ金がないのとこぼしてばかりいる。

○生きるの死ぬのと大騒ぎした。

○どうのこうのとむずかしいことばかり言う。

○行くの行かないのとみんなの意見がちっとも決まらない。

○きたないのきたなくないの，まったく話にならない。

○いたいのなんのって，とても我慢ができないぐらいだった。

## 二十二 だの

(一) 接续法

だの的接续法和の相同。

(二) 意义和用法

だの的的意义及用法和の(本节二十一)基本上相同。

○このクラスには中国人だの，タイ人だの，インドネシア人だのいろいろな国の学生がいます。

○行けだの帰れだの，まるで無定見じゃないか。

○おかしだの，くだものだのといろいろ食べたので，おなかがいっぱいです。

○へや代が高いだの，食事がまずいだのと文句ばかり言う。

○きれいだの，すきだのって言わないでなんでも食べなければいけません。

## 二十三 とか

(一) 接续法

とか接在体言和活用词终止形后面。

(二) 意义和用法



とか主要表示并列,列举两个以上的事物,相当于汉语的“…啦……啦”的意思。

○箱根とか日光とかは,日本へ旅行する人の必ず訪れる所です。

○私は映画とかしばいとかいうものはあまり好きじゃありません。

○休みにはテレビを見るとかラジオを聞くとかして,時間をすごしています。

○この品については,いいとか悪いとか,みんな違ったことを言っている。

○なんとかかんとか言って,なかなか働かない。

用“……とかいう”表示不确定、不确切的记忆。

○天気予報では,あしたは雨になるとかいう話しです。

○私のいないときに,山田さんとかなんとかいう人が訪ねてきたそうです。

○だいぶ前に読んだので,はっきりおぼえていませんが,「春」とかいう小説がありましたね。

○彼はいま病気しているとか聞いている。

二十四 っ、たら(ったら)、てば(ってば)、なんて

っは是由と言って转化的;たら(ったら)是由と言ったら转化的;てば(ってば)是由と言えは转化的;なんて是由などと转化的。这些词通常起到一个助词的作用,具有相当于格助词、副助词、终助词的作用的用法。

(一)っ

1. 作格助词用,表示内容,相当于“と”或“という”的意义(参照本章第二节格助词と的用法)。

○「ごめんなさい」って言えばいいんです。

○つまらないじゃないかっって思ったんですけど,わりにおもしろかったわ。

○あした八時に来るって田中さんにつたえてください。(以上用法相当于“と”。)

○山田さんって人はどこの大学を卒業したの。

○あした帰るって話だよ。

○今日は休みだってこと、忘れてしまったんです。(以上用法相当于“という”。)

2. 作副助词用, 相当于“というのは”的意思。

○あの一のおかあさんってどんな人かしら。

○彼は試験に落ちたってほんとうかい。

○富士山って遠くから見ているほうがきれいね。

3. 作终助词用, 主要是介绍别人的话, 用于句末, 相当于“ということだ”的意思, 有时还可以用“だって”的形式。

○あの方は来月に帰国なさるのですって。

○天気予報によると, 明日はいい天気になるって。

○医者になったんだってね。

○あの人に聞いたら知らないだって, 知らないはずはないのに。

って作终助词用时还可以用来重复别人刚讲过的话, 表示反问, 带有希望对方证实前面说过的话是否真实的语气。

○「もう全部おわりました。」「えっ, もうおわったって, ずいぶんはやいな。」

○え, 何ですって?

○やめたって, いつなの。

4. って用于句中, 相当于“といって”的意思, 通常是把别人讲过的话重复一遍, 或作为话题提出。

○買い物に行くって出かけましたよ。

○なぜかって, そう簡単に理由は説明できない。

○すぐ行けっても, こっちにも都合があるし。困ったなあ。

○あれは誰かって, ぼくだって知らないよ。

## (二)たら(ったら)

1. 作副助词用,提示某一话题(多指人物),含有指责的语气。

○おとうさんたらまだ帰っていらっしやらないの。

○私ったらまたまちがえちゃった。

○君ったら,ぼくがこまっけていてもちっとも助けてくれな  
いんだね。

○このとけいったらすぐとまっけてしまっけてだめなんだ。

这种用法可以用来提示某种程度、状态,带有惊讶或感到这种  
程度超越普通的想象的语气。

○彼の足の早さったら,クラス一番だ。

○お父さんの慌てようたらなかつたね。

○役所仕事って時間がかかるたらなかつたね。

2. 作终助词用,用来招呼并催促别人(按自己的要求做某一  
件事)。

○早くきてよ。お母さんったら。

○ねえ,一緒に行こうったら。

○やめてよ。ね,いやだったら。

○いいかげんに寝なさいったら。もう一時すぎてますよ。

作终助词用时还可以表示劝诱或婉转的命令。

○走ってみたら。

(三)てば(ってば)

1. 作副助词用,提示某一话题。提示人物时较多,含有指责  
的语气。

○おかあさんてば,おこってばかりいるから,きらいだわ。

○私ってば,どうしてこんなに頭が悪いんでしょう。

○あの人てば,また宿題を忘れたのよ。

2. 作终助词用,用来招呼或催促别人(按自己的要求做某一  
件事)。女性或儿童用语。

○早くしろってば。

○静かにしろってば。

○ちょっと待っててば，いますぐ行くから。

○早く持ってきたさいってば，聞こえないのか。

○おかあさんてば，いいでしょう。

(四) なんて

1. 作格助词用，表示内容，相当于“などと(いう)”的意义，带有责备、轻视的语气。

○いまさら行かないなんて言にくいよ。

○よく考えもしないで分らないなんて言うのは，いけないことだ。

○君はどうして私がこわしたんじゃありませんなんてうそをつくのだ。(以上用法相当于“などと”。)

○私は山田なんて学生は知りませんね。

○駅の売店で新聞を買おうとしたら，「競馬新聞」なんて新聞しか売っていなかった。(以上用法相当于“などという”。)

2. 作副助词用，提示某一事物，含有轻视或意外等语气。

○歌なんて男一生の仕事ではないよ。

○論文を書くなんてつまらんよ。

○音を立ててスープを飲むなんてみっともないからやめてください。

○私は映画なんてすこしもおもしろいと思いません。

○私になんて相談する必要はない。

○女をなぐるなんて男のすべきことではない。

○いま雨が降るなんて信じられない。

○彼女がそんなことを言うなんて。

## 二十五 ぞ

ぞ本来是文语助词，在口语里也有出现。用法如下：

(一) 接在疑问词或不定词后面，大部分可以用“か”代替。

○なにぞおもしろいことはないか。

- どこぞ静かなところへ行きたい。
- だれぞ来てもらいたい。
- いつぞやお目にかかったときに……。
- なんぞおいしいものはありませんか。
- 誰ぞその仕事を引き受けてくれる人はいませんか。
- (二)接在各种词后面,加强语气。
- これぞということもなかった。
- これぞと思ったら,かならずやりとげなさい。
- よくぞ訪ねてくれた。
- あそこへはついぞ行ったことがない。

注意:

终助词里也有ぞ。

### 練習問題三十一

一、次の文章の( )の中に,副助詞「は」あるいは格助詞「が」のどちらかを入れなさい。

庭の,ある木に私(①)肥料をやった。と,その翌年には,その木(②)非常な勢いを見せて,葉(③)こんもりと枝いっぱい茂った。見るもいい気持であった。ところが,五月のはげしい風にあって,ほかの木(④)ちゃんとしているのに,その木ばかり(⑤)いくじもなく倒れてしまった。根(⑥)肥料にゆるんでいたのである。それに,あまり勢いに乗じた葉の繁茂(⑦)はげしい風をいっそうはげしく受けるようになったのである。「おもしろいものだね。」こう私(⑧)家の人に言った。

二、次の各文の( )の中に,「は」か「が」のどちらかを入れなさい。

1. むかし,むかし,ある所におじいさんとおばあさん( )ありました。ある日,おじいさん( )山へ柴刈りに,おばあさん( )川へ洗濯に行きました。

2. 私( )出かけようとするときに彼( )やってきた。
3. 僕( )頭( )痛くなった。
4. 私たち( )落葉( )一面に散り敷いている道を歩いて行った。
5. 私( )心配したほどあの人( )気にかけていなかった。
6. 文房具屋( )たばこ屋のとなりではありません。
7. お父さん( )帰ってきたら、すぐ私に電話をかけてください。
8. いいえ、私( )田中です。あのめがねをかけた人( )山田さんです。
9. もしも、お父さん( )いらっしゃいますか。
10. きのう、芳子という人( )あなたに会いたいと言って来ましたよ。

三、次の文の誤りを正しなさい。

1. 私はとった写真を先生はたいへんほめてくれました。
2. お父さんは帰って来られたら、私に知らせてください。
3. 私の家族は、戦争は終わったとき、大連にいました。
4. 中国が広いから地方によって春節の祝い方が違う。
5. 中之島図書館へ行った。中之島図書館が、淀屋橋を渡って、東へ曲がり、歩いて一分ほど行ったところにある。
6. 図書館の二階のまん中に、本の目録を入れた箱は並んでいる。

四、次の文中の( )の中に、末尾の( )の中から適当なことばを選んで入れなさい。

1. 不熱心だと( )考えられない。(さえ、しか)
2. 誰に( )できるかという、そうはいかない。(さえ、だって)
3. 中国では、解放前、小型船( )つくれなかった。(さ

え、でも)

4. 棚の上に( )おいてくれ。(でも、だって)
5. 敵を一步( )前進させない。(さえ、も)
6. 百キロ( )あろうかと思われる石を持ちあげた。(も、

でも)

7. 子供に風邪を引かせ( )すれば大変だ。(も、でも)
8. お茶はいくら( )残っていない。(も、でも)
9. ほしければ、いくら( )持っていきなさい。(も、でも)
10. 一度( )まけたことはない。(も、でも)

五、次の各文の( )の中に、「ばかり」「だけ」「くらい」「ほど」の中から一つ選んで書き入れなさい。

1. 落第したからといって、死ぬ( )のことではない。
2. 来月( )までに提出してください。
3. 雪はますますはげしくなる( )だ。
4. 時間があいているのは木曜日の午後( )だ。
5. 仕事山( )ある。
6. この茶はかおりのよい( )に、ねだんも高い。
7. あなたが大声を出した( )に、子供が起きてしまった

わ。

8. すこし痛い( )は我慢しろ。
9. この( )の大きさの袋はありませんか。
10. それ( )難しくない。
11. ある( )の書物を貸してやった。
12. 泣いて( )いないで、わけを話しなさい。

六、次の中国語を、( )の中にある副助詞使って、日本語に訳しなさい。

1. 太郎既不说去,也不说不去。(も)
2. 我们是骗不了,也吓不倒的。(も)
3. 十几年来我一次也没有回过家。(も)

4. 成千上万的人发出了欢呼声。(も)
  5. 尽管没有责骂,可的确是生气了。(こそ)
  6. 岁数虽然大了,可精力并不亚于年青人。(こそ)
  7. 只有自己干才会明白。(こそ)
  8. 坐车都没有赶上,若是走着去就更不用说。(さえ)
  9. 忙得连喝口茶的时间都没有。(さえ)
  10. 太难了,我一时甚至想不干了。(さえ)
  11. 只要结实,就会受大家欢迎。(さえ)
  12. 不管哪里,你想去的地方就去吧。(でも)
  13. 哪怕稍微有一点疏忽大意,也许就会输掉的。(でも)
  14. 或是打个电话联系一下怎么样。(でも)
  15. 无论到四点还是到五点,等到你来为止。(だって)
  16. 去也好,不去也好,要赶快决定。(なり)
  17. 这几天尽下雨。(ばかり)
  18. 光骂孩子不是教育。(ばかり)
  19. 我一直以为她是您的女儿。(ばかり)
  20. 眼看就要着起火来。(ばかり)
  21. 村子里的人高兴得几乎要跳起来。(ばかり)
  22. 他不仅不反对,还鼓励了我。(ばかり)
  23. 你见见他吧,哪怕见一面也好。(だけ)
  24. 能说的都说了。(だけ)
  25. 到底是现场调查过了,这个设计方案真不错。(だけ)
  26. 正因为工作是艰巨的,所以也是光荣的。(だけ)
  27. 长江大桥值得一看。(だけ)
  28. 昨天忙得几乎没有喘气的時間。(くらい)
  29. 大约还要花两个月左右的时间才能完工。(くらい)
  30. 打扫自己的房间这样的小事情,还是自己去干吧。(くら
- い)
31. 为了查单词花了一个小时左右的时间。(ほど)



32. 风刮得连房顶都快要给掀掉了。(ほど)
33. 日语的发音不象英语那么难。(ほど)
34. 越是受压迫,反抗心越强。(ほど)
35. 那家店里出售书和杂志等出版物。(など)
36. 这么点小事就说受不了什么的,那可不行。(など)
37. 病一点点地好起来。(ずつ)
38. 两个人一直谈到天亮。(まで)
39. 请你明天上午十点钟以前来。(まで)
40. 孩子吵架连大人也出来了。(まで)
41. 哥哥离开家,再也没有回来。(きり)
42. 梅花啦樱花啦各种各样的花都开了。(や~や)
43. 昨天我买了几本书。(か)
44. 请你明天或是后天再来。(か~か)
45. 能不能去,回头打电话告诉你。(か~どうか)
46. 正要开始比赛的时候,下起雨来了。(か~くないか~のうちに)
47. 水果店里有桔子、香蕉等各种水果。(とか~とか)
48. 一个叫田中什么的人说是要见你。(とか~いう)
49. 干那种事实在太愚蠢了。(なんて)

### 課外練習 (第七章 助詞 第四節 副助詞)

一、次の各組の a と b の文ではどういう意味の違いがあるか、分りやすく説明せよ。

1. a これは私の本です。b これが私の本です。
2. a 田中君は来たよ。b 田中君が来たよ。
3. a 風邪をひいては学校をやすむ。b 風邪をひいて学校をやすんだ。
4. a 先生にでも相談してみたらどうでしょうか。b 先生に

相談してみたらどうでしょうか。

5. a 誰とでも喧嘩するんじゃないありませんよ。b 誰でも喧嘩するんじゃないありませんよ。

6. a この仕事は日曜日までにする。a この仕事は日曜日にまでする。

7. a 金属でさえあればいい。b 金属さえあればいい。

8. a 石けんは良質の油脂でだけつくれる。b 石けんは良質の油脂だけでつくれる。

9. a 会議は十一時半に終わる予定です。b 会議は十一時半までに終わる予定です。

10. a 図書館へ行っては本を借ります。b 図書館へ行って本を借ります。

二、次の各文の( )の中に副助詞「は」あるいは格助詞「が」のどちらかを入れなさい。

1. 日( )高くなると、霞( )だんだん消えて行った。

2. 世間ではあの人( )悪く言われるが、私( )そうは思わない。

3. 馬に角( )生えるなんて、そんなこと( )あるものか。

4. お母さん、西の空( )まっかよ。どこが火事じゃない?

5. そんなことを言った人( )だれですか。

6. 身分( )賤しくても、心( )正しい。

7. あいさいふ( )ない。

8. あなた( )行けば、私( )安心だ。

三、次の日本語を中国語に訳しなさい。

1. 金属でさえあればいい。

2. 遊びに来ては金を持っていく。

3. 高ければ買わないまでのことだ。

4. 事前に準備しただけのことはあって、計画どおりスムーズに行った。

5. 試験の前だけに、かぜをひかないように気をつけてください。

6. さすが労働模範だけある。

7. 葉も枝も燃えるばかりに輝いている。

8. 私が話しかけたら、あの人はいやだとばかりによこを向いてしまった。

9. あなたなら分るかと思ってちょっと聞いてみたまでです。分らなければ、それでいいのです。

10. あの人ぐらい親切な人はすくない。

11. 前に聞いていたほどいい景色でもさい。

12. 前進こそすれ、後退など決してしないぞ。

四、例にならって、次の各文の( )の中のことばから正しいと思うものを選び、その番号に○印をつけなさい。

例：千円(aばかり bまでは cまでも dさえ eすら)持っていません。

1. あなた(aさえ bこそ cまで)賛成してくれれば、ほかの人は不賛成でもかまいません。

2. 一週間で退院できるそうだから、心配する(aほどのふと bぐらいのこと cこと)はない。

3. 小説(aやら bなんか cばかり dほど eぐらい)読んでいて、ちっとも勉強しません。

4. 字がきれいな(aだけでなく bほどでなく cまでもなく bばかりでなく)、文章も上手だ。

5. 雪山に出かけた(aばかりに bばかりで cばかりか)遭難してしまった。

6. あなたに(aさえ bだけ cまで)反対されるんなら、この計画は中止する(aまでだ bだけだ cことだ)。

7. 準備ができる(aまで bまでに)しばらくここでお待ちください。

8. あの子はこれ(aばかり bくらい cほど)の本は楽に読める。

9. 注意さえしていれば, (a何ともない b何でもない cなにもない)やさしい問題である。

10. このごろは八階ぐらいの建物は地方(aでは bでも cさえ)めずらしくない。東京都内(aでも bさえ cでは)四十階の建物(aさえ bでも cでは)たてられた。

## 第五节 终助词

### 一 终助词的性质

接在句末或文节的末尾, 表示感叹、疑问、禁止及其他种种语气的助词叫终助词(終助詞)。

终助词可以接在各种词的后面, 和其他助词重叠时一定是在后面。

终助词主要有以下一些:

か かしら な(禁止) な(あ) ぞ ぜ よ わ ね(え)  
さ や とも え い っけ の こと もの ものか(もんか)

其中, さ、ね、な(あ)这几个词既可以接在句末, 又可以接在文节的末尾, 因此又被称为“间投助词”, 这里不作这种区别。

此外, が、けれど(けど)、のに、に、から、てよ、たら(ったら)って、てば(ってば)等也有终助词的用法, が、けれど(けど)、のに、に、から可参照接续助词的有关部分, 其余可参照副助词的有关部分的讲解。

### 二 か

#### (一) 接续法

か接在句末的动词、形容词、助动词的终止形以及体言、副词、

助词的后面。形容动词以及形容动词活用型助动词等以词干接か。  
助动词だ除了“誰だか(どこだか)分らない”之类的用法之外，一般不可以后续か。

(二)意义和用法。

1. 表示疑问、质问。

○あなたはどなたですか

○君も行くか。

○そんなに腹が立つのか。

2. 表示反问，多以“う(よう)か”、“ではないか”的形式出现。

○果してそうであろうか。

○こんなばかげたことがあるだろうか。

○人の困っているのを、どうしてだまって見ていられようか。

○ここに説明が書いてあるじゃないか。

3. 表示谴责的语气。

○こんなやさしいことも分らないのか，もっと勉強しなさい。

○こんなに朝早く電話をかけるやつがいるか。困ったやつだ。

4. 表示劝诱、请求、征求对方意见，常以“ないか”、“う(よう)か”、“う(よう)では(じゃ)ないか”的形式出现。

○いっしょにあそびに行かないか。

○ちょっとその本を見せてくださいませんか。

○あついから、まどをあけてもらおうか。

○そろそろでかけようか。

○もうおせいから，帰ろうじゃないか。

○もうすこし考えてみようじゃないか。

5. 表示自问，有时也带有感叹的语气。

○もう十二時か。そろそろ寝よう。

○あれ、せっかく買いに来たのに、「本日休業」か。

○ああ今日も雨か。

○なるほど、そうだったか。

6. 用“ないか(なあ)”的形式表示愿望。

○早く夏休みにならないかなあ。

○誰か来ないかなあ。

注意:

か还有副助词的用法,但副助词的か不表示疑问的语气,而且副助词的か构成的文节一定要关联到后面的文节,譬如最后一个例句“誰か来ないかなあ”,后一个か是终助词,前一个か是副助词,“誰か”在这里构成不确定的意思,不是疑问。

### 三 かしら

(一) 接续法

かしらの接续法和か基本相同。

(二) 意义和用法

かしら是由“か知らぬ”转为かしらん再转化过来的,所以有的时候还讲かしらん,主要是女性在关系较亲密的谈话中使用。

1. 表示疑问、没有把握的语气。

○これでいいかしら。

○かぜをひいたのかしら,頭がいたくてたまらないわ。

○これ,だれの忘れ物かしら。

○なんて言ったらいいかしら,うまく説明できないけど。

2. 表示质问。

○この本,あなたのじゃないかしら。

○あなたご存じかしら,田中さんのご住所。

○この列車,いつ頃,大阪につきますかしら。

3. 表示希望。

○毎日雨ばかりでいやね,早くいい天気にならないかしら。

○その本を貸していただけないかしら。

○早くやめてくれないかしら。

4. 表示不定, 接在疑问词后面, 相当于副助词かの用法。

○昨夜誰かしらここに来たでしょう。

○いつかしら元通りになってしまった。

#### 四 な(禁止)

##### (一) 接续法

な接在动词和动词活用型助动词终止形后面, 也可以接在助动词ます后面。

##### (二) 意义和用法

表示禁止。

○つまらない本は, 決して読むな。

○あまり人をばかにしたようなことを言うな。

○わたしが来てもよいと言うまでは, 決して来るな。

○用事のないものは入るな。

○試験に失敗したからって, あまりがっかりするなよ。(な后面接よ, 相当于“~しないほうがいい”的意思, 禁止的语气较弱。)

○彼のことは御心配くださいますなよ。(同上)

#### 五 な(あ)

##### (一) 接续法

な(あ)接在句末的活用词的终止形后面, 有时候也用在句中文节的末尾加强语气。

##### (二) 意义和用法

1. 用于句尾。

(1) 表示感叹。

○今日はすばらしいお天気だな(あ)。

○うれしいな。

○これはずいぶんきたない部屋だなあ。

○これはすまないことをしてしまったなあ。

(2) 表示愿望。

○こんな大きな家に住んでみたいなあ。

○早く夏休みになるといいなあ。

○この天気がつづくとういなあ。

○もう十年若かったらなあ。

(3) 表示肯定的语气。

○あの声は田中さんの声だなあ。

○あすは晴れると思うなあ。

(4) 征求同意或叮嘱对方。男性专用(这种情况女性用ね)。

○きょうはいい天気ですなあ。どこかへ出かけませんか。

○君にたのんだ用事はまちがいなくやってくれるなあ。

○あなたもいっしょに行ってくれるでしょうなあ。

(5) 接在“なさい”、“ください”、“いらっしゃい”、“ちょうだい”等后面,缓和语气,多为女性、儿童使用。

○あそんでばかりいないで、たまには勉強しなさいなあ。

○もう一度聞かせてくださいなあ。

○あすの夜、私のうちへいらっしゃいなあ。

○ちょっと手伝ってちょうだいなあ。

2. 接在句中的文节后,加强语气,增添使对方理解的语气,是男性用语,常用な,也可以用なあ。

○君はな,体が弱いからそこで見てたらいいよ。

○あの人は川田さんといってな,わたしの昔からの友達だよ。

○しかしですなあ,あなたの考えだけが正しいわけではないでしょう。

○はてな,さっきまでここにいたのに,どこへ行ってしまったのだろう。

注意:

接在动词连用形后面的なさい,可以简略为な,也可以作终助词看,是命



令和要求的语气,也可以用“なよ”。

- あしたはもっと早く来な。
- 暗いから電燈をつけな。
- 気をつけておやりな。
- 勉強がおわったらすぐに寝なよ。

## 六 ゑ(男性用语)

### (一) 接续法

ぞ接在句末的活用词终止形后面。

### (二) 意义和用法

ぞ语气较强烈,是男性用语。

1. 用于自言自语的情况,把自己的判断说给自己听。

○あれ、動かなくなっちゃった。おかしいぞ,どうしたんだろう。

○きょうはなまけないぞ。

2. 提醒、叮嘱以至于警告对方注意,强调自己的断言,语气强烈。

○いいか、投げるぞ。

○早くしないと、学校におくれるぞ。

○おい、もう時間だぞ。

○おい、蛇がいるぞ。

○ぼくは帰るぞ。

○二度とそんなことをしてはいけないぞ。

○今度まちがえたら承知しないぞ。

○ぼくはぜったいに行かないぞ。

## 七 ぜ(男性用语)

### (一) 接续法

ぜ接在活用词终止形后面。

### (二) 意义和用法

ぜ的意义和ぞ基本相同,主要用来叮嘱和提醒对方,但ぜ用于对比较亲密的人讲话的情况,语气不象ぞ那么强烈,不能用于郑

重的場合和文章语里。

○だめだよ、今日はデパートは休みだぜ。

○さあ、もうおそいから帰ろうぜ。

○明日の出発は早いぜ。

○そんなことをしたら、あとほうるさかろうぜ。

○知りませんぜ、あとでこまっても。

○君はできないって言うが、ぼくにはすぐできるぜ。

## 八 よ

### (一) 接续法

よ主要接在句末的活用词的终止形后面，也可以接在活用词的其他活用形以及部分助词后面，还可以接在体言后面。

### (二) 意义和用法

1. 用于句末，起强意作用。

(1) 表示主张、叮嘱或引起对方注意。

○あなたが行かなくても、わたしは行くよ。

○とともうまいよ。

○お母さん、僕寒いよ。

○ほしければあげますよ。

○私が言うとおりに書くんだよ。

よ如果直接接在名词、形容动词词干或助词后面时，是女性用语。

○これは山田さんの本よ。

○この話、ほかの人にしてはだめよ。

○まだお金を払ってない人は、あなただけよ。

这几个句子男性使用的話要在よ前面加だ。

此外，“のよ”“てよ”“ことよ”“わよ”也是女性用语。

○もうだめなのよ。

○それを見てよ。

○私おこってよ。

○この話、だれにもいわないでよ。

○そんなにあやまらなくても、もういいことよ。

○よく働くわよ。

(2) 表示怀疑、责难的语气。

○なぜ、ぼくに教えてくれなかったんだよ。

○試験に失敗したぐらいいは何だよ。泣くやつがあるかい。

○どうしたのよ。みんな急に黙っちゃって。(女性用語)

○だれよ。わたしにだまってこれを見た人は。(女性用語)

(3) 表示命令、请求，接在动词和动词活用型助动词的命令形后面，或接在表示禁止和命令的(见本节“四”和“五”)后面，一般是男性用语。

○おそくなるから、早く行けよ。

○そう人に聞いてばかりいないで、すこしは自分で考えよ。

○わたしの言うことをよく聞きなさいよ。

○よく聞いてくださいよ。

○気をつけて帰らなよ。

○来いと言うまでは来るなよ。

(4) 表示劝诱、恳求，接在助动词“う(よう)”后面。

○さあ、おுகれないように早く行こうよ。

○お茶でも飲みましょうよ。

○この問題はみんなで考えようよ。

2. 用于句中，表示呼唤。

○雨よ，どんどん降ってくれ。

○青年よ，労働を愛せよ。

○太郎よ，しっかりやれ。

○なつかしい故郷よ，さようなら。

○もし、もし、亀よ，亀さんよ。

注意:

口語里有时把よ说成よう,是为了加强语气,不是标准说法,有撒娇的感觉。

- 早く来てちょうだいよう。
- これを買ってくださいよう。
- 何を泣いているのよう。

## 九 わ(女性用語)

### (一) 接续法

わ接在句末的活用词的终止形后面,但不接在助动词う、よう、まい后面,也不接在体言后面。

### (二) 意义和用法

わ主要是女性使用,语调偏高,男性也有用的,但要降调。

#### 1. 表示强调,用来调整或加强语气。

- 私はこれが好きだわ。
- あそこに田中さんがいるわ。
- 頭がいたいからどこへも出かけないわ。
- その本は私のですわ。
- 泣いたりしちゃこまりますわ。
- いいわ,これはあなたにあげるわね。

用わよ、わね(え)的形式,前者强调自己的主张,后者希望别人赞成或证实自己的看法。

- 今度の旅行には、わたしも行くわよ。
- あなたがいつまでも来ないので、みんな帰っちゃったわよ。

- いいわよ,いいわよ,そんなにあやまらなくても。
- あの花、ほんとうにきれいだわね。
- きょうはずいぶん寒いわねえ。
- あなたはタイから来た学生だわね。

#### 2. 表示惊奇、感叹的语气。

- まあ、きれいだわ。

○ また降りだしましたわ。

○ 雪が降るわ、降るわ、たちまち一メートルも積った。

○ 家は焼けるわ、病気はするわで、ほんとに苦勞されたらしい。

注意:

“わい”的讲法是男性用语，是上了年纪的人用，表示感叹、惊讶的语气。

○ どうもひどくむしあついわい。

○ これは案外面白いわい。

## 十 ね(え)

### (一) 接续法

ね接在句末的活用词的终止形以及体言、副词、助词等后面，有时说成ねえ，比ね的语气强一些，有时也接在句中文节的末尾。

### (二) 意义和用法

#### 1. 用于句尾。

##### (1) 表示轻微的感叹。

○ やあ、ずいぶんきれいな部屋だね。

○ いいお天気だねえ。

○ この部屋はバカに寒いねえ。

○ それはお気の毒さまでしたねえ。

##### (2) 表示轻微的主张或叮嘱的心情。

○ あの方はきっと成功すると思えますね。

○ それはいけませんねえ。

○ 朝早く起きるためには、夜もっと早く寝ることだね。

○ わたしだってたまにはあそびますよ。そう毎日仕事ばかりしては、体に悪いからね。

○ ここで遠慮はいらないからね。

“からね”用于句末时，から也是终助词的用法。

##### (3) 征求同意，或希望对方确认，促使对方回答。

○ もう一度行きましょうね。

○むかしここにお城があったそうだね。

○あしたはかならずいらっしゃいね。お待ちしてますから。

○山田君、きみの郷里は京都でしたね。

(4) 表示疑問、質問。男性用語。

○わたしにはよく読めないが、ここになんと書いてあるね。

○ここから駅までどれくらいかかりますかね。

○日本へ来て三年も立つのに、まだ平仮名も書けないかね。

○僕の言うことが分らないかねえ、そんなに難しいことは言っていないつもりだけど。

2. 用于句中文节的末尾，加强语气。女性多用。

○あの人ね，とても親切よ。

○それでね，わたしもやめたの。

○しかしねえ，君の考えばかりが正しいわけじゃないだろう。

○きょうはデパートへ行ってね，この洋服を買ってきたの。

○それはですね，昨日や今日問題になったことじゃないんですよ。

○おそくなったと思って大急ぎで行ったら、それがだね，まだ誰も来ていなかったんだよ。

注意：

1. “ですね”、“だね”有时整个用在句中某一文节后面，如前面列举的最后两个例句，这时“です”、“だ”不是助动词（仅用于句中文节末尾）。

2. “たらね”、“とね”用于句末时可以表示愿望。

○煙草さえやめられたらねえ。

○先生がいらっしゃるとねえ。

3. “あのね”用于句首，整个地相当于一个感叹词，用以促使对方注意听。

○あのね，きょう誰か家へ遊びに来ないかしら。

○あのねえ，あれがほしいんだけど。

## 十一 さ

### (一) 接续法

さ接在句末的活用词的终止形以及体言、助词、形容动词的词干后面,有时也接在句中文节的末尾。

### (二) 意义和用法

#### 1. 用于句尾。

(1) 表示轻微的断定,语气较随便。

○ぼくにだってできるさ。

○これだってインクさ。

○それは君のまちがいさ。

○やり方を変えなければ,何度やっても同じことさ。

○もちろん行くか行かないかは君の自由さ。

○ちょっと聞いてみただけさ。別に深い意味はないんだよ。

○まあ,いいさ,どっちみち同じことさ。

○昔,あるところに,おじいさんとおばあさんが,あったさ。(とさ=ということだ)

○やっぱりあの人も行ったんださ。(“ってさ”同上)

(2) 表示质问、反驳。

○そんなにおそくまで,いったい何の仕事があるのさ。

○これも食べてはいけないって,それじゃなにを食べればいいのさ。

○どうしていけないのさ。かまわないだろう。

○どうしろというのさ。何も教えてくれないで。

#### 2. 用于句中文节的末尾,加强语气,促使对方注意。

○それがさ,むずかしくてさ,ほんとうにこまっちゃった。

○あなたださ,そう思うでしょう。

○ねむいんでしょう。だからさ,ゆうべ早く寝なさいと言ったのに。

○急にさ,あの人ったら,大声で笑いだすんですもの。おど

ろいちゃった。

## 十二 や

### (一) 接续法

や接在句尾的活用词终止形及命令形后面，有时也可以用于句中文节的末尾。

### (二) 意义和用法

や主要是男性用语，青少年使用较多，且用于朋友等关系亲密者之间。

#### 1. 用于句尾。

(1) 表示劝诱、命令，表示劝诱时接在助动词う、よう后面，表示命令时接在动词命令形后面。

○もうそろそろ帰らましょうや。

○テニスをしようや。

○明日から早く起きろや。

○君もぜひ来いや。

(2) 表示感叹，用于自己说给自己听、或表示随便怎么都行气的语气场合。

○まあ、いいや。

○むずかしくて、分らないや。

○あなたが行かなきゃつまらないや。

○ぼくはいらないや。

#### 2. 用于句中，表示呼唤。

○花子や，ちょっとおいで。

○太郎や，もうご飯ですよ。

## 十三 とも

### (一) 接续法

とも接在句末的活用词的终止形后面。

### (二) 意义和用法

表示不言而喻的语气，相当于汉语的“当然”、“一定”的语气。



○「あした行くかい。」「行くとも。」

○それはそうだとも。

○いいとも。いいとも。ほしいものはなんでもあげるよ。

○「これはあなたが作ったんですか。」「そうですとも。」

#### 十四 え

##### (一) 接续法

え接在句末的助动词だ、助词かの后面。

##### (二) 意义和用法

え一般只限于老年或中年妇女使用，而且用于关系亲密者之间，现在一般只用于质问、反问の場合。

○どうしたんだえ。

○行ってくれるかえ。

○そのざまはなんですえ。

○そこに立っているのは誰だえ。

#### 十五 い

##### (一) 接续法

い接在动词命令形、形容动词终止形、助动词だ、た和助词か、な、わ等后面。

##### (二) 意义和用法

い主要是男性用语。

1. 表示质问、反问。一般用だ、かい的形式，用于关系亲密者之间。

○それは何だい。

○今日も出かけるのかい。

○あれからどうしたい。

○ぼくに手紙が来ていないかい。

○どうだい。元気かい。

助动词だ后接い的时候，前面一般是疑问词，如どこだ、何だ、誰だ、いつだ、どうだ等。如果前面是别的词，则是少

年的撒娇的话。例如：

○ぼくの絵本だい。

○たこを買うんだい。

2. 表示反驳，带有轻蔑的语气。

○何をしているんだい。早くしろよ。

○ぼくにはできないというのかい。まあ，ちょっと見てろ

よ。

○それぐらいの勉強で大学に入るかい。

3. 加强语气，带有叮嘱的语气，常接在动词命令形和终助词な(禁止)后面。

○よけいな心配をするない。

○どうともしろい。

○勝手にしろい。おれはもう知らんぞ。

○人の悪口なんか言うない。

## 十六 っけ

(一) 接续法

っけ只接在助动词た、だ的后面，即“た(だ)っけ”的形式。

(二) 意义和用法

っけ只用于口头谈话方面。

1. 表示回忆。

○子どものころはこのへんでよく遊んだっけ。

○去年の夏はみんなで海へ泳ぎに行つてほんとうに楽しか

ったっけ。

2. 表示疑问，希望对方证实自己记得不确切的事情。

○あの人ほどなたでしたっけ。

○あなたは今年いくつだったっけ。

○今日の会は何時からだっけ。君知っている？

○あなたは昨日ほんとうに学校に来ていたっけ。

## 十七 の

### (一) 接续法

の接在句末的活用词的连体形层面，助动词う、より、まい以及体言等后面都不能接の。

### (二) 意义和用法

の主要是女性和儿童使用。

#### 1. 表示断定，语气较亲密。读降调。

○あなたにさしあげたいものがあるの。学校の帰りにうちへよってくださらない？

○今おなかがいっぱいなので，何も食べたくないの。

○それはわけがあるの。

○とてもいやなの。

#### 2. 表示叮嘱的语气，常用のね的形式。

○きっと引き受けてくれるのね。

○あしたはかならず来てくれるのね。待ってますよ。

○あなたが行ってくれるなら，わたしは行かなくていいの

ね。

#### 3. 表示命令，语气较强，发音要重。

○御飯はだまって食べるの。

○来ないと言ったら，すぐこっちへ来るの。

#### 4. 表示质问，疑问。读升调。

○きれいな着物を着て，どこへ行くの？

○涙なんかこぼして，何がそんなにかなしいの？

○もう起きるの？

○夏休みはいつから始まりますの？

○どうしてもだめなの？

注意：の来自形式体言，请参照第三章第五节和第七章第二节。

## 十八 こと

### (一) 接续法

こと接在句末的活用词的终止形后面,不能接在助动词う、まう、まい以及体言后面。

(二)意义和用法

こと主要是女性使用。

1. 表示感叹。

○まあ、すてきだこと。

○ほんとうにかわいらしい赤ちゃんですこと(ね)。

○ずいぶんおやせになりましたこと。

2. 表示断定。用ことよ的形式。

○それは無理もないこと(よ)。

○あなたもただではすまないことよ。

○これにさわってはいけないことよ。

3. 表示疑问,用于向对方提问或征求对方同意或表示劝诱。

多用“ないこと?”的形式,尾部声调向上。

○その後、お変わりありませんこと?

○もうすこしゆっくりなさいませんこと?

○おもしろそうだから、行ってみないこと?

○あなた、お気持ちが悪いんじゃないこと?

4. 表示命令。用于书面语。

○八時には必ず出願すること。

○図書館から借りた本は一週間以内に返すこと。

○授業中には、たばこをすわないこと。

注意:

こと来自形式体言,请参照第三章第五节。

## 十九 もの

(一)接续法

もの接在句末的活用词的终止形后面。

(二)意义和用法

ものは以抱怨或不满的口吻申诉,强调原因和理由,多为女性

和儿童使用。

○「どうして今度の旅行に行かないんだ。」「だってお金がないんだもの。」

○でも、とても重いんだもの。

○だって、先生がそうおっしゃるんだもの。

○私だって行きたいもの。

注意：

1. もの有时讲成もん，是比较随便的说法。
2. もの用于句中强调原因时，作接续助词看，请参照本章第三节。
3. もの来自形式体言，请参照第三章第五节。

## 二十 ものか(もんか)

(一) 接续法

ものか(もんか) 接在句末的活用词的连体形后面。

(二) 意义和用法

表示反问，用于表示强烈的反驳の場合，比か的语气重，实际上等于断然否定的语气。

○あなたのようなうそつきの言うことなど，信用するものか(もんか)。

○そんなことがあるものか(もんか)。

○あいつが大学教授なものか(もんか)。

○田中さんが親切なものか(もんか)。

○彼がどんなに足がはやいからって，自動車より早く走れるものか(もんか)。

注意：

ものか有时也讲成ものですか。仍然相当于终助词的作用，多为长辈对晚辈讲话の場合，带有冷笑的语气。

○世の中にお化けなんかがあつてたまるもんですか。

## 練習問題三十二

次の文中から終助詞を抜きだしなさい。

- ① 男：もしもし。
- ② 交換手：はいはい、交換台。
- ③ 男：雨について聞きたいんだが、ええ、これほどこへ継ないでもらえばいいかな。
- ④ 交換手：はい、ちょっとお待ちを。  
(とダイヤルを廻す。店主が出てくる。)
- ⑤ 店主：へいへい。
- ⑥ 男：ちょっとおうかがいしますが。
- ⑦ 店主：へいへい。
- ⑧ 男：雨のことなんですが。
- ⑨ 店主：はあはあ。
- ⑩ 男：乾燥した天気が続いていますが、あめはどうなっていますか。
- ⑪ 店主：別に関係ありませんよ。
- ⑫ 男：関係ないことはないでしょうが。
- ⑬ 店主：疑い深いね、あんた。こっちは江戸時代から代代飴を扱ってるんだ。飴と天気は関係ないよ。
- ⑭ 男：そうですか。江戸時代からずっとですか。
- ⑮ 店主：そうよ。で、あんた、いったいなにをききたいの？
- ⑯ 男：つまり、いつぼくたちは雨に恵まれますかね？
- ⑰ 店主：冗談じゃないや。だれが、ただで飴を恵む？
- ⑱ 男：はあ、雨はただで天から降って来るんじゃないんですか？
- ⑲ 店主：ばかやろう。一粒の飴といえど、職人が汗水流して作ってるんだ。天から飴が降って来りゃ、飴屋は破産だ。
- ⑳ 男：あのう、あなたは？
- ㉑ 店主：いまごろ、あなたはってこたあねえだろ。こちとらさまは天保三年創業の老舗「三波飴本舗」だ。
- ㉒ 男：あ、失礼しました。(と電話を切る。)

㉓ 交換手：おすみですか。

㉔ 男：あのね、おすみですかってことはないだろう。ぼくはね、雨について聞きたいんだよ。雨。ほら、「雨降って地固まる」っていうでしょ。あの雨。

㉕ 交換手：失礼しました。かけなおします。

（とダイヤルを廻す。医師が登場。）

㉖ 医師：はいはい。

㉗ 男：あのう、雨なんですが。

㉘ 医師：鮎？よくないねえ。

㉙ 男：だめですか。

㉚ 医師：あきらめなさい。

㉛ 男：そうですか。で、どれくらいの間、あきらめればいいんですか。

㉜ 医師：まあ一年。

㉝ 男：一年？

㉞ 医師：少なくとも半年はいけませんな。「鮎喰って痔固まる」と申してな、痔に甘いものは大敵ですぞ。

㉟ 男：あのう、そちらどちらで。

㊱ 医師：どちらって、こちらは痔の専門病院ですが。

㊲ 男：あ、失礼しました。（と電話を切る）

㊳ 交換手：通話、おすみでしょうか。

㊴ 男：だめじゃないか、きみ。全部、ちがうところへかかるよ。いいかい、ぼくはね、「あーめ」（と強調）、「あーめ」について聞きたいの。

㊵ 交換手：申しわけありません。（とダイヤルを廻す。神父登場。）

……

（「奇妙な交換台」《井上ひさし笑劇全集》より）

## 課外練習(紛れ易い語の見わけ)

例にならって、次の各文中の——をひいたことばの品詞名をいいなさい。(注意:助詞や助動詞はかならずその下位分類の名で答えなさい。)

例① 鳥が鳴く。(格助詞)

例② しかられると思ったところがかえってほめられた。  
(接続助詞「ところが」の一部)

例③ きのうちアパートへ行きました。ところが、アパートは休みでした。(接続詞「ところが」の一部)

例④ あなたとわたしの行くところが決まった。(名詞+格助詞)

が ○彼は頭がいい。だが健康にめぐまれていない。○それはそうだ。が、いかねばならない。○いうがほどのことはない。○きみはこのかたの指示に従えばよいんだが、まあ、慎重にな。○実は一万円ばかり助けてほしいんだが。○朝からとてもいい天気でした。それが、ひるすぎから急に風が吹きだした。

から ○ずいぶん親しそうに話しているもんだから、むかしからの知り合いと思ったよ。○彼はけちん坊だ。だから、みんなに嫌われる。○テニスのボールが目にあたった。それからときどき目がいたくなる。○あの人の部屋にはステレオ、テレビ、それからピアノがある。

けれども ○私は田中ですけれども、山田さんはいらっしゃいますか。○私はいつでもかまいません。だけど、あなたは早いほうがいいでしょう。

こと ○そんなことではとても大学に入れません。○いいにおいだこと。○知らぬこととて失礼いたしました。



さ ○さ、早く行こう。○それは君のまちがいさ。○さあ、一緒に  
行こう。

して ○みんなして歌おう。○いわずして知る。○今にして思  
いあたる。○二、三日して来てみてください。

ぞ ○そら、投げるぞ。○なにぞうまいものはないか。

たって ○いくら忠告したって駄目です。○彼が試験に落ちた  
って本当かい。○逃げようたってもう逃がさないから。

だって ○呼んだって返事もしない。○子供だってできる。  
○いくらいい薬だって、処方まちがえれば効果はない。  
○今日は休みだって忘れてしまったんです。○体がいくら  
丈夫だって、きたえなければ病気になるにはかぎらな  
い。○だって、ほんとうに暇がないんですよ。

たら(ったら) ○大きいくせに健一さんら案外はにかみやなの  
ね。○うちの会社ったら休暇をとるのうるさいんだぜ。  
○早くきてよ。お母さんら。○やめてよ。ね、いやだっ  
たら。○いやだったら、やめなさい。

て(って) ○デパートで買物して、映画を見て帰りましたぜ。  
○彼をして勉強せしめる。○いま申したことは、おわかり  
になって? ○うれしくって、うれしくってたまりません。  
○あした帰るって話だよ。

で ○泳いで川を渡った。○あそんでばかりいないで、すこし  
勉強しなさい。○それはどこでお買いになりましたか。  
○もうお帰りでございますか。○外側は本物のようで、中  
味はにせものだ。○中華民族は勤勉で勇敢だ。○で、返事  
はどうでしたか。○金がなかった。それで買わずに帰った。  
○ゆうべはつかれていて、とてもねむかった。そこでおふ  
ろに入ってからすぐ寝てしまった。

ては(では) ○風邪をひいては学校を休む。○この川で泳いで  
はいけません。○それではまたあいましょう。さようなら。

○体がこんなに弱くては、とても仕事はできない。○せっかくではございますが、こればかりは辞退させていただきます。○では、これで失礼いたします。

ても(でも) ○すこし障害があつても予定は変更しません。

○仕事の成功を見ないうちは、死んでも死に切れないよ。

○見たところは丈夫なようでも、本当はあまり丈夫ではありません。○どんなに丈夫でもそんなに長くは使えないだろう。

○彼は政治家でもある。○政府でもとくにこれを重視している。○君は失敗した。でも、まだチャンスはあるよ。○今からでもおそくはない。○今日は雪だ。それでも通勤の人は朝早く出て行く。○お茶でも飲みましょうか。

と ○わが国と比べると、日本のほうがあついです。○威風堂堂と入場する。○足音がバタバタとうるさい。○すると、あなたは犯人の顔を見たわけですね。○私は家の前まで来た。と、とつせん家の中から叫び声がきこえてきた。○あしたは雨だとか言っていました。

ところ ○見たところはきれいですが、水によわいです。

○病人に花を持って行ってあげたところ大変喜ばれた。

ところが ○あの女はなかなかいいところがある。

○確めてみたところが、やっぱりそうだった。

○新聞は軽く扱っていたようだね。ところがこれは大事件なんだ。○たずねて行ったところが、誰もいなかった。

ところで ○説明がすんだところで質問してください。

○これ以上議論したところで、ますます混乱するばかりだ。

○ところで諸君に一つ相談がある。

とて ○いまさら悲しんだとて仕方がない。

○そのことについては僕とて考えないわけではなかった。

とも ○誰がなんと言おうともかまわない。○それでいいとも。

○誰とも仲よくする。

な ○な、いいだろう。○それでいいな。○早く行きな。

なあ ○なあ君、そうだろう。○美しいなあ。

ながら ○貧しいながらも楽しい。

○君の気持はよく分った。しかしながら君ひとりのために規則を変えることはできない。

なり ○帰ってくるなり寝てしまった。○どこへなりとお供します。○親の言なりになる。

なんて ○私は映画なんてすこしもおもしろいと思いません。

に ○言うに言われぬ苦心。○こともあろうに校長と喧嘩するなんてむちゃだよ。○前から用意しておけば、こんなことにならなかつたろうに。○ようやく静かになりました。○間に合うように早く出かけた。○頭が痛い。それに風邪気味だ。

ね ○ね、そうでしょう。○そうでしょうね。○あのね、散歩に行かない？

の ○あそこにいるのが私の子供です。○これでいいじゃないの? ○行くの行かないのみんなの意見がとてもしまらない。

のに ○雨が降るのに出かける。○そんなことはよせばよかつたのに。○川を渡るのに三時間かかった。

ば (てば・ってば) ○子供を持てば親の苦勞が分る。

○おかあさんてば、おこってばかりいるから、いやだわ。

○きみの報告書ってば、ミスがないことないじゃないか。

○あした試験なんだから、ピアノをやめてくれってば。

ほど ○ものにはほどがある。○停車場までどれほどあるか。

もの ○彼はよくものが分る。

○人生は長いですもの、死にたいと思うこともありますよ。

○だって、あした着て行く着物がないんですもの。

ものか ○これらの著作は全部彼のものか。

- 彼が学者なものか。
- もので ○勤めがあるもので失敬します。
- ふつつかなものでございますがどうぞよろしく。
- ものなら ○行けるものなら、いつてみたい。
- こんなものなら、いくらでもある。
- ものの ○いかなくてもよいというものの、やはり行くべきだ  
ろう。○案外ものの分らない人だ。
- ものを ○医者でも治せないものを、素人に治せるわけにはい  
かない。○人から借りたものを返さなくてはいけない。
- や ○おじいさんや、ずいぶん日がつまりましたね。
- まあ、そんなことはどうでもいいや。
- 私も太郎や花子のようにがんばろう。
- その男は、警察官を見るや、いっさんにかけて逃げて  
しまった。○君もぜひ来いや。○ベルが鳴るやいなやベッ  
トから飛び下りた。
- やら ○なにが起こるやら？ ○コーヒーやらケーキやらをごち  
そうになった。
- より ○努力するよりほかに成功する道はない。○病気により  
欠席する。○人生をよりよく生きることを考えるべきだ。
- ん ○よく言うことを聞くんだ。○あの人知らん顔をして行  
ってしまいました。

## 第八章 句 法

### 第一节 文节的意义和作用

#### 一 文节的意义

在不至于影响对句子的意义的理解的情况下，尽可能地把句子划分成最小的段落，这种段落就叫做文节(文節)。

ぼくは 昨日 学校へ 行きました。

任何一个文节里必须有一个独立词，但不能有两个独立词，因为一个独立词就单独地具有一定的可供理解的意义，就具备构成一个文节的资格，所以一个文节里不包含两个独立词。而附属词因为不能独立地表示任何实质意义，所以不能构成文节，而必须附属在独立词后面共同构成文节。也就是说，一个文节里必须并且只能有一个独立词，同时也可以包括一个或两个以上的附属词。

#### 二 文节的作用

文节是构成句子的直接单位。

文节这个语法概念是作为粘着语的日语所特有的概念，文节这一概念的确立对分析日语句子的构造有很重要的作用。

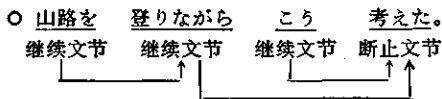
分析句子的构造，必须要分析句子中的词与词之间的关系，确定这些词在句子中的地位，这种“地位”即通常所说的“句子的成分”，也就是说，句子是由各种成分组成的。而在日语里，有些单词是有可能直接构成句子成分的，这部分词即是独立词；有些单词则根本不可能构成句子成分，只能起到确立词与词之间的关系，或起到有助于叙述或增添某种意义的作用，这一部分词即是附属词，因而这一部分词总是附属在独立词后面。反过来说，独立词虽然有可能单独构成句子中的某一成分，但独立词往往又不是单独地构

成句子成分的。所以,要分析日语句子的构造,应该是以文节为单位,而不是以单词为单位。

### 三 继续文节和断正文节(続く文節と切れる文節)

一个句子有可能由一个文节组成,如「はい。」「いけ!」「しまった!」「なに?」等等。但通常情况下,句子一般都是由两个以上的文节组成的。

在由两个以上文节组成的句子里,前面的文节总是以某种关系关联到后面的文节,这种文节我们称之为“继续文节”(続く文節);反之,处在句子末尾的一个文节则只接受前面的文节的关联,而不可能再向后关联到任何文节,这个文节意味着句子的结束,我们称之为“断正文节”(切れる文節)。如:



一个句子里包含的继续文节可以多一些,也可以少一些,也可以没有(即由一个文节组成),只要能把一句话讲清楚就行。但一个句子在通常情况下,必须要有一个断正文节,否则一句话就无法结束,意思就不清楚。试把前面例句中的断正文节“考えた”去掉,就可以说明这一点。同时,断正文节之不可以缺少,继续文节之可有可无,说明断正文节正是一句话的核心内容,任何继续文节都是为着充实这个核心内容的,都是在这个核心内容上的增生。从形态结构来分析句子,任何继续文节最终都必须关联到断正文节,没有断正文节,继续文节也就不复存在,文节的相互关系也就不复存在。此外,由于日语里表示时和体、肯定与否、以及表示讲话人的种种心情、态度等各种语气的词语(大多是附属词,也可以用补助用言、形式体言来表示),总是出现在句尾,因此它们总是包含在断正文节里。所以断正文节在句子里的作用是很重要的。句子末尾的谓语文节(包含补助文节在内)即断正文节。

但是，断止文节也有可能提到句首或句中，这种情况我们称之为“文节的倒置”(具体见本章第五节)。断止文节也有可能被省略，这种情况一般只限于出现在讲话人认为省略后也不至于引起误解的场合，断止文节的省略可称之为“文节的省略”(具体见本章第五节)。

#### 四 文节的相互关系和句子成分

一个文节往往就是句子里的某一成分。例如：

○ 涼しい 風が そよそよと 吹く。

连体修饰语 主语 连用修饰语 谓语

上面这个句子有四个文节，这四个文节的相互关系，正好和通常所说的句子成分的相互关系一样，只是日语里的句子成分的称呼有些不同而已。“谓语”在日语里叫“述語”<sup>じよつご</sup>(本书采用汉语的讲法)；“連体修飾語”相当于汉语的“定语”(本书采用日语的讲法)；“連用修飾語”相当于汉语的“补语”、“状语”、“宾语”等(本书也采用日语的讲法，因为在日语里补语、状语、宾语等都是关系到用言的或相当于用言性质的文节，区别它们也没有太大的实质意义，所以统称为连用修饰语)。

但是文节的相互关系又有一定的特殊性，并不完全等于通常意义上的句子成分。再如：

① ぼくと きみが 行くんだね。

主 语

② 父は アメリカに 行って いる。

谓 语

例①的主语既不是“ぼくと”，也不是“きみが”(形式上“きみが”还是可以作为一个主语文节看待)，而是“ぼくときみが”，因而这个主语成分包括两个文节。例②的谓语显然不会是“いる”，而光说“行って”又不完全，只有把这两个文节结合起来才能构成句子里的谓语成分。

## 五 文节的“係·受关系”和文节的“係·受”两方面的作用

一个句子由两个以上的文节构成的时候，前面的文节总是以某种关系关联到后面的文节，这种关系日语里称之为“係”的关系；后面的文节总是受到前面的文节的关联，这种关系称为“受”的关系。两方面结合起来即是“係·受关系”（係·受の關係）。

句子里的第一个文节只有“係”的作用，最后一个文节（即断正文节）只有“受”的作用。句子中间的文节则既有可能承受前面的文节的关联，又必然关联到后面的文节，这样的文节就起到“係·受”两方面的作用。如：

○桜の 花が 咲いた。

|    ↑    |    ↑

“花が”这个文节既受到“桜の”的关联，同时其本身又关联到后面的文节“咲いた”。换句话说，“花が”既受到“桜の”的修饰，同时又作为主语文节关联到后面的谓语文节“咲いた”。

文节的“係·受”两方面的作用，可根据其构造形式加以判断。在前面这个句子里，“桜の”由于格助词“の”的缘故，决定它必然成为体言“花”的连体修饰语；反之，“花が”这个文节由于“花”是一个体言，决定它可以受到连体修饰语的修饰，同时，“花が”由于格助词“が”的缘故，决定它与“咲いた”之间的关系为主谓关系。这就是说，一个文节与前面的文节的构成什么关系，取决于这个文节中的独立词，而一个文节与后面的文节构成什么关系，又取决于这个文节最后的附属词，当然，用言（附有助动词的场合也是同样）的连体形、连用形以及副词、连体词、感叹词、接续词之类，可以不必借助于附属词，也能明确表示其与后面的文节的关系。但是，我们应该看到，体言文节可能由于它后面的助动词，从而起到一个用言文节的作用，受到连用修饰语的修饰，或受到主语的关联，如：“まったく子供だ”、“私は学生です”，在这里，“子供だ”、“学生です”都是谓语文节。用言文节也可能由于形式体言“の”或其他助词而变成一个相当于体言作用的文节，从而可以受到连体修饰语的



修饰,如:“リンゴの新しいのがほしい”。当然,象“新しいのが”这样的文节,由于“新しい”这个用言的缘故,更容易受到连用修饰语的修饰,如:“もっと新しいのが”、“これより新しいのが”、“一番新しいのが”等等。

### 練習問題三十三

一、文節の概念について述べなさい。

二、次の各文を文節にくぎりなさい。

例:桜の | 花が | 咲いた。

1. 春の遅い北国の山に花が咲き乱れている。
2. 山の上から強い風が吹いてくる。
3. ふたりは兄弟なので、仲のよいのはあたりまえだ。
4. 世の中もこのように平和だったらと、心から願った。
5. 九月十五日、この日は学校の創立記念日だ。

三、次の文は、文節にくぎってあります。その文節のうちの自立語をとりだしなさい。

1. 竹やぶの そばを 駆け抜けると 夕焼けの した 日金山の 空も もう ほてりが 消えかかっていた。

2. 土工たちが その 中へ はいった あと 良平は トロッコに 腰を かけながら 帰る ことばかり 気に していた。

3. その 道を やっと 登りきったら 今度は 高い がけの 向こうに 広広と うすら寒い 海が 開けた。

## 第二节 文节的相互关系

### 一 主語和謂語的关系(主語と述語の関係)

句子的基本形式有以下三种:

○鳥が啼く。(何が どうする)

○花が美しい。(何が どんなんだ)

○田中が級長だ。(何が なんだ)

在句子里相当于“何が”的文节是主语文节，相当于“どうする”、“どんなんだ”、“なんだ”的文节是谓语文节。通常情况下是主语在前，谓语在后。主语不是句子里不可缺少的文节，全句的中心谓语是处于句子末尾的断止文节(包含补助文节在内)，是不可缺少的文节。

## 二 修饰和被修饰的关系(修飾と被修飾の関係)

对于句子里的其他文节起修饰作用的文节，与被修饰的文节之间构成修饰与被修饰的关系，这样的关系有以下两种。

### (一) 连体修饰语(連体修飾語)

修饰体言的文节叫连体修饰语。

○赤い花が咲いた。

○いつもの話をまた始める。

○富士山は美しい山です。

○きみの本は机の上にある。

注意:

连体修饰语和被修饰语之间一般是紧密地联系在一起的，但是如果仅从单个的文节的相互关系来看的话，修饰语和被修饰语之间仍有可能被隔断。

○あのきれいな花はなんでしょう。

“あの”和“きれいな”之间不形成修饰关系，这种关系应该存在于“あの”和“花は”之间，但是严格地说来，“あの”修饰的应是“きれいな花は”，而不仅是“花は”，这种修饰关系应该用连文节的概念来解释，请参照第四节“连文节”。

### (二) 连用修饰语(連用修飾語)

修饰用言的文节叫连用修饰语。

○富士山がはっきり見える。

○ぼくはこれだけもちょう。

- 五時まで働いて、急いで帰る。
- おもしろい小説を読んだ。
- もっとゆっくり話してください。
- まさかそんなことはあるまい。

注意:

1. 前面例句中的“もっとゆっくり話してください”，作为连用修饰语的“もっと”和“ゆっくり”两个文节，只有“ゆっくり”是直接修饰后面的用言的，“もっと”则显然只是对“ゆっくり”的修饰，而“ゆっくり”又不是用言。反过来说，这个句子里的谓语也不仅是受到“ゆっくり”的修饰，而是受到“もっとゆっくり”的修饰，这种修饰关系也应该用连文节的概念来解释。有的时候，象“もっと静かに歩け”这样的句子，“もっと”好象是修饰了“静かに”这个用言，但“もっと静かに”和“もっとゆっくり”的语法作用是相同的。

2. 连用修饰语在句子里的位置比较灵活，即不一定是与被修饰语紧密地联系在一起。

### 三 对等的关系(对等の関係)

处于对等关系的文节构成对等关系，对等关系的文节可以合成主语、谓语、连体修饰语、连用修饰语，等等，构成对等关系的文节叫对等文节。

- ぼくときみが行くんだね。
- 彼は学者で政治家だ。
- ぼくは英語とフランス語を勉強する。
- さびしく暗く悲しい冬は去って、春になった。
- ぼくは海も山も好きである。

○ リンゴかなしかみかんか、どれでも好きなのを一つおとりなさい。(这个句子里的三个对等关系的文节，整个地相当于“どれでも”的“提示语”。)

○ 教えてくれるかくれないかは、聞いてみなければ分らない。(这个句子里的两个对等文节，整个地相当于“教えて”的补助文节，请参照“补助的关系”部分。)

注意:

1. 对等文节在句子里应该是整个地相当于一个文节的作用。这样的整体也是连文节,它可能相当于句子中的某一成分,也可能象最后一个例句中那样,仍然仅仅是一个起到补助作用的连文节。由两个对等关系的文节构成的连文节还有可能与别的文节进一步构成对等关系。

2. 对等关系的文节可能是两个,也可能是两个以上。

3. 构成对等关系的文节在句子里与别的文节处于什么关系,应由最后一个文节的性质来决定,因为前面的文节不直接与别的文节发生关系。

4. 对等关系的文节之间可以介入接续词,例如:

○ぼくは英語と,そしてフシンス語を勉強する。

○米及び麦は,人類の主食品である。

这两个句子里的“そして”、“及び”在对等文节之间起到接续作用。“そして”、“及び”等虽然也自成文节,但除了起连接作用之外,与其他文节之间相对地处于独立的关系,我们可以称之为“接续语文节”,是独立语的一种。

#### 四 补助的关系(補助の關係)

谓语文节表示主要的意思,但又需要有后面的文节增添某种意义,这样的前后相连的两个文节的关系叫补助的关系,后者叫补助文节。

○木が倒れている。

○彼は元気である。

○もう帰ってもいい。

注意:

处于补助关系的谓语文节和补助文节在句子里整个地相当于谓语文节的作用,这样的整体也是连文节。

#### 五 独立的关系(独立の關係)

在句子里与其他文节之间不构成主谓、修饰、对等、补助等关系,形式上处于独立地位的文节与其他文节之间构成独立的关系,这种文节叫独立语文节。

○一月三日,それはわたしの誕生日だ。

○ああ,春が来たのだ。

○空は晴れている。しかし、風は寒い。

## 六 特殊成分的文节

以上,作为文节相互之间的关系来说,有“主·谓”、“修饰”、“对等”、“补助”、“独立”五种关系,从而我们可以确定各个文节在句子中的地位,我们可以把这些文节叫做“主语文节”、“谓语文节”、“连体修饰语文节”、“连用修饰语文节”、“对等文节”、“补助文节”、“独立语文节”。

但是,如果我们对这些不同性质的文节作进一步的分析,就可以把它们在句子中的作用考虑得更具体一些,这样更有利于分析句子的结构。下面主要从连用修饰语文节、对等文节、独立语文节三个方面考虑一些具有特殊作用的文节,也可以称之为“特殊成分的文节”。

### 1. 连用修饰语方面:对象语。

在连用修饰语方面,人们往往把“宾语”(日语里称为“客語”或“目的語”)区别于一般的连用修饰语,关于“宾语”这里不作具体分析。除此之外,还有一种“对象语”,从形态上看很象主语文节,但从其实质意义来说,一般都相当于宾语的性质,通常表示希望、好恶、难易、能否、巧拙等的对象。如:

○冷たい水が飲みたい。

○私はさかながきらいです。

○あの奥さんは料理がじょうずです。

○あなたは自動車の運転ができますか。

○お茶の飲みたい方は、となりの部屋へどうぞ。

○これくらいの本は楽に読める。

对象语文节用格助词が、の表示(也可以用副助词代替が、の),但在现代日语里用を来表示这种对象语的情况正在增多,这也说明对象语与宾语的性质是比较接近的。

### 2. 对等文节方面:同格语。

同格语是指用两个以上的词语表示同一事物,并在句中同一

位置上相当于同一成分的文节。如：

○日本の首都東京は世界でも大きな都市である。

○竹馬の友，セリモンティウスは，深夜，王城に召された。

○なにか食べ物がありませんか。

○机の上には，新聞，雑誌，辞書などいろいろなものがおか  
れている。

○日本には，四季すなわち春・夏・秋・冬の変化がある。

3. 独立语文节方面：提示语、接续语、插入语。

① 提示语

提示语是把句中的某一成分提到句首，并在其原来的位置上  
用代名词代替它。如：

○今月の三日，それは本校の創立記念日である。(提示主语)

○寝ながらテレビを見る，これがわたしの楽しみである。

(同上)

○福岡県K市，私はそこで生まれた。(提示连用修饰语)

○九月一日，私はこの日を一生忘れないでしょう。(同上)

○リンゴとみかんとどちらが好きですか。(同上，提示对象

语)

○独立，かれらの求めたのはこれだ。(提示谓语)

提示语文节是独立语文节，它与句子中的其他文节没有直接  
的“係・受关系”。

但是，如果仅从意义结构来分析句子，各种提示为句子的“主  
题”的成分都可以作为提示语看待，而不管后面有没有代替它的代  
名词。象下面一些例句中提示为“主题”的文节，有的在其原来的  
位置上有代名词或形式体言代替它，有的则没有。不过，下面这些  
作“主题”的文节，我们不作为“提示语”看待，即不是独立语文节。  
如：

○ネクタイはこれがいいだろう。(提示主语)

○辞書はどれが一番いいんですか。(同上)

○ネクタイはどれになさいますか。(提示连用修饰语)

○会長は、会員の互選によってこれを選ぶ。(同上)

○スキーと水泳とはどちらが好きですか。(同上。提示对象

语)

○収入はその一部を国家に納める。(提示连体修饰语)

注意:

连体修饰语提示为主题之后,不应该再作为连体修饰语看待,而应根据其与谓语的关系来判断其在句中的地位,即相当于什么句子成分。如最后一句的“収入は”,根据其与谓语“納める”的关系,应该作为一个连用修饰语(宾语)看待(参照本章最后的【参考】关于主题和句子的题述结构)。

○魚は新しいのがいい。(提示主语)

○白菜は大きくなったものからさきに食べます。(提示连用修饰语)

○教科書は、商務印書館から出版されたものを使います。(同上)

○パイナップルはカン詰めしか食べたことがない。(同上)

以上提示的各种成分均有形式体言或与主题为同一事物的词语在句中代替其原来的位置。

○教室は私たちが掃除します。(提示连用修饰语)

○桂林へは一度も行ったことがない。(同上)

○この小説はとてもおもしろい。(提示主语)

○あの人ってばまた宿題を忘れたのよ。(同上)

○大学となるとなかなかすぐに合格しないよ。(提示连用修饰语)

这种提示方法最为常见,句中~~没有其他词语代替主题原来的位置。~~

○この間の話ですが、あれはどうなっていますか。

○原子時代の到来によって帝国主義の本質が変わったと考える人があるとすればそれは大変なまちがいです。

这种提示方法是先把需要提示的主题用连用修饰语的形式介绍清楚,再用代名词代替其在句子中组织句子。

“主题”在句中相当于什么句子成分(作为独立语成分看待的提示语除外),均应根据其与谓语的关系来判断。

## ② 接续语

在前后句子、文节或连文节中间起连接作用的文节叫接续语。一般指由接续词构成的文节。

○私は京都へ行きたい。しかし、暇がない。(连接前后句子)

○いっしょけんめいに勉強しているが、しかし、そのわりに成績はよくない。(连接前后连文节)

○フランス語あるいはドイツ語を勉強したい。(连接前后文节)

○山また山を越える。(同上)

在对等文节中间起连接作用的接续词都是接续语文节，但我们考虑句子成份时，由于对等文节的双方整个地相当于一个句子成份，所以这个成份应该是包括接续词在内的。

现在很多语法书里把表示条件接续的接续词构成的文节，以及由条件接续助词构成的连用修饰语文节均作为“接续语”看待。这种“接续语”与本书所谓的“接续语”概念完全不同。

### ③ 插入语

插入语是插在句子中间作补充说明的文节或连文节，它与前后文节之间没有直接的“係・受”关系，即使抽掉插入语，前后文节的“係・受”关系仍不受影响，或者说前后文节的“係・受”关系更加清楚。

○その山には、行ってみたらわかることだが、珍しい植物がたくさん生えている。

○私のもとには、息子——いわば私の唯一の財産——しか残らなかった。

○その時から、つまり第二次世界大戦以来、世界は新しい状況を迎えた。

○少女は、晴れの日はもちろんのこと、雨の日も風の日も花を売り歩いた。

○この夏は、雨の日が多かったせいだろうか、例年より涼しく感じられた。

○日本人は、(もっとも例外もあるが)、寿司が大好きだ。

○たとえば、たとえばですよ、あなたはもしものことがあっ



たとしたら、あなたの子供さんたちはどうなるでしょう。

### 練習問題三十四

一、次の文中の\_\_\_線をつけた語は、主語文節または述語文節である。主語のときには述語に、述語のときには主語に\_\_\_線を引きなさい。

母は病気が重くなると、少年をつれて、実家に帰った。祖父の家は大きな川のほとりにあった。少年は、毎朝、目がさめると、母と二人で寝起きするようになった離れから、はだして川の土手まで走っていった。朝露に足がぬれた。遠い山ぎわから、川がゆるやかにまがりくねりながら、また遠い海の方へ消え、見渡すかぎりの広い野づらには、青々とのびた稲の波が、朝風にそよいでいた。港町のせせこましい家並みばかり見てきた少年には、そうした風景はめずらしかった。

二 次の文の\_\_\_線の部分が修飾している部分に\_\_\_線を引きなさい。

私はかって平泉ですばらしい能楽堂を見た。中尊寺の境内を登りつめ、眼下に北上川を望む、ちょっと平坦な地に建てられた能楽堂は、もちろん簡単な舞台があるだけのごく素朴なものであった。しかも、風雪に耐えたその建物には、言いたい気品が添うていて、なんとも言えない情趣があった。ここでいったい何があるのかという疑問が湧いた。

三、次の文中、対等の関係の文節、補助の関係の文節及び独立語文節があったら、それを示しなさい。

少年はまっかになって、ジャケットをぬぎすてると、さるのあとをおいかけて、マストにとびついた。そして見るまにロープを伝って、一番めのほげたまでよじ登った。だが、さるのほうは、少年よりももっと身軽で、すばしこかった。だから、かれが

ぼろしをつかんだかと思ったとたんに、さるのほうは、また、もっと上に登ってしまふのだった。

「ようし、そんなことをしたって、にがしはしないぞ!」

少年はそうさげぶと、さらに上のほうへ登った。と、さるのほうは、少年に手まねをして、もっと上へ上へと上っていく。少年も意地になって、負けまいと追いかける。こうして、さると少年はあっというまに、とうとう、いちばん上のほげたまで登りつめてしまった。

### 第三节 文节的构造

#### 一 主语文节的构造

##### (一) 体言单独构成主语

○「あなた、どなたですか。」「わたし、藤原です。」

○僕、行きます。

○左の方の手、痛いんだよ。

体言单独构成主语文节的情况不多，一般是在谈话中出现。体言单独构成主语文节还很容易和独立语节混淆，这一点主要看是否与后面的文节发生直接的关系。

##### (二) 体言加助词

○今日は僕が行きます。

○僕は中学生だ。

○僕も行こう。

体言后面加助词构成主语文节，主要是格助词が和副助词は、も，此外还有很多格助词和副助词都可以接在体言后面构成主语文节(具体请参照第七章第二、四节)。如：

##### 1. 格助词方面：

○僕のいいたいのはそのことなんだ。

○先生へは私から申しあげましょう。

2. 副助词方面:

- 雨こそ降らないが, いやな日だ。
- 君さえ承知してくれば用が足る。
- ぼくでも走れる。
- 私だってできないことはないでしょう。
- 顔ばかり美しくて心がきたない。

3. 体言后面加两个(或两个以上)助词,后一个助词为格助词时,前面的词整个地也可以作为一个体言看待。

- これからがおもしろい。
- 目ばかりが光っている。
- どこまでが本当か分らないね。
- 先生には益々ご清栄のことと大慶至極に存じあげます。
- この山なら私にも登られよう。
- 学校ではそんなことは教えないはずだ。
- そんなことなら, 誰もが知っているさ。
- 直線とは二点の間の最短距離である。
- 君だけ (ばかり、こそ) が頼りの綱なんだ。

(三)用言、活用连语的连体形加助词。

- 早速帰るがよい。
- 言わぬが花だ。
- 健康なだけがとりえだ。
- 強いばかりが男でない。
- (むこうに) 着いてからが心配だ。

(四)用言或活用连语的连体形加形式体言の再加助词。

- 喜ぶのはまだ早い。
- いま笑ったのは君だろう。
- 長いのがよい。
- 元気なのがなによりだ。

## 二 谓语文节的构造

### (一) 用言

- 風も吹き，雨も降る。
- 目も大きく，鼻も高い。
- 風もおだやかで，波も少ない。
- 早く起きろ。
- さっさと歩け。

注意：

形容词和形容动词有时可以以词干构成谓语文节，比如：

- ああ，あつ(暑)?
- あら，すてき。

### (二) 用言加助动词构成的活用连语。

- 風が吹いたろう。
- ぼくも行きたい。
- さあ，いっしょに歩きましょう。
- 山桜も咲いたらしい。

(三) 用言和以用言为中心的活用连语后加助词(包括后加形式体言的场合)。

- すごく風が吹くわ。
- うそを言うな。
- そろそろ起きようか。
- 葉が出て，花が咲いて，実がみのる。
- 花は咲くし，鳥はさえずるし，楽しい春になった。
- 風が吹くと倒れるだろう。
- 気候もよければ景色もいい。
- 雨が降ったので，道が悪い。
- 昨日帰ったばかりです。
- とてもりっばなんだ。

(四) 以体言为中心构成的谓语文节，包括以下几种场合，

1. 体言 2. 体言加助词; 3. 体言加助动词; 4. 以体言为中心的活用连语后面加助词, 等等。

○僕がこの家の主人。

○あれが雲かい。

○参加者は私だけでした。

○それはぼくのだ。

○お隣はお勤め人のようです。

○において分ったのだが、つつみの中は食物らしかった。

○あなたは今年いくつだったっけ。

○今日はすばらしいお天気だなあ。

(五) 以副词为中心构成的谓语文节。

○十時に出勤とはずいぶんゆっくりだ。

○ここまで歩いて来たのは大変だったでしょう。

(六) 用言以及活用连语后加补助文节, 整个地作谓语文节看待。

○机の上に本がおいてある。

○鳥の啼き声にしびれてしまった。

○彼は詩人である。

○全然おもしろくない。

○ひまなときは私のうちに遊びに来てほしい。

注意:

补助文节和被补助的文节构成一个整体, 充当一个文节的作用, 如果补助文节后面还有补助文节的话, 仍然还是这种作用, 如“来てほしい”也可以说“来てほしくない”, 整个地作谓语看待。

### 三 连体修饰语文节的构造

(一) 连体词

○この事は彼にまかせよう。

○これはわが家の自慢の料理です。

○こんなおもしろい本は読んだことがありません。

○県内のあらゆる学校を巡視した。

(二)用言

○あのきれいな花はなんでしょう。

○富士山は美しい山です。

○流れる水はくさらない。

(三)活用连语

○錆びないナイフを買きましょう。

○楽しかった農村生活を思い出す。

○君のような元気な青年なら、きっと成功するよ。

○あろうことか、あるまいことか、わたしにこんなことを言いました。

○電車の中で田中さんらしい人を見かけました。

(四)用言或活用连语后加助词

○この本は読むだけのことはある。

○泣くほどのことでもない。

○聞いたばかりの話をもう忘れてしまった。

○それはこれが終ってからのことだ。

○めでたの人。(这里是形容词词干加助词)

(五)体言加助词

○これは私の本です。

○彼から三番目の列。

○それはいまよりずっと昔の話だ。

○弟からの手紙。

○そればかりのことで泣くなんてみっともない。

(六)副词或副词加助词の(副词的转用请参照第五章第二节)

节)

○すこし右を見てください。

○かなり遠くからも見えた。

○もっと前へ出なさい。

○しばらくの間はちょっとつらかったが。

○はじめての経験です。

#### 四 连用修饰语文节的构造

(一)副词或副词加助词。

○スピードをぐんぐん増す。

○この坂は大変急だ。

○明春はいよいよ大学入試だ。

○まさかそんなこともあるまい。

○すこしはこちらのことも考えてほしい。

○かねてからこの計画を練っていた。

(二)形容词或形容动词的连用形或所有用言后加助词

○赤い花が美しく咲いた。

○責任をりっぱに果す。

○静かにはできません。

○別につらくも思わない。

○飽きるまで食べる。

○映画を見に行く。

○泳いで川を渡った。

(三)活用连语或活用连语加助词

○おもしろそうに聞いている。

○苦しかったが我慢した。

○準備不足ですので、自信がありません。

○たまには飲まずに帰ってきてください。

○寒いのに部屋に入らない。

○団結していっそう大きな勝利をかちとろう。

○早く行かないと間に合わんぞ。

○ここまで来たらもう一人で帰れる。

○雨なら会場を室内に移そう。

○風のようにやってくる。

○あなたみたいにお金をたくさん持っている人は買えますが。

注意:

不要把受到补助文节补充的文节反过来看成是补助文节的连用修饰语，因为这种场合从形式上来看，补助文节前面似乎有了一个连用修饰语，但实际上是补助文节对前面的文节起意义上的补充作用。如：

- 子供のようにある。
- 行きたくない。
- がんばってください。
- 父はアメリカに行っている。

(四) 体言或体言后面加助词

- 昨日，妹と大阪へ行った。
- 鉛筆を三本ください。
- 私は学校の寮に住んでいる。
- 五時まで働いて急いで帰る。
- ぼくはこれだけもらう。
- この紙を一枚ずつ持っていきなさい。
- 彼は英語ができる。(“英語が”为对象语)
- 私は水が飲みたい。(“水が”同上)
- 水の飲みたいかたはとなりの部屋へどうぞ。(“水の”同上)

## 五 对等文节的构造

(一) 用言或用言加助词

- 明るい静かな晩でした。
- 道はせまく険しい。
- 山百合は大きく，白く，美しく咲いている。
- 寒かったり暑かったりしてとても困ります。
- 行ったり来たりする。
- 行くなりやめるなり早く決めた方がいい。
- おいしいかどうかちょっと食べてみよう。



○ベルがなるやいなや教室を出た。

(二)活用连語或活用连語加助詞

○食うか食われるかの時が来た。

○試合が始まるか始まらないか(のうちに)雨が降り出した。

○似ても似つかぬ兄弟だ。

○彼は学者で政治家だ。

○おっしゃることも本当だったりうそだったりして、とりとめがございません。

○明日もまったくもりか雨でしょう。

(三)体言或体言加助詞

○東京、大阪は日本の二大都市である。

○日本の首都東京は世界でも大きな都市である。

○山田さんと田中さんが来た。

○わたしは理科と英語を勉強した。

○机の上にはペンにノートにインクがある。

○兄も妹も出かけた。

○どれもこれもみんなまちがいだ。

○野にも山にも畑にも雪が一面に積んでいる。

○アメリカへだってヨーロッパへだって行ける機会があったのに、どうしていかなかったのですか。

○お茶なりコーヒーなりなにか飲みものがほしい。

○これだけのあれだけのと言わないで、みなお出なさい。

○今日か明日のうちにできあがります。

(四)介入接續詞的対等文節

○米及び麦は、人類の主食品である。

○山また山を越える。

○今日は静かな、そして暖かい日だ。

○会場は広くかつ明るい。

○行くかそれとも帰るか早く決めなさい。

注意:

介入接続詞の対等文節和其他場合の対等文節一样,在句子里都构成一个整体,相当于一个文节的作用,但从形式上来看,介入的连接词本身也是一个文节,所以又把这种连接词称作“接続語”(接続語)。

## 六 補助文節の構造

(一)補助用言(包括補助動詞和補助形容詞)

- 彼は本を読んでいる。
- 雨が降ってくる。
- これは本である。
- ゆっくり話してください。
- 本を読んであげる。
- 自分のかいた絵を先生に見ていただく。
- 困っていらっしやる。
- お帰りになる。
- すこしもおもしろくない。
- もうみんな帰ってもよい。
- もうすこし早く来てほしい。

(二)補助用言后加助動詞、助詞

- ここであなたを待っております。
- それではやってみようか。
- 彼はとっくに外へ出てしまった。
- だれもこの本を読みはしない。
- 早くしないか、みんな待っているんだぞ。
- 早くなおしてくれないかなあ。
- 高くはございましたが, 疲れませんでした。
- あまり丈夫ではありません。
- あなたのかいた絵を見せてほしいです。
- 仕事がいやなら、しなくてもいいですよ。

【参考】 关于补助文节的几个问题

(一) 下面句子里的一些补助动词,从意义作用来看和前面列举的构成补助文节的部分单词完全相同,但从形式上来看可以不必作补助文节看待(关于“补助动词”请参照第四章第二节)。

- 気がついたところをご指摘ください。
- 早くお読みなさい。
- これを書いてくれたまえ。
- 私をご案内します(致します,申します,申しあげます。)
- ご案内いただけませんか。
- お伝えねがいます。
- 時間とおりに出発できるでしょうか。

以上这些补助动词的用法,归纳起来有两种情况:一是接在动词连用形后面,一是接在サ变动词词干后面。这些补助动词实际上都和前面的词构成了一个相当于复合动词的整体。

(二) 补助文节的作用就在于对前面的谓语文节补充某种意义,而不能仅从文节的构造形式来判断文节之间的相互关系,否则就会把补助文节误认为谓语文节,而把真正的谓语文节误作为连用修饰语文节。从这个角度来说,下面句子里的画“—”线的部分也是补助文节,其中的独立词也均可以作为补助动词或补助形容词看待。

- くつのまま入ってもかまわない。(〈～も〉かまわない)
- あぶないから、そばへ来てはいけない。(〈～ては〉いけない)
- そんなことで嚇かされてはたまるものか。(〈～ては〉たまるものか)
- 早くきてくれるといいね。(〈～と〉いい)
- 早く行かねばならぬ。(〈～ねば〉ならぬ)
- 経験をよく総括しなければならない。(〈～なければ〉ならない)

○そうしなくてはならない。(〈～なくては〉ならない)

○早く寝なくてはいけません。(〈～なくては〉いけない)

○私としては、その場合そうせざるをえない。(〈～ざるをえない〉)

○疲れたときは寝るに限る。(〈～に〉限る)

○もう一度考えてみようじゃありませんか。(〈～じゃ〉ないか)

○わざわざ行くまでもないでしょう。(〈～までも〉ない)

以上这些补助文节常与谓语文节中的附属词搭配在一起使用，这就是人们常说的“惯用句型”。这些文节给谓语部分增添各种意义，如表示“可否”、“适当与否”、“理应如何”或表示“必须”、“不得不”、“希望”、“劝诱”等等意思。诸如此类的还有：〈～ても〉さしつかえない、〈～ては〉だめだ、〈～ても〉はじまらない、〈～ば〉いい、〈～ば〉よかった、〈～と〉よかった、〈～ずには〉いられない、〈～ずには〉おかない、〈～には〉及ばない，等等。此外，还有以下一些补助文节。

○入学試験に合格したときは、うれしくてたまらなかつた。(〈～て〉たまらない)

○ゆうべはおそくまで起きていたので、きょうはねむくてしかたがない。(〈～て〉しかたがない)

上面这类补助文节增添“很”、“非常”、“(得)不得了”的意思，类似的还有：〈～て〉やまない、〈～て〉ならない等。

○あしたは雨が降るにきまっている。(〈～に〉きまっている)

○これをやったのはあの人にちがいない。(〈～に〉ちがいない)

○いそがしいので、あしたは来ないかも知れない。(〈～かも〉知れない)

以上这类补助文节增添一种推量、推断的意思，类似的还有：

〈～に〉相違ない、〈～に〉ほかならない、〈～に〉すぎない、〈～とは〉限らない、等等。

○彼もだいたいフランス語が話せるようになった。(〈～ように〉なった)

○もう卒業するばかりになっている。(〈～ばかりに〉なっている)

以上“〈～ように〉なっている”表示某种倾向或结果，“〈～ばかりに〉なっている”表示“即将”、“将要”的意思。

(三) 某些动词在句子里只是形式性的存在,并不表示实质意义,因而又被称作为“形式动词”,如:

○いま出かけようとしている。

○行ったり来たりする。

○ぼくも行きたいと思う。

○困難というものは恐れるべきではない。

这类动词既不象一般动词一样表示实质意义,又不象补助动词一样增添某种意义,只是在组织句子的时候,需要有一个象征性的谓语。我们不妨把这类动词构成的文节仍作谓语文节看待,这样更有利于分析句子的基本结构。如:

○私は日本語の本を買おうと思っています＝私は(このように)思っています。

○手紙を書こうとしたが、ペンがないのでやめた＝(このように)思ったが、ペンがないのでやめた。

○もう一度日本へ来ようと思っています＝(このように)思っています。

○夏休みは海へ行って泳いだり、山にのぼったり、小説を読んだりして、過ごしました＝夏休みは(このように)して過ごしました。

○いろいろ理由はあげられませんが、つまり問題は金がない、ということになりますね＝いろいろ理由はあげられまし

ょうが、つまり問題は(こう)いうことになりますね。

○すこしぐらいなら大丈夫だろうという気持、これがすなわち(こう)油断というものだ—(こう)いう気持、これがすなわち(こう)いうものだ。

从上面例句中可以看出,以所谓的形式动词构成的文节,作为一种象征性的谓语文节看待,不仅不会曲解句子的意思,反而使句子的基本结构(尤其在一些较长的句子里)显得更加清晰,明朗。这就是说,这类文节与前面列举的补助文节的作用是不能同等看待的。所以,这类文节还是应该作谓语文节看。再看一个较长的句子:

○こんなに世界情勢を緩和させたいのなら、なぜ、チェコスロバキヤあるいはモンゴルから軍隊を撤退させるとか、日本の北方四島を返還するとかいったこと一つや二つやってみせて、誠意を示さないのか—こんなに世界情勢を緩和させたいのなら、なぜ、(こう)いったこと一つや二つやってみせて、誠意を示さないのか。

(四)形式体言构成的文节往往也能够单独地或与其后面的文节构成一个整体起到类似于补助文节的作用,如:“私は日本語を話すことができる”、“日本語を三年もやったから、話せるわけだ”、“私はそうするわけにはいかない”、“私は桂林へ行ったことがある”、“汽車は十時に出るはずです”、“彼は行くはずがない”等等。这样的一些文节不能形成断止文节,也就是说,不能单独构成句子,从这个意义上来说,“形式体言+だ”的文节必须与前面的文节联合起来才能构成断止文节,从而也相当于补助文节的作用。

但是,形式体言毕竟是作为一个体言来运用的,它构成的文节完全可能与其后面的文节构成主谓关系、修饰关系、对等关系、独立关系,甚至形式体言后面的文节还可能是一个补助文节。从这个意义上来说,形式体言文节与一般的体言文节并没有什么区别,因此

只要我们认识了形式体言的性质和作用，不妨把形式体言文节与一般的体言文节同等看待，并利用连文节的概念分析句子结构，这样既不至于曲解句子的意义，又能更好地明确句子的意义结构。如：

○彼が 行く はずは ない。

○彼は 行く はずが ない。

这样，两个句子的意义就可以区别开来了。前者是说“（彼が行く）はずはない”，直译为“（他去的）可能性是没有的”，而后者则是说“彼は（行く）はずがない”，直译为“他没有（去的）可能性”（按照汉语的习惯讲法，前者应为“不可能是他去”或“不会是他去”，后者应为“他不可能去”或“他不会去”，这样也能够区别两个意思不同的句子）。

当然，如果完全按照句子的意义结构去分析句子，而不考虑文节或句子成份的构造，我们可以按下面的方法来区别句子的意思。如：

- 甲 （彼が行く）かも知れない＝也许是（他去）。
- 乙 彼は（行く）かも知れない＝他也许会（去）。
- 甲 （彼が行く）だろう＝大概是（他去）吧。
- 乙 彼は（行く）だろう＝他大概会（去）吧。
- 甲 （彼が行く）？＝是（他去）吗？
- 乙 彼は（行く）？＝他，（去）吗？

按照这样的分析方法，不仅不能考虑文节的相互关系（同时也就无法确立句子成份），连所谓“文节”的概念也不存在了，甚至于还要借助于“语气”来区别句子的意义结构，象前面列举的最后一组例句那样。但是，分析句子结构的最终目的无疑是为了阐明句子的意义结构。这就是说，“文节”的概念在分析句子的意义结构方面仍然带有很大的局限性，单纯地考虑文节的相互关系（或者说“句子成份的相互关系”也是一样），等于从形态上把句子切割成一

个个的小段落，并不能从整体上把握住句子的意义结构。要解决这些问题，只有进一步利用“连文节”的概念把句子按意义结构重新组合起来，同时，还必须利用“题述”（“主题”与“叙述”）的概念来考虑句子。象前面几组例句，我们可以先划分文节，再根据文节的相互关系组合成连文节，直至将所有的文节连成一个句子，这样我们就可以得到一个句子的完整的意义。同时我们发现，象“乙”类的句子都有一个“主题”，并对“主题”进行了“叙述”，而“甲”类句子则只有“叙述”，至于这句话是围绕一个什么“主题”进行的叙述却无从知道，也就是说“甲”类句子整个地只相当于“乙”类句子的“叙述”部分（具体见下一节“连文节”和【参考】关于主题和句子的题述结构”）

## 七 独立语文节的构造

### （一）感叹词

○ああ，春が来た。

○さあ，これはなんでしょう。

○はい，分りました。

### （二）接续词

○けれども，私はすこしも知らなかった。

○昨日は風が強かった。それでこんなに花が散った。

○ここは日あたりもいいし，それにあたりも静かだ。

○行くかそれとも帰るか，早く決めなさい。

○山また山を越える。

### （三）体言或体言加助词

○一月三日，それは私の誕生日だ。

○太郎，ちょっとここへ来なさい。

○花子や，ちょっとおいで。

### （四）插入语（参照第二节“文节的相互关系”）

○その山には，行ってみたら分るが，珍しい植物がたくさん生えている。



注意:

构成独立语节的大多是感叹词和接续词。

体言作独立语节时有以下两种情况:一是呼语,与表示呼唤的感叹词的用法相同;二是提示语,即把句子里的某一个文节提到前面来突出提示,再在原处放一个代名词(或相当于代名词的词语)代替这个文节。

作为呼语,除了体言之外,某些用言也有这种用法,如:

○見よ,すばらしい景色ではないか。

○ごらんなさい,なんと美しいではありませんか。

这里的“見よ”、“ごらんなさい”可以说基本上是为了呼唤别人才使用的,不和句子里的其他文节发生直接关系。但是要注意区别谓语的倒置,例如:

○見よ,このすばらしい景色を。

这里的“見よ”最好还是作谓语句看,因为这句话完全可以改成“このすばらしい景色を見よ”,当然,这样一来说话的语气和效果都有些改变。

### 練習問題三十五

一、次の文は、文節にくぎってありますが、切り方のまちがったところがあります。それを例になつて正しくなおしなさい。

例: 春は|来た|けれども、|梅の花は|まだ|咲かない。

その泉に|吸い込まれる|ように、メロスは|身を|かがめた。水を|両手で|すくって、一口|飲んだ。ほうと、長い|ため息が|出て、夢から|さめた|ような|気がした。歩ける。行こう。肉体の|疲労回復と|ともに、わずか|ながら|希望が|生まれた。義務|遂行の|希望である。わが|身を|殺して、名誉を|守る|希望である。斜陽は|赤い光を|木木の|葉に|投げ、葉も枝も|燃える|ばかりに|輝いている。日没までには|まだ|間がある。私を|待っている|人が|あるのだ。すこしも|疑わず、静かに|期待して|くれている|人が|あるのだ。

三、次の各組の——をひいたことばの中には、文の成分として一つだけ性質の違うものがある。その記号(ア、イ、ウ……)に◎印をつけなさい。

A組：ア これ、なんなの。イ なにもあの人だけがえらいんじゃないさ。ウ 私はテンブラが大好きです。エ このごろ母上にはいかがおすごしていらっしゃいますか。オ これは子供にでもできることです。カ 六月に雪が降るとは珍しことです。キ それはいったい誰から言いだしたことでしょう。ク 政府でもとくにこれを重視しています。

B組：ア 彼は気持のやさしい男です。イ これは千円が値うちはある。ウ そればかりのことで泣くなんてみともない。エ 川から向こう側が工業地帯です。オ あぶないから白線より内側にさがってください。カ そんなことを言うのはあまりだよ。キ 会場にはたった一人しかいなかった。

C組：赤い花が美しく咲いた。イ 中国は土地が広くて物産も豊かだ。ウ お目にかかれて大変うれしかった。エ 私は独身どころか、もう子供が三人もあります。オ 東京に来たら、知らせてください。カ 僕がやるなら、まずこっちから始めるな。キ 彼は妹と暮らしている。

D組：ア あしたもまた雨かくもりでしょう。イ きたないのきたなくないの、まったく話にならない。ウ 見ると聞くとは大いに違う。エ 行くなりやめるなり早く決めなさい。オ あんな本はおもしろくもなければためにもならない。カ 今日は静かなそして暖かい日だ。キ こんなおもしろい本は読んだことがあります。

E組：ア ちょっとお待ちくださいませんか。イ 十分休んであるから、徹夜しても大丈夫だ。ウ 小川の水がちらちらと流れていく。エ 私は行きたくない。オ これをやったのはあの人にちがいない。カ 自然の音はまったく、どれもこれも音楽でないも

のではない。キ 仕事がいやなら、しなくてもいいですよ。

F組: ア ほう、さすがの君もおじけついたのか。イ では、試合をあしたに延期しよう。ウ 先生、この問題の正しい解き方を教えてください。エ あなた、どなたですか。オ インクは青または黒を使用すること。カ 少女は、晴れの日はもちろんのこと、雨の日も風の日も花を売り歩いた。

#### 第四节 连文节

##### 一 连文节的意义

(一)相邻的文节结合成一个整体，起到相当于一个文节的作用，这样结合起来的文节就叫连文节(連文節)。

(二)最先结合起来的相当于一个文节作用的连文节，必然又要和句子里的其他文节发生某种关系，从而它们又将构成更大的连文节，最终，一个句子就是所有文节结合起来的连文节。

##### 二 连文节的作用

(一)连文节与其他文节(或连文节)之间的关系，仍然与单个的文节的相互关系一样，有“主谓、修饰、对等、独立”等关系，可以把处于这种关系的连文节叫做：主语部、谓语部、连体修饰部、连用修饰部、独立部。如：

○赤い花が咲いた。

主语部

○空は晴れている。

谓语部

○明るい静かな晩でした。

连体修饰部

○いつもの話をまた始めた。

连用修饰部

○今月の三日，それは本校の創立記念日です。

独立部

注意：

1. 连文节与其他文节(或连文节)进一步构成对等关系的时候，因为对等关系的双方实际上只相当于一个文节的作用，所以一般不称为“对等部”。如：

○ご飯に するか マントウに するか，早く決めたまえ。

对等

连用修饰部

2. 补助关系的文节一般是“谓语文节+补助文节”的形式，但也有可能出现两个以上的补助文节。如

○鳥がとんで いって しまった。

谓语句

2. 连文节在句中处于什么地位，即与其他文节(或连文节)发生什么关系，是由这个连文节里的最后一个文节的性质来决定的。也就是说，整个连文节的作用相当于这个连文节里最后一个文节的作用。如：

○花が 咲く 春が 来た。

“花が咲く”这个连文节处于句子的开头，因此不必承受前面的文节的关联，而只关联到其后面的文节(或连文节)，由于这个连文节里的最后一个文节“咲く”对于其后面的文节来说是一个连体修饰语，从而整个连文节相当于连体修饰语的作用；同样，“花が咲く春が”这个连文节由于“春が”对于其后面的文节“咲く”来说是一个主语文节，从而整个连文节相当于主语的作用。

### 三 连文节的构造

#### (一)主谓关系的连文节

○僕が 言いたいのは そのこと なんだ。

主语部

○象は鼻が長い。

谓语句

○花が咲く春が来た。

连体修飾部

○空は限りもなく高い。

连用修飾部

○雲は白く、水は青かった。

对等

○池田君が盗んだなんて、それはうそだ。

独立部

注意:

有些主谓结构的熟语,构成一个紧密的整体,相当于一个用言的作用,例如:

○目が高い→あ人は目が高い。

○腹が立つ→人の親切にも礼を言わないので、腹が立つ。

○気が差す→彼の心を傷つけたのではないかと気が差している。

○骨が折れる→彼は骨が折れる仕事も快く引き受けてくれた

象这种熟语,在句子里不必机械地看成主语和谓语,可用连文节的连结方法把它们组合起来作一个用言处理。

## (二) 修饰关系的连文节

### 1. 连体修饰关系的连文节

○桜の花が咲いた。

主语部

○これはぼくの本です。

谓语部

○あの高い建物のむこうにある。

连体修飾部

○ミカン畑の間を登りつめると、急に線路は下りになった。

连用修飾部

○赤い花と黄色い花が咲いている。

对等

○今月の三日，それは本校の創立記念日です。

独立部

2. 连用修飾关系的连文节

○いま笑ったのは君だろう。

主语部

○ぼくはこれだけもらう。

谓語部

○かなりむずかしい問題です。

连体修飾部

○あすは試験だから，いつもよりやや早くうちを出る。

连用修飾部

○お茶を飲むか映画を見るかしよう。

对等

○歩いて行くなんて，これは夢じゃないか。

独立部

注意：

1. ～について、～に関して、～に対して、～にとって、～において、～における、～によって、～にあたって、～にして(は、も)、～にしてみれば、～として、等等，往往只相当于一个复合助词的作用，也就是说，它们虽然形式上与前面的词构成连用修飾的关系，但实际上并没有构成谓語的可能性，可以把这种结构的连文节作一个整体看待。

○あの人の家族についてはあまりくわしいことは知りません。

○大会は東京において三日にわたって開かれた。

○日本における四季の変化は他の国に見られないものである。

○親に対してそんなことを言うてはいけません。

○それは私にとって興味のある問題です。

○外国人によって設計された建物です。

此外，～という、～といえ、～と言ったら、～となると、～とくる、～ときたら，等等，也基本上相当于一个副助词的作用，在句中起到提示

“主题”的作用。

○三月の広州と言えば、春たけなわである。

○印刷機というと、上海製がいちばんいい。

○水泳とくると、全然駄目だ。

○北海道地方の連絡となると、このコースが断然有利である。

2. 有些形式上是连用修饰关系的熟语,构成一个紧密的整体,相当于一个用言的作用。

○気をつける→足に気をつけてください。

○手にする→前にはしかったカメラをつい手にした。

○気になる→試験の結果が気になる。

○ばかをみる→そんな物、手元も出して馬鹿をみた。

○横になる→横になって眠る。

○鼻につく→いくらすきでも、毎日同じ料理じゃ鼻につく。

○首になる→彼は首になった。

3. 形容词或形容动词的连用形后面接“なる”、“する”等动词时,整个地相当于一个动词的作用,也就是说,不是机械地把前面的形容词或形容动词作连用修饰语看。

○生活をゆたかにする。

○毎日の労働時間を一時間ずつ短くする。

○日本語が上手になりました。

○このごろ、婦人のかたでも洋服を着る人が多くなってきた。

○ああいうふうに、ひとつひとつ手で作っていたのでは、高くつくだらう。

副词加する构成サ变复合动词,自然不存在修饰与被修饰的关系(参照第五章第二节),但有时副词后面加助词再接する或なる,形式上还是构成了修饰关系,但实际上也相当于一个复合动词的作用。

○頭がふらふらになる。

○いたざらざかりですから、服や靴など、すぐぼろぼろにしてしまう。

(三)对等关系的连文节

○今日と明日は休みです。

主语部

○中国人民は勤勉で勇敢だ。

谓语部

○大きな、濁った川が平原をゆうゆうと流れる。

连体修飾部

○歌って、おどって、楽しくすごしました。

连用修飾部

○一人来るか二人来るか、そして午前に来るか午後に来る

对 等

かはまだはっきり分らない。

○リンゴかなしかみかんか、どれでもすきなのを一つおと

独立部

りなさい。

(四) 補助关系的连文节

○しかってばかりいるのは教育でない。

主语部

○また手袋をどこへやら忘れてしまった。

谓语部

○すっかりふさぎこんでいた彼は、急に元気をとりもどした。

连体修飾部

○きたなくさえなければ、なんでもいい。

连用修飾部

○正しいや正しくないやで見方が違う。

对等

○このことはほかの人に言わないでおいってください。

谓语部

(五) 独立关系的连文节

○ねえ、おかあさんたら、いいでしょう。

○ほら、きみ、いい景色じゃないか。

○ああ、春、どんなに待ったことか。

独立关系的连文节最终往往还是构成独立部，如上面几例。



#### 四 连文节的组织方法

(一)有某种直接关系(即主谓、修饰、对等、补助、独立等关系)并且相邻的文节最先组成连文节,进一步构成更大的连文节时也是如此。例如:

○ぼくはきのう 学校へ 行った。

\_\_\_\_\_ (第一次连文节)

\_\_\_\_\_ (第二次连文节)

\_\_\_\_\_ (第三次连文节)

上面这个句子里的“ぼくは”、“きのう”、“学校へ”三者之间都是相邻的,但它们相互之间并不具备任何直接关系,而“きのう”和“学校へ”(这两个文节不是对等文节)以及“ぼくは”虽然都直接与“行った”发生关系,但应先考虑相邻的文节的结合,所以第一次连文节是“学校へ行った”,第二次才是“きのう学校へ行った”。这样考虑还有一个好处,比如:

○きのう ぼくは 学校へ 行った。

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

这句话里“きのう”提到了前面,组织连文节时,只有最后一次才能组织进去,显然“きのう”给人以比较突出的感觉,而“きのう”在句首与在句中给人以不同的感觉,正是讲话人所要达到的目的。再如:

○教室は わたしたちが 掃除 します。

\_\_\_\_\_ (第一次连文节)

\_\_\_\_\_ (第二次连文节)

“教室”用副助词“は”提到句首,并最后结合进连文节,也就是说讲话人要突出提示这个文节,“教室は”也即成了这句话的“主题”(参照第七章第四节“は”的用法及本章【参考】关于主题和句子的题述结构)。

(二)最先构成的连文节应能与相邻的文节构成某种关系

前面曾经讲到,一个连文节在句中起什么作用,是由这个连文节里的最后一个文节的性质来决定的。试看下面一个句子的两种连文节的组织方法。

- ① 赤い花が咲いた。      ② 赤い花が咲いた。  
 — × —————      ————— ○ ————

上面这个句子,仅从“花が咲いた”来看,这是两个相邻的而又构成主谓关系的文节,把它们组成连文节是完全可以的,但是,这个连文节与相邻的“赤い”之间的关系则无法成立,因为作为连体修饰语的“赤い”无法修饰“花が咲いた”这个谓语连文节。这是因为“花が咲いた”这个连文节由于“咲いた”的缘故,只能受到连用修饰语的修饰,而不能受到连体修饰语的修饰。很显然,第①种组织方法是错误的,我们用“×”来表示文节之间无法构成任何关系;而第②种组织方法是正确的,我们用“○”来表示文节之间可以构成某种关系。

再如:

- ① 花が咲く春が来た。      ② 花が咲く春が来た。  
 — ○ — ○ — ○ —      — ○ — ○ — ○ —  
 ————— ○ ————      — × ————— ○ ————  
 ————— ○ ————      — × —————
- ③ 花が咲く春が来た。  
 — ○ — ○ — ○ —  
 — ○ — × —————  
 ————— × —————

我们看到,从单个的文节的相互关系来看,“花が咲く”、“咲く春が”、“春が来た”,都可以组成连文节。如果我们先把“咲く春が”组织起来,那么整个连文节由于“春が”的性质,只能作为主语文节关联到后面的谓语文节“来た”,而不可能与前面的“花が”之间构成任何关系,从而第二阶段的连文节只能是“咲く春が来た”,这个连文节由于“来た”的性质,相当于一个谓语文节,似乎可以与

前面的“花が”之间构成主谓关系,但是这等于说“花が来た”,显然意义不通,同时我们知道,由格助词が所附属的主语文节,一般只关联到就近的谓语文节(参照第七章第四节“【参考】は和格助词が”),因而“花が”应该关联到就近的谓语文节“咲く”;那么,先把“春が来た”组成连文节会怎么样呢?这样更不行,“春が来た”由于“来た”的缘故,无法与“咲く”或“花が咲く”这样的连体修饰语构成任何修饰关系。因此,唯一正确的方法只能是先组织“花が咲く”,作为连体修饰语修饰“春が”,进而“花が咲く春が”作为主语关连到“来た”。

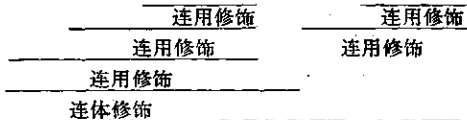
○いつも八時に学校へ来た彼が今日はまだ来ない。  
 ——×——×——○——○——×——×——○——

这个句子中的“まだ”与“来ない”可以马上组成连文节,而不至于影响与其他文节的关系。但是,“学校へ”、“来た”、“彼が”这三个相邻的文节衔接处都有表示可以直接组合的“○”符号,也就是说“来た”既可以与“学校へ”直接组合,也可以与“彼が”直接组合,这样就有必要选择最先组合的一个连文节。如果先把“来た彼が”这个连文节组织起来,则“学校へ”无法对这个连文节进行修饰,所以,应该先把“学校へ来た”组合起来,这个连文节可以修饰“彼が”。但是“学校へ来た”除了和“彼が”相邻之外,还与前面的“八時に”相邻,而且有修饰关系,这样一来,还是不能首先把“学校へ来た彼が”组合起来,而应该是“八時に学校へ来た”。以下类推。

○いつも八時に学校へ来た彼が今日はまだ来ない。  
 ——×——×——○——○——×——×——○——  
 ——×——○——○——○——×——○——  
 ——○——○——○——○——  
 ——○——○——  
 ——○——

这个句子里的所有连文节的构造如下：

○いつも八時に学校へ来た彼が今日はまだ来ない。



主 謂

再如：

○きれいにおもちがなっている。

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

○雨が降ったので、道が悪くなった。

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

○庭の桜が咲いたら見せていただきにあげます。

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

○四月の初めに送られてきた雑誌を読んでいた。

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

○夕方から一時やんでいた雨がまた降り出した。

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

○おい、中村さん、きみの言い分はそれだけか。

○進むなり退くなり早く決めなさい。

○明るい、静かな 晩でした。

○赤は止まれ、青は進めの 信号だ。

### 練習問題三十六

一、連文節の概念について述べなさい。

二、例にならって、次の各文を文節にくぎり、そして連文節に順次つないでいきなさい。

例 ○花が咲く 春が来た。

○春の遅い北国の山に花が咲き乱れている。

○おとなしい彼があんなになっておこったのももっともだ。

○この説はおそらく彼が唱えはじめたのだろう。

○男の子も女の子もよく学びよく遊ぶ。

○おうい、学生さん、なにをそんなに急いでいるのですか。

○先生がくださった本を私に見せてくださいと大武君が言

った。

三、次のBさんの文についてAさんのような意見が出た。Bさんの中から、それぞれの意見にあてはまるものを一つずつ選んで、その記号を( )の中に書きなさい。

(Aさん)

1. ( )の文には、きまったことばで受けなければならない副詞が上にあるのに、下の受け方をまちがえているところがある。

2. ( )の文は、修飾語がどの語を修飾しているかあいまいな文である。

3. ( )の文は助詞の使い方がまちがっている。

4. ( )の文は同じ意味の語が重複している。

5. ( )の文は、思考の方向が途中でねじれている。

(Bさん)

A いちょうのかげに隠れて、公亮が三代將軍実朝を暗殺した所だと伝えられている。

B 母が、「今まで勉強していたの、さぞ疲れたね。」と言った。

C 私は笑いながら逃げていく弟を追いかけた。

D 目に見えるものは、ただバスのヘッド・ライトの照らす部分と遠くの電灯の光がちらちらと見えた。

E 小雨の中に島島はぼおっとかすんで見える光景は、想像していたよりずっとすばらしいものでした。

## 第五節 文节的倒置和省略

### 一 文节的倒置(文節の倒置)

(一)文节倒置的意义和作用

谓语或谓语部里的谓语文节(即断止文节), 通常情况下都在

句子的末尾,如果改变这种位置,就叫做“文节的倒置”。例如,

○ごらんなさい,あのきれいな夕焼けを。

○とても喜んでね,あのおだやかな人が。

把句末的谓语文节(断止文节)提到句首,能起到突出强调、加重语气的作用。

谓语文节(断止文节)一般是提到句首,也有可能提到句子的中间。例如:

○雨は降りはじめた,ものすごく。

○これが写真ですか,彼女の。

这种倒置因为不是把断止文节提到句首,所以形式上是把句子中间的文节放在句末,但是句子的重心仍是前面的包括断止文节在内的部分,而放在句末的“ものすごく”、“彼女の”等只是起到作一点补充说明的作用。

## (二)谓语(断止)文节的倒置

### 1. 主语和谓语的倒置。

○何人でした,出席したのは。

○だめよ,そんなことは。

### 2. 连体修饰语和谓语的倒置。

○これが宿舎ですか,学生の。

### 3. 连用修饰语和谓语的倒置。

○行こう,いっしょに。

○歩きなさい,どこまでもまっすぐに。

○やめようよ,もうつかれたから。

○捨てるのかい,これを。

### 4. 独立语与谓语的倒置。

○さあ,いこう,みなさん。

○なにするんだ,きみ。  
しよぶく

## 二 文节的省略(文節の省略)

文节的省略严格地说,指的是断止文节的省略。因为日语里

主语及其他句子成份本来就比较地不受限制，所以只有省略了谓语文节，才有明显的文节省略的感觉。

○どちらへ(おでかけですか)。

○上野まで(まいります)。あなたは(どちらへおでかけですか)。

○どうぞ、お大事に(してください)。

○そんなことをいったって(無理ですよ)。

○わたしは行くつもりですが、あなたは(どうですか)。

在日常生活中，已经习惯地省去谓语文节的常用语很多，有些时候是为了避免重复而省略。这种省略的方法可以使句子更加简洁，又不至于使句子费解或使人不懂，所以，成语及俳句等省去谓语文节的现象是很常见的。

○千里の道も一步より( )。

○花より団子( )。

○鬼に金棒( )。

○菜の花や月は東に( )日は( )。

注意：

广义的“文节省略”，指的是各种句子成分的省略，如：

○(あなたは)行きませんか。

○(これを)(あなたに)さしあげましょう。

## 第六节 句子的种类

### 一 构造上的分类(構造上の分類)

以句中的主语和谓语的关系为标准对句子进行分类，可以把句子分成单句、复句、并列句三种，这种分类法即是从构造上对句子进行分类。

#### (一) 单句(単文)

一个句子里，主语与谓语的关系仅成立一次者叫单句。



- 花が咲いた。
  - 昨日も今日も雨だ。
  - 彼はまじめで熱心だ。
  - 男の子も女の子もよく遊びよく学ぶ。
  - 私は学校へ行って、友達と会った。
  - 工場長は知らせを聞くと、すぐ現場へかけつけた。
  - 私は昨日買ってきた本を全部読んでしまった。
  - 私の家でふるくから飼っている猫はタマという名前です
  - 出たよ、月が。
- (二) 复句(複文)

主谓结构的连文节充当句子里的某一成份,这种句子叫复句。

如果两个(或更多的)具备主谓结构的连文节对等地构成一个句子,那么这种句子不叫复句,而叫并列句(后面另作讲解)。

具备主谓关系的连文节参加到一个句子里,这种连文节日语里称作“節”或“句”,复句里的“節”、“句”叫“從屬節”或“從屬句”,我们这里译为“从句”(注意:这里讲的“从句”不等于汉语语法的“分句”)。

复句有以下几种形式。

1. 从句构成主语部

○君が笑ったのがいけなかった。

○おとなしい彼女があんなになっておこったのもっとも  
だ。

2. 从句构成谓语

○象は鼻が長い。

○この説はおそらく彼がとなえはじめたのだろう。

3. 从句构成连体修饰语

○花が咲く春が来た。

○僕は先生が言われたあのことを忘れない。

4. 从句构成连用修饰语。

○雨がやめば，でかけよう。

○君が行くなら，ぼくは行かない。

○私は彼の身ぶりがとてもおもしろかったので，笑ってしまった。

○みんなが反対するのに彼はやめない。

○蟹が木に登るとは思ってもいなかった。

○船が出ていくのを見ていた。

○千代子は目が赤くなるまで泣いた。

○たてものが高だけ眺めがいい。

○ねだんが高ければ高いほど品がよくなります。

### 5. 从句构成独立语文节

○池田くんが盗んだなんて，そんなことがあるか。

○彼が反対する，そんなことがあるものか。

### (三) 并列句(重文)

两个(或更多的)具备主谓结构的连文节对等地构成一个句子,这种句子叫并列句。

○雲は白く，水は青かった。

○風が吹いて，雨が降る。

○花も美しいし，香もよい。

○男の子は二人，女の子は一人だ。

○会社をさかんにしたのも彼，つぶしたのも彼だ。

○舟も立てば筆も立つ。

注意:

如果两个对等的主谓结构的连文节在句子里仍然只相当一个句子成分,那么这种句子不是并列句,是复句。

○花は咲くし，鳥はさえずるし，楽しい春になった。

○ここは気候もよければ，景色もいい。

## 二 意义上的分类(意味上の分類)

句子从意义上分析可以分成四种:叙述句、疑问句、命令句、感

叹句。

(一) 叙述句(平叙文)

凡表示疑问、命令、感叹以外的意思的句子叫叙述句。叙述句可以表示叙述、断定、推量、意志等多种意思。

- 雨が降る。
- 今日はあたたかい。
- この辺は静かだ。
- これで充分です。
- 私はみんなから代表に選ばれた。
- 父は花子に英語を太郎から習わせた。
- 今日は誰にも会いたくない。
- これはわたしの本です。
- この本はおもしろいらしい。
- なんとなく寒くなってきたようだ。
- 今日も雨が降りそうだ。
- 天気予報によると、夕方から雨が降るそうだ。
- 反対するのはきみぐらいだろう。
- きみが行くなら、ぼくも行こう。
- 彼も賛成しますまい。
- 私は今後彼と交渉しますまい。

(二) 疑问句(疑問句)

表示质问、疑问、反问的句子叫做疑问句。

- 今日はなん曜日ですか。
- どこへ行く?
- 夏休みはいつから始まるの?
- すぐ来てくれるかしら。
- そんなばかなことがあるだろうか。
- あなたのようなうそつきの言うことなど、信用するものか。

(三) 命令句(命令文)

表示命令、禁止的句子叫命令句。

○早く走れ。

○水を持って来てください。(てくれ、て頂戴、てよ)

○早くお帰りなさい。

○早く行ってきな。

○なにも分らないくせに、文句など言わないの。

○用事のないものは入るな。

○はやく!

(四) 感叹句(感動文)

表示感叹的句子叫感叹句，句首多用感叹词，句末多用表示感叹的终助词。

○ああ、すばらしい天気だ。

○まあ、かわいいあかちゃんですこと。

○あぶない!

○おお、さむ(寒)!

○まあ、すてき。

【参考】 关于主题和句子的题述结构

(一) 主题的概念

○教室は私たちが掃除します。

上面这个句子，仅从单个的文节的相互关系考虑，或者说，按照句子成份的相互关系考虑的话，“私たちが”和“掃除します”之间是主谓关系，而“教室は”和“私たちが”之间没有任何关系，“教室は”只和“掃除します”之间构成动宾关系(或曰谓宾关系)，即“教室は”是一个连用修饰语。但是，实际上，从这个句子的整个的意义结构来说，这个句子应该是由“教室は”与“私たちが掃除します”两大部分组成的，也就是说，“教室は”不是单纯地与“掃除します”之间发生关系，而是与“私たちが掃除します”之间发生关系。

我们知道，副助词は(见第七章第四节)具有从许多事物中提示某一事物使之成为叙述的中心题目的功能，这个被提示的事物人们称之为“主题”，或曰“题目”。前面的“教室は”就是这样的主题，而“私たちが掃除します”是围绕这个主题叙述的内容，它们之间的关系就是“主题”与“叙述”的关系。

一句话之所以需要一个主题，这就象人们写文章、作报告一样，为的是让别人知道自己在围绕着一个什么问题谈话。“教室は私たちが掃除します”，就是为着让人家知道自己要谈的是“教室”，“教室”怎么样呢？“教室，我们来打扫”。明确了主题，即使在谈话的过程中或在一篇文章中，出现“私が小学校を出たときに亡くなりました”这样一个句子，也不会使人感到唐突。很显然，人们无论是在组织句子还是在分析句子的时候，首先需要明确的是主题。

## (二)主题的提出

文章的开头往往出现“春が来た”之类的句子，尽管没有提出主题，但人们总是通过这样的句子来提供作主题的素材。例如：

○昔、百合若という弓の大将があります。

○昨日友達の李さんが遊びに来た。

讲话人在这些句子里都有意识地安排了用以提示为主题的素材。有了素材之后，讲话人就可以拿出其中的某一事物作为谈话的题目，同时围绕它进行叙述，于是就产生了下面的句子。

○百合若は、鉄の弓と鉄の矢を持っていました。

○李さんはみやげにリンゴを持ってきた。

这样一来，“鉄の弓”或“鉄の矢”和“リンゴ”也是素材，也可以拿来作为主题介绍一番。如：

○その鉄の弓は(大きくて、普通の人にはなかなか引けない)。

○そのリンゴは(烟台産で、とてもおいしかった)。

当然，人们不可能把前面句子中出现的“素材”都一一拿来提

示为主题叙述一番。究竟要谈什么，这是作者(或讲话人)早就决定好了的，先谈什么，后谈什么，都需要作一番合理的安排。

但是，这并不等于说，所有的主题都必须从前面的句子里提供的素材中来提取。在现实生活中，有很多事情不必先用一句话来提供素材再提示主题。比如向别人作自我介绍或介绍他人，就可以直截了当地围绕自己或他人进行叙述，如“私は田中と申します”、“こちらは私の同僚の李さんです”。同样，指着某一事物说“これはなんですか”、“ここはきれいですね”、“あなたはいつ帰ってきたの？”等等，都是很自然的。或者，一篇小说开头第一句话即以“私は……”或“彼女は……”的形式出现，也是一种直接介绍的叙述方法。我们在第七章第四节“【参考】は和格助词が”里曾经提到水上勉的《饥饿海峡》，第一句话就是“海峡は荒れていた”，这是因为“海峡”这一事物已经在小说的题目里出现，一上来就进入主题，更显得主题和叙述的紧凑。

反之，某些在前面的句子中出现过的事物，甚至作为主题叙述过的事物，并不是在以后的所有场合都可以作为主题出现。例如，“少年の体は、まるで砲丸のように、ドブと海に落ちこんだが、波がそれを呑むまもないうちに、二十人ばかりの勇敢な水夫たちが、次々と船から海へおどりこんだ。四十秒ほど立って——それが、一同にはとても長い間のように思われた——少年の体が、海面に浮びあがった”。再如：“昔、あるところに、おじいさんとおばあさんがいました。おじいさんは山へ柴刈りに、おばあさんは川へ洗濯に行きました。……ふと見ると、おばあさんがそこに立っていました”。诸如此类，说明一个事物尽管前面已经出现过，甚至可能作为主题叙述过，但在某些场合，这个事物仍有可能作为新的事物，而不是作为叙述的对象——主题出现。换句话说，这个事物与文章开头的“春が来た”或“昨日友達の李さんが来た”的“春”、“李さん”为同样性质的事物，不是叙述的题目。

### (三) 双重或多重主题

○私は昨日学校へ行きませんでした。

○私は桂林へ行ったことがあります。

这两个句子的主题很明显,都是“私は”,但是如果有必要提示“学校へ”或“桂林へ”的话,也就是说,整个一句话的中心题目并不是“私”,那么就有可能成为下面这样的句子。

○学校へは私は行きませんでした。

○桂林へは私は行ったことがあります。

这样,一个句子里面就出现了双重主题,这是因为,人们既要谈论“学校へは”、“桂林へは”这样的主题,同时又要围绕着“私”来谈。

一个句子里出现双重主题的时候,总是全句的中心主题放在前面,继而在这个主题后面再列出较具体的需要叙述的主题,后面这个主题加上叙述部整个地相当于前面的主题的叙述部。以此类推,一个句子里出现三个甚至更多的主题也许都是可能的。如,

○私はお酒はビールなら一杯くらい飲める。

当然,在实际讲话或写文章的时候,较大的主题往往不必提起,只要不至于引起读者(或听话人)的误解。而主题越小,就越带有限定叙述范围的意义,这种“限定”总是以区别于其他事物为前提的,因此,一个大的主题后面往往跟着两个对比的事项,或者即使只出现对比事项中的某一项,也仍然带有对比的意义,比如前面的“ビールなら”就明显地带着区别于其他种类的“お酒”的意思,如:“……ビールなら一杯くらい飲めるが、焼酎は全然だめ”。再如:

○私はお酒はすこし飲むが、タバコはすわない。

○彼は専門知識を持っているが、常識にはかけている。

对比的事项,人们总是要作一番叙述的,因为没有具体的说明,也就无法进行对比,从这个意义上来说,对比的事项往往也相

当于叙述的主题。

#### (四)主题省略

一个主题既经提出,只要后面紧跟着的句子的主题没有改变,可以不必重复提起。如:“林君は高校生です。来年大学を受けようと思っています。それで、いま受験準備をしています”,“あの人とは一度北京で会ったことがあります。とてもやさしい人です”。这样的句子随处可见,不必反复例示。

有时,一个句子的主题虽然未经提示,但因前后文脉的关系,也可以省略,而仍能使人知道这句话是围绕着什么事物进行叙述的。如:“フミの兄ちゃんに、およめさんが来ました。昨日、新婚旅行から帰ってきたばかりです”。后面一句话,显然是围绕着“フミの兄ちゃん”及其“およめさん”进行的叙述,也就是说,这个主题被省略了。

这类句子可以称之为“略题句”。“略题句”不同于文章开头的“春が来た”一类的句子。“春が来た”这类句子没有出现主题,并不是因为已经有了主题可以省略的缘故,而是因为作者和读者(或讲话人和听话人)之间有一个不言而喻的问题需要在文章(或讲话)的开头解决,这个问题就是事情发生的背景,有人称之为“状况(じょうきょう)”,这个“背景”即“状况”就是“春が来た”的主题,从而人们把“春が来た”这类句子称之为“阴题句”(陰題文)。正因为如此,读者或听话人看到或听到“春が来た”这类句子,不仅不会感到莫名其妙,反而觉得理所当然,因为大家心里正是希望一开始就了解“背景”。所谓“背景”,往往包括时间、场所、人物等方面,譬如:“昔(時間)、あるところに(場所)おじいさんとおばあさんが(人物)いました”。如果这种“背景”不能够从一开始就得到了解,人们就会试图从故事的发展过程中去了解、判断、整理出来,如果一直到故事结束仍然不知道这些“背景”,人们就会说“莫名其妙”。电影或者戏剧往往不能用语言来表达这种“背景”,因此往往是透过舞台背景(或画面)、服装道具或人物对白来解决这个问题的,也



有的时候干脆利用“字幕”来介绍，如“时间：……”、“地点：……”、“人物：……”等等。这些就是主题，这样的主题通常是不用“……は”的形式来表现的，是隐藏在人们心里的“阴题”。从而“フミの兄ちゃんに、およめさんが来ました”这个句子也是“阴题句”，也是为着介绍“背景”的。“背景”在文章(或讲话)中并不是出现一次就一劳永逸的，每一个具体的场面都有其具体的“背景”，有些“背景”或许在前面的句子已经夹带着介绍了，有些“背景”或许需要重整旗鼓地作一番介绍，同时任何一个事物都有可能是“背景”中的组成部分，从而，我们前面谈到的“……ふと見ると、おはあさんがそこに立っていました”、“……少年の体が、海面に浮びあがった”这样的句子，正是“背景”的表现。

还有一种句子，人们往往称之为“主题易位句(転位文)”。

例如：

○田中さんはどなたですか。

○私が田中です。

前一句的“田中さんは”是主题，“どなたですか”是针对主题应该要介绍的内容，而后面一句话的“私(が)”正是前一句话里要介绍的内容，“田中(です)”则是前一句里的主题，也就是说前一句的主题部和叙述部在最后一句里颠倒了位置，从而后面一个句子叫“主题易位句”。从这个意义上来说，“どなたが田中さんですか”、“どなたが北京へ行きますか”，都相当于“主题易位句”，也就是说，人们需要介绍的(或要知道的)是“どなた”，而介绍的对象即主题是“田中さん”、“北京へ行く人”。但是，这类句子我们也不妨认为是“阴题句”，或者叫做“易位·阴题句”。从“私が田中です”、“私が北京へ行きます”来看，它们是整个地用来表达讲话人所要叙述的内容的，它们是关于一个双方(讲话人和听话人)都希望说明的主题作的介绍，这个主题当然是双方共同知道的，这就是“田中さんは……”、“北京へ行く人は……”，这样的主题同样是不必提示的，是不言而喻的，从而也是隐藏在大家心里的“阴题”。因

此,当人们撇开一个不言而喻的主题组织叙述的时候,叙述部分可以相对地不受约束。这种叙述可以针对主题简单地介绍必须介绍的内容。比如有人问:“北京へ行く人はどなたですが”,回答:“私です”,(这个句子也可以说是“略题句”)。也可以介绍得详细一些,回答:“私が行きます”。同样也可以回答:“私が北京へ行きます”。总之,叙述的目的是为了说明问题,不管叙述的内容是否重复了已知的内容,它终究是对于主题的叙述。反之,如果主题不是“阴题”,而是明确地出现在句子里,那么一般就不会在叙述部分重复主题部分已经涉及的内容。如:“北京へ行く人は私です”,“北京へは私が行きます”,私は北京へ行きます”,这种场合的叙述部分显然不象“阴题句”那样不受约束,但是叙述部分的功能与“阴题句”是相同的,那就是它们都是为着说明问题的,只要能够达到这个目的,叙述部分也可以简单到介绍必须介绍的内容。如有人问:“北京へは誰が行きますか”,回答:“北京(へ)は私です”;或问:“あなたはどこへ行きますか”,回答:“私は北京です”。同样的道理,如果有人说,“はい,私が北京です”,那么它也许是针对“北京へは誰が行きますか”、“北京へ行く人は誰ですか”、“誰が北京へ行きますか”的任何一个问句的回答,是一个主题不必提起的“阴题句”,它或许可以回答得更详细一些:“はい,私が北京へ行きます”,或许可以讲得更简单一些:“はい,私です”。

#### (五)主题的构造

从遣词造句的角度说,主题是以什么形式出现的呢?关于这一点有些问题还难以下结论,但可以考虑以下一些情况。

##### 1. 体言+副助词は等。

体言加上は、も、こそ等做主题的情况最多。

○あの人はいくら親切にしてあげたところで、ありがたいとは思わないのです。

○田中さんもアメリカへ行くのですか。

○大衆こそ真の英雄である。

も、こそ所附属的文節、往往对于谓语部分带有某种修饰性的作用、而在提示主题方面不象は那么明确。此外、さえ、でも、だって、しか等也和も、こそ、的作用大致相同。

2. 用言连体形+形式体音+副助词は等。

○あの人が帰ってきたのは、桜の花が咲いていた頃であった。

○あなたのわるいところは、すぐおこることです。

○子供たちの作文を見るのも、なかなかおもしろいことですね。

3. 体言+格助词+副助词は等。

○桂林へは一度も行ったことがない。

○わたしたちの学校では、この十五日、おじさまの村へ遠足します。

○見ると聞くとは大いに違う。

○七月十六日からは夏休みです。

○六月に雪が降るとは珍しいことですね。

4. 体言+たら、ったら、てば、ってば、て、って、なんか、なんて、ぞ等副助词。

○大郎さんたら人を笑わせてばかりいる。

○彼の足の早さたらクラス一番だ。

○お母さんてば私の言うことをひとつも聞いてくれないんだ。

○彼ってばそうそうアメリカに留学したのよ。

○難しい専門書ってなかなか読みきれないね。

○君なんか(なんぞ・など)とても辛抱できないよ。

○これぞまさしくわれわれの求めるところである。

○歌なんて男一生の仕事ではない。

5. 体言+なら、だったら、といえ、といえ、といくと、ときたら、となると等。

- 学者ならそんなことを言うまい。
- 僕だったら，そんなことはしないよ。
- 北海道といえどもう雪だろう。
- 印刷機というと，上海製が一番いい。
- 彼ときたら全く仕事をしないんだから。
- 大学院となると，なかなかすぐに合格しないよ。

以上这些接在体言后面的词语，起到了提示主题的作用，我们可以把这一类词语作为一个副助词看待。但是，这样的主题与后面的叙述部分之间多少带有一些条件接续的关系，譬如说：“印刷機というと……”、“僕だたら……”、“学者なら……”，它们对于谓语部的条件修饰关系就比较明显一些。反之，我们也可以认为，以“ば……”、“たら……”、“なら……”、“……と”组成的条件性的连用修饰语，也都多示意味着“提示条件”的语气。譬如说“あなたが行けば，私も行きます”、“あなたがやれば，私もやる”假如把这类句子改变成“あなたが行く場合は……”、“あなたがやる場合は……”，也不至于过分改变原意。实际上，副助词本身也带有一定的提示条件的语气，例如说：“あなたはどう思いますか”、“私ならそんなばかなことはしません”，这里的“私なら”也可以改成“私は”，只是用“なら”带有更明显的假定性的语气，而用は则相当于“私の場合は”、“私についていけば”的语气。

6. 体言+については、に関しては、としては、にあたっては等。

○あの人の家族についてはあまりくわしいことは知りません。

这些接在体言后面的词语也可以作为一个复合副助词看待。具体请参照第七章第四节。

#### 7. 副词性文节作主题。

- 今日は学校へ行けません。
- 昨日私は学校へ行きました。

○雨が降った場合は中止します。

○上海に住んでいたころは、毎日バスで通学していた。

○この場合なんとも仕事ができない。

#### 8. 其他

○これ、なんなの。(体言不带任何附属成分构成主题)

○「小説神髓」, 日本ではこれを近代小説の啓蒙書と見ている。(提示语作主题。提示语虽然是独立语文节,但同时也是一句话要叙述的中心题目。)

○この間の話だが、あれはその後どうなっていますか。(这类句子的主题先用连用修饰语的形式把一个需要叙述的事物交代清楚,再用代名词在句中代替其组织句子。具体请参照本章第二节“六特殊成分的文节”部分。)

#### (六)主题与格的关系

所谓“主题”,指的是讲话人所要叙述的事物,用什么事物做主题,这取决于讲话人的表达意图。所谓“格”,指的是句子里的体言与句中其他词语之间的逻辑关系,这种关系不是讲话人可以任意改变的。体言的格,在日语里是用格助词来表示的,如“私が北京へ行く”,这里的“私”、“北京”与“行く”之间的逻辑关系都是必然性的,从而决定了它们必须用“が”和“へ”来表示,而决不可能用“へ”表示“私”,用“が”表示“北京”。但是,这句话如果需要提示主题的话,那就既可以说“私は北京へ行く”,又可以说“北京へは私が行く”。因此,按理说,主题和格是两个毫不相干的概念,前者是人为的表现思想的手段,后者是客观的事物本身的逻辑关系。那么,考虑主题与格的关系有什么意义呢?这是因为,一个体言即使被提示为主题,它和叙述部分的词语之间仍将可能存在某种逻辑关系,同时,正因为这种逻辑关系的存在,从而使得人们必须遵守表现“格”的基本语法规则。简单地讲,“体言做主题”并不等于“体言+は”。比如人们通常讲“北京へは私が行く”,而不是讲“北京は私が行く”,这就是说,“北京”即使提示为主题,它与“行く”之间的

逻辑关系仍然存在，“北京”仍然是“へ格”，仍然是“行く”的“去向”。当然，这并不是说“へ”绝对地不可以省略，只是省略了使人感觉不符合日语的表达习惯，而这种所谓的表达习惯，其实正是表现格的基本语法规则，人们往往用“不符合日语的表达习惯”来评论一些不道地的日语，也许正是这种态度宽容并发展了不道地的日语。但是，有一部分格，如“が格”、“を格”，在提示为主题之后，由于不能有“がは”、“をは”的重叠，这种时候的“が”、“を”是需要省略的。如“私(が)は北京へ行く”、“テンブラ(が)は大好きです”，这两个主题，前者是主格，后者是对象格，在日语里都是用が来表示的，提示为主题后，が就不能再出现了。再如：“教室(を)は私たちが掃除します”，“教室”做主题，表示格的を就不能再出现。顺便提及一下，“を格”做主题偶而也会有“をは”重叠的现象，包括现代关西地区的“をば”的讲法，也是“をは”的变化，这说明“を格”主题省略是有一个历史过程的。只有“が格”主题历来就不存在“がは”重叠的用法，这是否说明“は”在某种意义上兼有了“が”的功能呢？有一点可以肯定的是：は既可以提示が格，也可以取代が（现在日语里“を格”也是如此），而其他各种格（“を格”例外），は一般只是提示，而不是取而代之。这一点在下面的一些句子里体现得也很清楚。

○机の上には本があります。

○七月十六日からは夏休みです。

○これからますます寒くなるでしょう。

○彼とは一度会ったことがある。

○あの人へは人形を送ったほうがいい。

○クラスでは彼が一番背が高い。

还要顺便提及一下，这里所谓的“が格”、“を格”、“に格”等等，是按其形态称谓的“格”，如果说“主格”、“宾格”、“对象格”等等，则是主要从意义上来考虑的“格”。这两种格的考虑方法并不是1:1的关系，譬如“が格”，我们并不认为都是“主格”，同样“を格”也不

都是“宾格”。相反,从意义上来说,下面一些句子的划线部也不妨都认为是“主格”。如:

- 彼は気持のやさしい男です。
- この山なら私にも登られよう。
- これは子供にでもできることです。
- 私には変な気がする。
- 学校ではそんなことを教えないはずだ。
- 政府でもとくにこれを重視している。
- 直線とは二点間の最短距離である。
- これはいったい誰からいただいたのでしょうか。

不过,说到“格”,人们总是容易拿英语来作比较,从而对于上面这些划线部分,就很难说都是“主格”,至少其中的“~で”类很难说是“主格”。我们往往笼统地把这些称之为“主语”,这就是通常意义上的“句子成分”的讲法。所谓“句子成分”,指的是句子内部相互关联的各个部分,与“格”的考虑方法并不完全一致,至少在现代的日语语法界还没有统一起来,甚至有的语法学家认为日语里不必考虑“格”。的确,我们通常讲“それはいまよりずっと昔の話だ”、“彼から三番目の列”,其中“いまより”是“ずっと昔(の)”的连体修饰语,“彼から”是“三番目(の)”的连体修饰语,但是如果真要确定它们的“格”,恐怕就很难说是“连体格”,若要认真追究起来,从事物本身的逻辑来判断,也许还是表示“起点”的格吧。至于按照英语的分析方法来判定日语的格,恐怕是很不妥当的。象前面那些句子里的“~に”类、“~の”类、“~と”类、“~から”类,如果因为在英语里可以是主格,从而就称之为“主格”,那么为什么不干脆用は,或者说用は代替が,而要区别使用种种不同的格助词呢?其实,如果我们具体分析其中的各个格助词,就会发现它们仍然反映了种种不同的逻辑关系。譬如用“の”的情况,这是由于历史原因造成的,古代日语里的“の”就是主格助词,发展到现在“の”作主格必须出现在主谓结构的连体修饰语里;用“に”的时候,仍意味着

“主体”仍是某一现象赖以“存在的场所”，用“と”的时候，仍意味着“引用和称谓”，用“から”的时候，仍意味着“动作、作用的起源”，它们显然不同于が格，但是它们又确实是针对谓语而言的“主体”，从而不妨说是“主格”。至于用“で”的时候，笼统地说也是针对谓语而言的“主体”，但这种主体较之前几种主体，似乎主体的概念又含糊一些，因为“学校(では)”、“政府(でも)”实际上并不是实行某一动作的具体的行动者，而是在这个“范围”里，它的每一个具体的成员实行了某一动作。因而，我们一方面要看到这些体言是针对谓语而言的“主体”，从而才不至于看到“～の”就认为是连体修饰语，看到“に、で、と、から(は)”就认为是连用修饰语；另一方面，我们也应该看到表现在这些格助词身上的各种具体的逻辑关系，注意这些格助词的运用，从而才不至于认为所有的“主体”(或主语)都必须用が或は来表示。

考虑体言的格，应该说还有“の格”。关于“主题”和“の格”，还有一些问题值得讨论。我们在第七章第四节“は”的部分和第八章第二节“特殊成分的文节”部分都涉及到这个问题。“の格”与其他各种格相比，有其特殊的性质。一般说来，体言的格，除了“の格”之外，都是针对谓语而言的，而“の格”则表示这个体言与其后面的一个体言的关系，它可以加在句子里任何一个体言(包括作谓语的体言)前面进行修饰，反之，任何一种格的体言(包括谓语)，为了表现得更具体一些，都可以是“体言の体言”的形式，也就是说，“体言の”这个部分实际上是包含在任何一种格里的附属成分，从而这个“体言の”绝不可以超越它所附属的体言来考虑其与谓语的关系。然而，“主题”是必须到关联到谓语的，而所谓“の格”提示为“主题”，实际上这个主题就不可能再是“の格”了，如：

○私たちの課外活動はどこでやりますか→私たちはどこで課外活動をやりますか。

○収入の一部を国家に納める→収入はその一部を国家に納める。



第一个句子的“私は”对于“やり(ますか)”来说，应该是“が格”，第二个句子的“収入は”对于“納める”来说，应该是“を格”。因为“私たちは”和“収入は”已经不是附属于“課外活動”和“一部”的修饰性的成分，它们本身就是一个独立地关联到谓语的部分，考虑它们的格，就应该象其他各种格一样，要通过其与谓语的关系来判断。明确地说，就是“私たちがやります”、“収入を納める”，中间的那一部分只不过是对于谓语的具体修饰而已。问题在于“私たちは”和“収入は”正好相当于“が格”和“を格”，不可能以“～がは”、“～をは”的形式出现，否则就不至于认为“私たちは”等于“私たちの”，“収入は”等于“収入の”了。但如果我们说：上海では玉仏寺を見た，尽管“上海”和“玉仏寺”是“～の～”的关系，但绝对不会有人认为是“上海では”即等于“上海の”。同样，“私は財布をおとした”、“私は顔を洗った”这样两个句子，尽管“私”与“財布”、“私”与“顔”之间存在“～の～”的关系，我们并不会因此而认为这两个“私は”即等于“私の”。事实上，不仅主题与叙述部分的某个体言可能存在“～の～”的关系，就是叙述部分的几个不同的格的体言之间也有可能存在“～の～”的关系。如“くだものを(半分に切って)半分ずつ食べる”、“私たちは上海で玉仏寺を見ました”，我们不能把“くだもの”与“半分”、“上海”与“玉仏寺”都用“の”连接起来。

关于主题与“の格”，下面一类句子更值得讨论。

○象は鼻が長い。

○鼻は象が長い。

先说“象は鼻が長い”。不可否认，“象”与“鼻”之间具有一种领有关系，即“象”与“鼻”之间存在“～の～”的关系。但是，我们同样也要看到，“象は”是关联到整个叙述部分的，它不是附属于某个体言的“の格”，考虑格，就必须考虑它与谓语的关系。这里的“象は”是主语，是“が格”，它的谓语是“鼻が長い”，“鼻が長い”整个地是它的谓语。可以说，“象は鼻が長い”相当于“あの男は口あらい”、“あの男は口がたい”、“あの老人は耳遠い”、“あの人は耳

早い”一类的句子。这个意思是说，“鼻が長い”虽然是主谓结构，但对于“象は”来说，无非相当于一个形容词性质的词组，是说明主语的状态和性质的。也可以说，“象は鼻が長い”相当于“飛行機ははやい”、“象は強い”、“象は大きい”一类的句子，而这里的“はやい”、“強い”、“大きい”完全可以说成“スピードがはやい”、“力が強い”、“体が大きい”。如果我们因此而认为“早い”的主体不是“飛行機”而是“スピード”，“強い”的主体不是“象”而是“力”，“大きい”的主体也不是“象”而是“体”，从而判定“飛行機は”即等于“飛行機の”、“象は”即等于“象の”。那么可以说任何主语都是不存在的，任何主语都只能相当于“～の”。如说：“夏は暑い”、“この本はおもしろい”、“あの人はりこうだ”，其实是说：“夏は気候があつ”、“この本は内容がおもしろい”、“あの人は頭(?)がりこうだ”。甚至于“私は学生です”、“長江は長いです”，其实是说“私は身分が学生です”、“長江は長さが長いです”。以此类推，“～が”也应该相当于“～の”。如说：“飛行機がはやい”、“象が強い”，无非是说“飛行機がスピードがはやい”、“象が力が強い”。再推论下去，恐怕“スピードが”、“力が”也只能相当于“スピードの”、“力の”了。事实上，任何一个谓语都不可能是说明“主体”的一切方面的问题，都只是就“主体”的某一方面的问题而言，我们不能因此而否定“主体”即等于“～が”。也就是说，我们应该把“象は鼻が長い”和“鼻は強い”的“象は”都同样看作为“主体”或“主语”，也就是说，“象は”的格等于“象が”。

总之，象“象は鼻が長い”这类句子，尽管我们不能否认“体言は”与“体言が”之间存在“～の～”的关系（其实“～が～が～”的场合也是同样），但主题的格应该是与谓语联系起来考虑的。事实上，主谓结构作谓语的场合实在是太多了。如：“僕は頭がいたい”、“あの人は目が高い”、“あの人は耳がはやい”、“あの人は目が利く”、“あの人は目が肥える”、“あの人は気が弱い”、“私は気がつか  
なかった”、“長年独身でいる彼は、(相手が未婚者だと聞くと)”。

食指が動いた”。从这个意义上说，下面句子里划“一”的部分也是主语，而后面“~~~~”的部分也相当于谓语。

○B氏は奥さんが入院中です。

○この匂いはガスが洩れたのでしょう。

其次，关于“鼻は象が長い”，或“口は河馬が大きい”之类的句子，应该说“鼻が”或“口が”虽然提到句首作了主题，但它们与“長い”、“大きい”之间仍然构成主谓关系。这种句子和“私たちが教室を掃除します”变为“教室は私たちが掃除します”的情况一样，不同的只是“私たちが掃除します”的中间没有“教室を”也显得比较自然一些，而“象が長い”之间没有“鼻が”就觉得有些欠缺。其实这种欠缺的感觉是把“象が長い”从句子里分割出来才产生的，如果把它放回到句子里去就丝毫没有欠缺的感觉。事实上，这个句子由于有了“鼻は”这个主题，“象が長い”即完全相当于“象が強い”、“飛行機がはやい”一类的句子，正如“強い”、“はやい”意味着“力が強い”、“スピードがはやい”一样，“象が長い”的“長い”也即意味着“象が鼻が長い”。如果说这里的“象が長い”是“象の鼻が長い”或“象が鼻が長い”的省略，这无疑等于说“象が強い”、“飛行機がはやい”也是“象の力が強い”、“飛行機のスピードがはやい”的省略，或者是“象が力が強い”、“飛行機がスピードがはやい”的省略，这样分析下去，又要回到前面的老问题，即“～が”不等于主语，而等于“～の”。所以可以说，“鼻は象が長い”这类句子本身是不存在任何省略的。

#### (七) 句子的题述结构

“主题”是一句话所要叙述的“题目”，关于这个“题目”可能会作出比较详细的叙述，也可能会作出比较简单的叙述，但总归都是“叙述”。通常情况下，句子就是由“主题”和“叙述”的两大部分构成的，这种结构我们就叫做“主题部+叙述部”的结构，简单地说即是“题述”结构。

叙述的目的是为了说明主题，但是一句话不可能就主题的一

切方面进行叙述，任何叙述都只是就主题的某一个特定的方面进行叙述，这个特定的方面包含了需要说明的问题。具体地说，比如有人问：“あなたはなにがすきですか”，关于“あなたは”这个主题，“なにがすきですか”，就是需要叙述的特定的方面，而在这个方面真正需要说明的只是“なに(が)”这个问题，叙述的根本目的就在于说明这个问题，因此，人们可以回答：“うなぎです”或者更简洁的一些：“うなぎ”，也可以详细一些：“うなぎがすきです”。如果把主题部和叙述部结合起来，就成了：

○僕はうなぎ。

○僕はうなぎだ。

○僕はうなぎがすきだ。

这样的三个句子，无论从形态上看，还是从意义上看，都是完整的。因为主题是明确的，叙述是充分说明问题的。

“私は学生です”这个句子，从根本上来说，与“僕はうなぎだ”没有什么区别。只要这个句子是现实生活中使用的一个实际的句子，它就可能是对于下面任何一个问句的回答。

○あなたは学生ですか/はい，私は学生です。

○あなたは(教師と学生の)どちらの意見に賛成しますか/私は学生です。

○あなたは(教師と学生の)どちらの会議に出席しますか/私は学生です。

○あなたは(教師と学生の)どちらからこの話を聞きましたか/私は学生です。

反之，“僕はうなぎだ”这句话如果是童话故事“うなぎ”对“泥鰌”作的“自我介绍”，也许就不至于引起什么议论。

总之，叙述是为着说明问题，只要说明了问题，叙述就可以结束。如果叙述的问题是一个体言，通常人们就在这个体言后面加上だ，因为だ意味着叙述，是帮助组织叙述部的。除此之外，“らしい”、“(の)ようだ”、“みたいだ”等也具有相同性质的作用。如果

叙述的问题必须是以用言来表现的,那么,叙述部分也可以只是一个用言,如:

○あなたはうなぎがすきですか/はい,すきです・はい,私はすきです。

○あなたは北京へ行きますか/はい,行きます・はい,私は行きます。

如果后面这组句子的问题在于去的地方是不是“北京”,那就仍然可能是:“はい,私は北京です”,“はい,北京です”。

那么,“僕はうなぎだ”、“私は北京です”,是否相当于主谓结构的句子呢?应该说是的。因为主谓关系,从根本上来说,指的是“主体 $\leftrightarrow$ 主体的行为、状态、性质”的关系,即“主语”表示“主体”,谓语表示“主体的行为、状态、性质”。“体言は体言だ”形态的句子,是否是主谓关系,关键在于“~だ”部的内容是否就主体而言。“体言だ”的意义只有放到特定的环境中去才能考虑它所表示的特定的内容,否则的话,我们就会误以为“学生だ”一定是说明某个人(主体)的身分(性质)的。其实不然,“体言だ”除了表示主体的身分(性质)外,它往往表示主体的行为、状态、性质所涉及的某一事物。如:“僕はうなぎだ”,“うなぎ”就是主体“僕”的状态“うなぎがすき(だ)”所涉及的一个事物,而“私は北京です”,“北京”就是主体“私”的行为“北京へ行きます”所涉及的一个事物。如果我们把这个“うなぎだ”、“北京だ”作为一个准用言看待,同时考虑它们各自表示的特定的意义,不妨认为“うなぎだ”说明了“僕は”的状态,“北京だ”说明了“私は”的行为。正是因为这个缘故,“僕はうなぎだ”相当于“~が~だ”的关系,“私は北京だ”也相当于“~が~だ”的关系。这就是说,“~が~だ”形态的句子并不都是“主体 $\leftrightarrow$ 性质”的结构。如:

○北京へは誰が行きますか。	}はい,私が北京です。(或:はい,私です。はい,私が行きます。はい,私が北京へ行きます。)
○北京へ行くのは誰ですか。	
○誰が北京ですか。	

我们不能认为“私が北京です”即意味着“主体↔性质”的关系。这里的“北京だ”都意味着“北京へ行きます”，即意味着“私が”这个主体的行为。反之，正因为“私”是“北京だ”的“主体”，从而可以而且必须用“が”来表示。

正是因为“体言だ”相当于一个准用言的作用，在每一个特定的环境中它意味着主体的行为、状态、性质，从而它与非主体的主题之间可能构成其他种种“格”的关系。如：

○北京からお二人ですか。

○十七日からは夏休みです。

○学校では食堂です。

○(中国のおいしい料理といえば)四川省では麻婆豆腐で、天津では狗不理包子で(だ)……。

○私にはこれだけですか(もっと送ってくれると思ったが)

另外，有很多形式上是“体言だ”结构的谓语，本身就是行为、状态、性质的体现。

○先生はいつご帰国ですか。(“ご帰国です”可作为一个动词看)

○なにをお読みですか。(“お読みです”可作为一个动词看)

○彼はその事業には無関係だ。

○女とは無縁だ。

那么，是否一切在形式上构成一个句子的句子都可以说是“主题部+叙述部”的结构呢？也不是的。我们曾经在“句子的种类”（本章第五节）中谈到句子的四个种类：叙述句、疑问句、命令句、感叹句。“题述结构”这一概念用来分析“叙述句”和“疑问句”是没有问题的，但是“感叹句”、“命令句”是否也能够用“题述结构”来分析，恐怕还有很多值得探讨的问题。至少，“はい！”“あら！”“それはそれは！”“いたっ(痛っ)！”“あつ(熱)！”之类的形式上构成一个句子的句子，不能说可以用“题述结构”来分析。可以说说话人在这种场合并没有产生提出一个主题进行叙述的愿望，或者说讲

話人有这种愿望,但还没有开始叙述。

此外,一个题述结构的句子往往并不以句号结束,为了叙述(从文脈上来说的“叙述”)的紧凑,往往在题述结构完成的地方加上一个接续助词が(或“けれども”),以连接后面的叙述。如:

○少年の体は、まるで砲丸のように、ドブンと海に落ちこんだが、波がそれを呑むまもないうちに、二十人ばかりの勇敢な水夫たちが、次々と船から海へおどりこんだ。

○私は田中ですけれども、山田さんはいらっしゃいますか。

这种形式上构成一个句子的句子,总的说来,“が”所连接的前后两个部分,前者的叙述是引起后者的叙述的契机,两者之间或许是顺态接续的情况较多,但也有可能构成逆态接续,在一个句子里,前者只能作为后者的条件接续“从句”(“従属句”,见本章第五节)看待。

#### (八)叙述部的构造

前面说过,叙述部是对主题部的说明,可以简单,也可以详细。

最简单的叙述往往出现在问答句里,叙述部分只就必须介绍的内容提问或作出说明。如:

○あなたはいつ北京へ行きますか。(あなたはいつですか)  
/私は七日です。

○あなたは汽車で行きますか。(あなたは汽車ですか)/はい、私は汽車です。

○あなたはどちらへ行きますか。(あなたはどちらですか)/私は北京です。

○あなたは一人で行きますか。(あなたは一人ですか)/はい、私は一人です。

○あなたはだれと行きますか。(あなたはだれ(と)ですか)/私は李さんです。

○あなたはどちらの生まれですか。(あなたはどちらですか)/私は上海です。

至于详细的叙述，无非是有主语、连用修饰语、谓语等成分。这种成分如果是由“体言が”、“体言を(に、へ、と、より、から、で)”、“体言だ”构成的，那么它们又都可以加上连体修饰语。同时，我们必须看到，一切句子成分都是针对谓语而言的，没有谓语，也就谈不上主语、连用修饰语。从这个意义上说，主语也是“连用修饰”的一种成分。一个句子里可能没有主题，叙述部里也可能没有其他句子成分，但通常情况下，必须有谓语成分，这个谓语成分，即是所谓的“断止文节”(见本章第一节“继续文节”和“断止文节”部分)。主题实际上也是一个“继续文节”。反之，不管一个句子的叙述部分可以划分成多少文节，可以分析出多少句子成分，对于主题来说，这个叙述即相当于谓语(部)，相当于断止文节(连文节)。

○私は昨日学校へ行きました。

主题 叙述

主语部 谓语部

主语 连用 连用 谓语

继续 继续 继续 断止

继续 断止

○これは私が昨日学校から借りてきた本です。

主题 叙述

主语部 谓语部

主语 主语 连用 连用 谓语 谓语

连体 谓语

继续 继续 继续 继续 继续 断止

继续 断止

○図書館では学生たちが静かに本を読んでいる。

主题 叙述

连用部 谓语部

连用 主语 连用 连用 谓语

继续 继续 继续 继续 断止



## 继续

## 断止

另外,谓语文节要注意区别于补助文节,补助文节应该是包含在谓语文节中的一部分。句尾的谓语文节即断止文节所包含的补助文节及各种附属成分(助词、助动词),一般说来是对于整个叙述部的补充。如:

- 彼が行くらしい。
- 彼は行くらしい。
- 彼が行くかも知れません。
- 彼は行くかも知れません。

这样,我们得以区别有题句和略题句(或阴题句)的意义结构,“彼が行くらしい”是关于一个没有在句子里出现的主题的叙述,比如说“北京へは”、“今度は”等等;而“彼は行くらしい”是围绕“彼は”进行的叙述。这一点已经在本章第三节“文节的构造”部分作过分析,这里不再细述。

## (九) 题述结构与连文节

在这篇【参考】的一开始,我们就以“教室は私たちが掃除します”为例,说明这个句子从意义结构上来说,“教室は”不仅仅是关联到“掃除します”的连用修饰语,更重要的是“教室は”与“私たちが掃除します”之间构成了主题与叙述的关系。如果我们不能正确地掌握这种关系,就不能真正理解句子的意义结构,如果我们仅仅是通过单个的文节来分析句子,是不可能把握这种意义结构的。反之,如果我们仅仅知道句子的题述结构,而不能进一步分析主题部与叙述部的内部构造,也没有多大的意义。但是,如果我们通过组织连文节来分析句子,那么句子的题述以及题述两大部分的内部结构都可以在连文节的各个组合阶段逐步地反映出来。很显然:

- 教室は私たちが掃除します。
- — — — —  
— — — — — × — — — — — ○ — — — — —  
— — — — — ○ — — — — —

这个句子在组织连文节的时候，必然使它形成“教室は”与“私たちが掃除します”的两大部分。同样，下面一些句子的连文节的组合最终也必然导致“主题”与“叙述”的两大部分的成立。

○象は鼻が長い。

○B氏は奥さんが入院中です。

○つくえの上には本があります。

○クラスでは彼が一番背が高いです。

○この匂いはガスが洩れたにちがいない。

○大根は葉を捨てて根を食べる。

○私は昨日学校へ行きました。

○昨日私は学校へ行きました。

○(略題或阴题)彼が北京へ行くらしい。

如果说，我们认识了“主题”，得以从总体上把握句子的意义结构——题述结构，但又难以具体地分析句子的各个部分的相互关系；认识了“文节”，得以明确句子内部各部分的相互关系——成分关系，却又难免割断句子总体意义上的结构；那么，认识了“连文节”，就将使我们既能把握住句子总体意义上的结构，又能逐步分析句子内部各成分的相互关系。

#### 課外練習 (第八章 文論)

一 次の文章はいくつの文からできているか、文の終り

に「。」をつけて、( )の中に文の数を書きなさい。

竹やぶのそばをかけぬけると夕焼けのしたひがね山の空ももうほてりが消えかかった良平はいよいよ気が気でなかった行きと帰りと変わるせいかけしきの違うのも不安だったすると今度は着物まで汗のぬれ通ったのが気になったからやはり必死にかけ続けたなりはおりを道ばたへぬいですてた。( )

二 次の文は、表現上適切でないところがある。それはどんな点か、文法的に説明し、かつ正しくなおしなさい。

1. 妹は静かにねむっている母のそばにすわった。
2. ぼくは起きると、父がもう出かけていった。
3. わたしの理想とする人は、責任感の強い人が理想である。
4. わたしたちは、友人との会話のなかで、「将来どんな職業につきたいと思っているか」という話が出ることもある。
5. あの人のことだ。まさか約束をたがえることはない。
7. あの学校に入学できれば、どんなにうれしい。
7. 土地制度について最も注目すべき点は、その改革後に大地主がなくなりました。
8. そんな時、アメリカ人がよくおこりますが、日本人が黙っているそうです。
9. 私としては、彼の心理状態は正常ではない。
10. 警官は泥まみれになって逃げて行く泥棒を追いかけた。

## 第九章 敬 语 法

### 第一节 敬语及其种类

通过语言对他人表示敬意时需要使用敬语,也就是说,敬语是对他人表示敬意的语言。

敬语可以分成以下三种。

#### 一 尊敬语(尊敬語)

对于谈话中所涉及的对方或他人的动作、状态及有关事物等表示敬意时所使用的语言叫尊敬语。例如:

○先生がそうおっしゃいました。

○明日はいらっしやいますか。

○お手紙どうもありがとうございました。

#### 二 谦让语(謙讓語)

以谦逊的态度叙述自己的行为或有关事物时所使用的语言叫谦让语。

○先生,私がご案内します。

○父が先生のところに伺ってきたそうです。

○粗品でございますがお納めください。

#### 三 郑重语(丁寧語)

与对方谈话时表示客气的、有礼貌的、文雅的、郑重的态度时使用的语言叫郑重语。

○私は中学生です。

○今朝はお寒うございます。

## 第二节 敬语常用词语

### 一 尊敬语

#### (一) 代名词

あなた どなた あなたがた このかた そのかた あの  
かた

#### (二) 动词(参照第四章第二节“敬语动词”部分)

めしあがる いらっしゃる なさる おっしゃる くださる

#### (三) 接头词和接尾词

##### 1. 接头词

お(話、越し、出かけ、やすみ、宅、電話、誕生日)

ご(心配、両親、満足、希望)

貴(社、国、地、校、意、輪)

高(見、配、名、位、志)

令(息、嬢、夫人、孫)

芳(志、意、顔、書)

##### 2. 接尾词

(田中、姉、兄、叔父)様(さま・さん)

(山田、部長、事務長)殿

(井上、小林、山本)君・氏(うじ・し)・先生

(吉岡、高藤、武子)夫人・女史

##### 3. 接头词和接尾词的并用

お(子、父、兄、母、嬢、花嫁)様(さま・さん)

ご(苦勞、馳走、隠居)様(さま・さん)

#### (四) 补助动词(参照第四章第二节)

あそばす(見て～、よろこんで～)

お・ご……になる(なさる)(～やすみ～、～出発～)

くたさる(来て～、お許し～、ご許可～)

(お・ご)……なさる(お話し～、ご計画～)

(五)助动词(参照第六章第二、五节)

れる られる (せられる させられる)

## 二 謙让语

(一)代名词

わたくし わたし ぼく

(二)动词(参照第四章第二节)

まいる 申す あがる あげる さしあげる いたす つか  
まつる いただく うかがう 申しあげる

(三)接头词和接尾词

1. 接头词

小(生、宅、著、論、見)

拙(者、宅、著、作、妻、筆)

愚(息、妻、見、意、兄、考)

拜(見、借、読、受、領、呈、聴、観)

弊(店、社、邦、国、家)

2. 接尾词

(ぼく)ら

(わたくし)ども

(四)补助动词(参照第四章第二节)

お・ご……する(～ねがい～、～案内～)

(お・ご)……いたす(お邪魔～、参上～、おことわり～)

(お・ご)……申す(お尋ね～、おいとま～、ご返事～)

(お・ご)……申しあげる(ご案じ～、お助け～、ご協力～)

(お・ご)……いただく(見せて～、お伝え～、ご案内～)

(お・ご)……ねがう(ご協力～、おいで～)

## 三 郑重语

(一)动词(参照第四章第二节)

いただく 食べる いたす

ござる(ございます)

(二) 接头詞

お(米、水、酒、茶、粗末)

ご(飯、馳走)

(三) 助動詞(参照第六章第九、五節)

です ます

关于敬语这里仅介绍其体系,供读者参考,具体表达方式请参照前面各有关章节。

### 練習問題三十七

一、尊敬語、謙讓語、丁寧語の概念について述べなさい。

二、次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

父の病気が重くなって大学病院に入院し、数日たったある日、病院の深沢先生が、父がこれまで服用していた胃の薬のメモを川島先生からもらって来るようにと、わたしに言われた。

「わたくしもお手紙を書いて、その後の(A)ご様子を(B)ご報告し(C)ます。」わたしはすぐ川島病院に行った。

問一 ~~~の部分で会話のかたちに改めて書きなさい。

問二 (A)ご様子、(B)ご報告し、(C)ますはそれぞれだれを高めて言っているのか。次の①~④から一つずつ選んで、その番号を書きなさい。

①深沢先生 ②川島先生 ③父 ④わたし

三、次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

さて、本日はお願いがございまして、突然ながらお便り致す次第でございます。金田一先生の(a書いたbお書きになったcお書きした)「発音から見た日本語」と題する論文が、雑誌「日本語教育」第三号に掲載されていらっしゃるのことでございますが、もし、お差し支えなければ、一週間ばかり(aお貸しくだ

さいません b お貸しできません c お貸ししていただきません) でしょうか。拝借できますなら、ご指定の日時にご宅へお伺いするなり、ご便宜の場所へ(a いらっしゃる b 参る c 行く)なり致したいと存じますが、ご都合いかがでしょうか。なお、吉田君のお話しでは、三月にはご旅行の予定がおありとか(a 伺いました b お聞きになった c 聞きました)が、ご旅行からお帰りになってからでも、もちろん結構でございます。

問一 文中の( )の a~c のことばで、もっとも適当なものを一つずつ選び、その番号を○印で囲みなさい。

問二 文中には敬語の使いかたが適切でないものが三カ所あります。該当する部分に――線をひき、正しくなおしなさい。

### 課外練習 (第九章 敬語法)

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

東京で都電やバスに乗ると、ほとんどの車掌も、

「切符をお持ちしていないかたはありませんか。」というように言う。

「お持ちする」「お持ちしない」は、いうまでもなく、A( )ではない。すなわち、相手の動作を言い表すのに使うべき形ではない。車掌はこの場合、「切符をお持ちにならないかたは……」あるいは、「B( )」というべきである。

敬語の混乱といわれることの代表的な例の一つがこれだと言えよう。また、「うしろのかたお急ぎしてください。」などという言い方を聞いたこともある。

車掌の「お持ちしていないかた」は、「C( )」からの類推によるのではないかという人もいるが、大体において、近ごろの敬語の混乱といわれる現象の中には、一つの根本的なこととして、尊敬・謙讓の区別がなくなって、丁寧の一種だけになってい



るといえそうな傾向がある。だから、「きのうは会社を①お休み  
しました。」だの、「辞書も②買ってあげたのに、うちの子どもは  
さっぱり勉強しないんです。」だの、「ただいま会長の③申され  
たことに、私は賛成いたします。」だのという言いかたがだんだ  
んふえている。

問一 A～Cの( )の中に入れるのに最も適当なものを、  
次から選び記号を書きなさい。

- |   |   |                     |   |   |                |
|---|---|---------------------|---|---|----------------|
| A | { | ア 尊敬語               | B | { | ア 切符を持っていませんかた |
|   |   | イ 謙談語               |   |   | イ 切符を持っていないかた  |
|   |   | ウ 丁寧語               |   |   | ウ 切符をお持ちでないかた  |
| C | { | ア (私が)切符をお切りにならないかた |   |   |                |
|   |   | イ (私が)切符をお切りしていないかた |   |   |                |
|   |   | ウ (私が)切符を切っていないかた   |   |   |                |

問二 ——線①～③の部分は、誤った敬語の使いかたをし  
ている。正しい言いかたに直しなさい。

## 附録 I

## 〔練習問題〕 参考解答

### 練習問題一 (P18)

一、ほいん しいん おんそ おんせつ げんごおん ちょうおん  
そくおん はつおん おんせい おんいん

二、一人(3) 二度(2) 三人(4) 四日(3) 北京(3) 上海(4)  
十日(3) 二十日(3) 十重二十重(5) 今日(2・4) 昨日(3・4)

三、(略)

四、かりゅう げすい げしゃ したみ さげる さがる くだる  
くださる おろす おりる もくぜん めんぼく・めんもく めだつまの  
あたり かぶしき あまぐ くらまく みぶん にもつ あいしょう  
てすう ふいちょう ほんばこ みつばち こうば とうどり たんもの  
さみだれ ふぶき へた みやげ しない

五、ふじ はなぢ ちかぢか いれぢえ ちぢむ だいず さかず  
き みそづけ つねづね うおづ(り) つづみ つづ(る) おお(う) お  
おかみ とどこお(る)

六、1. ローマじ 2. とうきょう 3. おおさか 4. ざっし 5. に  
んげん 6. おんな 7. こんやく 8. げんいん

### 練習問題二 (P22)

一、(5)

二、1. (3) 2. (6) 3. (8)

三、ばかでかい 模型 なんか 作っ てね 子供らしい と  
思っ た けれども あまり 大人ぶる の も いやだ から だまっ  
て いた よ。(22)

### 練習問題三 (P25)

一、問一(略)

問二 1. (ああ) 2. (美しい)と(春が)……(野にも山にも)と(来て(いる)) 3. (野にも)と(山にも) 4. (来て)と(いる) 5. (春が)と(来て(いる))

### 練習問題四(P28)

一、(自)(立) (付)(属) (形)(容)(動)(詞) (活)(用) (用)(体)  
(感)(動)(詞) (活)(用) (主)(語) (活)(用) (助)(動)(詞) (助)(詞)

二、1. られる(注:付属語) 2. まるで(注:自立語) 3. やせる(注:自立語) 4. 忘れる(注:活用語) 5. 子供(注:体言) 6. だ(注:助動詞)

### 練習問題五(P33)

一、1. つくえ(注:「つくえ」は本来名詞であって、ほかは動詞から転成した名詞である。) 2. ばかり(注:単純語) 3. 読める(注:「読める」は「読まれる」から転成した可能動詞である。) 4. めちゃくちゃ(注:「めちゃくちゃ」は量語ではない。) 5. 名高い(注:「名高い」は複合語であって、ほかは派生語である。) 6. 立ち上がる(注:「立ち上がる」は複合語であって、ほかは派生語である。) 7. 子供だ(注:「子供だ」は「子供」と「だ」の二語であって、ほかは一語のものである。)

二、1. 大昔 大雪 大掃除 大喜び 大騒ぎ 2. 真正面 真心 真夏 まっ赤 ま上 ま下 まん丸い 3. いやがる こわがる うれしがる 不思議がる ほしがる

### 練習問題六(P38)

一、1. 学校(注:普通名詞) 2. 田中(注:固有名詞) 3. レストラン(注:単純語) 4. 頼み(注:単純語。動詞から転成したもの。)

二、おじさま 間 おかわり 暖かさ 学校 おじさま 村 おじさま おうち 楽しみ おからだ

### 練習問題七(P46)

一、1. 仅仅三年时间产量翻了一翻。  
2. 花了两倍于预算的钱。

3. 每三天检查一次工作。
4. 据说每升高 1000 米,气温就下降 6 度。
5. 冬春相交之际,每下一场雨就暖和一些。
6. 这个药请每隔三小时吃一次。
7. 路两边每隔二、三米种着一棵树。
8. 奥林匹克运动会每隔三年,也就是每逢第四年举行一次。
9. 洗海水浴的人一星期超过十万人次。
10. 一支铅笔 两颗钉子 三瓶啤酒 四部电影 一只猫 两匹马  
一只虫 两条鱼 一张纸 两件衬衫 三块板 四条被子 五只  
碟子 六片叶子 七块田(七丘田) 八块玻璃 九片面包 十张(条)  
蓆子

- 二、
1. 人口は百万人に増えた。
  2. 人口は百万人増えた。
  3. 貿易額はもとより二十パーセント減った。
  4. 貿易額はもとの二十パーセントにさがった。
  5. 建物の延べ面積は三倍増えた。
  6. 化学肥料の生産量は去年の倍になった。
  7. 化学肥料の使用量はもとの四倍になった。
  8. あひる一羽 皮靴一足 手袋一對 洋服一揃(一着) 虎一匹  
飛行機一機 十時四十五分 九時五分前 三人目  
後ろから五行目

### 練習問題八(P52)

- 一、問一 ①「これ」=(親類の)子ども ②「それ」=(清らかな)小川  
(の流れ) ③「そういうようなもの」=えびのいる清らか小川の  
流れ,それに縁の影をひたす森や山, 河畔に咲き乱れる草の花  
④「このこと」=この子どもの,えびとといったのは,かならずしも  
動物学上のえびのことではない。……いなかの自然を象徴する  
えびでなければならない ⑤「それ」=恋しくなるいなか  
⑥「そこ」=いなか ⑦「このえびの幻影」=「大人のわたしく」の  
なかのどこかに隠れている「子どものわたくし」 ⑧「それ」=え  
びの幻影。

- 二、1. (その) (これ) 2. (これ)

### 練習問題九(P65)

- 一、1. (10まま) 2. (3ところ) 3. (4の) 4. (12うえ) 5. (8つ  
もり) 6. (17しだい) 7. (15かぎり) 8. (11どおり) 9. (2  
もの) 10. (1こと) 11. (6はず) 12. (5わけ) 13. (14もと)  
14. (16かわり) 15 (13うち) 16 (18くせ) 17 (7ため) 18 (9  
ほう)
- 二、1 (行った) 2 (寝る) 3 (揃った) 4 (見た) 5 (つきたおさ  
れる) 6 (食べている) 7 (つき) 8 (買う) 9 (帰った)  
10 (思う) 11 (聞いた) 12 (通り) 13 (どおり)
- 三、1. もう五月だから、広州は暑いはずだ。  
2. 君たちだっていずれは年をとるわけだから、年寄りは大事に  
すべきだよ。  
3. 時差が四時間あるから、日本時間のちょうど正午十二時に着  
くわけだ。  
4. 一時に来るはずなのに、いまになってもまだ来ない。  
5. あなただけが悪いというわけではありません。  
6. 確かここに置いたはずなのに、いくらさがしても見当たらない。

### 練習問題十(P110)

- 一、1. (叫ぶ) 2. (捨てる) 3. (照る) 4. (出す) 5. (つつむ)  
6. (泳ぐ) 7. (想像する) 8. (来る) 9. (わかる)
- 二、用いる(上一) 陥る(五段) いじる(五段) しくじる(五段)  
交じる(五段) かじる(五段) 恥じる(上一) 知る(五段) のの  
しる(五段) 過ぎる(上一) 擲る(五段) みなぎる(五段)  
ちぎる(五段) い(居)る(上一) 要る(五段) 着る(上一) 切る  
(五段) 散る(五段) 満ちる(上一) あずける(下一) あざけ  
る(五段) かけ(陰)る(五段) 提げる(下一) 帰る(五段)  
変える(下一) ひるがえる(五段) 減びる(上一) 経る(下一)

湿る(五段) 占める(下一) ふけ(耽)る(五段) 更ける(下一)  
述べる(下一) シャべる(五段) 滑る(五段) 食べる(下一) 蹴  
る(五段) 練る(五段)

三、つたわる くだける なおる おどろく そなわる つかまる  
はなれる やぶれる たおれる 泣き立てる 降りだす 考え込  
む 疲れきる 売り切れる

- 四、1. 那棵树上结的是什么果子?  
2. 中学时候学的东西很有用处。  
3. 再也不能容忍了。  
4. 一到五点,孩子就会从学校回来。  
5. 商量过了吗?  
6. 因为需要钱,把土地卖了换成钱吧。  
7. 我扮演哈姆雷特,请你扮演欧菲莉娅。  
8. 我想那人大约再过二十分钟就会来。  
9. 走过西餐馆门前,有一股很好闻的味道。  
10. 这两三天作为冬天来说,太暖和了一点。  
11.  $x+y=14$ 的时候,如果 $x=10$ ,那么 $y=4$ 。

五、1. 伺う 2. いらっしゃい(る) 3. なさる 4. めしあがり(る)  
5. あがり(る) 6. ください(る)

六、1. ぼく→わたし 2. 来る→いらっしゃる 3. 待っている→お  
待ちしています 4. くれ(た)→くださ(っ)た

七、1. ご満足して→ご満足 2. ご帰国され→帰国され・ご帰国に  
なり・ご帰国なさい 3. お休みし→休み 4. お詰めして→詰めて  
・お詰め 5. 降りる人→降りられるかた 6. 拝見し→拝見させ  
7. あなたがくわわっていただいて→あなたにくわわっていただ  
いて・あなたがくわわってくださって 8. おつきになって→つ  
いて 9. どうぞ……おっしゃっていただきます→どうぞ……お  
っしゃってください

八、1. (吠えて)い(た)……(ひっそりして)い(る) 2. (溶けて)き(た)  
3. (書きとめて)み(た) 4. (見せて)く(ださい) 5. (しまつて)

しまう 6. (写真をとって)もらっ(て)やっ(て)ください(ませんか)

- 九、1. 分らなければ教えてあげましょう。  
2. この場合、チップはどれだけやればいいですか。  
3. くすりは私が病院からもらってきてあげましょう。  
4. こんな高いものをただでもらうわけにはいかない。  
5. 先生は私のためにわざわざ紹介の手紙を書いてくださった。  
6. おひまなときはどうぞあそびに来てください。  
7. 「駅へ行く道を教えていただけませんか。」「私は、この近所の者ではないので知りません。あそこにあそんでいる子どもならくわしく教えてくれると思います。」  
8. わが学校について簡単に紹介させていただきます。
- 十、1. (豪雨に)よる (かけ崩れに)よる めだっ(て)いる  
2. (その季節に)なる (押すな押すなで)ある (手拭を)さげ(たり) (徽章を)つけ(たり)し(て)右往左往する (物を)見(たり) (舌鼓を)うたっ(たり) (おしゃべりに)耽っ(たり) (洗濯が)できる (話で)ある

### 練習問題十一 (P122)

- 一、1. よい 小さい 大きく  
2. (楽しく)ない(ものは)なく (おもしろく)ない(ものは)ない (音楽で)ない(ものは)ない
- 二、1. 名高い(注: 名詞+形容詞) 2. 囲い(注: 形容詞ではない)  
3. いやがる(注: 形容動詞語幹+接尾語)

### 練習問題十二 (P132)

- 一、特殊な(連体形) 印象的で(連用形) 概念的で(連用形) 平凡で(連用形) スケッチ風に(連用形) 新鮮で(連用形) 簡潔で(連用形)
- 二、1. (すなおだ) 2. (すなおな) 3. (すなおだっ) (すなおで)  
4. (すなおに) 5. (すなおだろ) 6. (すなおなら)

### 練習問題十三 (P139)

- 一、1. (形容詞・終止形) 2. (形容詞・終止形) 3. (四段活用動詞・未然形) 4. (カ変動詞・命令形) 5. (①形容詞・連用形 ②形容詞・終止形) 6. (①形容詞・命令形 ②形容動詞・命令形) 7. (①形容詞・命令形 ②形容詞・命令形) 8. (四段活用動詞・已然形) 9. (ラ変動詞・命令形) 10. (下二段活用動詞・連体形) 11. (形容詞・終止形)
- 二、思う 買う 変わる 尽きる 満ちる 恥じる 帯びる 老いる 借りる 心得る 設ける 上げる 寄せる 混ぜる 当てる 詣でる 兼ねる 経る 考える 調べる 肥える 恐れる 来る 案じる 多い よい ない 深い 悲しい 嬉しい 美しい 口惜しい はるかだ こまかだ のどやかだ かすかだ

### 練習問題十四 (P144)

1. (○) 3. (○) 5. (○) 8. (○) 10. (○)

### 練習問題十五 (P155)

- 一、A組: びかびか はっきり 繰り返し繰り返し  
状態の副詞=主として動詞を修飾して、その動作、作用の状態を詳しく定める副詞である。  
こっそり いきなり ごろごろ さっき たくさん
- B組: かなり すこし ほぼ  
程度の副詞=用言(主として形容詞・形容動詞)を修飾して、その状態の程度を詳しく定める副詞である。この種の副詞は、他の副詞を修飾したり、ある特殊の名詞(それは、場所・方向・時間・数量を表わすもの)を修飾したりすることがある点で注意される。  
いくぶん きわめて ずっと だいぶ はなはだ
- C組: まさか 決して ぜひ  
陳述の副詞=修飾される用言の陳述の仕方を限定して、これに一定の言い方を要求する副詞である。



さっぱり どうぞ たぶん まるで なぜ

- 二、……(しばらく)……(いつも)……(どうしてか)……(ようやく)  
……(まさか)……。
- 三、1. (いくら) 2. (たぶん) 3. (どうか) 4. (まんざら) 5. (まさか)  
6. (なぜ) 7. (たとい) 8. (ちっとも) 9. (一向)  
10. (決して)

### 練習問題十六 (P163)

- 一、① { ○そこで(接続詞)  
○そこで(代名詞+格助詞)
- ② { ○なお(接続詞) ③ { ○すると(接続詞)  
○なお(副詞) ○すると(動詞+格助詞)
- ④ { ○それから(代名詞+格助詞)  
○それから(接続詞)
- ⑤ { ○あるいは(副詞)  
○あるいは(接続詞)
- 二、1. A(イ) B(エ) 2. A(ア) B(ウ) C(エ) 3. A(オ)  
B(ウ) C(エ) D(イ) E(ア)

### 練習問題十七 (P166)

①おやっ ②まあ ③はい ④ほう ⑤まあまあ さあさあ  
(尚, ①の「ごめんなさい。ごめんなさい。」 ④の「ごめんください。ごめんください」 ⑤の「ありがとうございます」も感動詞と見てよろしい。)

### 練習問題十八 (P174)

- 一、(植え)た (いたし)ます (晴れ)そうだ (知ら)ない (眠ら)れる (泳い)だ (話そ)う (公園)だ (知ら)ぬ (やる)まい (行か)せる (いい)らしい (起き)よう (降り)そう (もない) (言わ)しめる (やすみ)たい (学生)みただ (留守)でした (知ら)ぬようだ
- 二、1. どうしたら(過去・完了の助動詞)一番いいか、それは分って

- いるようで(比況の助動詞)分っていない(打消の助動詞)。
2. 何かに動かされ(受身の助動詞)てはいるだろ(断定の助動詞)  
う(推量の助動詞)が……。
  3. 彼はなにか話しかけたかつ(希望の助動詞)た(過去・完了の助動詞)。しかし、言葉は出なかつ(打消の助動詞)た(過去・完了の助動詞)。
  4. あなたはすでに木村君で行きづまっている人な(断定の助動詞)んだ(断定の助動詞)と僕には思われる(自発の助動詞)のです(断定の助動詞)。
  5. 子供と見くびっている古藤にも憐れまれる(受身の助動詞)はめになりそうな(様態の助動詞)気がしてならなかつ(打消の助動詞)た(過去・完了の助動詞)。

### 練習問題十九 (P179)

- 一、1. ……疲れさせて……。混乱させます。  
2. ……からませて……。道わせる。  
3. ……見させなかった。  
④ ……取らせたい……。
- 二、3. ……(感じ)させ(られる)。 4. ……(加え)しめ(たまえ)。
- 三、1. むずかしい仕事は人にやらせるより、自分がやるほうがいい。  
2. 自分は来ないで、ほかの人を来させる。  
3. 彼に言いたいことを言せればいい。  
4. 私に言わせれば、あなたは責任がある。  
5. 反動政府の不抵抗主義によって、敵をますます奥地に入らせてきた。  
6. 農民をして政府に食糧をおさめさせる。  
7. 健康の思わしくない人は過激な労働に従事せしめない。  
8. 農村において科学知識を普及させなければならない。

### 練習問題二十 (P192)

- 一、①(aエ) ②(dウ) ③(bア) ④(cイ)

二、a. 可能の助動詞 b. 動詞「折れる」の一部 c. 受身の助動詞 d. 尊敬の助動詞

練習問題二十一 (P201)

- 一、
- 彼は忙しいから、明日は来られないかも知れません。
  - 本を見ないで教えてください。
  - 私はもうだまっています。
  - この本はべらべらめくった感じではおもしろいようですから、最後まで読まずにはいられません。
  - 火のないところに煙が立たぬ。
  - 雨が降ろうと降らなかりと私はいかなければならない。
  - そんなことは一時的現象にすぎない。
  - それは口突にはかならないと思う。
  - 君に頼まれたんじゃ、承諾せざるをえないな。
  - 人のものをただでもらうわけにはいかない。
- 二、
- (ないで)
  - (ないで)
  - (なくて)
  - (ないで)
  - (ないで)
  - (なくて)
  - (ないで)
  - (なくて)
  - (ないで)
  - (ないで)
  - (なくて)
  - (なくて)

練習問題二十二 (P207)

- 一、
- あそこへ行ってみたかったが、とうとう暇がなくて行けなかった。
  - 本当に買いたければ、すこしまけてあげましょう。
  - 彼はぼくにあいたくないから来なかったのだろう。
  - 見たいところがあったら、いつでもご案内しますよ。
  - 詳しくは以下の参考文献を参照されたい。
  - 早く帰りたいから、帰らせました。
  - 若い人たちはダンス音楽を聞くとすぐ踊りたがります。
  - あのころは休みになれば山へ登りたがったものだ。
  - 彼はなにか言いたげな様子でした。
- 二、
- (が・を)
  - (を)
  - (を)
  - (が・を)
  - (を)
  - (を)

7. (を) 8. (を) 9. (が・を)

### 練習問題二十三 (P215)

- 一、……(腰をぬかし)た(連体形)……(無闇をし)た(終止形)……(首を出して)いたら(仮定形)……(はやし)た(終止形)……(帰って来)た(連体形)……(言っ)た(終止形)……(答え)た(終止形)
- 二、1. あのころはいろいろお世話になりました。  
2. 夏休みには旅行がしたかったが、いそがしくてどこへも行けなかった。  
3. 私が行ったときには、彼はもう出かけてしまっていた。  
4. いいえ、私も書き終わったところです。  
5. あのめがねをかけた女の人は誰ですか。  
6. 花が散ったら、見る人もいなくなる。  
7. 中に入ってみたら、人が大勢あつまっていた。  
8. 仕事が終わったら、ここに来てください。  
9. 張さんが来たら、私を起してください。  
10. 急がないから、こんど会ったとき返してくれればいい。  
11. いくらさがしても見つからないと思っていたら、なんだ、そんなところにあったわ。  
12. そうだ、今日は君の誕生日だった。

### 練習問題二十四 (P222)

- 一、1. ……学生だ(○) 3. そうです(○), そうとおりです(○) 5. ……静かなんだ(○) 7. ……幸福な(○)んだ(○)
- 二、1. 集会の場所は倶楽部だったり、レストランだったり定まっていません。  
2. 彼は有名な小説家であるばかりでなく、すぐれた歴史学者でもある。  
3. 私は鳥なら、飛んで帰るんだが。  
4. もう九月の終わりだ(という)のに、真夏のような暑さだ。  
5. 今日の成功を見たのは、絶えない努力の結果にほかならない。

### 練習問題二十五 (P241)

- 一、1. (ウ) 2. (イ) 3. (イ) 4. (イ)
- 二、1. (は) (ず) 2. (も) (の) 3. (う) (が) …… (ま) (い) (が)  
4. (ら) (し) (い) 5. (べ) (く)
- 三、1. あるまじき=あってはならない。 2. 求めん=求めよう  
3. 言わんと欲する=言いたい・言おうと思う 4. 逃さじ=逃さない・逃すまい 5. 捧げるべく=捧げようと 6. 言うべくして=言うことができて・言うことができるが
- 四、1. 使おうと、使うまいと、わたしのお金ですから、あなたにはなにも言わないでください。  
2. この件について、みんなに相談して決めるべきではないか。  
3. 気遣いではあるまいし、人の前でどうしてそんな失礼なことができるのか。  
4. こんどの台風がすぎたら、気温があがるらしい。  
5. 車内でタバコをのむべからず。

### 練習問題二十六 (P246)

- 一、1. (B) 2. (C) 3. (A) 4. (B) 5. (A) 6. (A)  
7. (B) 8. (B) 9. (A) 10. (C)
- 二、1. (ために) 2. (ように) 3. (ために) 4. (ように) 5. (ように) 或(ために) 6. (ように) 7. (ために) 8. (ように)

### 練習問題二十七 (P254)

- 一、助動詞「そうだ」には「勝(ち)そうだ」「美(し)そうだ」のように動詞の(連)(用)(形)や形容詞の(語)(幹)などについて様態を示す場合と、「勝(つ)そうだ」「美(い)そうだ」のように動詞の(終)(止)(形)や形容詞の(終)(止)(形)などについて伝聞を示す場合とがあり、意味の相違に関連して両者の接続法に相違のあることが知られる。また、「そうだ」自身の活用形も必ずしも同一ではなく、(伝)(聞)の意味を示すものの活用形の種類が(様)(態)の意味

を示すものに比べていちじるしく少なく、(そ)(う)(で)(そ)(う)  
(だ)の二つの語形に限られている。

二、② ③ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

練習問題二十八 (P263)

1. (の) 2. (が)(の) 3. (で)(と) 4. (か)(ら)(へ) 5. (と)  
(と)(へ) 6. (の)(に) 7. (の)(で) 8. (と) 9. (て)(な)(が)(ら)  
10. (ば)(か)(り)(も) 11. (は) 12. (さ)(え)(で)(も) 13. (ま)(で)  
14. (と)(も) 15. (わ) 16. (ぞ) 17. (な)

練習問題二十九 (P292)

- 一、①(イ) ②(オ) ③(エ) ④(ア) ⑤(イ) ⑥(ウ) ⑦(ア)  
⑧(オ)

- 二、1. (が) 2. (が) 3. (を) 4. (を) 5. (を) 6. (から)  
7. (に) 8. (で) 9. (に) 10. (に) 11. (に) 12. (へ)  
13. (に) 14. (から) 15. (に) 16. (に) 17. (で) 18.  
から・に) 19. (と) 20. (で) 21. (で) 22. (より) 23.  
(に) 24. (が)

練習問題三十 (P346)

- 一、1. 雨はやんだし、夕暮れは近いし、そろそろ帰ろう。  
2. うたったり、おどったりして、たいへん嬉しそうです。  
3. 高くてけわしいから、私にはとても登られません。  
4. 批判されながらも仕事を続けなければならないから、たいへん苦しいです。  
5. 品もよくてねだんも安いのに、どうして買わないのか。  
6. このごろはさむかったり、あたたかかったりして、天気やさだまらぬ。  
7. 人をなぐつたりのをしつたりしてはいけません。  
8. 三つ子ではなかるうし、これくらいの理窟は分りそうなものだ。

9. 結託しながらも争っている。

- 二、1. 一人と→一人だと 2. 決めれば→決めるなら 3. なるなら  
→なったら 4. 見れば→見たら 5. 飲みたいと→飲みたければ  
・飲みたいなら・飲みたかったら 6. みまわしたら→みまわすと  
7. 悪いと→悪ければ・悪いなら・悪かったら 8. 鳴れば→鳴っ  
たら・なると 9. 掛ければ→掛けたら 10. 登れば→登ったら  
・登ると 11. 着けば→着いたら・着くと

三、1. 以前この辺は一日大雨が降ると(降ったら)、田畑は水びたし  
になった。

2. ゆっくり歩けば(歩いたら・歩くと)三十分かかります。

3. それが事実だったら(事実だと・事実なら・事実であれば)重  
大なことになりますよ。

4. 近いなら(近ければ・近かったら)歩いていきましょう。

5. 君さえいてくれたら(くれれば・くれたなら)、こんなことに  
ならなかったろう。

6. 後ろを見ると(見たら)中村君がニコニコしながら入ってき  
た。

7. もし時間がなければ(なかったら)、今日君はいかなくてもい  
いですよ。

8. 僕が行くなら、きっと君を連れて行ってあげる。

9. 彼は手紙を読みおわると、腹を抱えて笑いだもた。

10. 電車に乗ったら、タバコはやめなさい。

11. 三人寄れば、文殊の智慧。

12. その絵、上手でもなければ、おもしろくもありません。

- 四、1. 足りないので→足りないから 2. 地震に→地震で 3. 病氣  
に→病気で 4. 借金で→借金に 5. 風邪で→風邪だから  
6. 行きましょう→行くことになった 7. いたずらで→いたず  
らに 8. 中止しよう→中止した 9. くれないので→くれない  
から 10. 分らなくて→分らないから

五、1. いいかげんによせばいいのに……。

2. もう四月だというのに、まだ寒い。

3. 張さんはそんなに上手に歌えるものを、どうして歌わせない

のですか。

- いかなくてもよいというものの、やはり行くべきです。
  - 何回も読んだところが、よく分らなかった。
  - いくら早く歩いたところで、日暮れまでに到着できない。
  - 静かどころか、たいへん騒がしいところだ。
  - 昨日わざわざたずねたところがあいにく留守でした。
  - 忠告したところが、かえって恨まれた。
  - あいつはあまり金がないくせに、高い物ばかり買ったがる。
- 六、1. (が) 2. (のに) 3. (が) 4. (のに) 5. (ものの) 6. (もので) 7. (ところが) 8. (どころか) 9. (ところで) 10. (ところで) 11. (のに) 12. (が) 13. (にしても)

### 練習問題三十一 (P404)

- 一、①(は) ②(は) ③(が) ④(は) ⑤(は) ⑥(が) ⑦(が) ⑧(は)
- 二、1. (が)……(は)……(は) 2. (が)……(が) 3. (は)……(が) 4. (は)……(が) 5. (が)……(は) 6. (は) 7. (が) 8. (は)……(が) 9. (は) 10. (が)
- 三、1. 私は→私が 2. お父さんは→お父さんが 3. 戦争は→戦争が 4. 中国が→中国は 5. 中之島図書館が→中之島図書館は 6. 箱は→箱が
- 四、1. (しか) 2. (だって) 3. (さえ) 4. (でも) 5. (も) 6. (も) 7. (でも) 8. (も) 9. (でも) 10. (も)
- 五、1. (ほど) 2. (ぐらい) 3. (ばかり) 4. (だけ) 5. (ほど) 6. (だけ) 7. (ばかり) 8. (くらい) 9. (くらい) 10. (ほど) 11. (だけ) 12. (ばかり)
- 六、1. 太郎は行くとも言わなければ、行かないとも言わない。  
2. われわれはだまされもしないし、おどかさねられない。  
3. 十数年来、一度も家へ帰ったことがない。  
4. いく千いく万もの人びとが歓声をあげた。  
5. しっかりこそしなかったが、腹を立てたことはたしかだ。



6. 年こそとっているが、元気は若者にまけない。
7. 自分でやってこそはじめて分る。
8. 車に乗ってさえまにあわなかったから、歩いていくなら言うまでもありません。
9. お茶を飲む暇さえないくらい忙しい。
10. あまり難しくて、やめてしまおうとさえ考えたことがある。
11. 丈夫でさえあれば、みんなに喜ばれる。
12. どこへでも行きたいところへ行け。
13. ちょっとでも油断しようものなら、すぐ負けてしまうだろう。
14. 電話でも連絡してみたらどうですか。
15. 四時までだって、五時までだって、あなたのいらっしゃるときまでお待ちしましょう。
16. 行くなりやめるなり早く決めたほうがいい。
17. ここ数日は雨ばかり降っている。
18. 子供をしかってばかりいては教育にならない。
19. あの人はお宅のお嬢さんだとばかり思っていました。
20. いまにも火事になるばかりだった。
21. 村人はとびあがらんばかりに喜んだ。
22. 彼は反対しないばかりか、励ましてくれた。
23. せめて一度だけでもいいから、会ってやってください。
24. 話せるだけのことはみんな話した。
25. 現場へ行って調査しただけあって、この設計案はたいしたものだ。
26. 困難をきわめた仕事であるだけに、光栄でもある。
27. 長江大鉄橋は見に行くだけのことはある。
28. 昨日は忙しくて息をつく暇もないくらいだった。
29. 竣工までは二カ月くらいかかるだろう。
30. 自分の部屋の掃除ぐらいは自分でしなさい。
31. 単語を調べるために、一時間ほどかかった。
32. 屋根がとぶほど風が吹いた。
33. 日本語の発音は英語ほど難しくない。
34. 圧迫されればされるほど反抗心が強い。

35. あの店は本や雑誌などを売っている。  
 36. それぐらいのことでつらいなどと言ってはいけない。  
 37. 病気はすこしずつよくなってきた。  
 38. 二人は夜が明けるまで話し合っていた。  
 39. あしたの十時までに来てください。  
 40. 子供のけんかに大人まで出てきた。  
 41. 兄は家を出たきり、帰ってこなかった。  
 42. 梅や桜やいろいろの花が咲いている。  
 43. 昨日私は幾冊か本を買いました。  
 44. あしたかあさってかまたいらっしゃい。  
 45. 行けるかどうかあとで電話でお知らせしましょう。  
 46. 試合が始まるか始まらないかに雨が降りだした。  
 47. 果物屋にはみかんとかバナナとかいろいろな果物があります。  
 48. 田中とかいう人があなたにあいたいと言ってきた。  
 49. そんなことをするなんて、あまりにもばかっているじゃないか。

### 練習問題三十二 (P428)

③(……いい)かな。⑥(……ます)が。⑧(……です)が。⑩(……ます)か。⑪(……ません)よ。⑫(……でしょう)が。⑬(……疑い深い)ね(……ない)よ。⑭(……です)か(……です)か。⑮(そう)よ(……ききたい)の? ⑯(……ます)かね? ⑰(……ない)や。⑱(……です)か。㉑(……です)か。㉒(……ぼくは)ね(……だ)よ。㉓(……です)が。㉔(……ない)ねえ。㉕(……です)か。㉖(……です)か(……です)か。㉗(……ません)な(……申して)な(……です)ぞ。㉘(……です)が。㉙(……でしょう)か。㉚(……ない)か(……かかる)よ(いい)かい(ぼくは)ね(……たい)の。

### 練習問題三十三 (P440)

- 一、文節は文を、意味が分りにくくなったり、実際のことばとしておかしく感じられたりしない程度に、できるだけ細かく区切った場合の一区切りである。  
 二、1. 春の|遅い|北国の|山に|花が|咲き乱れて|いる。

2. 山の|上から|強い|風が|吹いて|くる。
3. ふたりは|兄弟なので、仲の|よいのは|あたりませんでした。
4. 世の中も|このように|平和だったらと、心から|願った。
5. 九月十五日、この|日は|学校の|創立記念日だ。
- 三、1. 竹やぶ そば 駆け抜ける 夕焼け した 日金山 空 も  
う ほてり 消えかかっ(消えかかる) い(いる)
2. 土工たち その 中 はいっ(はいる) あと 良平 トロコ  
腰 かけ(かける) 帰る こと 気 し(する) い(いる)
3. その 道 やっと 登りきっ(登りきる) 今度 高い かけ  
向こう 広広と うすら寒い 海 開け(開ける)

### 練習問題三十四 (P448)

- 一、母は…帰った 家は…あった 目が…さめると 少年は…走っ  
ていった 川が…まがりくねりながら…消え 波が…そよ  
いで(いた) 風景は…めずらしかった
- 二、かつて…見た すばらしい…能楽堂を 眼下に…望む ちよっ  
と…平坦な もちろん…(簡単な舞台があるだけのごく素朴な)  
ものであった 言いがたい…気品が なんと…言えない
- 三、対等の関係:「身軽で」—「すばしこかった」「上へ」—「上へと」  
補助の関係:「登って」—「しまのうだった」「にがしは」—  
「しないぞ」「上って」—「いく」「登りつめて」—「しまめた」  
独立語: そして(見るまに) だが(、さるのほうは) だから(、か  
れがぼうしを) ようし(、そんなこと) と(、さるのほうは) よ  
うして(、さると少年は)

### 練習問題三十五 (P464)

- 一、その泉に|吸い込まれる|ように さめた|ような|気がした わ  
ずか|ながら 義務|遂行の|希望である わが|身を|希望である  
赤い光を 葉に|投げ 葉も枝も 燃える|ばかりに|輝いている  
間がある 待っている くらいている
- 二、A組ウ(注:ほかはみんな主語文節である) B組ア(注:ほかはみ

んな連体修飾語文節である) C組イ(注:ほかはみんな連用修飾語文節である) D組ヤ(注:ほかはみんな対等文節である) E組カ(注:ほかはみんな補助文節である) F組エ(注:ほかはみんな独立語文節である)

### 練習問題三十六 (P476)

一、連文節は二つ,またはそれ以上の,となり合った文節が一つにまとまって,一つの文節のような資格をもつものである。

二、○春の遅い北国の山に花が咲き乱れている。

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

○おとなしい彼があんなになっておこったのもっともだ。

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

○この説はおそらく彼が唱えはじめたのだろう。

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

○男の子も女の子もよく学びよく遊ぶ。

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

○おうい, 学生さん, なにをそんなに急いでいるのですか。

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

○先生がくださった本を私に見せてくださいと大武君が言った。

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

三、1. (イ) 2. (ウ) 3. (オ) 4. (エ) 5. (ア)

### 練習問題三十七 (P510)

一、1. 尊敬語: 相手や第三者の動作・状態その他を敬って言う言葉。

2. 『謙譲語』：自分に関することを謙遜している言葉（これも相手を敬う心からである）。3. 『丁寧語』：言い表わし方をていねいにして言う言葉（これも、相手を敬う心からである）。

二、問一：お父さんがこれまで服用しておられた胃の薬のメモを川島先生からもらってきてください。

問二：A③ B② C④

三、問一 (b) (a) (b) (a)

問二 (……掲載されて) いらっしゃる → いる

ご宅 → お宅

(吉田君の) お話し → 話し

## 附錄II

## 主要參考資料

- 王曰和《日语语法》商务印书馆  
陈信德《现代日语实用语法》商务印书馆  
王宏《日语助词新探》上海译文出版社  
王宏《日语表达方式初探》商务印书馆  
陈信德《现代日语的句法》原载《日语学习与研究》  
上海外国语学院日语教研室编《日语》上海译文出版社  
《日语学习与研究》《日语学习与研究》杂志社
- 永山勇「国文法の基礎」洛陽社  
湯沢幸吉郎「口語法精説」明治書院  
松山羊一「中学国文法」東京・昇龍堂出版株式会社  
江湖山恒明「日本文法辞典」明治書院  
松村 明「日本語教育学会編」日本語教育事典」大修館書店  
「外国人のための基本語用例辞典」文化庁  
「教師用日本語教育ハンドブック」(③文法 I ④文法 II) 国際交流基金  
「岩波講座日本語」(6 文法 7 文法) 岩波書店  
吉野教育図書編集部編「中学国文法ドリル」吉野教育図書  
国立国語研究所編「現代語の助詞・助動詞」  
「日本語教育」日本語教育学会  
「講座日本語教育」早稲田大学語学教育研究所  
「日本語教育研究」日本語教師連盟  
橋本進吉「国文法體系論」岩波書店  
橋本進吉「国語法研究」岩波書店  
三上章「日本語の構文」くろしお出版  
南不二男「現代日本語の構造」大修館書店

森田良行「基礎日本語」角川書店

「待遇表現」文化庁

「日本語と日本語教育」文化庁



2 031 2932 8